令和 4～5年度文化庁委託

「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業：生活分野

－報 告 書－

生活 Can do に基づくカリキュラム案について

令和 6 年（2024 年）3 月

公益社団法人 日本語教育学会

〔目 次〕

〔1〕 本報告書の目的と構成 ……1
〔2〕 本事業の委員、報告書執筆者 ……1

Ⅰ.「自立を目指す生活日本語カリキュラム」 ……2
1.カリキュラム案 ……2
1.1 タイプ1 ……2
1.1.1 概要 ……2
1.1.2 指導案・教材・活動の例 ……12
1.2 タイプ 2 ……34
1.2.1 概要 ……34
1.2.2 指導案・教材・活動の例 ……46
1.3 今後の課題 ……57
2. 評価方法 ……58
2.1 パフォーマンス評価のための課題作成 ……58
2.1.1 「話すこと やりとり」「話すこと 発表」の課題 ……58
2.1.2 「話すこと やりとり」「話すこと 発表」の課題のためのルーブリック ……61
2.1.3 「理解すること 聞くこと」の課題 ……64
2.1.4 「理解すること 読むこと」の課題 ……65
2.1.5 「書くこと」の課題 ……66
2.1.6 「書くこと」の課題のためのルーブリック ……67
2.2 パフォーマンス評価のための課題例 ……68
2.3 熟達度評価の実施方法 ……68
2.4 今後の課題 ……70

Ⅱ.カリキュラム作成のために ……73
1. カリキュラム作成手順 ……73
2. 生活 Can do ユニット化（例） ……74

Ⅲ.教師研修モデル ……76
1.研修モデルの設計について ……76
1.1 全体の設計図 ……76
1.2 モニター教師研修の実施（令和4年度） ……77
2.研修モデル案 ……77
2.1 東京における教師研修の内容 ……78
2.2 実施後のアンケートから見えること ……81
3.今後の課題 ……84

[資料]

資料1．「能力 Can do」の書き換え例 ……86
資料２．パフォーマンス評価のための課題サンプル ……88
資料3．生活 Can do ユニット ……102

〔1〕 本報告書の目的と構成

本報告書は、令和 4 年度及び 5 年度に、公益社団法人日本語教育学会が文化庁より受託した「『日本語教育の参照枠』を活用した教育モデル開発事業」の成果をまとめたものです。この事業は、日本語教育の内容やレベル・評価の指標となる共通の基盤として策定された「日本語教育の参照枠」（文化審議会国語分科会、令和 3 年 10 月）を活用し、カリキュラムや評価方法、教師研修モデル等を開発することを目的としたものですが、日本語教育学会では、文化庁が選択肢として提示した、生活・就労・留学のうちの「生活」分野を選び、カリキュラム、評価方法、教師研修モデルの開発に取り組みました。「生活」分野に関しては、「生活 Can do」一覧が日本語教育小委員会より令和 4 年 11 月に公開されており、本事業におけるカリキュラム開発及び評価方法の検討では、その中に含まれている A1 から B1 に相当する生活 Can do を用いることとしました。そして、「生活 Can do に基づくカリキュラム」として、「自立を目指す生活日本語カリキュラム」を開発しました。

本報告書では、カリキュラム開発、評価方法開発、研修モデル開発という3つの取組の成果を示すと同時に、その開発・検討の過程を紹介します。開発・検討の過程も公開することにより、成果物の背景を理解していただくこと、さらに、各地の地域日本語教育コーディネーター等が、「生活のための日本語」のコースを設計する際や、評価方法を検討する際、そして、研修を計画する際の参考としていただくことが可能となると考えています。さらに、開発プロセスについての検討や意見交換の素材にしていただけたらと思います。

報告書は、次の内容で構成されています。詳細は目次でご確認ください。

1. カリキュラム案：2 タイプの学習者像を想定して作成したカリキュラムの例
2. 上記カリキュラム等での活用が想定される評価方法の例
3. 教師研修モデル案
4. 資料（パフォーマンス評価のための課題サンプル、生活 Can do ユニット、等）

〔2〕 本事業の委員、補助者、報告書執筆者

〇本事業の委員

「教育モデル開発検討会議」

小澤伊久美（委員長）、金田智子（副委員長）、嶋田和子（副委員長）、島田めぐみ（副委員長）、内山夕輝、砂川裕一、中河和子、野田尚史、森篤嗣、米勢治子

「カリキュラム・シラバス開発委員会」

金田智子（委員長）、森篤嗣、中上亜樹、内山夕輝

「評価方法開発委員会」

島田めぐみ（委員長）、横田隆志、菊岡由夏

「教師研修委員会」

嶋田和子（委員長）、島田めぐみ、金田智子

＜補助者＞

吉田敬、東樹美和、柳本大地

〇報告書執筆者

金田智子、森篤嗣、中上亜樹、内山夕輝、島田めぐみ、横田隆志、菊岡由夏、嶋田和子

（教材イラスト：大関真由佳）

Ⅰ.「自立を目指す生活日本語カリキュラム」

1. カリキュラム案

以下、「自立を目指す生活日本語カリキュラム」として開発したカリキュラム案を 2 種示す。異なる学習者像を設定し、タイプ1（家族滞在<配偶者>向け）とタイプ2（就労希望／就労中の永住者・定住者向け）とした。タイプ1は、来日間もない日本語未習者を想定したことから、A1 と A2 に時間をかけ、タイプ2は居住歴がありA1 程度の話す能力を持っている人を想定したことから、A2 から B1 に時間をかけるようコース設計している。

以下、それぞれのタイプについて、コースの概要、指導案、教材、活動の例を示す。

1.1 タイプ1

1.1.1 概要　（20240125 版）

<生活日本語コース・タイプ 1：家族滞在（配偶者）向け>（A1・A2 コース, B1 コース）		
日本語教育／学習の目的		
外国人（日本語を母語としない人）が, 日本において安心・安全で, 十全な社会生活を送れるようになることを目的に, 基礎的な日本語を身に付ける。		
学習者像		
入国間もない配偶者, 非漢字圏, 定住化の可能性有。日本語未習。身近な知り合いを作り, 地域での日常生活を充実させたい。		
目標		
1.〔日本語能力〕日本の地域社会で生活する人の多くが遭遇する場面において, 周囲の力も借りながら, 日本語で行動できるようになる。基礎コースが終わった段階で, 参照枠の A2 レベル（全体的な尺度）に達すること。自立コースが終わった段階で, 参照枠の B1 レベル（全体的な尺度）に達すること。 <A2>ごく基本的な個人情報や家族情報, 買い物, 近所, 仕事など, 直接的関係がある領域に関する, よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら, 身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。自分の背景や身の回りの状況や, 直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 <B1>仕事, 学校, 娯楽でふだん出合うような身近な話題について, 共通語による話し方であれば, 主要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな, 大抵の事態に対処することができる。身近で個人的にも関心のある話題について, 単純な方法で結び付けられた, 脈絡のあるテクストを作ることができる。経験, 出来事, 夢, 希望, 野心を説明し, 意見や計画の理由, 説明を短く述べることができる。 2.〔学習能力〕自身の日本語学習や日本語使用について客観的に捉え, 日本語や日本文化について分析的に捉えることや, 日本語学習を自分に合った方法で管理することができるようになる。 3.〔社会文化に関する知識・意識〕日本語学習を通じて, 生活場面で日本語を使用するにあたって必要となる知識を獲得し, 社会・文化・生活における異なりに対する意識が高まる。		
成長イメージ	目標レベル	「日本語学習」（教育時間）時間
<第 1 段階> 安全を守り, 必要最低限の生活ができる	A1	120H（文化審議会国語分科会「地域における日本語教育の在り方について（報告）」で示された学習時間の目安（以下、「国語課案」）は、100～150H）

		＝160h<単位時間，1h=45 分>
<第 2 段階> 社会に加わり／関わりながら生活の幅を広げる（地域の知り合いとのつながりを強める，自治体活動やコミュニティサークルに参加する，等）	A2	165H（国語課案 100～150H） ＝220h
<第 3 段階> 地域の活動に対して積極的に関与し，地域で活躍できるようになる	B1	210H（国語課案 150～220H） ＝280h

方針

1．できることが増えること，コミュニケーションすることによって自身の社会が拡がっていくことが実感できるような教室を作る。

2．自身の日本語学習や日本語能力を意識し，主体的に日本語学習に取り組める姿勢を育てる。

具体的な工夫・留意点

・「～できる」及び「行動」を中心に捉え，言語能力や方略的能力，正書・読字に関わる能力は行動を支えるものとして扱う。

・自律的な学習姿勢を身に付けることができるよう，初期段階から学習者が自身の学習を意識・管理するための「学習ポートフォリオ」を活用する。ポートフォリオには，日本語学習の目標・見通し，教室外の行動目標，自己評価，振り返り，社会的活動の記録，等が含まれる。

・日本語や日本文化の知識を「教えられる」のではなく，自ら分析・発見・比較したりする姿勢が身に付くような指導方法・活動・評価方法を取り入れる。

・対面での 4 時間を充実させるため，伝統的な予復習は求めない。教室での学びと実生活での日本語使用が循環するような授業設計をし，生活の中での使用や発見が予復習として機能することをねらう。

教授法・具体的な教室活動・人の配置，等

〇コミュニケーション重視の教授法・活動

〇教室内のやりとりのコミュニケーション化

〇教室外日本語使用の促進

〇日本語教師／指導者が担当し，内容によって各種専門家や一般市民が役割を担う

教材・リソース

・自主作成教材（含．日本語学習ポートフォリオ）

・『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集』，地域日本語教育実践プログラム等により開発された各地の教材

・『つながるひろがるにほんごでのくらし』，『いろどり 生活の日本語』，『ひきだすにほんご』

・『にほんごチェック!』

・『Life in Tokyo: Your guide』，『生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）』

評価

1．日本語能力の評価・確認（開始時，終了時）

2．定期的な観察・評価

3．〔日本語学習ポートフォリオ〕Can do を用いた，学習者による自己評価，相互評価

4.〔日本語学習ポートフォリオ〕教室外日本語使用の記録（活動記録）・資料 5.コース評価（学習者・教師による）		
〔A1・A2 コース 全 380 単位時間〕時間・期間		
1 日（1 回）あたりの時間数	4h	1h=45 分（～50 分）
週あたりの回数	5 回	
日数	95 日	A1：40 日 8 週，A2：55 日 11 週
週数	19 週	セッションを前後に分け，第1セッション（A1 相当）を週 5 日の集中，A2 は週 2～3 日とする方法もある。
期間	5 か月弱	週 5 日の場合
A1 コース（159h＋α）内容構成		
日本語学習 <生活 Can do に基づく>	59h＋α	日本語使用を支える「生活・文化・社会」の学習による時間増をαとした。
日本語学習 <文字学習，読み学習>	16h	原則として，文字学習は生活 Can do と関連付けて扱う。
日本語学習<発展的内容>	24h	(1)文法への気づき　(2)文字・文法の整理
日本語学習<方略学習>	6h	(1)相手の言ったことが聞き取れない時，(2)話題の中の単語の意味がわからない時，等
展開活動・フィールドワーク	10h	日本語学習ユニットからの展開。例）「地域の公共施設を使う」→施設訪問。「避難訓練をする(1)」→消防署等の協力を得て避難訓練。
コースオリエンテーション，コース中コンサルテーション等	6h	開始時オリエンテーション，コース中コンサルテーション等。 適宜，通訳あり。
日本語学習自己管理	16h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認，自己評価・他者評価，教室外日本語使用の記録・資料，振り返り，目標の見直し，等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む。
「日本での生活」オリエンテーション	16h	媒介語も用いて学ぶ
評価	1h	終了時実施 別途，コース実施中に随時，活動（タスク，ロールプレイ等）の観察・評価を行い学習に生かす。<日本語学習ポートフォリオと関連付ける>
コース終了時コンサルテーション（含．評価活動）	5h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価，教室外日本語使用の記録・資料などを利用
A2 コース（220h）内容構成		
日本語学習 <生活 Can do に基づく>	146h	

日本語学習 <文字学習，読み学習>	12h	生活 Can do との関連付け
日本語学習<発展的内容>	16h	(1)文法への気づき　(2)文字・文法の整理
日本語学習<方略学習>	4h	(1)言葉の意味の類推，(2)リハーサル，(3)簡単なやりとりの開始と終了，等
展開活動・フィールドワーク	7h	例)「図書館を利用する」で実際に図書館に行き，手続きなどをする。
コースオリエンテーション他	6h	開始時オリエンテーション，コース中コンサルテーション。通訳あり。
日本語学習自己管理	16h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認，自己評価・他者評価，教室外日本語使用の記録・資料，振り返り，目標の見直し，等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む
「日本での生活」オリエンテーション	8h	「媒介語」と「やさしい日本語」を用いて学ぶ
日本語能力判定（終了時）	2h	レベル判定。「次（修了後）」「移動後」につながる評価<証明機能>
コース終了時コンサルテーション（含．評価活動）	3h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価，教室外日本語使用の記録・資料，日本語能力判定などを利用 修了式。通訳あり。
〔B1 コース：280 単位時間〕時間・期間		
1 日（1 回）あたりの時間数	4h	1h=45 分（～50 分）
週あたりの回数	5 回	週 3 回等も可
日数	70 日	
週数	14 週	週 3 日：24 週
期間	3.5 か月	週 3 日：6 か月
B1 コース（280h）内容構成		
日本語学習 <生活 Can do に基づく>	217h	学習者自身が必要度・興味・関心によりユニットを選ぶこととし，「日本語学習<発展的内容>」等を増やしてもよい。
日本語学習 <文字学習，読み学習>	12h	生活 Can do との関連付け
日本語学習<発展的内容>	7h	(1)文法への気づき (2)文字・文法の整理
日本語学習<方略学習>	6h	(1)言い直し，(2)意味の類推，(3)話題の開始と終了，等
展開活動・フィールドワーク	8h	例)「環境問題とリサイクル」で清掃局の方の出張授業を受ける。
コースオリエンテーション他	6h	開始時オリエンテーション，コース中コンサルテーション。

日本語学習自己管理	12h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認，自己評価・他者評価，教室外日本語使用の記録・資料，振り返り，目標の見直し，等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む 「日本語学習」で実施する部分があるため，他レベルより時間数少ない。
「日本での生活」オリエンテーション	6h	「やさしい日本語」で学ぶ
日本語能力判定（終了時）	3h	レベル判定。「次（修了後）」「移動後」につながる評価<証明機能>
コース終了時コンサルテーション（含．評価活動）	3h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価，教室外日本語使用の記録・資料，日本語能力判定などを利用 修了式。

〔日本語学習の内容〕

＊「概要」に含まれる「日本語学習<生活 Can do に基づく>」の内容である。表内の「ユニット」とは、生活 Can do を場面や一連の行動によって塊化したものである。「ユニット内，上位 Can do レベル」とは、ユニットを構成する Can do のレベルのうち、最も上位のレベルを示したものである。また、ユニット番号は「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」にある「生活上の行為の分類一覧」の大分類（Ⅰ～Ⅹ）毎に付けてある。「生活 Can do ユニット」の詳細は巻末資料を参照されたい。

コース	ユニット内，上位 Can do レベル	ユニット名	大分類	ユニット番号（大分類内）	時間（1=45 分）
A1	A1	あいさつ／初対面のあいさつ	Ⅶ	1	2
	A1	きっかけを作るあいさつ	Ⅶ（&Ⅷ）	2	1
	A1	ちょっとひとこと	Ⅷ	3	1
	A1	ごみを出す	Ⅷ	4	1
	A1	店員に商品の有無を尋ねる	Ⅹ	25	1
	A1	値段を確認する	Ⅲ	5	2
	A1	店で支払いをする	Ⅲ	6	1
	A1	葉書や封筒を書いて投函する	Ⅹ	9	2
	A1	メールやカードで簡単なメッセージを伝える	Ⅹ	13	2
	A1	メールアドレスを取得する	Ⅹ	16	1
	A1	書類の記入	Ⅷ	6	1
	A2	飲食店へ行き，メニューを見る	Ⅲ	8	2
	A2	飲食店で注文する	Ⅲ	10	1
	A2	電車に乗る	Ⅳ	12	2

	A2	地図を頼りに目的地を尋ねる	Ⅳ	13	2
	A1	病院を探す	Ⅰ	1	2
	A1	工事の状況を理解する	Ⅰ	14	2
	A1	公共サインを理解する	Ⅷ	7	1
	A1	あいさつとジェスチャー	Ⅶ	3	1
	A1	会合での初対面のあいさつ	Ⅷ	1	2
	A1	避難訓練を受ける(1)	Ⅰ	19	2
	A2	クリーニング店を利用する	Ⅲ	11	2
	A1	タクシーに乗る(1)	Ⅳ	6	1
	A1	タクシーに乗る(2)	Ⅳ	7	1
	A1	交通ルールを知る(1)	Ⅳ	10	1
	A1	駐車場に関する表示を理解する	Ⅳ	14	1
	A1	予防接種を受ける(1) ＊「Ⅴ子育て･教育」だが,自分自身のこととして扱う。	Ⅴ	1	3
	A1	年末年始のあいさつ	Ⅶ	4	2
	A1	休み明けの会話	Ⅶ	5	2
	A1	別れ際のあいさつ	Ⅶ	6	1
	A1	お祝いのあいさつ	Ⅶ	7	1
	A1	回覧板を届ける	Ⅷ	5	2
	A1	イベントで挨拶する	Ⅸ	1	2
	A1	地域の公共施設を使う	Ⅸ	2	3
	A1	ネットで予約する	Ⅸ	3	3
	A1	電話を受ける	Ⅹ	22	1
	A1	店員に商品の有無を尋ねる	Ⅹ	25	1
	計				**59**
A2	A2	あらたまったあいさつ	Ⅶ	14	1
	A2	世間話をする	Ⅶ	15	1
	A2	街の薬局で薬を探す	Ⅰ	9	2
	A2	病院で診察を受ける(初診)	Ⅰ	2	2
	A2	医師から薬を処方される	Ⅰ	3	1
	A2	病院で健康診断を受ける	Ⅰ	5	2
	A2	おすすめの歯科医院を予約する	Ⅰ	6	2
	A2	インフルエンザなど流行病について情報収集する	Ⅰ	10	2
	A2	ハラル食品を探す	Ⅰ	12	2

	A2	安全講習（交通安全や防犯知識）を受ける	Ⅰ	15	2
	A2	盗難や事故などの，緊急事態に対応する	Ⅰ	16	3
	A2	消防訓練を受ける	Ⅰ	20	2
	A2	避難訓練を受ける（2）	Ⅰ	21	2
	B1	避難訓練を受ける（3）	Ⅰ	22	2
	B1	避難訓練を受ける（4）	Ⅰ	23	2
	B1	地域の防災訓練に参加する（救急）	Ⅰ	27	2
	B1	買い物に必要な情報を得る（対面）	Ⅲ	1	3
	B1	買い物に必要な情報を得る（インターネット）	Ⅲ	2	2
	B1	お店で買い物をする	Ⅲ	4	5
	A2	レストランに予約をしてから行く	Ⅲ	7	2
	B1	飲食店で料理について質問する	Ⅲ	9	3
	B1	お店でサービスを受ける	Ⅲ	14	2
	A2	タクシーを予約する	Ⅳ	9	1
	B1	タクシーに乗る(3)	Ⅳ	8	2
	A2	通勤のために自転車を利用する(1)	Ⅳ	2	3
	A2	予防接種を受ける(2)	Ⅴ	2	4
	A2	病院へのお見舞い（1）	Ⅶ	8	3
	A2	病院へのお見舞い（2）	Ⅶ	9	1
	A2	結婚のお祝い(1)	Ⅶ	10	1
	A2	結婚のお祝い(2)	Ⅶ	11	2
	A2	名刺作り	Ⅶ	12	1
	A2	イベント探し	Ⅶ	13	1
	A2	会合での自己紹介	Ⅶ	16	1
	A2	年中行事の違いについて知る	Ⅶ	17	1
	A2	文化の違いを理解する	Ⅶ	18	3
	A2	異文化体験について語る	Ⅶ	19	2
	A2	贈り物のマナーを知る（1）	Ⅶ	20	1
	A2	公共マナーを読み取る	Ⅷ	8	2
	A2	通知を読む	Ⅷ	9	1
	A2	税金を納める	Ⅷ	10	1
	A2	各種手続き（転出・転入等）をする	Ⅷ	11	3
	A2	役所に行く(1)	Ⅷ	12	2

	A2	役所に行く(2)	Ⅷ	13	2
	A2	ごみ出しルールを守る	Ⅷ	14	2
	A2	粗大ごみの回収申し込み	Ⅷ	15	1
	A2	地域イベントを手伝う	Ⅷ	17	3
	A2	地域の交流イベントについて調べる	Ⅷ	18	2
	A2	日本語学習を振り返る	Ⅸ	4	2
	A2	図書館を利用する	Ⅸ	5	3
	A2	日本語学習について考える	Ⅸ	6	4
	A2	書店を利用する	Ⅸ	7	2
	A2	参加したいイベントを探す	Ⅸ	8	3
	A2	公開授業（学校公開）に行く	Ⅸ	9	2
	A2	テレビを活用する	Ⅸ	10	2
	A2	公共施設について調べる	Ⅸ	11	4
	A2	日本語教室や趣味の教室について調べる	Ⅸ	12	2
	A2	メニューについて質問する	Ⅸ	13	2
	A2	旅行の計画	Ⅸ	14	4
	A2	スポーツ記事を読む	Ⅸ	15	2
	A2	イベントに誘う／誘われる	Ⅸ	18	2
	A2	方言を知る	Ⅸ	19	2
	A2	将来について話す	Ⅸ	20	3
	A2	宅配便の再配達／郵便を活用する	Ⅹ	1	3
	A2	荷物を送る	Ⅹ	10	1
	A2	テレビドラマやアニメを見る	Ⅹ	6	1
	A2	ラジオで天気予報を聞く	Ⅹ	7	2
	A2	郵便サービスについて知る	Ⅹ	11	2
	A2	メールや手紙でお礼を伝える	Ⅹ	14	2
	B1	メールでやりとりする	Ⅹ	15	2
	A2	電話をかける(1)	Ⅹ	23	1
	計				**146**
B1	B1	調剤薬局で薬をもらう	Ⅰ	4	2
	B1	診療科を探す	Ⅰ	7	2
	B1	診察室でけがの症状を説明する	Ⅰ	8	3
	B1	予防接種について調べる	Ⅰ	11	2
	B1	地域の祭りにスタッフとして参加する	Ⅰ	13	2
	B1	回覧板を読んで，防犯対策をする	Ⅰ	17	2

	B1	被害にあった時に相談する	Ⅰ	18	3
	B2	防災訓練でアナウンスをする	Ⅰ	24	1
	B1	地域の防災訓練に参加する（地震，台風など避難を伴うもの）	Ⅰ	25	2
	B1	地域の防災訓練に参加する(火事)	Ⅰ	26	2
	B1	賃貸契約をする(1)	Ⅱ	3	2
	B1	引越し業者を探す	Ⅱ	6	2
	B1	引越しで気をつけることを友達と話す	Ⅱ	8	2
	B1	電気･ガス･水道の使用を開始する	Ⅱ	10	3
	B1	送られてくるお知らせやガイドブックから飲食店の情報を得る（読む）	Ⅲ	3	1
	B1	電気製品を買う	Ⅲ	12	3
	B1	お店の機器を利用する	Ⅲ	13	3
	B1	トラブルを解決する	Ⅲ	16	2
	B1	駅で旅行の手配をする	Ⅳ	1	2
	B1	通勤のために自転車を利用する(2)	Ⅳ	3	3
	B1	教習所に通う	Ⅳ	4	2
	B1	免許の取得と更新	Ⅳ	5	2
	B1	交通ルールを知る(2)	Ⅳ	11	3
	B1	交通違反に対処する	Ⅳ	15	1
	B1	自動車保険への加入	Ⅳ	16	1
	B1	車検を受ける	Ⅳ	17	1
	B1	自転車のメンテナンス	Ⅳ	18	2
	B1	就職活動前の情報収集	Ⅵ	1	4
	B1	就職活動（正社員向け）	Ⅵ	5	3
	B1	就職活動（アルバイト向け）	Ⅵ	6	2
	B1	雇用契約を結ぶ	Ⅵ	8	3
	B1	職場で仕事に関する相談をする	Ⅵ	9	3
	B1	給与明細について質問する	Ⅵ	10	3
	B1	出産見舞い	Ⅶ	21	1
	B1	コミュニティの一員になる（1）	Ⅶ	22	1
	B1	食事をしながら雑談をする(1)住まい	Ⅶ	23	1
	B1	食事をしながら雑談をする(2)食生活	Ⅶ	24	1
	B1	冠婚葬祭マナーについて知る（1）	Ⅶ	25	1
	B1	知り合いとのおしゃべり	Ⅶ	26	1
	B1	悩み相談（1）	Ⅶ	27	2

	B I	悩み相談（2）	Ⅶ	28	I
	B I	異文化体験を共有する	Ⅶ	29	2
	B I	異文化に対する意識を高める	Ⅶ	30	2
	B I	異文化体験についての意見交換	Ⅶ	31	2
	B I	文化紹介の準備	Ⅶ	32	2
	B I	スピーチ	Ⅶ	33	3
	B I	冠婚葬祭マナーについて知る（2）	Ⅶ	34	I
	B I	贈り物のマナーを知る（2）	Ⅶ	35	I
	B I	懇親会での自己紹介	Ⅶ	36	I
	B I	引っ越しに伴う手続き	Ⅷ	19	I
	B I	公的制度を理解する	Ⅷ	20	2
	B I	税金について理解する(I)	Ⅷ	21	I
	B I	税金について理解する(2)	Ⅷ	22	I
	B I	環境問題とごみリサイクル	Ⅷ	25	2
	B I	自治会活動について知る	Ⅷ	26	3
	B I	地域の人と知り合いになる	Ⅷ	27	2
	B I	地域イベントでの文化発表(I)	Ⅷ	28	I
	B I	地域イベントでの文化発表(2)	Ⅷ	29	2
	B I	コミュニティの一員になる（2）	Ⅷ	30	2
	B I	コミュニティの一員になる（3）	Ⅷ	31	I
	B I	自治会に参加する（I）	Ⅷ	32	2
	B I	自治会に参加する（2）	Ⅷ	33	2
	B I	「お知らせ」を読む(I)	Ⅷ	34	I
	B I	「お知らせ」を読む(2)	Ⅷ	35	I
	B I	医療費助成について知る	Ⅷ	36	2
	B I	健康保険や年金について知る	Ⅷ	37	I
	B I	公的補助を受ける(I)	Ⅷ	38	I
	B I	公的補助を受ける(2)	Ⅷ	39	I
	B I	ご近所トラブルの解決	Ⅷ	40	2
	B I	税金について知る	Ⅷ	42	I
	B I	ボランティアをする	Ⅸ	21	2
	B I	社会問題を話題にする	Ⅸ	22	4
	B I	日本の教育について考える	Ⅸ	23	5
	B I	勉強する方法を探す	Ⅸ	24	2
	B I	勉強する場所について調べる	Ⅸ	27	I
	B I	資格について調べる	Ⅸ	25	4

	B1	仕事について相談する	IX	26	3
	B1	公共施設を利用する	IX	28	3
	B1	仲間を作る	IX	29	2
	B1	自分に合った日本語教育機関を探す	IX	30	3
	B1	日本語学習方法について相談する(1)	IX	31	5
	B1	日本語学習方法について相談する(2)	IX	32	3
	B1	日本語学習を自己管理する	IX	33	3
	B1	日本語について調べる	IX	34	3
	B1	「日本語」について話す	IX	35	3
	B1	国・地域について話す	IX	36	2
	B1	旅行の計画を立てる	IX	38	3
	B1	書店を活用する	IX	39	3
	B1	マニュアルを読む	IX	40	3
	B1	「方法」を学ぶ	IX	41	3
	B1	自分の人生について語る	IX	42	3
	B1	宅配便の再配達サービス内容を知る	X	2	1
	B1	携帯電話を活用する	X	3	3
	B1	スポーツニュースを見る	X	4	2
	B1	テレビニュースを見る	X	5	4
	B1	見たい番組を探す	X	8	1
	B1	郵便サービスを活用する	X	12	1
	B1	メールの設定をする	X	17	4
	B1	メールで問い合わせをする	X	18	1
	B1	インターネット回線を契約する	X	20	2
	B1	インターネットを活用する	X	21	2
	B1	電話をかける(2)	X	24	1
	B1	電気屋で店員に質問する	X	26	1
	B1	広報誌を読む・書く	X	27	2
	計				**217**

1.1.2 指導案・教材・活動の例

想定される授業として、タイプ1のコースについては、A1 レベル及び A2 レベルそれぞれに相当するものを例示する。具体的には、指導案、スライドや絵カードで用いるイラスト、配布プリント、目標となるやり取りの例（モデル会話）のスクリプトである。スクリプトには、留意点を吹き出しにより加えてある。

〔A1 レベル〕

(1)指導案

本時の目標: 商品の値段を見たり聞いたりして確認する。(大分類Ⅲ、ユニット5) ★店で商品の値札などを見て,値段を確認することができる。(114,A1,0.5 コマ:25 分) ★店員に買いたいものの値段を尋ね,答えを聞いて理解することができる。(114,A1,1 コマ:45 分) ★レシートを見て,何がいくらだったのか,値段に間違いはないかなどを確認することができる。(147,A1,0.5 コマ:20 分)	20××年 x 月x日 担当者:中上亜樹
学習内容・項目: 話す「やりとり」,読む	教材・教具:イラスト「①お店・買い物中の様子」「②店内の値札、値引シール」「③値段の表示がない商品の前で考える」「④店員に話しかける。値段を聞いている」「⑤店員が話している。値段を答えている」「⑥店員に話しかける。お礼を言っている」「⑦数種類のレシート」,会話①音声,会話①スクリプト,プリント①「買い物リスト(1)」,プリント②「買い物リスト(2)」,プリント③「買ったもの(絵)とレシート」 副教材:「生活・仕事ガイドブック(やさしい日本語版)」(p.100)

対象学習者:A1 クラス学習者(家族滞在(配偶者向け)生活日本語コースで学ぶゼロ初級に近い人)

段階・時間	活動・活動の目的	活動の具体的内容・方法(何をどのように行うか)	教材・教具・留意点
5 分	目標の確認	目標 Can do(学習者が分かる言語版)を見て,何ができるようになるか確認する。	日本語学習ポートフォリオ等
2 分	イメージをつかむ(スキーマの活性化)	イラスト①②③を見せながら,どのような場面かを想像してもらう。 T問いかけ「(イラスト①を示して)行きますか。」「(イラスト③を示して)チェックしますか。」	イラスト①②③
5 分	イラストを見て,ポイントを理解する	イラスト②を見せ,見たことがあるか質問する。 お買得品,目玉,広告の品など,目立つものがあれば,通常よりも安い値段になっている可能性があることを通常の値札と特別な値札とを対比しながら伝える。 半額,2 割引,10%の割引,50 円引きなどのシールを見せ,割引であることと,その内容を理解する。	イラスト②
8 分	値段を確認する練習(1)	半額,2 割引,10%割引,50 円引きなどの割引シールを見せ,内容を理解する練習	
10 分	値段を確認する練習(2)	教室の中に値札がついたものを置いておき,学習者は自分の買い物リストにある商品を探し,その値段を記入していく。また同時に,その値札が通常のものかセール品なのかの区別をさせる。	値札(実際のものに近い値札を作成) プリント①

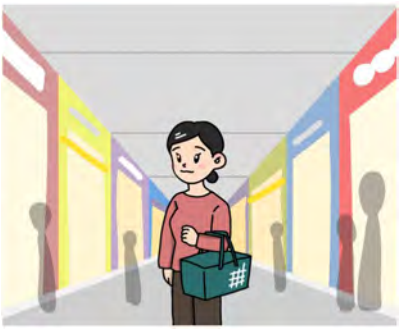
2分	イメージをつかむ（スキーマの活性化）	イラスト①③④を見せながら，どのような場面かを想像してもらう。 T:（イラスト③を指して）どうしますか。 S:日本語で言えない可能性あり。	イラスト①③④
2分	会話を聞いて，ポイントを理解する	会話①の音声をイラスト③④を示しながら聞く。	会話①音声 イラスト③④ 学習者に応じて繰り返し聞いてもOK。
3分	会話を聞いて，内容を詳しく理解する。	イラスト⑤⑥⑦を見ながら，会話①の音声を聞く。 →イラストを指しながら，どの部分の会話か示す。	会話①スプリクト 会話①音声 学習者に応じて繰り返し聞いてもOK。
4分	言語形式に注目する	イラスト④を見せて意味を確認しながら，「このNはいくらですか？」のフレーズを覚え，スクリプトの食品以外の品物でも値段が聞けるようにする。	この N はいくらですか。／これはいくらですか？
2分	学んだ表現が，どのように使われるか確認する。(I)	イラスト④を見ながら，言語形式に注目して音声を聞く。	イラスト④
4分	口まわしをよくする（I）	リピート練習で言えるようになった後で，N の部分を入れ替えて，更に練習する（代入ドリル）。	
3分	言語形式に注目する。	イラスト⑤を見ながら，既習の I 桁の数字を使って 3 桁の数字であることを確認。 →I 桁の数字は既習	イラスト⑤ 100 ～ 1000 円を100単位で。
休憩			
2分	学んだ表現が，どのように使われるか確認する。	イラスト⑤を見ながら，数字に注目して音声を聞く。	イラスト⑤
11分	聞いてわかるように練習	I 桁から復習しながら，2 桁，3 桁の数字を導入し，聞いた数字がいくつか分かるようになるように練習する。聞いた数字を書きとる練習。 →言う練習をする必要はないが，言いたいのを止める必要もない	
12分	実際の場面で，自分が知りたいことを尋ねる。	プリント②のリストにある商品が置いてあるブース（支援者）へ行って，その値段を聞き，メモをする。聞いた後はお礼を言って会話を終わらせる。というやり取りで会話練習をする。	プリント②
4分	イメージをつかむ（スキーマの活性化）	イラスト①⑦を見せながら，レシートを見たことがあるか聞いてみる。 T問いかけ「何ですか？」「買い物をします，レシートを	イラスト①⑦

		もらいます。いくらですか。チェックしますか」など，絵カードを見せて指さしながら聞いてみる。 →学習者が答えられなければ，次へ	
8 分	ポイントを理解する	イラスト⑦を見せ，日本語で「レシート」ということを確認。 イラスト⑦で「税込」「消費税」という表記を示し，消費税について「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」で確認。	イラスト⑦ 「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」（p.100）
8 分	内容を詳しく理解する。	自分が買ったものの絵と名前，その値段が書かれた買い物したもののリストとレシートの値段（プリント③）と照合する練習をする。 照合する活動を何度か繰り返す。	プリント③
5 分	自己の学習を振り返る	今日の目標確認&自己評価表記入	日本語学習ポートフォリオ

（2）教材

<イラスト> ＊次ページより

イラスト①「お店・買い物の様子」



イラスト②「店内の値札、値引シール」

イラスト②「店内の値札、値引シール」

イラスト③「値段の表示がない商品の前で考える」

イラスト④「店員に話しかける。値段を聞いている」

イラスト⑤「店員が話している。値段を答えている」

イラスト⑥「店員に話しかける。お礼を言っている」

イラスト⑦「数種類のレシート」

Mマート
目白店

領　収　書

おにぎり		130
ジュース		150
サラダ		380
割引	30%	−114
小　計（税抜　8%）		¥546
消費税等（8%）		¥43
合　計		¥589
消費税等（8%）		¥43
お預り		¥1,000
お釣り		¥411

Gスーパー
目白店
＜領　収　書＞

牛乳	238
たまご	198
りんご	240
2コ × 単120	
ティッシュ	298
洗剤	168
小　計（税抜　8%）	¥676
消費税等（8%）	¥54
小　計（税抜 10%）	¥466
消費税等（10%）	¥46
合　計	¥1,242
消費税等（8%）	¥54
消費税等（10%）	¥46
お預り	¥1,500
お釣り	¥258

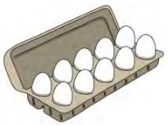
<配布プリント>

プリント① 買い物リスト（1）

SALE

¥＿＿＿＿＿

（1） ¥（　　） → □

（2）  ¥（　　） → □

（3）

¥（　　） → □

（4）

¥（　　） → □

（5） ¥（　　） → □

（6） ¥（　　） → □

プリント② 買い物リスト（2）

（1）

¥＿＿＿＿

（2）
¥＿＿＿＿

（3）
¥＿＿＿＿

（4）
¥＿＿＿＿

（5）
¥＿＿＿＿

プリント③ 買ったもの（絵）とレシート

（1）

Mマート
目白店

領 収 書

おにぎり		130
ジュース		150
サラダ		380
割引	30%	−114
小 計（税抜 8%）		¥546
消費税等（ 8%）		¥43
合 計		¥589
消費税等（ 8%）		¥43
お預り		¥1,000
お釣り		¥411

¥65

¥150

¥266

(2)

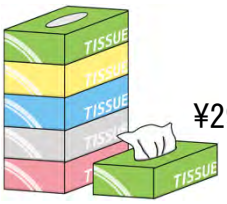
Gスーパー
目白店
＜領　収　書＞

牛乳	238
たまご	198
りんご	240
2コ × 単120	
ティッシュ	298
洗剤	168
小　計（税抜　8%）	¥676
消費税等（ 8%）	¥54
小　計（税抜 10%）	¥466
消費税等（10%）	¥46
合　計	¥1, 242
消費税等（ 8%）	¥54
消費税等（10%）	¥46
お預り	¥1, 500
お釣り	¥258

¥238

¥198

¥120



¥298

¥168

(3) モデル会話スクリプト

S　　：すみません。このりんごはいくらですか？
店員　：えーっと，200 円ですね。
S　　：ありがとうございます。

「この N」「N は～」のような文型に着目したり導入したりする必要はなく，知りたい物の値段を聞けることを重視

・1 桁の数字は既習であることが前提
・正確に数字を発話できなくてもよく，聞いて値段を理解できることを目指す

〔A2レベル〕

（1）指導案

<table>
<tr><td colspan="3">本時の目標：
近所の人や友人におすすめの歯科医院を尋ね情報収集をし，電話で受診予約をする。（Ｉ-6）
★近所の歯科医院について，場所や様子などの簡単な情報を友人に質問し，いくつかの簡単な答えを理解することができる。（3a，A2）
★近所の歯科医院について，対応の仕方や技術などの詳しい簡単な評判を，友人に質問したり答えたりすることができる。（7，B1）
★電話で歯科医院の予約をするとき，ゆっくりとはっきりと話されれば，名前や電話番号，日時，診察理由など病院のスタッフの質問に答えることができる。（6，A2）</td><td>20xx 年 x 月x日

担当者：内山夕輝</td></tr>
<tr><td colspan="2">学習内容・項目：
話す「やりとり」</td><td colspan="2">教材・教具：イラスト「①歯が痛い」「②歯科医院を聞く」「③歯科医院が遠い」「④家から近いおすすめの歯科医院を聞く」「⑤歯科医院を聞く2」，「⑥ここがおすすめ」「⑦電話で予約する」，会話①②音声，会話①②スクリプト
副教材：多言語医療問診票，教材例集，「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」</td></tr>
<tr><td colspan="4">対象学習者：A2 クラス学習者（A1 クラスを経ている人，または，レベルチェック後 A2 クラスから参加した人）</td></tr>
<tr><td>段階・時間</td><td>活動・活動の目的</td><td>活動の具体的内容・方法（何をどのように行うか）</td><td>教材・教具・留意点</td></tr>
<tr><td></td><td>目標の確認</td><td>目標 Can do を見て，何ができるようになるか確認する。</td><td>日本語学習ポートフォリオ</td></tr>
<tr><td></td><td>イメージをつかむ（スキーマの活性化）</td><td>イラスト①②③⑤を見せながら，どのような場面かを想像してもらう。
T問いかけ「この人はどうしましたか。」「この時，どうしますか。」「日本で，歯科医院に行ったことがありますか。」をし，学習者と簡単にやりとり。
「歯が痛いです」「友達と話します」等を引き出し，歯科医院に行きたいイメージを膨らます。</td><td>イラスト①②③⑤
【参照】教材例集 P.8</td></tr>
<tr><td></td><td>会話を聞いて，ポイントを理解する</td><td>会話①の音声をイラスト①②③⑤を示しながら聞く。状況をイメージしてもらい，どんな内容か学習者に問いかける。どこにあり（場所），どんな（様子）かを聞き取ることにフォーカスする。</td><td>会話①音声
イラスト①②③⑤
学習者に応じて繰り返し聞いても OK。</td></tr>
<tr><td></td><td>会話を聞いて，内容を詳しく理解する</td><td>会話①スクリプトを配布。
スクリプトを見ながら，音声を聞く。
網掛けの言葉が理解できているかを確認する。

豆知識の説明を簡単にする。</td><td>会話①スプリクト
会話①音声
歯科医院，おすすめの，そば
豆知識：日本では医者のことを先生と呼</td></tr>
</table>

		内容が理解できているか，学習者に内容についての質問をしながら確認する。	ぶことが多い 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。
	自分に置き換えて考える	自分だったら，どのポイントを知りたいか（こだわりポイント）を引き出す。（例：近い，新しい，託児がある，夜やっている，通訳がいる等） できるだけ多く引き出す。	
	言語形式に注目する	スクリプトの下線に注目する。 「歯が痛いです」「歯が痛いんです」 「聞きます」「聞いてみます」 「近くにあります」「近くにあるそうです」 の言い方で，何が違うか考える。 クラスで考えたことを共有する。 Tが，ポイントを説明する。「～んです」の説明時に，他の症状についても触れておく。	～んです。 V-てみます ～そうです 咳が出る，熱がある，背中がかゆい，お腹が痛い
	学んだ表現が，どのように使われるか確認する	スプリクトを見ながら，言語形式に注目して音声を聞く。	
	ロまわしをよくする	会話①の音声を聞いて，シャドーイングする。 スクリプトを見て２回程度，さらに見ないで２回程度，ロがスムーズにまわる位まで適宜。 その後，ペアで会話①の練習をする。	全体で ペアで
	実際の場面で，自分が知りたいことを尋ねたり，おすすめを教えてもらったりできるようにする	ペアでロールプレイをする。 おすすめを聞くパターンと，おすすめをするパターンと役割を交代して行う。 副教材を見ながら，歯科医院以外のパターンでもできるようペアで練習する。 ペアをシャッフルして練習する。（2～3 回） いくつかのペアに発表してもらう。 感想をシェアする。	ロールカード 多言語医療問診票 教材例集 P.１１
休憩			
	目標の確認	目標 Can do を見て，何ができるようになるか確認する。	日本語学習ポートフォリオ
	イメージをつかむ（スキーマの活性化）	イラストを見せながら，どのような場面かを想像してもらう。 T問いかけ「おすすめの歯科医院がわかりましたね。この後，どうしますか。」「病院へ電話をしたことがあり	イラスト①②④

		ますか。」学習者と簡単にやりとり。	
	会話を聞いて，ポイントを理解する	会話②の音声をイラスト①②④を示しながら聞く。状況をイメージしてもらい，どんな内容か学習者に問いかける。何を決めたか（日時），何を伝えたか（名前，電話番号）を聞き取ることにフォーカスする。	会話②音声 イラスト①②④ 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。
	会話を聞いて，内容を詳しく理解する	会話②スクリプトを配布。 スクリプトを見ながら，音声を聞く。 網掛けの言葉が理解できているかを確認する。 副教材（多言語）を配布し，日本の医療保険，地域医療について理解を促す。 豆知識を説明する。 内容が理解できているか，学習者に内容について質問しながら確認する。 ②-2（つごうが悪い時）のパターンについて説明し，理解ができているか確認する。	会話②スプリクト 会話②音声 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。 フルネーム，初診，保険証，必ず 「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」第 6 章医療 1 医療機関 2 医療保険 豆知識：電話番号は 3 桁-4 桁-4 桁で伝える。
	言語形式に注目する	スクリプトの下線に注目する。 「〇〇です」「〇〇と申します」の言い方で，何が違うか考える。クラスで考えたことを共有する。 「来るときに，保険証を持ってきてください。」「予約の時間に遅れないでください」についても，Tが，ポイントを説明する。 「～とき（に），～。」と「V ないでください。」の説明時には，病院で医者が患者にどのようにすればいいか指示をする例文を示す。	～と申します ～とき（に），～。 V ないでください。 痛いときに飲んでください。せきが続くときは来てください。熱があるときは休んでください。 お風呂に入らないでください。運動をしないでください。辛い物を食べないでください。
	学んだ表現が，どのように使われる	スプリクトを見ながら，言語形式に注目して音声を聞く。	

	か確認する		
	ロまわしをよくする	会話②の音声を聞いて，シャドーイングする。 スクリプトを見て２回程度，さらに見ないで２回程度，ロがスムーズにまわる位まで適宜。 その後，ペアで会話②の練習をする。	全体で ペアで
	実際の場面で，自分の希望日時で予約ができるようにする	ペアでロールプレイをする。 提示された日時でOKの時と，他の日時にしたい場合の時の２パターンできるようにする。 ペアをシャッフルして練習する。（2~3 回） いくつかのペアに発表してもらう。 感想をシェアする。	ロールカード
	自己の学習を振り返る	今日の目標確認&自己評価表記入	日本語学習ポートフォリオ

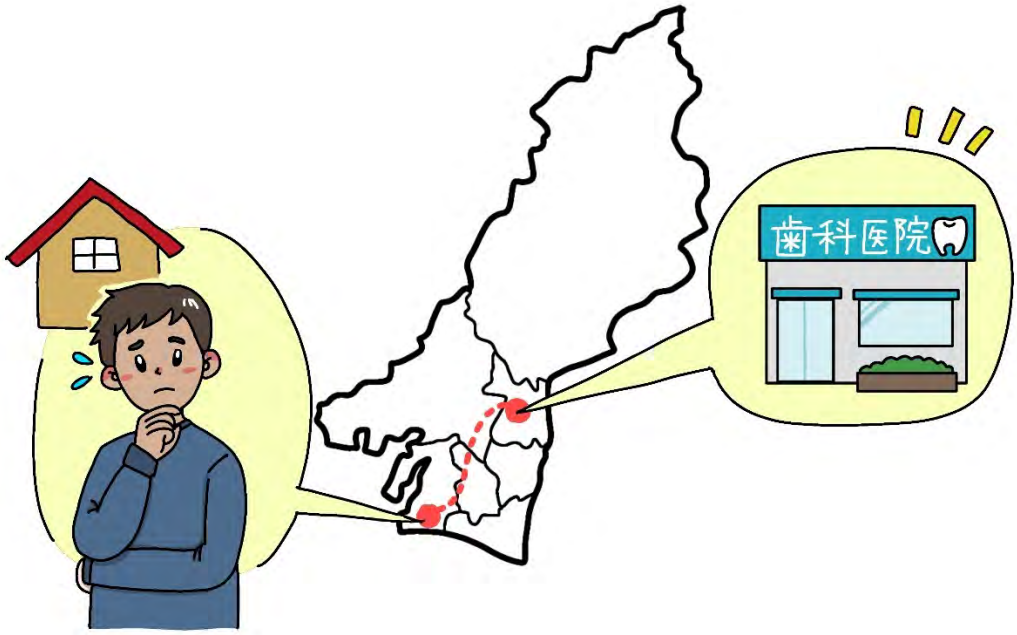
（2）教材

<イラスト>

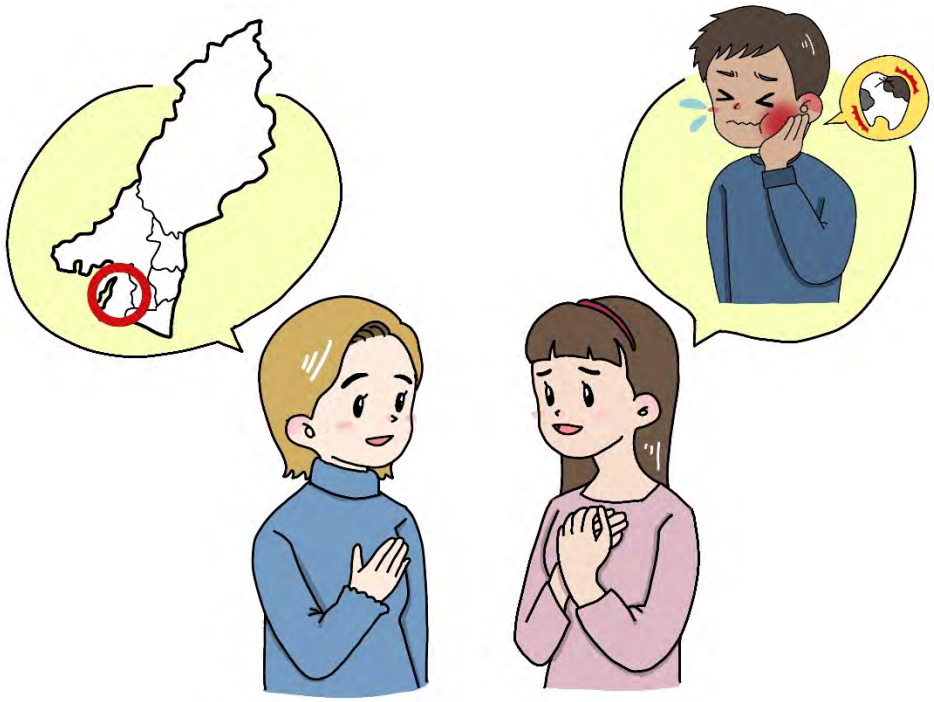
イラスト① 「歯が痛い」

イラスト② 「歯科医院を聞く」

イラスト③ 「歯科医院が遠い」

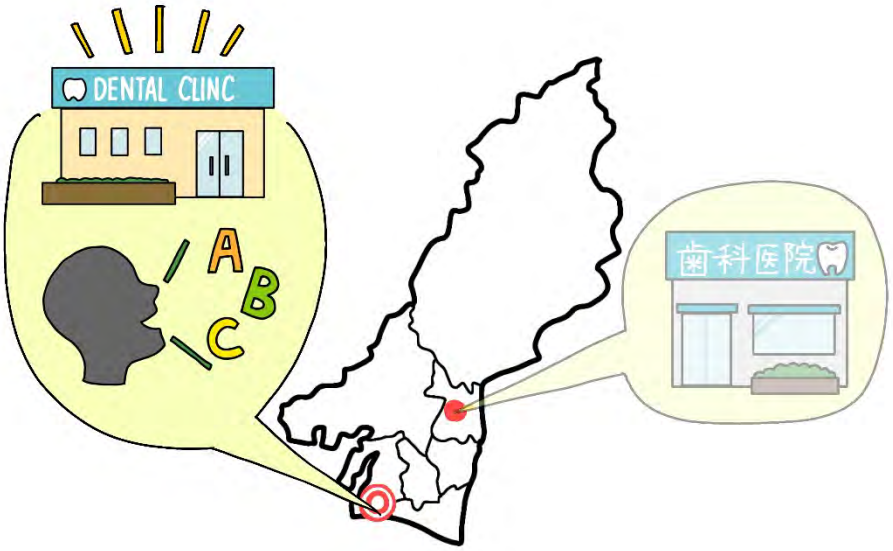


イラスト④ 「家から近いおすすめの歯科医院を聞く」



イラスト⑤ 「歯科医院を聞く②」

イラスト⑥ 「ここがおすすめ」



イラスト⑦ 「電話で予約する」

<配布プリント>

会話① 音声を聞きましょう

1.次のことばはわかりますか?

歯科医院(しかいいん)、おすすめの、そば

2.あなたは,どんな歯科医院がいいですか?

3.次の表現の使い方を考えましょう。

～んです

V てみます

～そうです

4.ロールプレイのメモ

会話② 音声を聞きましょう

1.次のことばはわかりますか?

フルネーム、初診(しょしん)、保険証(ほけんしょう)、必ず(かならず)

2.次の表現の使い方を考えましょう。

～と申します

～とき,～。

V ないでください。

3.電話番号の言い方を練習しましょう。

090―1234―5678 3桁(けた)(数字3つ)+4桁(数字4つ)+4桁(数字4つ)

4.ロールプレイのメモ

<ロールカード:会話①「おすすめの歯科医院を聞く」>

<A>　おすすめの歯科医院を探す人

あなたは,初めて日本の歯科医院に行きます。友人に,おすすめの歯科医院を聞いてください。おすすめのポイントを聞いたり,自分が知りたいことについて尋ねたりしてください。

<B>　おすすめの歯科医院を教える人

あなたは,初めて日本の歯科医院に行く友人に,おすすめの歯科医院を聞かれました。おすすめのポイントを紹介したり,相手がどんなことを知りたいか尋ねたりしてください。

<ロールカード:会話②「電話で受診予約をする」>

<A>　受診を予約する人

あなたは,歯科医院の予約をします。受付の人が言った日時で問題がなかったら,そのまま予約を進めてください。もし,都合が悪い時は,他の日時で予約をしてください。日時の予約ができたら,何を持っていけば良いか確認してください。

<B>　歯科医院の受付の人

あなたは,歯科医院の受付をしています。初診の予約を受けてください。
予約できる日時を伝えて,問題がなかったらそのまま受付を進めてください。もし都合が悪い時は,他の日時を案内してください。日時の予約ができたら,初診で必要なものを案内してください。

＊以上のロールプレイでは、学習者は<A>の役割を演じることができればよく、<B>は指導者や支援者、日本語能力が高い学習者が演じる。また、ロールカードはいずれも日本語で書かれているが、学習者が理解できるようにごく簡単なことばで書く、理解可能なことばで口頭で指示する、ここまで使用したイラストなどを使い役割を理解させる、といった工夫が必要である。

(3) モデル会話スクリプト

会話 ①スクリプト

カルロス:おはようございます。

佐々木:おはようございます。あれ,カルロスさん 元気 がないですね。どうしましたか?

カルロス:実 は…昨日 の 夜 から,歯 が 痛 いんです。

症状は学習者によって変わる

佐々木:そうですか。それは 大変 ですね。歯科 医院 へは 行 きましたか?

症状によって行く病院が変わる

カルロス:いいえ,まだです。おすすめの歯科医院はありますか。

佐々木:そうですね。やま歯科医院はどうですか。先生 がやさしいですよ。

病院の評判に関する表現は状況によって変わる

カルロス:やま歯科医院ですか?どこにありますか。

佐々木:浜名区 にある 浜北駅 のすぐそばにあります。

スクリプトを覚えて会話する必要はなく,学習者自身の状況にあった会話の流れで練習する

カルロス:浜名区ですか…私は 中央区 雄踏町 に 住 んでいます。雄踏町の歯科医院を 知 っていますか。

佐々木:雄踏町ですか…。あ,友達 がその 近 くに住んでいるので,聞 いてみますね。

カルロス:ありがとうございます。

～～～

佐々木:カルロスさん,雄踏町のまつい歯科医院を知っていますか。

カルロス:いいえ。雄踏町のどこにありますか。

佐々木:U-ToC の近くにあるそうです。

カルロス:そうですか。私 の 家 からとても近いです。その先生は 英語 を 話 しますか?

佐々木:はい,先生は英語を話すそうですよ。

カルロス:それはいいですね。まつい歯科医院へ行きたいです。

佐々木:電話 で 予約 ができますよ。これが電話 番号 です。

カルロス:ありがとうございます。電話してみます。

会話 ②スクリプト

受付の発話を正確に全て聞き取れる必要はなく，何が聞かれているのを理解し，答えられることを重視する

受付:はい，まつい 歯科 医院 です。

カルロス:もしもし，予約 をしたいのですが。

受付:予約ですね。初 めてですか。

カルロス:はい，そうです。

受付:お 名前 を 教 えてください。

カルロス:スズキと 申 します。

受付:スズキさん，フルネームをお 願 いします。

自分の名前を相手に理解できるように発音する

カルロス:はい，スズキ カルロスです。

受付:ありがとうございます。スズキさん，どうしましたか。

カルロス:昨日 の 夜 から 歯 がとても 痛 いんです。

受付:そうですか。では，明日 の 午後 1時 はどうですか。

カルロス:大丈夫 です。

受付:では，明日の 1 時に予約を 入 れますね。お 電話番号 をお願いします。

カルロス:090-9999-9999 です。

受付:ありがとうございます。では，スズキさんはこちら 初診 ですので，来 るときに 保険証 を 必 ず 持ってきてください。また，予約の時間に 遅 れないでください。

カルロス:わかりました。

受付:それでは，明日お 待 ちしております。

電話での予約のやりとりに関して，レベルに応じて，提案された時間で都合が悪いなどやり取りを増やす事も可能。

会話②-2「つごうが悪いとき」

カルロス:すみません，その時間はちょっと…。
受付:そうですか。では，明日の午後 5 時はどうですか。
カルロス:大丈夫です。

1.2 タイプ 2

1.2.1 概要 （20231221 版）

<生活日本語コース・タイプ2:就労希望／就労中の永住者・定住者向け>（A1・A2 コース,B1 コース）		
日本語教育／学習の目的		
外国人（日本語を母語としない人）が,日本において安心・安全で,十全な社会生活を送れるようになることを目的に,自立につながる日本語を身に付ける。		
学習者像		
来日後,ある程度の時間が経過しており,身近な場面において話すこと・聞くことはできるが(A1),文字に関連した言語能力はほとんど身に付いていない。日本に住み続ける予定であり,就職・就労し安定的な生活を送るための読み書き能力,社会参画できる言語能力を身に付けたい。就労希望先・就労先は工場（各種）であり,業務を遂行するための口頭能力や読み書き能力,同僚と良好な関係を築くための口頭能力を高めたいという希望を持っている。		
目標		
1.〔日本語能力〕日本の地域社会で生活する人の多くが遭遇する場面において,周囲の力も借りながら,日本語で行動できるようになる。基礎コースが終わった段階で,参照枠の A2 レベル（全体的な尺度）に達すること。自立コースが終わった段階で,参照枠の B1 レベル（全体的な尺度）に達すること。 <A2:全体的な尺度>ごく基本的な個人情報や家族情報,買い物,近所,仕事など,直接的関係がある領域に関する,よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら,身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。自分の背景や身の回りの状況や,直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。 <B1:全体的な尺度>仕事,学校,娯楽でふだん出合うような身近な話題について,共通語による話し方であれば,主要点を理解できる。その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな,大抵の事態に対処することができる。身近で個人的にも関心のある話題について,単純な方法で結び付けられた,脈絡のあるテクストを作ることができる。経験,出来事,夢,希望,野心を説明し,意見や計画の理由,説明を短く述べることができる。 2.〔学習能力〕自身の日本語学習や日本語使用について客観的に捉え,日本語や日本文化について分析的に捉えることや,日本語学習を自分に合った方法で管理することができるようになる。 3.〔社会文化に関する知識・意識〕日本語学習を通じて,生活場面で日本語を使用するにあたって必要となる知識を獲得し,社会・文化・生活における異なりに対する意識が高まる。		
成長イメージ	目標レベル	「日本語学習」（教育時間）時間
<第 1 段階>安全を守り,必要最低限の生活ができる。（すでに何らかの方法でできている行動の補強）	A1	60H （国語課案 100～150H）=80h<単位時間,1h=45 分>
<第 2 段階>社会に加わり／関わりながら生活の幅を広げる（地域の知り合いとのつながりを強める,自治体活動やコミュニティサークルに参加する,求職活動をする等）	A2	180H（国語課案 100～150H）=240h
<第 3 段階>地域の活動に対して積極的に関与し,地域で活躍できるようになる。地域・職場・子どもの学校などで,主体的にやりとりができるようになる。	B1	210H（国語課案 150～220H）=280h

方針
1. できることが増えること，コミュニケーションすることによって自身の社会が拡がっていくことが実感できるような教室を作る。 2. 情報収集や発信の可能性が拡がることを実感できるような文字学習，読み学習を行う。 3. 自身の日本語学習や日本語能力を意識し，主体的に日本語学習に取り組める姿勢を育てる。
具体的な工夫・留意点
・「～できる」及び「行動」を中心に捉え，言語能力や方略的能力，正書・読字に関わる能力は行動を支えるものとして扱う。 ・すでに口頭でできることについては，その能力を確認しつつ，不足している点，改善すべき点に意識が向くような活動を行う。 ・口頭でのやりとりはある程度できるようになっている学習者に対し，読み書き能力の向上により，より一層コミュニケーションがしやすくなることや，日本語の基礎力を強化することが実感できるようにする。 ・自律的な学習姿勢を身に付けることができるよう，初期段階から学習者が自身の学習を意識・管理するための「学習ポートフォリオ」を活用する。ポートフォリオには，日本語学習の目標・見通し，教室外の行動目標，自己評価，振り返り，社会的活動の記録，等が含まれる。 ・日本語や日本文化の知識を「教えられる」のではなく，自ら分析・発見・比較したりする姿勢が身に付くような指導方法・活動・評価方法を取り入れる。 ・対面での 4 時間を充実させるため，伝統的な予復習は求めない。教室での学びと実生活での日本語使用が循環するような授業設計をし，生活の中での使用や発見が予復習として機能することをねらう。
教授法・具体的な教室活動・人の配置，等
○コミュニケーション重視の教授法・活動 ○教室内のやりとりのコミュニケーション化 ○教室外日本語使用の促進 ○日本語教師／指導者が担当し，内容によって各種専門家や一般市民が役割を担う
教材・リソース
・自主作成教材（含. 日本語学習ポートフォリオ） ・『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集』，地域日本語教育実践プログラム等により開発された各地の教材 ・『つながるひろがるにほんごでのくらし』，『いろどり 生活の日本語』，『ひきだすにほんご』 ・『にほんごチェック!』 ・『Life in Tokyo: Your guide』，『生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）』
評価
1.日本語能力の評価・確認（開始時，終了時） 2.定期的な観察・評価 3.〔日本語学習ポートフォリオ〕Can do を用いた，学習者による自己評価，相互評価 4.〔日本語学習ポートフォリオ〕教室外日本語使用の記録（活動記録）・資料 5.コース評価（学習者・教師による）
〔A1・A2 コース 全 320 単位時間〕時間・期間 ←VI追加による時間増を反映した場合は 394h

1 日（1 回）あたりの時間数	4h	1h=45 分（～50 分）
週あたりの回数	5 回	
日数	80 日	A1：20 日 4 週，A2：60 日 12 週
週数	16 週	セッションを前後に分け，第1セッション（A1 相当）を週 5 日の集中，A2 は週 2～3 日とする方法もある。
期間	4 か月	週 5 日の場合
A1 コース（80h）内容構成		
日本語学習＜生活 Can do に基づく＞	20h	パフォーマンスにより確認に留めるユニット，複数ユニットをまとめた授業などにより，A1 レベルの「やりとり」「発表」「聞く」の内容にはあまり時間を割かず，文字学習，読み学習に時間を費やす。 ←日本語学習内容は 61hだが，そこから 20h分に全体的に縮める。
日本語学習＜文字学習，読み学習＞	20h	生活 Can do との関連付け
日本語学習＜発展的内容＞	24h	(1)文法への気づき (2)文字・文法の整理
日本語学習＜方略学習＞	2h	(1)意味がわからない時，(2)うまく伝えられない時，等
コースオリエンテーション，コース中コンサルテーション等	6h	開始時オリエンテーション，コース中コンサルテーション等。 適宜，通訳あり。
日本語学習自己管理	3h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認，自己評価・他者評価，教室外日本語使用の記録・資料，振り返り，目標の見直し，等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む。
「日本での生活」オリエンテーション	2h	媒介語も用いて学ぶ
評価	1h	終了時 別途，コース実施中に随時，活動（タスク，ロールプレイ等）の観察・評価を行い学習に生かす。＜日本語学習ポートフォリオと関連付ける＞
コース終了時コンサルテーション（含．評価活動）	2h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価，教室外日本語使用の記録・資料などを利用
A2 コース（314h）内容構成		
日本語学習＜生活 Can do に基づく＞	228h	VIを入れたため大きく増えた。ユニットを精査する必要あり。時間を減らしつつ B1 に送ったほうがいいものあり（VI関連，労災申請，人事評価等）。
日本語学習＜文字学習，読み学習＞	20h	生活 Can do と関連付けつつ，体系的な学びも取り入れる

日本語学習<発展的内容>	18h	(1)文法への気づき (2)文字・文法の整理
日本語学習<方略学習>	4h	(1)言葉の意味の類推, (2)リハーサル, (3)簡単なやりとりの開始と終了, 等
コースオリエンテーション他	6h	開始時オリエンテーション, コース中コンサルテーション。通訳あり。
日本語学習自己管理	16h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認, 自己評価・他者評価, 教室外日本語使用の記録・資料, 振り返り, 目標の見直し, 等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む
「日本での生活」オリエンテーション	8h	「媒介語」と「やさしい日本語」を用いて学ぶ
交流活動・フィールドワーク	9h	
日本語能力判定(終了時)	2h	レベル判定。「次(修了後)」「移動後」につながる評価<証明機能>
コース終了時コンサルテーション(含.評価活動)	3h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価, 教室外日本語使用の記録・資料, 日本語能力判定などを利用 修了式。通訳あり。
〔B1 コース:280 単位時間〕時間・期間 ←VI追加による時間増を反映した場合は 307h		
1 日(1 回)あたりの時間数	4h	1h=45 分(~50 分)
週あたりの回数	5 回	週 3 回等も可
日数	70 日	
週数	14 週	週 3 日:24 週
期間	3.5 か月	週 3 日:6 か月
B1 コース(290h)内容構成 **←オーバー**		
日本語学習<生活 Can do に基づく>	236h	学習者自身が必要度・興味・関心によりユニットを選ぶこととし,「日本語学習<発展的内容>」等を増やしてもよい。 ←VIを増やしたが, プレゼンテーションなどは削った。他の分野も見渡してユニットを精査する必要あり。
日本語学習<文字学習, 読み学習>	12h	生活 Can do との関連付け
日本語学習<発展的内容>	7h	(1)文法への気づき (2)文字・文法の整理
日本語学習<方略学習>	6h	(1)言い直し, (2)意味の類推, (3)話題の開始と終了, 等
コースオリエンテーション他	6h	開始時オリエンテーション, コース中コンサルテーション。

日本語学習自己管理	9h	日本語学習ポートフォリオ使用 目標設定・確認，自己評価・他者評価，教室外日本語使用の記録・資料，振り返り，目標の見直し，等。 日本における生活・人生と日本語学習の目的・目標について考える活動を含む 「日本語学習」で実施する部分があるため，他レベルより時間数少ない。
「日本での生活」オリエンテーション	3h	「やさしい日本語」で学ぶ
交流活動・フィールドワーク	8h	
日本語能力判定（終了時）	3h	レベル判定。「次（修了後）」「移動後」につながる評価<証明機能>
コース終了時コンサルテーション（含．評価活動）	3h	日本語学習ポートフォリオ内の自己評価，教室外日本語使用の記録・資料，日本語能力判定などを利用 修了式。

〔日本語学習の内容〕

コース	ユニット内，上位 Can do レベル	ユニット名	大分類	ユニット番号（大分類内）	時間（1=45 分）
A1	A1	あいさつ／初対面のあいさつ	Ⅶ	1	2
	A1	きっかけを作るあいさつ	Ⅶ&Ⅷ	2	1
	A1	ちょっとひとこと	Ⅷ	3	1
	A1	ごみを出す	Ⅷ	4	1
	A1	店員に商品の有無を尋ねる	Ⅹ	25	1
	A1	値段を確認する	Ⅲ	5	2
	A1	店で支払いをする	Ⅲ	6	1
	A1	葉書や封筒を書いて投函する	Ⅹ	9	2
	A1	メールやカードで簡単なメッセージを伝える	Ⅹ	13	2
	A1	メールアドレスを取得する	Ⅹ	16	1
	A1	書類の記入	Ⅷ	6	1
	A2	飲食店へ行き，メニューを見る	Ⅲ	8	2
	A2	飲食店で注文する	Ⅲ	10	1
	A2	電車に乗る	Ⅳ	12	2
	A2	地図を頼りに目的地を尋ねる	Ⅳ	13	2
	A1	病院を探す	Ⅰ	1	2
	A1	工事の状況を理解する	Ⅰ	14	2

	A1	公共サインを理解する	Ⅷ	7	1
	A1	あいさつとジェスチャー	Ⅶ	3	1
	A1	会合での初対面のあいさつ	Ⅷ	1	2
	A1	避難訓練を受ける(1)	Ⅰ	19	2
	A2	クリーニング店を利用する	Ⅲ	11	2
	A1	タクシーに乗る(1)	Ⅳ	6	1
	A1	タクシーに乗る(2)	Ⅳ	7	1
	A1	交通ルールを知る(1)	Ⅳ	10	1
	A1	駐車場に関する表示を理解する	Ⅳ	14	1
	A1	予防接種を受ける(1) ＊「Ⅴ子育て･教育」の項目だが，自分自身に関わることとして扱う。	Ⅴ	1	3
	A2	同僚からの誘いに返事をする	Ⅵ	26	2
	A1	年末年始のあいさつ	Ⅶ	4	2
	A1	休み明けの会話	Ⅶ	5	2
	A1	別れ際のあいさつ	Ⅶ	6	1
	A1	お祝いのあいさつ	Ⅶ	7	1
	A1	回覧板を届ける ＊不要の可能性高いため，他の場面も考えておく	Ⅷ	5	2
	A1	イベントで挨拶する	Ⅸ	1	2
	A1	地域の公共施設を使う	Ⅸ	2	3
	A1	ネットで予約する	Ⅸ	3	3
	A1	電話を受ける	Ⅹ	22	1
	A1	店員に商品の有無を尋ねる	Ⅹ	25	1
	計 **＊→タイプ2では，全体的に時間数を減らし，20hとした。ただし，生活 Can do と関連付けて文字学習･読みの学習を 20h行う。**				**61**
A2	A2	あらたまったあいさつ	Ⅶ	14	1
	A2	世間話をする	Ⅶ	15	1
	A2	街の薬局で薬を探す	Ⅰ	9	2
	A2	病院で診察を受ける(初診)	Ⅰ	2	2
	A2	医師から薬を処方される	Ⅰ	3	1
	A2	病院で健康診断を受ける	Ⅰ	5	2
	A2	おすすめの歯科医院を予約する	Ⅰ	6	2

	A2	インフルエンザなど流行病について情報収集する	Ⅰ	10	2
	A2	ハラル食品を探す **→「アレルギー対応食品を探す」にする**	Ⅰ	12	2
	A2	安全講習（交通安全や防犯知識）を受ける	Ⅰ	15	2
	A2	盗難や事故などの，緊急事態に対応する	Ⅰ	16	3
	A2	消防訓練を受ける	Ⅰ	20	2
	A2	避難訓練を受ける（2）	Ⅰ	21	2
	B1	避難訓練を受ける（3）	Ⅰ	22	2
	B1	避難訓練を受ける（4） ＊消防署による出前授業を加える	Ⅰ	23	2
	B1	地域の防災訓練に参加する（救急） ＊R5 追加 Cando による	Ⅰ	27	2
	B1	買い物に必要な情報を得る（対面）	Ⅲ	1	3
	B1	買い物に必要な情報を得る（インターネット）	Ⅲ	2	2
	B1	お店で買い物をする	Ⅲ	4	5
	A2	レストランに予約をしてから行く	Ⅲ	7	2
	B1	飲食店で料理について質問する	Ⅲ	9	3
	B1	お店でサービスを受ける	Ⅲ	14	2
	B1	銀行で手続きをする	Ⅲ	15	4
	A2	タクシーを予約する	Ⅳ	9	1
	B1	タクシーに乗る(3)	Ⅳ	8	2
	A2	通勤のために自転車を利用する(1)	Ⅳ	2	3
	A2	予防接種を受ける(2)	Ⅴ	2	4
	B1	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	Ⅵ	2	7
	B1	求人情報を探す（インターネット・広告）	Ⅵ	3	3
	B1	求人情報を探す（人に聞く）	Ⅵ	4	2
	B1	面接を受ける	Ⅵ	7	3
	A2	仕事での安全を守る ＊「職場の安全に関する張り紙等」に限る必要なし。	Ⅵ	11	6
	B1	工場の機械を操作する	Ⅵ	14	4
	B1	研修会やセミナーに出席する	Ⅵ	23	4
	B1	業務上の指示を理解する ＊地域活動などでの指示理解も可。	Ⅵ	15	5
	B1	仕事で遅刻や欠勤，休暇を申し出る	Ⅵ	22	3

		＊日本語教室の遅刻,欠席などでも可能			
	B1	業務に関することについて同僚や上司に相談する	Ⅵ	16	4
	B1	同僚と話す	Ⅵ	27	6
	B1	同僚に感謝を伝える	Ⅵ	28	3
	B1	工場の事故について説明する	Ⅵ	29	6
	B1	労災を申請する	Ⅵ	30	3
	B1	人事評価を受ける	Ⅵ	32	10
	A2	病院へのお見舞い(1)	Ⅶ	8	3
	A2	病院へのお見舞い(2)	Ⅶ	9	1
	A2	結婚のお祝い(1)	Ⅶ	10	1
	A2	結婚のお祝い(2)	Ⅶ	11	2
	A2	イベント探し	Ⅶ	13	1
	A2	会合での自己紹介	Ⅶ	16	1
	A2	年中行事の違いについて知る	Ⅶ	17	1
	A2	文化の違いを理解する	Ⅶ	18	3
	A2	異文化体験について語る	Ⅶ	19	2
	A2	贈り物のマナーを知る(1)	Ⅶ	20	1
	A2	公共マナーを読み取る	Ⅷ	8	2
	A2	通知を読む	Ⅷ	9	1
	A2	税金を納める	Ⅷ	10	1
	A2	各種手続き(転出・転入等)をする	Ⅷ	11	3
	A2	役所に行く(1)	Ⅷ	12	2
	A2	役所に行く(2)	Ⅷ	13	2
	A2	ごみ出しルールを守る	Ⅷ	14	2
	A2	粗大ごみの回収申し込み	Ⅷ	15	1
	A2	ペットを飼う	Ⅷ	16	3
	A2	地域イベントを手伝う	Ⅷ	17	3
	A2	地域の交流イベントについて調べる	Ⅷ	18	2
	A2	日本語学習を振り返る	Ⅸ	4	2
	A2	図書館を利用する	Ⅸ	5	3
	A2	日本語学習について考える	Ⅸ	6	4
	A2	書店を利用する	Ⅸ	7	2
	A2	参加したいイベントを探す	Ⅸ	8	3
	A2	公開授業(学校公開)に行く	Ⅸ	9	2
	A2	テレビを活用する	Ⅸ	10	2

	A2	公共施設について調べる	IX	11	4
	A2	日本語教室や趣味の教室について調べる	IX	12	2
	A2	メニューについて質問する	IX	13	2
	A2	旅行の計画	IX	14	4
	A2	スポーツ記事を読む	IX	15	2
	A2	イベントに誘う／誘われる ＊VI-25「同僚を食事や懇親会に誘う」(B1)と重なるため、VI-25 に含めることも可能。	IX	18	2
	B1	同僚からの誘いに返事をする	VI	26	2
	B1	同僚を食事や懇親会に誘う	VI	25	4
	A2	方言を知る	IX	19	2
	A2	将来について話す	IX	20	3
	A2	宅配便の再配達／郵便を活用する	X	1	3
	A2	荷物を送る	X	10	1
	A2	テレビドラマやアニメを見る	X	6	1
	A2	ラジオで天気予報を聞く	X	7	2
	A2	郵便サービスについて知る	X	11	2
	A2	メールや手紙でお礼を伝える	X	14	2
	B1	メールでやりとりする	X	15	2
	A2	インターネット回線を契約する	X	19	1
	A2	電話をかける(1)	X	23	1
	計				**228**
B1	B1	調剤薬局で薬をもらう	I	4	2
	B1	診療科を探す	I	7	2
	B1	診察室でけがの症状を説明する	I	8	3
	B1	予防接種について調べる	I	11	2
	B1	地域の祭りにスタッフとして参加する	I	13	2
	B1	回覧板を読んで,防犯対策をする	I	17	2
	B1	被害にあった時に相談する	I	18	3
	B2	防災訓練でアナウンスをする	I	24	1
	B1	地域の防災訓練に参加する(地震,台風など避難を伴うもの)	I	25	2
	B1	地域の防災訓練に参加する(火事)	I	26	2
	B1	賃貸契約をする(1)	II	3	2
	B1	引越し業者を探す	II	6	2
	B1	引越しで気をつけることを友達と話す	II	8	2

	B1	電気･ガス･水道の使用を開始する	Ⅱ	10	3
	B1	送られてくるお知らせやガイドブックから飲食店の情報を得る（読む）	Ⅲ	3	1
	B1	電気製品を買う	Ⅲ	12	3
	B1	お店の機器を利用する	Ⅲ	13	3
	B1	トラブルを解決する	Ⅲ	16	2
	B1	駅で旅行の手配をする	Ⅳ	1	2
	B1	通勤のために自転車を利用する(2)	Ⅳ	3	3
	B1	教習所に通う	Ⅳ	4	2
	B1	免許の取得と更新	Ⅳ	5	2
	B1	交通ルールを知る(2)	Ⅳ	11	3
	B1	交通違反に対処する	Ⅳ	15	1
	B1	自動車保険への加入	Ⅳ	16	1
	B1	車検を受ける	Ⅳ	17	1
	B1	自転車のメンテナンス	Ⅳ	18	2
	B1	就職活動前の情報収集	Ⅵ	1	4
	B1	就職活動（正社員向け）	Ⅵ	5	3
	B1	就職活動（アルバイト向け）	Ⅵ	6	2
	B1	雇用契約を結ぶ	Ⅵ	8	3
	B1	職場で仕事に関する相談をする	Ⅵ	9	3
	B1	給与明細について質問する	Ⅵ	10	3
	B1	就労規則や契約書を読んで理解する	Ⅵ	31	7
	B1	業務報告をする ＊地域活動での報告なども可能	Ⅵ	20	3
	B1	職場で仕事に関する相談をする	Ⅵ	9	3
	B1	出産見舞い	Ⅶ	21	1
	B1	コミュニティの一員になる（1）	Ⅶ	22	1
	B1	食事をしながら雑談をする(1)住まい	Ⅶ	23	1
	B1	食事をしながら雑談をする(2)食生活	Ⅶ	24	1
	B1	冠婚葬祭マナーについて知る（1）	Ⅶ	25	1
	B1	知り合いとのおしゃべり	Ⅶ	26	1
	B1	悩み相談（1）	Ⅶ	27	2
	B1	悩み相談（2）	Ⅶ	28	1
	B1	異文化体験を共有する	Ⅶ	29	2
	B1	異文化に対する意識を高める	Ⅶ	30	2
	B1	異文化体験についての意見交換	Ⅶ	31	2

	B I	文化紹介の準備	Ⅶ	32	2
	B I	スピーチ	Ⅶ	33	3
	B I	冠婚葬祭マナーについて知る(2)	Ⅶ	34	I
	B I	贈り物のマナーを知る(2)	Ⅶ	35	I
	B I	懇親会での自己紹介	Ⅶ	36	I
	B I	ホームステイ	Ⅶ	37	I
	B I	引っ越しに伴う手続き	Ⅷ	19	I
	B I	公的制度を理解する	Ⅷ	20	2
	B I	税金について理解する(I)	Ⅷ	21	I
	B I	税金について理解する(2)	Ⅷ	22	I
	B I	介護サービスを受ける	Ⅷ	24	2
	B I	環境問題とごみリサイクル	Ⅷ	25	2
	B I	自治会活動について知る	Ⅷ	26	3
	B I	地域の人と知り合いになる	Ⅷ	27	2
	B I	地域イベントでの文化発表(I)	Ⅷ	28	I
	B I	地域イベントでの文化発表(2)	Ⅷ	29	2
	B I	コミュニティの一員になる(2)	Ⅷ	30	2
	B I	コミュニティの一員になる(3)	Ⅷ	31	I
	B I	自治会に参加する(I)	Ⅷ	32	2
	B I	自治会に参加する(2)	Ⅷ	33	2
	B I	「お知らせ」を読む(I)	Ⅷ	34	I
	B I	「お知らせ」を読む(2)	Ⅷ	35	I
	B I	医療費助成について知る	Ⅷ	36	2
	B I	健康保険や年金について知る	Ⅷ	37	I
	B I	公的補助を受ける(I)	Ⅷ	38	I
	B I	公的補助を受ける(2)	Ⅷ	39	I
	B I	ご近所トラブルの解決	Ⅷ	40	2
	B I	犬を飼う	Ⅷ	41	3
	B I	税金について知る	Ⅷ	42	I
	B I	ボランティアをする	Ⅸ	21	2
	B I	社会問題を話題にする	Ⅸ	22	4
	B I	日本の教育について考える	Ⅸ	23	5
	B I	勉強する方法を探す	Ⅸ	24	2
	B I	勉強する場所について調べる	Ⅸ	27	I
	B I	資格について調べる	Ⅸ	25	4
	B I	仕事について相談する	Ⅸ	26	3

	B1	公共施設を利用する	IX	28	3
	B1	仲間を作る	IX	29	2
	B1	自分に合った日本語教育機関を探す	IX	30	3
	B1	日本語学習方法について相談する(1)	IX	31	5
	B1	日本語学習方法について相談する(2)	IX	32	3
	B1	日本語学習を自己管理する	IX	33	3
	B1	日本語について調べる	IX	34	3
	B1	「日本語」について話す	IX	35	3
	B1	国・地域について話す	IX	36	2
	B1	旅行の計画を立てる	IX	38	3
	B1	書店を活用する	IX	39	3
	B1	マニュアルを読む	IX	40	3
	B1	「方法」を学ぶ	IX	41	3
	B1	自分の人生について語る	IX	42	3
	B1	宅配便の再配達サービス内容を知る	X	2	1
	B1	携帯電話を活用する	X	3	3
	B1	スポーツニュースを見る	X	4	2
	B1	テレビニュースを見る	X	5	4
	B1	見たい番組を探す	X	8	1
	B1	郵便サービスを活用する	X	12	1
	B1	メールの設定をする	X	17	4
	B1	メールで問い合わせをする	X	18	1
	B1	インターネット回線を契約する	X	20	2
	B1	インターネットを活用する	X	21	2
	B1	電話をかける(2)	X	24	1
	B1	電気屋で店員に質問する	X	26	1
	B1	広報誌を読む・書く	X	27	2
	計				**236**

1.2.2 指導案・教材・活動の例

タイプ2のコースについては、B1 レベルに相当する授業の例を示す。

〔B1 レベル〕

(1)指導案

<table>
<tr><td colspan="3">本時の目標:
ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く。(VI-2)
★ハローワークなどで窓口の担当者に,どのような職業訓練があるのかや条件・申込みの手順などについて質問し,聞き返すこともあるが,ある程度詳細な説明を理解することができる。(357,B1)
★ハローワークなどで担当者に,母語で書かれた日本の就労支援に関する資料がないか質問し,いくつかの簡単な答えを理解することができる。(354,B1)
★ハローワークなどで窓口の担当者に,就職情報の取得方法や取得後の手続について質問し,聞き返すこともあるが,担当者からのある程度詳細な説明を理解することができる。(356,B1)
★ハローワークなどの求職申込書に,希望する仕事や持っている資格など,短い簡単な文で書くことができる。(365,B1)
★ハローワークの窓口の担当者に,自分の希望を伝え,就労のために必要な資格は何か,どうすれば取得できるかなどについて質問し,ある程度詳細な答えを理解することができる。(382,B1)
★ハローワークの窓口などで,自分が希望する職場に,どのくらい外国人がいるかや,どこの国の人が多いかなど,外国人の雇用環境について質問し,いくつかの簡単な答えを理解することができる。(384,B1)
★ハローワークの窓口などで,自分の在留資格や働ける時間など基本的な情報を伝え,どのような働き方ができるかについて質問し,いくつかの簡単な答えを理解することができる。(380,B1)</td><td>20××年×月×日

担当者:森篤嗣</td></tr>
<tr><td colspan="2">学習内容・項目:
話す「やりとり」</td><td>教材・教具:イラスト「①仕事を探す」「②ハローワークの外観・内観」「③窓口担当者と話している」「④職業訓練の説明チラシ」「⑤端末で仕事を探す」「⑥通勤方法」,会話①②音声,会話①②スクリプト
副教材:教材例集,「生活・仕事ガイドブック(やさしい日本語版)」</td></tr>
<tr><td colspan="3">対象学習者:B1 クラス学習者。(A2 クラスを経ている人,もしくは,レベルチェック後 B1 クラスから参加した人)</td></tr>
<tr><td>段階・時間</td><td>活動・活動の目的</td><td>活動の具体的内容・方法(何をどのように行うか)</td><td>教材・教具・留意点</td></tr>
<tr><td></td><td>目標の確認</td><td>目標 Can do を見て,何ができるようになるか確認する。</td><td>日本語学習ポートフォリオ</td></tr>
<tr><td></td><td>イメージをつかむ(スキーマの活性化)</td><td>イラスト①②を見せながら,どのような場面かを想像してもらう。
T問いかけ「仕事を探すにはどうしますか。」「仕事を</td><td>イラスト①②③④⑤</td></tr>
</table>

		探すのを助けてくれる場所があるのを知っていますか。」「日本で，ハローワークに行ったことがありますか。」をし，学習者と簡単にやりとり。 「雑誌を見ます」「友達に聞きます」等を引き出し，仕事を探すイメージを膨らます。	
	会話を聞いて，ポイントを理解する	会話①の音声をイラスト①②③④⑤を示しながら聞く。状況をイメージしてもらい，どんな内容か学習者に問いかける。どこにあり（場所），どんな（様子）かを聞き取ることにフォーカスする。	会話①音声 イラスト①②③④⑤ 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。
	会話を聞いて，内容を詳しく理解する	会話①スクリプトを配布。 スクリプトを見ながら，音声を聞く。 網掛けの言葉が理解できているかを確認する。 豆知識の説明を簡単にする。 内容が理解できているか，学習者に内容についての質問をしながら確認する。	会話①スプリクト 会話①音声 資格，電気工事士，読み書き，職業訓練，勤務地，検索，条件，外国人歓迎，申込用紙，説明会，選考試験 豆知識：職業訓練は受講料は無料だが教科書代や受験料はかかる。 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。
	自分に置き換えて考える	自分だったら，どんな資格が取りたいか（こだわりポイント）を引き出す。（例：どんな資格が良いか，難易度，受講料，教科書代，検定料，日本語が必要等） できるだけ多く引き出す。	
	言語形式に注目する	スクリプトの下線に注目する。 「と思っています」「～から詳しいです」「時間があれば頑張ります」 「思います」「思っています」 「～たら」「～れば」 の言い方で，何が違うか考える。 クラスで考えたことを共有する。 Tが，ポイントを説明する。「～たら」「～れば」の説明時に，他の条件表現についても触れておく。	～と思います ～から A です ～があれば V ます 資格が取れたら，難しかったら，時間があれば
	学んだ表現が，どのように使われる	スクリプトを見ながら，言語形式に注目して音声を聞く。	

	か確認する		
	ロまわしをよくする	会話①の音声を聞いて，シャドーイングする。 スクリプトを見て２回程度，さらに見ないで２回程度，ロがスムーズにまわる位まで適宜。 その後，ペアで会話①の練習をする。	全体で ペアで
	実際の場面で，自分が知りたいことを尋ねたり，おすすめを教えてもらったりできるようにする	ペアでロールプレイをする。 仕事を探す側と，窓口担当者と役割を交代して行う。 副教材を見ながら，他の仕事条件のパターンでもできるようペアで練習する。 ペアをシャッフルして練習する。（2～3 回） いくつかのペアに発表してもらう。 感想をシェアする。	ロールカード
休憩			
	目標の確認	目標 Can do を見て，何ができるようになるか確認する。	日本語学習ポートフォリオ
	イメージをつかむ（スキーマの活性化）	イラストを見せながら，どのような場面かを想像してもらう。 T問いかけ「ハローワークの利用法がわかりましたね。資格が取れたらどんな仕事を探しますか。」学習者と簡単にやりとり。	イラスト①②③⑤
	会話を聞いて，ポイントを理解する	会話②の音声をイラスト⑥を示しながら聞く。状況をイメージしてもらい，どんな内容か学習者に問いかける。何を聞かれたか（条件），何を伝えたか（希望）を聞き取ることにフォーカスする。	会話②音声 イラスト⑥ 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。
	会話を聞いて，内容を詳しく理解する	会話②スクリプトを配布。 スクリプトを見ながら，音声を聞く。 網掛けの言葉が理解できているかを確認する。 副教材（多言語）を配布し，日本の労働環境について理解を促す。 豆知識を説明する。 内容が理解できているか，学習者に内容について質問しながら確認する。	会話②スプリクト 会話②音声 学習者に応じて繰り返し聞いても OK。 活かした，通勤方法，電車，バス，条件，評価される，手当，求人票 「生活・仕事ガイドブック」第 3 章雇用・労働 Ⅰ 働く前の基礎知識，Ⅰ－2 仕事の探し方 豆知識：日本の通勤

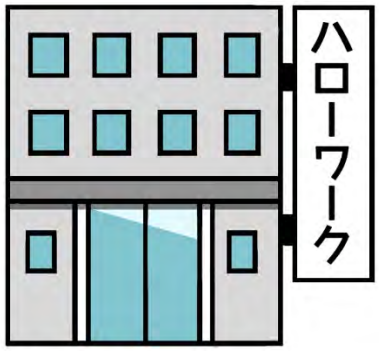
			事情
	言語形式に注目する	スクリプトの四角囲みに注目する。 「もうすぐ～そう」「いくらなんでも」「おっしゃるとおり」といった言葉はどのようなときに使うか考える。クラスで考えたことを共有する。 スクリプトの下線部に注目する。 「～やすい」「～すぎる」について，Tがポイントを説明する。 「～やすい」と「～すぎる」について例文を示す。	もうすぐ～そう いくらなんでも おっしゃるとおり ～やすい ～すぎる
	学んだ表現が，どのように使われるか確認する	スプリクトを見ながら，言語形式に注目して音声を聞く。	
	ロまわしをよくする	会話②の音声を聞いて，シャドーイングする。 スクリプトを見て２回程度，さらに見ないで２回程度，ロがスムーズにまわる位まで適宜。 その後，ペアで会話②の練習をする。	全体で ペアで
	実際の場面で，自分の希望日時で予約ができるようにする	ペアでロールプレイをする。 提示された日時でOKの時と，他の日時にしたい場合の時の２パターンできるようにする。 ペアをシャッフルして練習する。（2～3 回） いくつかのペアに発表してもらう。 感想をシェアする。	ロールカード
	自己の学習を振り返る	今日の目標確認&自己評価表記入	日本語学習ポートフォリオ

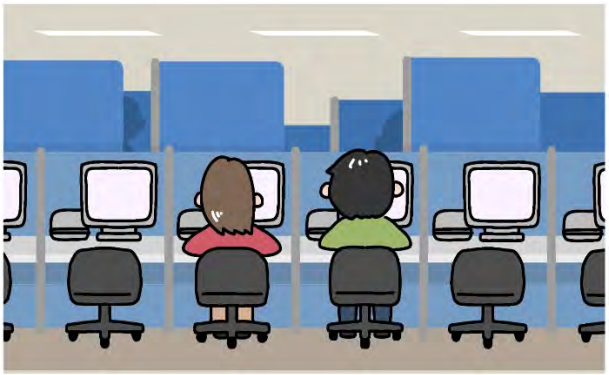
（2）教材

<イラスト> ＊次ページより

イラスト① 「仕事を探す」

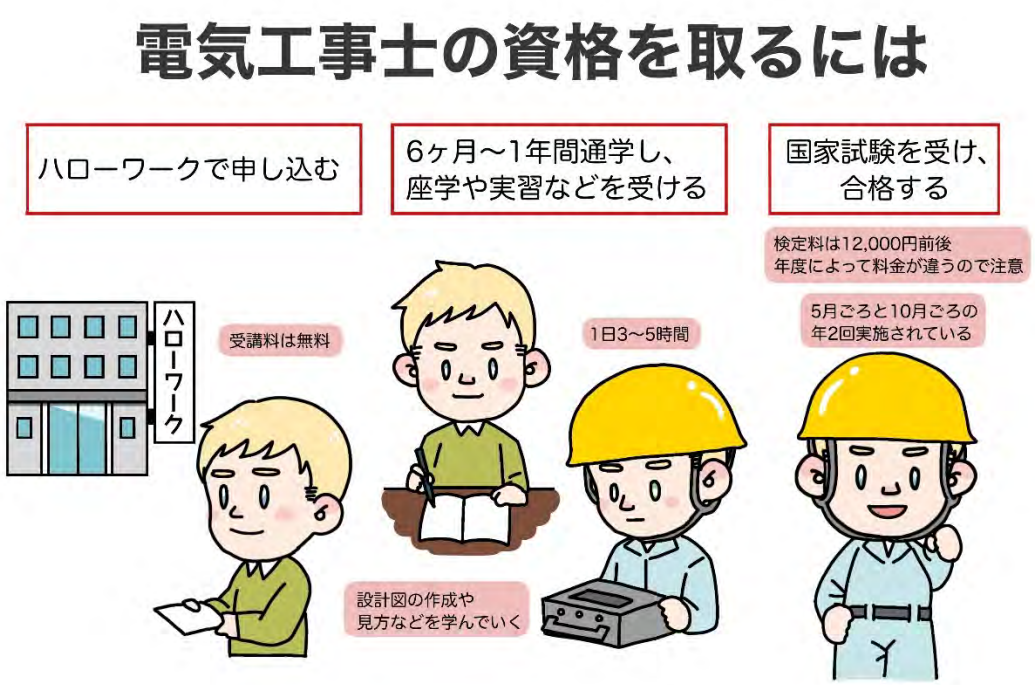
イラスト② 「ハローワークの外観・内観」





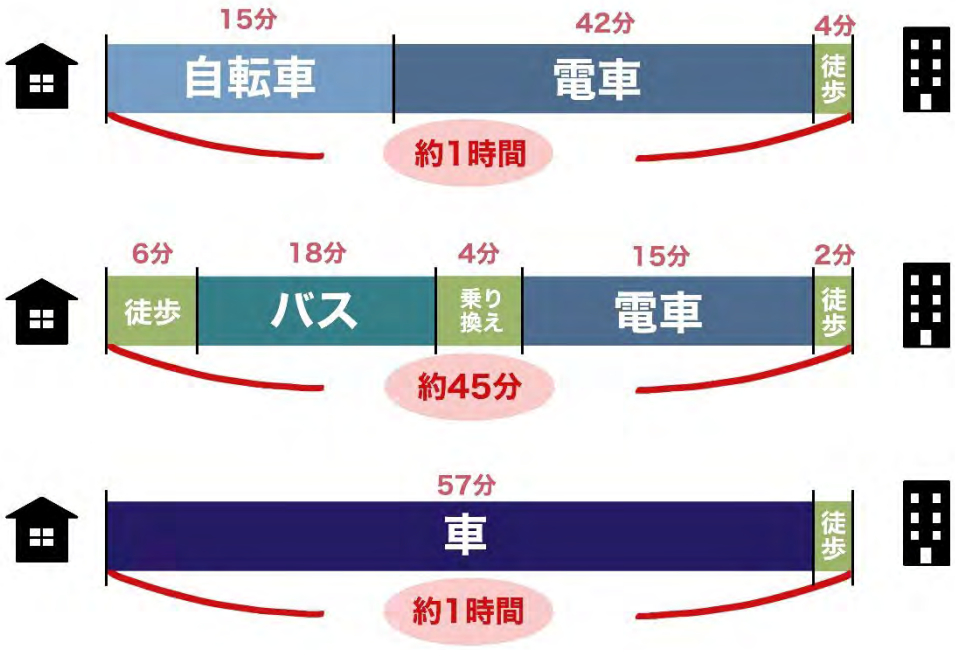
イラスト③ 「窓口担当者と話している」

イラスト④ 「職業訓練の説明チラシ」



イラスト⑤「端末で仕事を探す」

イラスト⑥「通勤方法」



<配布プリント>

会話① 音声を聞きましょう

1.次のことばはわかりますか？

資格, 電気工事士, 読み書き, 職業訓練, 勤務地,

検索, 条件, 外国人歓迎, 申込用紙, 説明会, 選考試験

2.あなたならどんな資格がとりたいですか？

3.次の表現の使い方を考えましょう。

～と思います

～からＡです

～があればＶます

～たら

～れば

4.ロールプレイのメモ

<ロールカード:会話①「ハローワークで職業訓練の相談をする」>

<A>　仕事を探す人

あなたはハローワークで仕事を探しています。いい仕事につけるように，何か資格を取ってはどうかと考えています。自分がしたい仕事の条件をハローワークの人に伝えて，どんな資格がおすすめか質問してください。

<B> ハローワークの窓口の人

あなたはハローワークで働いています。よりよい仕事を探せるように，どんな希望があるか、仕事を探している人（Aさん）に質問してください。また，下のリストからその人におすすめの資格を選んで，紹介してみてください。

基本情報技術者試験／造園技能士／電気工事士／危険物取扱者／介護福祉士

<ロールカード:会話②「ハローワークで仕事を探す」>

<A>　仕事を探す人

あなたはハローワークで仕事を探しています。電気工事士の資格がとれることになったので，それを生かして,いい待遇の仕事を探したいと思っています。自分がしたい仕事の条件をハローワークの係の人に伝えて、どんな求人があるか質問してください。

<B>　ハローワークの窓口の人

あなたはハローワークで働いています。よりよい仕事を探せるように，どんな希望があるか、仕事を探している人（A さん）に質問してください。望みが高すぎる場合は，どの条件なら譲歩できるか確認して，おすすめの仕事を探してください。

(3) モデル会話スクリプト

①スクリプト

学習者によって以下の流れは変わる

ワッタナー：おはようございます。

窓口担当者：おはようございます。どんな仕事をお探しですか。

ワッタナー：はい。こちらに引っ越してきたばかりでよくわからないのですが，できれば家から近い職場がいいなと思っています。

条件，職種，職業訓練の内容は学習者による

窓口担当者：そうですか。何か資格は持っていますか。

ワッタナー：いえ，資格は持っていません。でも，これから頑張って取ろうと思います。国では機械を使う仕事をしていましたから詳しいです。

自分の知りたい情報を得るために，質問をして答えを理解し，更に質問をする

窓口担当者：そうなんですね。では，電気工事はできますか。

ワッタナー：国で少しやったことはありますが，詳しくはないです。

窓口担当者：そうですか。では，電気工事士の職業訓練に挑戦してみますか。

ワッタナー：それは難しいですか。お金はかかりますか。

窓口担当者：合格率は 70%前後です。受講料は無料ですが，教科書代が約 5,000 円，検定料が 1 万円ちょっとかかります。日本語の読み書きはどうですか。

ワッタナー：話すのは大丈夫ですが，読み書きは少し苦手です。でも辞書があって時間があれば頑張ります。

窓口担当者：では，電気工事士の職業訓練を受けてみますか。

ワッタナー：その資格が取れたら，例えばどんな仕事がありますか。

窓口担当者：試しに探してみましょうか。希望の勤務地はありますか。

ワッタナー：できれば電車の駅から近いと助かります。

窓口担当者：わかりました。では，検索してみますので少しお待ちください。

～～～

窓口担当者：お待たせしました。ワッタナーさんの条件に当てはまるのは，こちらの 8 件です。

ワッタナー：ありがとうございます。おすすめはありますか。

窓口担当者：そうですね…。

こちらの会社は駅から近いですし，外国人歓迎と書いていますのでいいのではないですか。

ワッタナー：ありがとうございます。よくわかりました。目標ができました。

窓口担当者：そうですか。それでは，こちらの職業訓練の申込用紙にご記入ください。説明会と選考試験の日程はここに書いてある通りです。合格したら職業訓練開始は，来年の 4 月からになります。

②スクリプト

学習者によって以下の流れは変わる

ワッタナー：おはようございます。
窓口担当者：おはようございます。お久しぶりです。電気工事士の資格は取れそうですか。
ワッタナー：はい。日本語が難しくて大変でしたが，親切に教えてくれたので，もうすぐ資格が取れそうです。
窓口担当者：それは良かったですね。今日はどうされましたか。
ワッタナー：はい。もうすぐ資格が取れそうなので，資格を活かした仕事があるか教えてもらいに来ました。
窓口担当者：なるほど。それでは，今すぐ申し込むわけではないと思いますが，どんな仕事があるのか一緒に探してみましょう。
ワッタナー：お願いします。

スクリプト通りではなく自分が希望する条件を伝えてやりとりする

窓口担当者：どんな職場を希望しますか。
ワッタナー：ええと。前にも言いましたが，家から近い職場が良いです。
窓口担当者：なるほど。ワッタナーさんの自宅は…〇〇町ですね。通勤方法はどうしますか。
ワッタナー：電車かバスを使おうと思います。
窓口担当者：それでしたら，電車とバスの合計時間で決めましょうか。何分ぐらいまで大丈夫ですか。
ワッタナー：5 分以内が良いです。
窓口担当者：え?それはいくらなんでも難しいです。それだと選べる職場が大変少なくなってしまいます。
ワッタナー：そうなんですね…。では 20 分以内でお願いします。
窓口担当者：わかりました。それでも少なそうではありますが…。他の条件はありますか。
ワッタナー：外国人がたくさんいた方が働きやすいかなと思います。
窓口担当者：わかりました。同じ国の人でなくても大丈夫ですか。
ワッタナー：はい。同じ国の人がいたら助かりますが，他の国の人でも外国人が働きやすい職場なら OK です。
窓口担当者：了解です。
ワッタナー：あ，給料は多い方が良いです。
窓口担当者：それはそうですね。
ワッタナー：あと，苦労して取った資格なので，資格が評価される職場が良いです。
窓口担当者：おっしゃるとおりですね。ええと，その条件だとこの 3 つの職場になります。
ワッタナー：少ないですね。

状況に合わせて希望を変更する

窓口担当者：通勤時間の条件が厳しすぎるようです。
ワッタナー：そうですか…。では，30 分以内でも大丈夫です。
窓口担当者：ええと。35 分ほどかかりますが，外国人が多くて電気工事士の資格手当が高い職場があります。
ワッタナー：あ，〇〇町ですね。はい，大丈夫です。
窓口担当者：資格が取れたときにまだ募集しているかわかりませんが，とりあえず求人票を印刷してお渡ししておきますね。
ワッタナー：はい。仕事の探し方が少し分かりました。資格が取れたらまた来ます。

1.3 今後の課題

(1) 研修の重要性

今回作成したカリキュラム例、及びその作成過程の応用を促すには、「日本語教育の参照枠」の基本的な考え方、「生活 Can do」一覧、「カリキュラム例」のモデルとしての位置づけ等に対する理解を深める研修や、資料公開における工夫が必要となる。各現場の学習者像や学習者をめぐる状況、学習環境を考慮しつつも、制約条件を解決し、各地域の日本語教育の可能性を拡げるような研修を行っていくことが重要である。

(2) 学習ポートフォリオや学び方を学ぶための方法の例示

モデルカリキュラムで示した「自立・自律」は、日本に暮らす外国人が生活のための日本語を身に付けていく上で特に重要である。どのようなカリキュラムによって「自立・自律」が可能となるのかを例示するため、学習ポートフォリオや学び方を学ぶ方法の具体例を示していく必要がある。

(3) 「生活・文化・社会」の扱いの検討

カリキュラム作成に当たっては、「生活・文化・社会」の扱いに関する検討が不十分であった。日本語学習と切り離さずに扱うべき内容と、社会オリエンテーションの位置づけで扱う内容を検討・整理する必要がある。

(4) 漢字の扱いの検討

各ユニットにおいて、文字学習の必要性の情報を加えたが、 漢字の扱いについては検討が不十分であった。日本社会で生活する者が、安全安心で文化的な生活を送り、社会に十全な参加をするためには、漢字に関わる能力を身に付けることは不可欠である。必要な漢字の選定や、その扱いに関する検討が必要である。

(5) 授業計画や教材作成を容易にするために

本報告書では、生活 Can do をユニット化し、それをもとにカリキュラムを作成することを提案した。そして、次の段階としては、授業を具体的に計画し、教材を作成・準備することを想定し、その具体例を示した。たとえば、ロールプレイを計画し、想定されるやり取りを「モデル会話」として示している。しかし、ある場面でのタスクが具体的にどう展開するか、どんなやり取りによってユニットにおける目標が達成されるか、といったことを検討し、授業や教材を準備するのは容易ではない。

文化庁「生活 Can do」一覧表（A1－B2）の生活 Can do には、『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について』の「生活上の行為の事例」における大分類、中分類、小分類、事例1（上位項目）、事例2（下位項目）が関連付けられている。これにより、各 Can do の関連性も捉えやすくなっているが、それでも、具体的なモデル会話までは想像できない、あるいは、どういった表現・文型があるタスクを完遂するために重要かが考えられない、という場合があるだろう。

先述の報告書には、「生活上の行為の事例」の次に「生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素」が示されている。具体的には、能力記述、場面（場所、相手、状況・動機）、やり取りの例、機能、文法、語彙である。これは全ての生活 Can do に対応するものではないが、それでも、そのタスクの中でどういった機能のことばが必要となるか、それがどんなやり取りとなるか、それを支える文法や語彙は何かを検討する際の助けになるはずである。この情報を、現在の「生活 Can do」一覧表や本事業で作成したユニット例につなげ、活用できるようにすることも、今後取り組むべき課題だと考えている。

2. 評価方法

2.1 パフォーマンス評価のための課題作成

「日本語教育の参照枠」には 5 つの「活動 Can do」(「話すこと やり取り」「話すこと 発表」「理解すること 聞くこと」「理解すること 読むこと」「書くこと」)がある。そこで、それぞれの「活動 Can do」のパフォーマンスを評価する方法を図 1 のとおり検討した。以下では、それぞれの評価課題の作成方法を記述する。

活動Can do	パフォーマンス評価
話すこと（やり取り）	ロールプレイ
話すこと（発表）	ロールプレイ
理解すること（聞くこと）	聞く課題
理解すること（読むこと）	読む課題
書くこと	書く課題

図 1 各「活動 Can do」とパフォーマンス評価

2.1.1 「話すこと やり取り」「話すこと 発表」の課題

単レベルの場合

「話すこと やり取り」と「話すこと 発表」に関しては、ロールプレイによる方法を取り上げる。ロールプレイの課題を作成する手順を以下に示す。

① 該当レベルに合う課題を作るために、Can do を検討する。その際、「日本語教育の参照枠」の「活動 Can do」からレベルの特徴を把握する必要があるが、「活動 Can do」は抽象度が高いため、「活動 Can do」に基づいて作成された「生活 Can do」から課題を検討する。図 2 のように、A1 レベルの「活動 Can do」の「話すこと やり取り」の「一般的な話し言葉のやり取り」に該当する「生活 Can do」から Can do を 1 つ選び、その記述に基づき課題を検討する。

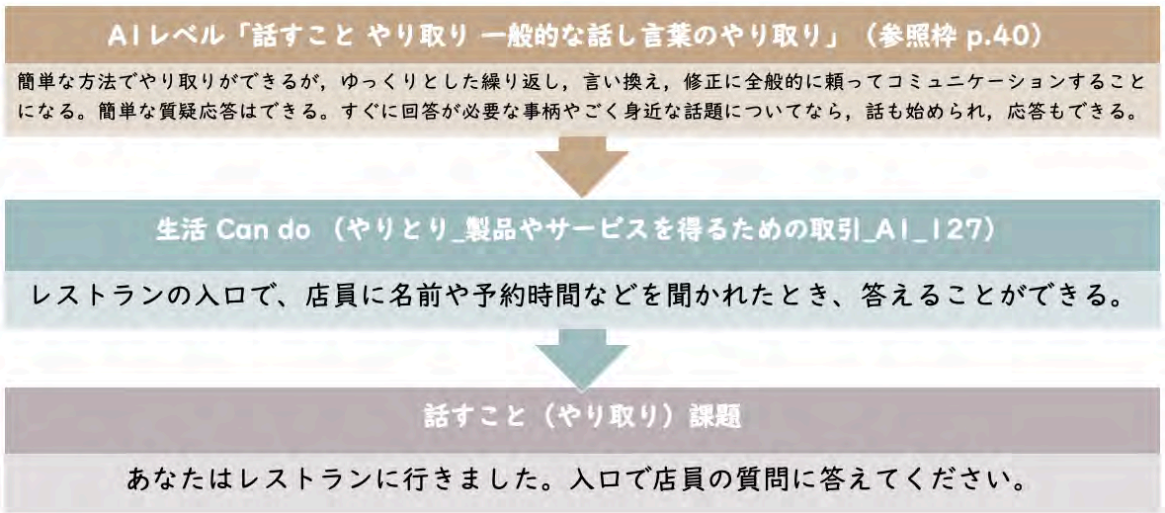


図 2 「日本語教育の参照枠」Can do に基づいた課題の作成(話すこと やり取り)

② 下記 a から c を検討し、具体的な課題を設定する。その際、学習者が遭遇する可能性のある場面を設定し、学習者にとって現実的なロールを設定することが重要である。

a. 場面を決める。
b. ロール A（学習者）の役割、課題を決める。
c. ロール B（対話者）の役割を決める。

③ ロールカードを書く。求められる課題を明確かつ簡潔に記載する。場面が想定できるように具体的に書くが、限定しすぎると、学習者にとっては経験がない（あるいは想像できない）場面になってしまうので、留意する必要がある。また、ロールカードを読むことは課題ではないので、必要に応じ翻訳を用意する。

④「タスク達成のための手がかりになる内容」を検討する（図 3 参照）。当該レベルの特徴、「活動 Can do」の内容を参考にする。

⑤ モデル会話を作る（図 3 参照）。モデル会話を作ることにより、求める内容を検討すること、課題の修正を行うことが可能となる。また、学習者用のロール内容が課題で求めているレベルと合致しているかを確認する。想定しているレベルと合わない場合は、課題の内容を変更する必要がある。

上記手順を経て作成されたロールプレイ課題が図 3 である。

生活 Can do	レストランの入口で、店員に名前や予約時間などを聞かれたとき、答えることができる。 （やりとり_製品やサービスを得るための取引_AI_127）
レベル等	AI　参加者：学習者と指導者
ユニット	レストランに予約をしてから行く
ロールA	あなたはレストランにいきました。入口で店員の質問に答えてください。
ロールB	あなたはレストランの店員です。外国人のお客に対応してください。以下のことについて聞いてください。 ・予約の有無 ・人数 ・喫煙席か禁煙席か
タスク達成のための手がかり	・予約をしているかどうかを伝えることができる。 ・何人で来店しているかを言える。 ・喫煙席か禁煙席を言える。
モデル会話	B：いらっしゃいませ。何名様ですか。 B：予約はしてありますか。 B：たばこは吸いますか。 B：それでは、こちらへどうぞ。 A：2人です。 A：していません。 A：吸いません。

ロールカードは各言語に訳す

AIレベルに合致しているか確認する

図 3「話すこと やり取り」の課題例（単レベル）

複数レベルの場合

次の 2 つの生活 Can do はレベルが異なるが、一連の行動の中の言語行動である。このような場合は、学習者のレベルに応じ、1 つのロールプレイ課題として実施するのが望ましいだろう。図 4 が課題例である。

生活 Can do 8「病院の受付などで、「初めてですか」「保険証はありますか」などの基本的な質問に答え

ることができる。」（A1）

生活 Can do 11「かかりつけの病院での診察のとき、体のどこがどのくらい、いつごろから痛いかなどの自分の体調や症状に関する簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。」（A2）

生活 Can do	病院の受付などで、「初めてですか」「保険証はありますか」などの基本的な質問に答えることができる。（やりとり_インタビューすること、インタビューを受けること_A1_8） 時々繰り返しや説明を求めることができれば、病院などで、どこがどのくらい痛いかなどの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。（やりとり_インタビューすること、インタビューを受けること_A2_11）
レベル等	A1・A2　参加者：学習者と指導者
ユニット	病院で診察を受ける（初診）
ロールA	あなたは頭が痛くて病院に行きました。受付での質問に答えてください。
ロールB	あなたは病院の受付の人です。外国人の患者に質問をしてください。以下のことについて聞いてください。 ・初めてか　・健康保険証を持っているか ・どのような症状か　・いつからか
タスク達成のための手がかり	・初めてかどうかを伝えることができる。　・健康保険証を持っていることを伝えられるか。 ・症状を簡単なことばで伝えらえる。　・いつから症状があるかを言える。
モデル会話	B：おはようございます。 B：こちらは初めてですか。 B：保険証はお持ちですか。 B：今日はどうされましか。 B：いつから痛いですか。 B：それではこちらの問診票に記入をお願いします。 　熱を測ってここに書いてください。 B：あちらのソファでおかけになって記入してください。 A：おはようございます。 A：はい、初めてです。 A：はい、あります。 A：頭が痛いです。 A：昨日の夜からです。 A：はい、わかりました。 A：はい、ありがとうございます。

図 4 「話すこと やり取り」の課題例（複数レベル）

「聞くこと」に重点のある「話すこと やり取り」の課題

「話すこと やり取り」の生活 Can do の中には、次の生活 Can do 7 番のように、話すことよりも聞くことに重点の置かれているものがある。この Can do では、相手に情報提供を求めることと、相手から得られた情報を理解することが課題となる。このような課題でロールプレイを作成することは可能であるが、モデル会話を作る時点で、学習者よりも、情報を提供する相手の方が発話量が多くなることに気づくであろう。そこで、このようなロールプレイでは、図 5 のように、「聞く」課題を加える。

生活 Can do 7 「近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりすることができる。」（B1）

生活 Can do	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりすることができる。（やり取り_情報の交換_B1_7）
レベル等	B1 参加者：学習者と指導者
ユニット	おすすめの歯科医院を予約する
ロールA	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問してください。友人の答えを聞いてください。聞くときに、あいづちを打ってください。
ロールB	あなたはAさんの友人です。山田デンタルの情報について，スクリプトの内容を伝えてください。
モデル会話	A：山田デンタルクリニックに行こうと思っているんですが、行ったことありますか。評判など知っていますか。 B：山田デンタル…あー、駅前の歯医者ですね。私じゃないんですけど、娘がかかってます。受付の人も親切ですし、お医者さんもやさしいらしいですよ。娘は、前、違うところに行ってたんですけど、結構痛かったみたいで、もう行きたくないって言って、それで、変えたんですよ。人気あるみたいで、結構混んでて、予約がなかなか…。でも、いいクリニックだと思いますよ。
聞く課題	山田デンタルについてどのように言っていますか。正しいものをすべて選んでください。 □受付の人が親切です　□お医者さんが親切です □安いです　□治療が痛いです □人気があります　□予約が取りやすいです

図 5 「話すこと やり取り」の課題例（「聞く」課題）

2.1.2 「話すこと やり取り」「話すこと 発表」の課題のためのルーブリック

ルーブリックとは

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」の評価のためのロールプレイを評価するためには、評価項目と判定の基準を記すルーブリックを用いる。ルーブリックとは、「評価の項目や観点」とそれぞれの「判定の基準」や「到達目標」をマトリックス形式で示す評価指標のことである（図 6 参照）。ルーブリックには、図 7 に示すように、評価方法の観点から、総合的（全体的）ルーブリックと分析的ルーブリックに分けられ、測る能力の種類という観点から、一般型とタスク特有型に分けられる。

評価観点

判定基準		タスク達成度	流暢さ
	2	内容はタスクの目的を十分に果たし，詳細も含まれている。	長い沈黙や言い直しがほとんどなく，スムーズに話せている。
	1	内容はタスクの目的を果たしているが，詳細に欠けている。	長い沈黙や言い直しがある。またはスムーズに話せていない。
	0	内容はタスクの目的を果たしていない。	非常に長い沈黙などのために理解が困難である。

（小泉，2016，p. 35）

図 6 ルーブリックの構造

評価方法による分類
- **総合的（全体的）**：全体的に評価
- **分析的**：発音，流暢さ，文法などの観点で評価

測る能力の種類による分類
- **一般型**：広く使用可能。一般的能力を測るのが意図。
- **タスク特有型**：タスク形式ごとに作成。特定のタスクに限定される能力を測る。

（小泉（2016）を参照）

図 7 ルーブリックの種類

ルーブリックの作成手順

ルーブリック作成の手順は、次の①から④の通りである。

① 「日本語教育の参照枠」の「全体的な尺度」「活動 Can do」「能力 Can do」などを参照し、各レベルの特徴を理解する。例えば、A1 のロールプレイ課題であれば、下記例のような Can do を参照する。

Can do 例:

「話すこと やり取り」>「一般的な話し言葉のやり取り」A1

簡単な方法でやり取りができるが、ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションすることになる。簡単な質疑応答はできる。すぐに回答が必要な事柄やごく身近な話題についてなら、話も始められ、応答もできる。

② 評価の観点を決める。ルーブリックには、下記に示すように、総合的に評価する総合的ルーブリックと、複数の評価の観点を設定する分析的ルーブリックの 2 種類がある(図 7 参照)。

総合的ルーブリック:評価の観点は課題が遂行できたかどうかを見る「課題遂行」あるいは、総合的に評価する「総合」となる。いずれにしても、評価の観点は1つに設定する。

分析的ルーブリック:ロールプレイの内容、Can do に記載されているレベルの特徴から、複数の評価の観点を設定する。例えば、「課題遂行」「語彙・表現」「文法」「音声」など。

この時点で注意すべきことは、観点とされる要素のみが測定対象となるということである。つまり、観点に含められない要素は「測定されない」ということを理解し、慎重に評価の観点を決定する必要がある。

③ 判定基準の段階を設定する。例えば、評価段階「できた」「できない」の 2 段階、「○」「△」「×」の3段階、「A」「B」「C」「D」の 4 段階というように決める。

④ 判定基準の各段階の内容を設定する。この際、「能力 Can do」などに記載されているレベルの特徴に基づき、求められる基準を決める。

図 8 は、B1 レベルの下記ロールプレイに合わせて作成したルーブリックである。

ロールプレイ課題例(B1)

あなたは体調不良のため、病院に行って、診察を受けます。あなたは体調不良のため、病院に行って、診察を受けます。最初に、医師からの質問に答えてください。そして、過去の病気や症状について説明してください。

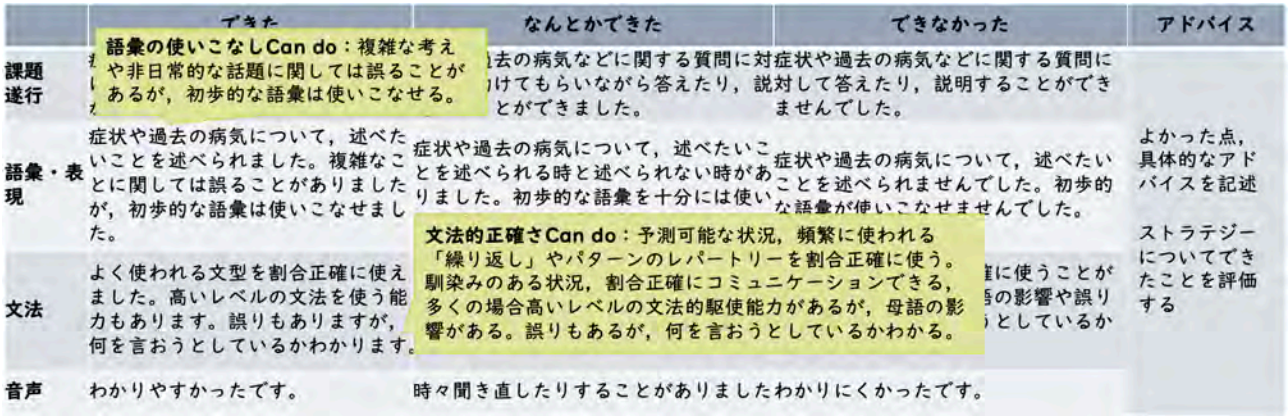


図 8 ルーブリックと参照した「能力 Can do」

「能力 Can do」の理解

図 8 の場合、「語彙・表現」の判定基準のためには、「能力 Can do」である「語彙の使いこなし Can do」の B1 レベルの記述文「複雑な考えや非日常的な話題に関しては誤ることがあるが、初歩的な語彙は使いこなせる」を参照している。同様に、「文法」については、「文法的正確さ Can do」を参照している。なお、先述の通り、評価の観点にない観点は評価できないことになる。そのため、図 8 の例では、評価の観点に設定しにくいストラテジーに関する評価やアドバイスを書き込む「アドバイス」の欄を設けている。

上記の通り、判定の基準を記述するには、各種「能力 Can do」を理解することが重要である。「能力 Can do」は抽象度が高いため、開発グループのメンバーで各種資料を参照しながら理解を深め、自分たちの理解を確認するための「能力 Can do の書き換え例」を作成した（資料 1）。表 1 は、「能力 Can do」のひとつ「話し言葉の流暢さ」の書き換え例である。2 行目は、元の「能力 Can do」の記述であり、それに基づき、書き換えを行っている。この「能力 Can do の書き換え例」はあくまで一例であるが、このような書き換えの手順を行うことにより、より深く各レベルの Can do を理解することができると考える。

表 1 書き換え例「話し言葉の流暢さ」

	ポイント	A1	A2/A2.1	A2.2	B1/B1.1	B1.2
Can do		適切な表現を探したり、余り馴染みのない言葉を言おうとするとき、また話の流れの修復のために、間が多く空くが、非常に短い、単独の、多くは予め準備しておいた発話を行うことができる。	言葉に詰まったり、話し始めて言い直すことが目立って多いが、馴染みのある話題であれば、余り困難なく言いたいことを言葉に表現でき、短いやり取りを行うことができる。	話し始めて言い直したり、途中で言い換えたりすることが目立つが、短い発話であれば自分の述べたいことを理解してもらえる。	ある程度の長さの、理解可能な発話を行うことができるが、制限を受けない自由な発話で比較的長いものになると特に、談話を続けていく時に文法的および語彙的に正確であろうとして間があいたり、発話の修復を行うのが目立つ。	自分の表現したいことを、比較的容易に表現できる。言語化する際に、間があいたり、「袋小路」に入り込んだりはするものの、他人の助けを借りずに発話を続けることができる。
書き換え	流暢に話す力に関するもの	間があくことが多いが話すことができる	なじみのある話題の短いやりとりなら、言葉に詰まったり言い直したりすることもあるが、話すことができる	言い直したり、言い換えたりすることが多いが、自分の言いたいことを相手にわかるように話すことができる	話が長くならなければ、わかりやすくスムーズに話すことができる	わかりやすくスムーズに話すことができる

「聞く」の観点を含めたルーブリック

「話すこと やり取り」のロールプレイ課題の中には、聞くことが課題として含まれているものもある。相手の発話が理解できないがゆえに産出できなかったのか、相手の発話は理解できたものの産出できなかったのか、この

違いを判断して、学習者にフィードバックすることは重要である。そのような観点を入れたルーブリックが図 8 である。図 8 のルーブリックは、下記ロールプレイ課題のためのものである。図 9 のルーブリックでは、最終行に「聞く」の観点を含めている。このロールプレイでは、「どのような症状か」「いつからか」という問い、「過去の病気について」の問いがあるため、それらの問いに対する理解の程度をチェックする項目を設けている。しかし、理解できたかどうかは明確に判断することは難しい。そこで、判定基準に「判定不能」を加えている。

ロールプレイ課題例（B1）

あなたは体調不良のため、病院に行って、診察を受けます。最初に、医師からの質問に答えてください。そして、過去の病気や症状について説明してください。

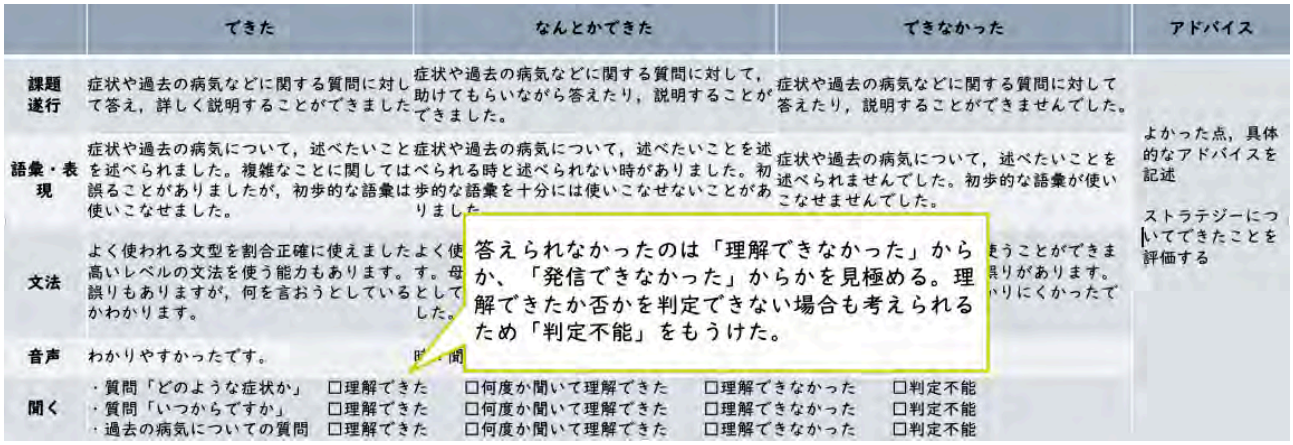


図 9 「聞く」の観点を含めたルーブリック例

複数レベルロールプレイのためのルーブリック

複数レベルの Can do を 1 つのロールプレイ課題に取り込んだ場合は、レベルごとに判定基準を決める必要がある。図 4 の複数レベル用ロールプレイ課題のために作成したルーブリックが図 10 である。

	生活Can do	課題遂行		
A1	病院の受付などで、「初めてですか」「保険証はありますか」などの基本的な質問に答えることができる。	できた（ゆっくりはっきり話してもらうこともあるが、できた）	なんとかできた。（ジェスチャーや繰り返しなどの相手の手助けがかなりいるが，できた）	できなかった
A2	かかりつけの病院での診察のとき、体のどこがどのくらい、いつごろから痛いかなどの自分の体調や症状に関する簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	できた（時々繰り返しや説明を求めることもあるが，できる）	なんとかできた（相手の手助けが必要だが，できた）	できなかった

図 10 複数レベル課題のためのルーブリック例

2.1.3 「理解すること 聞くこと」の課題

聴解など受容能力は、産出能力とは異なり、直接観察ができないため、理解の程度を測定することは非常に難しい。発話を聞いて、理解した内容を母語で話してもらい、理解の程度を確認するという方法が考えられるが、学習者の母語に対応するのは難しい。そこで、選択肢を提示する「選択解答式」を検討した。しかし、選択肢は示さず、短い語句で解答する「短答解答式」とすることも可能である。作成の手順は次の通りである。

① 該当レベルに合う課題を作るために、Can do を検討する。「話すこと やり取り」同様、「活動 Can do」に基づきレベルの特徴を把握した上で、「生活 Can do」から課題を検討する（図 11）。

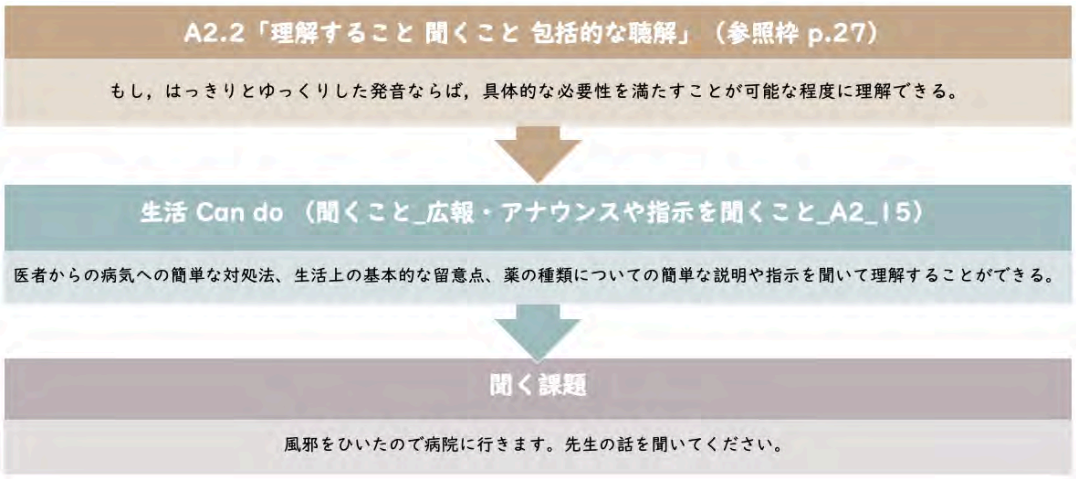


図 11 「日本語教育の参照枠」Can do に基づいた課題の作成（理解すること 聞くこと）

② 聞かせるための「音声スクリプト」と課題を検討する。図 12 は、図 11 から作成した課題である。質問や選択肢を理解することはこの課題では求められていないため、学習者が理解できる言語に翻訳する必要がある。

生活 Can do	医者からの病気への簡単な対処法、生活上の基本的な留意点、薬の種類についての簡単な説明や指示を聞いて理解することができる。（聞くこと_広報・アナウンスや指示を聞くこと_A2_15）
レベル等	A2
ユニット	医師から薬を処方される
課題	風邪をひいたので病院に行きます。先生の話を聞いてください。
質問 1	どのようなことに注意する必要がありますか。正しいものすべてにチェックしてください。 □お風呂に入らない。 □運動をしない。 □ご飯を食べない。 □からいものを食べない。 □お酒を飲まない。 □薬を飲む。
質問 2	薬を何日飲みますか。 □1日 □3日 □5日 □7日
音声スクリプト	医師：のどが炎症していますので，辛いものなどは食べない方がいいですね。 お薬を出しますから，5日間飲んでください。

評価対象は，課題や質問・選択肢を理解することではないため，各言語に訳す

図 12 「理解すること 聞くこと」の課題例

③ 音声スクリプトは、評価実施時に評価実施者が読み上げるか、事前に録音しておく。

2.1.4 「理解すること 読むこと」の課題

「聞くこと」同様、「読むこと」も受容能力であるため、直接観察ができない。そこで、読解テクストを読み、設問に対し語句など短い内容で答える「短答解答式」あるいは選択肢を選ぶ「選択解答式」が適切であると考えた。以下で示す例は「短答解答式」であるが、選択肢を設定し「選択解答式」とすることも可能である。作成の手順は次の通りである。

① 該当レベルに合う課題を作るために、Can do を検討する。「話すこと やり取り」同様、「活動 Can do」から

レベルの特徴を把握した上で、「生活 Can do」から課題を検討する（図 13）。

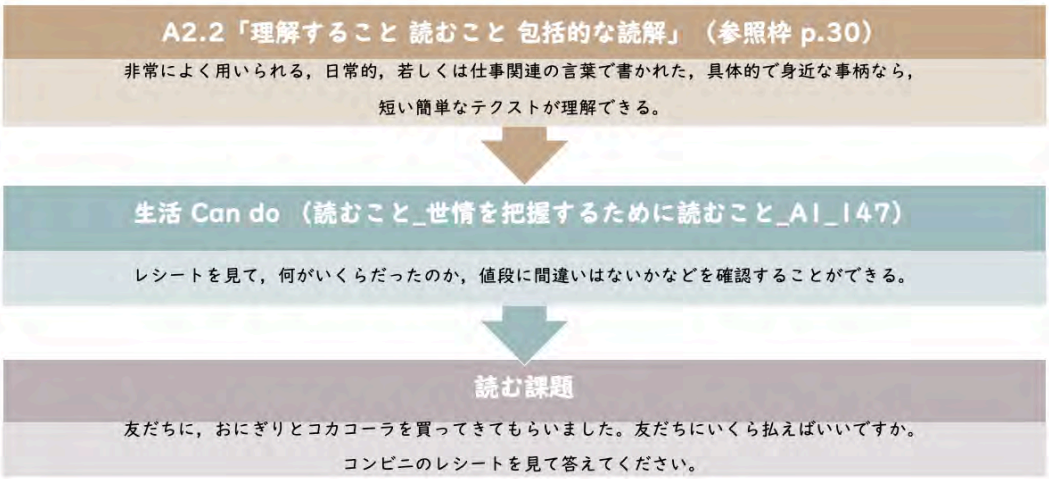


図 13「日本語教育の参照枠」Can do に基づいた課題の作成（理解すること 読むこと）

② 読解テクストと課題を検討する。図 14 は、図 13 から作成した課題である。できる限り、現実的にあり得る課題、実際に目にするであろう読解テクストとなるよう留意する。質問や選択肢を理解することはこの課題では求められていないため、学習者が理解できる言語に翻訳する必要がある。

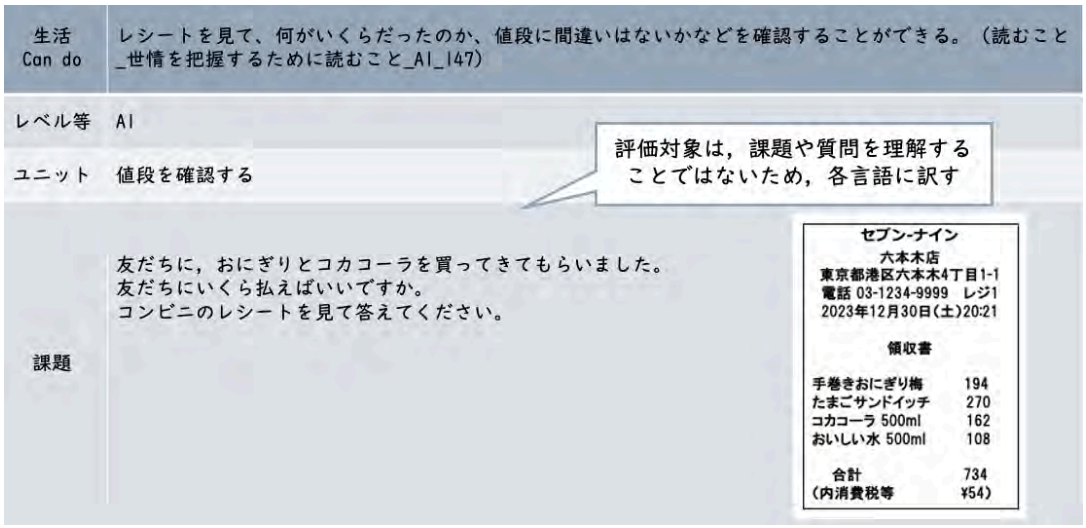


図 14「理解すること 読むこと」の課題例

2.1.5「書くこと」の課題

「書くこと」に関しては、実際に遭遇する可能性のある場面を取り上げて、課題を設定した。作成の手順は次の通りである。

① 該当レベルに合う課題を作るために、Can do を検討する。「話すこと やり取り」同様、「活動 Can do」からレベルの特徴を把握した上で、「生活 Can do」から課題を検討する（図 15）。

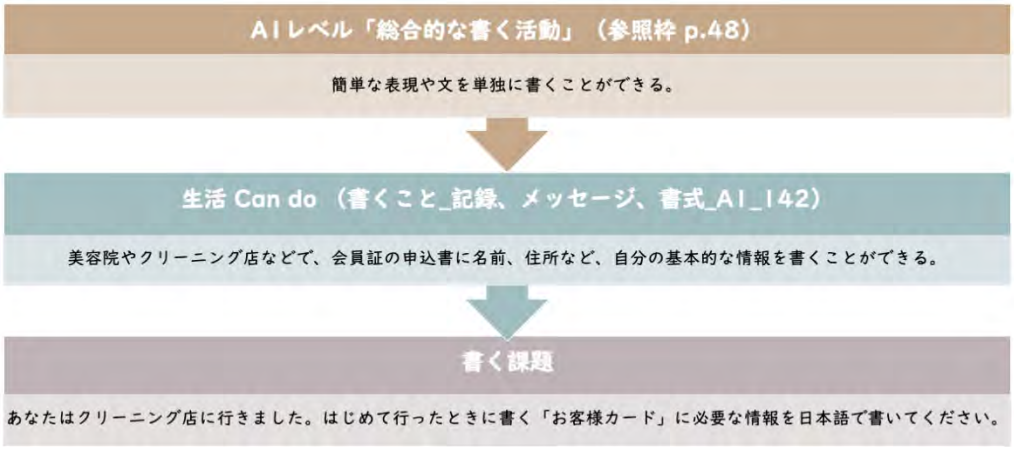


図 15「日本語教育の参照枠」Can do に基づいた課題の作成（書くこと）

② 図 16 は、図 15 から作成した課題である。質問を理解することはこの課題では求められていないため、学習者が理解できる言語に翻訳する必要がある。

④「タスク達成のための手がかりになる内容」を検討する（図 16 参照）。当該レベルの特徴、「活動 Can do」の内容を参考にする。

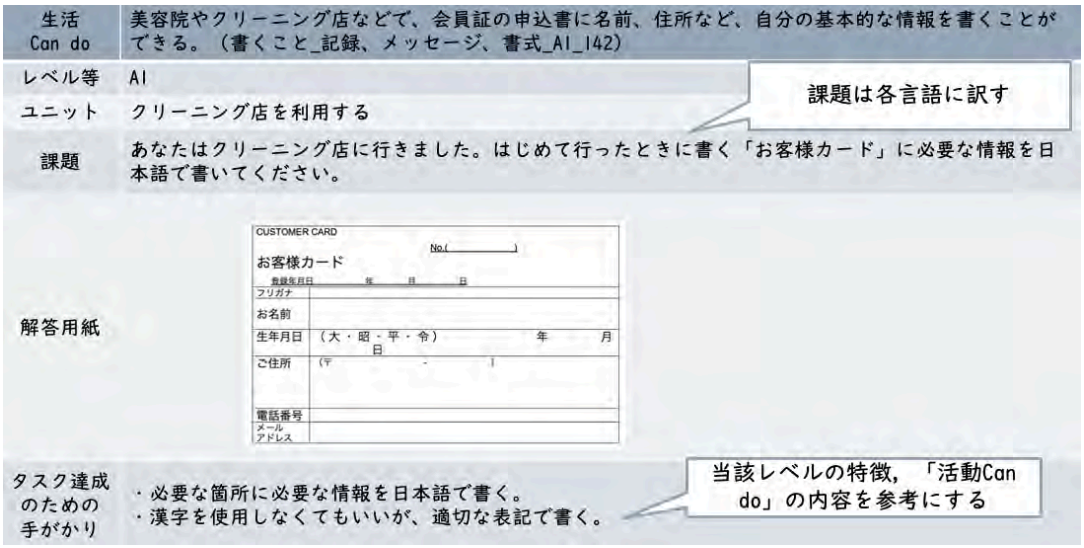


図 16「書くこと」の課題例

2.1.6「書くこと」の課題のためのルーブリック

「書くこと」の課題についてもルーブリックを作成して評価を行う。図 17 は、図 16 の課題のためのルーブリックである。

	できた	部分的にできた	できなかった
課題遂行	必要な箇所に必要な情報を日本語で書くことができた	必要な情報をだいたい日本語で書くことができたが、住所など表記の難しいものは書くことができなかった	必要な情報をほとんど日本語で書くことができなかった
表記	適切な表記で書くことができた	間違っているところもあったが理解に支障をきたさない程度に書けた	表記ミスのせいで情報の伝達に支障をきたした

図 17 「書くこと」のルーブリック例

2.2 パフォーマンス評価のための課題例

各「活動 Can do」(「話すこと やり取り」「話すこと 発表」「理解すること 聞くこと」「理解すること 読むこと」「書くこと」)について、2.1 で示した手順に則りサンプル課題を作成した。各活動のサンプル数は図 18 の通りである。サンプルは稿末(資料 2)に示す。

活動Can do	パフォーマンス評価	A1	A1・A2	A2	B1
話すこと(やり取り)	ロールプレイ	3	1	5	8
話すこと(発表)	ロールプレイ	1	0	0	1
理解すること(聞くこと)	聞く課題	1	0	2	1
理解すること(読むこと)	読む課題	2	0	1	0
書くこと	書く課題	1	0	1	1

図 18 パフォーマンス評価のための課題サンプル数

2.3 熟達度評価の実施方法

評価には、大きく分けて、到達度評価と熟達度評価がある。図 19 に示す通り、到達度評価は、教育機関などで学習したことをどの程度習得したかを評価するもので、基本的には学習した内容が測定対象となる。代表的なものに、教育機関で行う期末テストや小テストなどがある。到達度評価としてパフォーマンス評価を行う場合、学習者に課す課題のレベルは自ずと決定される。一方、熟達度評価は、実生活の問題に対して学習者が何ができるか、何を知っているかを見るものであり、測定対象は、教育機関で学習したかどうかは考慮されない。評価対象者のレベルが把握できていないクラス分けテスト(プレースメントテスト)などが該当する。熟達度評価としてパフォーマンス評価を行う場合は、まず学習者に課す課題のレベルをどの程度のものにするか判断する必要がある。以下では、(1)どのように課題レベルを決めるのか、(2)どのようにロールプレイの実施と判定を行うのか、具体的な方法を見ていく。

図 19 到達度評価と熟達度評価の違い

（1）どのように課題レベルを決めるのか

課題レベルを決める際、自己評価の結果を参照する。Can do 項目に対する自己評価を実施し、その結果に基づいて課題レベルを決定する。ここでは、用いる自己評価として 2 つの方法を提案する。その 1 つは、文化庁により開発された多言語対応の「日本語能力自己評価ツール にほんごチェック!」（https://www.nihongo-check.bunka.go.jp）である。このシステムでは、オンライン上で自己評価を入力することにより、「日本語教育の参照枠」で示されている「全体的な尺度」の6つのレベルで日本語能力が確認できる。非常に便利だが、抽象度が高いため、学習者にとって Can do を理解するのに時間を要する可能性がある。もう 1 つの方法は、「生活 Can do」から学習目的や学習者の背景に合う Can do を選定し、自己評価表を作成するというものである。具体的であり、学習者は回答しやすいが、作成と判定に時間を要する。2 種類の自己評価方法の特徴をまとめたものが図 20 である。

図 20 課題レベル決定に利用する自己評価 2 種類の違い

「生活 Can do」から独自の自己評価表を作成する場合、レベル判定の方法や基準を決定する必要がある。まず、「生活 Can do」から適当な項目を選び、自己評価表を作る。図 21 はその一部である。

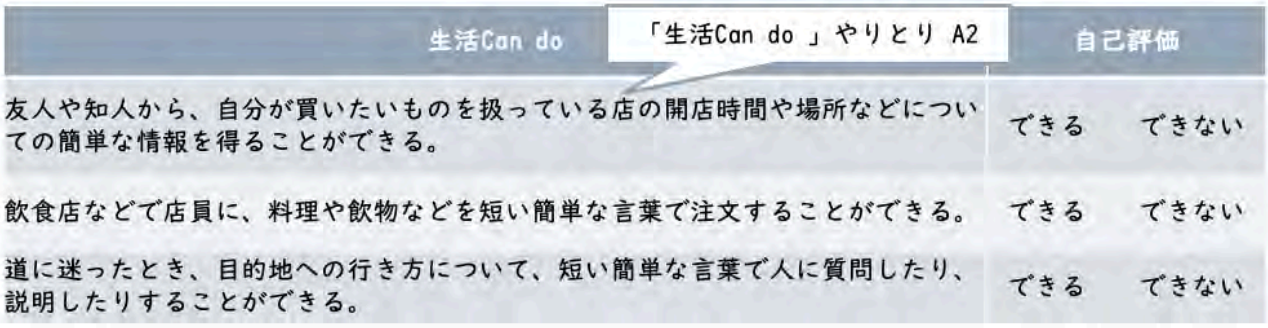


図 21 「生活 Can do」自己評価例

次に、例えば、次のような判定基準を設ける。例えば、自己評価を実施した結果、A1 項目の 8 割が「できる」、A2 項目の 7 割が「できる」、B1 項目の 3 割が「できる」という結果だった場合は、A2 が課題レベルとなる。

判定基準例:

そのレベルの項目のうち7割以上が「できる」

→その中で最も上のレベルを「課題レベル」とする

そのレベルの項目のうち 7 割未満が「できる」

→そのレベルに未到達とする。

また、自己評価を行うことにより、学習者が日本語学習を振り返る機会を提供でき、また、自律的な学習を促進することにもつながる。終了時などに同様のものを使用し、自身の自己評価の推移を確認することも可能である。

(2) パフォーマンス評価の実施と判定

レベル判定は、学習者のパフォーマンスから、レベルを推定することになる。レベルの推定には十分な根拠が必要であるため、次の方法を提案する。ここで、視力検査を思い浮かべてほしい。視力検査では、まず適当な難しさのランドルト環(C の形状をした記号)が提示され、正しく答えるとより難しい(小さい)ランドルト環が示され、誤るとよりやさしい(大きい)ランドルト環が示される。これを繰り返すことにより、視力を測定することができる。この仕組みと同じように、まず、自己評価で得られた適当なレベルの課題を与える。そして、その課題の成否により、次の課題のレベルを決定する。つまり、与えられた課題に対して「できた」と判断されれば、ひとつ上のレベルの課題を実施することになり、「できなかった」と判断されれば、ひとつ下のレベルの課題を実施することになる。もし、「なんとかできた」であったら、もう一度同じレベルの課題を実施することもあるだろう。図 22 は、レベル判定のイメージである。この例では、1 回目から 3 回目まで、下記の通り、3 つの課題を実施している。

1回目に A2 タスクに「できた」と判定されたため、次に B1 タスクを課す。

2回目の B1 タスクは「できなかった」ため、次に 1 回目とは別の A2 タスクを課す。

3 回目の A2 タスクが「できた」ため、A2 タスクは安定して「できる」と判定される。

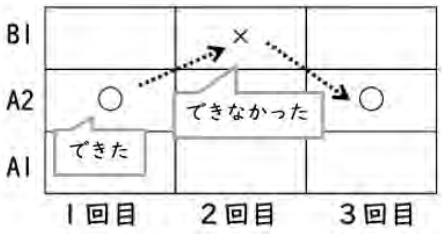


図 22 レベル判定のイメージ

なお、この方法は、国際交流基金日本語国際センターが開発した「JF 日本語教育スタンダード準拠ロールプレイテスト (https://www.jfstandard.jpf.go.jp/roleplay/ja/render.do)) 」でも採用されている。

2.4 今後の課題

一般の人の評価活動参加

「日本語教育の参照枠」が目指すものとして「多文化共生社会に向けて、外国人と接する一般の日本人にも「日本語教育の参照枠」の内容を分かりやすく示し、外国人の日本語能力について理解を深めることも重要である」（p.5）と述べられている。そこで、一般の人が評価活動に加わることについて、その可能性を検討した。図 23 は、一般の人が参加者（ロール B）として加わるロールプレイ例である。A レベルの Can do には、「はっきりとゆっくりと話してもらえれば」など、対話者の協力が前提となっているものが多い。つまり、A レベルの日本語使用者は、対話者の協力がなければ、課題を達成できないと言える。そこで、ロール B には、「はっきり話す」「短い文で話す」などのチェックポイントを示した。図 23 の課題のための、ロール B に求められるチェックポイントは、図 24 に示した。チェックポイントは、図 24 に示す通り、各種「能力 Can do」の記述から作成した。このロールプレイの場合、一般の人が評価者となることが難しい場合もあることや、参加者である一般の人のロールプレイ自体により学習者のレベル判定が不可能になる場合も想定される。そのため、このケースではロールプレイに参加する人の他に、評定者が必要になる。さらに、ロールプレイ後に、学習者、ロール B としての参加者、評定者による話し合いの場を設け、チェックポイントが意識されていたか、学習者にとって理解しやすかったかなどを確認する。このような活動により、学習者だけではなく、地域の人々の市民性を養うことにつながると考えられる。本年度は、図 23、24 に示すサンプルのみの検討にとどまったため、今後、さらなる検討が求められるだろう。

生活Can do	薬局・薬店で薬を買うとき、薬剤師や店員に自分の状況を伝え、薬剤師からの症状や薬に関する簡単な質問に答えることができる。（やりとり_製品やサービスを得るための取引_A2_19）
レベル等	A2　参加者：学習者と地域の人
ユニット	街の薬局で薬を探す
ロールA	あなたは「頭が痛い」などの症状があります。薬局に行って，店員に症状を伝えてください。そして，店員からの質問に答えてください。＊症状は，「頭が痛い」以外のものでもいいです。
ロールB	あなたは薬局の薬剤師です。お客さまの症状を聞いて，次のことを確認してください。 ・いつからですか・熱はありますか・お薬のアレルギーはありますか ・30錠入りと60錠入りがありますが，どのサイズがいいですか。・その他（車の運転をしますか）
タスク達成のための手がかり	・どのような症状か言える　・質問されて，いつからか言える ・質問されて，熱があるか言える　・質問されて，どのサイズがいいか言える
モデル会話	A：すみません。頭が痛いんですが，薬をください。 A：昨日からです。 A：え？何ですか。 A：いいえ。頭だけです。 A：いえ，ありません。 A：小さいのをください。 B：症状はいつからですか。 B：そうですか。他に症状はありますか。 B：他に，熱があるとか，気持ち悪いとか，めまいとかはありませんか。 B：そうですか。お薬のアレルギーはありますか。 B：では，これがいいと思います。大きい箱のと小さい箱のがありますが，どちらがいいでしょうか。

図 23　一般の人が加わるロールプレイ課題例

生活Can do	薬局・薬店で薬を買うとき、薬剤師や店員に自分の状況を伝え、薬剤師からの症状や薬に関する簡単な質問に答えることができる。（やりとり_製品やサービスを得るための取引_A2_19）
レベル等	A2　参加者：学習者と地域の人
ロールB	あなたは薬局の薬剤師です。お客さまの症状を聞いて，次のことを確認してください。 ・いつからですか・熱はありますか・お薬のアレルギーはありますか ・30錠入りと60錠入りがありますが，どのサイズがいいですか。・その他（車の運転をしますか）
ロールBのチェックポイント	・必要がある場合は助ける ・直接的な表現を用いる ・短い文で話す ・標準的な話し方をする（極端な敬語や方言は用いない） ・ゆっくり話す ・はっきり話す ・事実に基づく情報を伝える（仮定の話はしない）
備考	・評価をする人とロールプレイをする人を分ける ・話し合う場を設ける。（学習者：難しかったこと、理解しにくかったこと 地域の人：チェックポイントで難しかったこと　評価者：評価できなかったこと） ・評価を行うプロセスで市民性を養う。

活動Cdやりとり(1)「もし必要がある場合に相手が助けてくれれば，（略）。予測可能な日常の状況ならば，（略）」

活動Cdやりとり（2）「直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題なら，（略）」

活動Cdやりとり（4）「自分に向けられた，身近な事柄について，はっきりとした，共通語での話は大抵理解できる」

活動Cdやりとり（5）「簡単な日常会話で，自分に対してはっきりとゆっくりと，直接言われたことを（略）」

図 24 ロール B に求められるチェックポイント例

残された課題

本開発グループでは、上記の評価方法を検討したが、下記課題が残されている。

(1) 受容技能のルーブリックの作成

「話すこと やり取り」と「話すこと 発表」「書くこと」についてはルーブリックのあり方、作成の方法を検討したが、受容能力については十分な検討ができなかった。受容能力のルーブリックをどのように作成すべきか、そもそも作成できるのかという点については、大きな課題と言える。

(2) 「方略」を評価に加える方法

「話す やり取り」と「話す 発表」についてはルーブリックの中にアドバイスとして「方略」について書き込む形をとったが、「方略」の使用を評価する方法については引き続き検討をする必要がある。

[資料] ＊巻末資料参照

資料 1 「資料 1 「能力 Can do」の書き換え例

資料 2 パフォーマンス評価のための課題サンプル

引用文献

小泉利恵（2016）「ルーブリックを使ったスピーキングの評価」『英語教育』2016 年 12 月号、34-35

国際交流基金日本語国際センター「JF ロールプレイテスト」

https://www.jfstandard.jpf.go.jp/roleplay/ja/render.do（2024 年 3 月 24 日閲覧）

文化審議会国語分科会（2021）「日本語教育の参照枠 報告」

Ⅱ. カリキュラム作成のために

Can do を用いたコースデザイン及びカリキュラム開発のあり方については、「『日本語教育の参照枠』の活用の手引き」（文化審議会国語分科会日本語教育小委員会「日本語教育の参照枠」の活用に関するワーキンググループ、2022 年）の第 2 章「Can do をベースにしたカリキュラム開発の方法」を参照されたい。

ここでは、本事業において、「生活のための日本語」を学ぶためのコースを設計するにあたり、「生活 Can do」一覧表をどのように用いたか、どういったプロセスを踏んだかを紹介する。

1. カリキュラム作成手順

（1）Can do のユニット化

文化庁が公開した「生活 Can do」一覧表には、A1 から B2 まで 785 項目の Can do があり、今回対象とする B1までは、715 項目である。それぞれの Can do は、「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」（文化審議会国語分科会、2010 年）で示された「生活上の行為」に関する情報が付与されているため、一つ一つの Can do が、どういった場面で、どのような目的で遂行される言語行動を表しているのかがわかるようになっている。しかし、何らかのコースのシラバス（学習内容の一覧）を作ろうとする際に、一見ばらばらに見えてしまう大量の Can do をどう活用したらよいのか、困難を抱える指導者やコーディネーターは少なくないと思われた。また、「生活のための日本語」を学習する際には、実際の生活場面の中に学習ニーズはあり、場面の中で繰り広げられる具体的な行動、一続きの行動を果たすために用いる日本語が重要となる。そこで、私たちは、複数の Can do を一連の言語行動としてまとめ、その塊を「ユニット」と呼ぶことにした。ユニット化の方針・留意点は次の通りである。

ア. 複数の Can do によって 1 つのユニットを構成するが、1 項目のみで 1 ユニットとなる場合もある。

イ. 「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」にある「生活上の行為の分類一覧」の大分類（Ⅰ～Ⅹ）毎にユニット化し、大分類毎にユニット番号を付ける。ただし、Can do によっては、大分類をまたがって 1 つのユニットとなることがある。その場合は、中心となる Can do の大分類の中で、付番する。

ウ. 各ユニットに、具体的な行動が想像できるユニット名を付ける。併せて、想定される時間数、関連のある社会・文化・生活に関する知識、文字学習の必要性等の情報を加える。これらはいずれも、シラバス作成時の助けとなる。なお、社会・文化・生活に関する知識は、「令和 3 年度 生活 Can do の作成及び検証補助業務に係る事業報告書」（株式会社 47 ブランディング、2022 年）の「表 9 生活・文化・社会的情報（案）」等を参考にした。

エ. 複数の Can do を一連の言語行動として組み合わせるため、レベルを変えずに、Can do の内容・表現を調整する。

<調整の例>

【元の文】 散歩中、ペットを連れている友人や近所の人に会った時、ペットの名前を尋ねたり「かわいい」などの簡単な言葉でほめたりすることができる。（#604、A1、Ⅷ）[1]

【調整後】 近所の人に会ったとき、ペットの名前を尋ねたり、ペットや持ち物について「かわいい」などの簡単な言葉でほめたりすることができる。（#604a、A1、Ⅷ）

[1] 括弧内は、生活 Can do 番号<通番>、レベル、大分類番号。

これは、「近所の人と、その日の天気や気候について、「いい天気ですね」「暑いですね」などの基本的なあいさつを交わすことができる。」（#511、A1、Ⅶ）と組み合わせるために、「ペットを連れている知り合いに出会った時に、ペットをほめる」という状況をより一般的な「（家の近くなどで）近所の人に会った時に、その人のペットや持ち物をほめる」という内容に書き換えたというものである。なお、Can do 番号は、調整したことがわかるよう、「604a」のように元の番号に「a」を加えている。また、ユニット化にあたり、基本的には「生活 Can do」をそのまま用いるが、このように調整したものもあることから、本事業で作成したユニットにおける生活 Can do は「NKG ユニット版生活 Can do」とした。

オ. 同じ Can do が複数のユニットに現れる場合がある。

カ.「生活 Can do」一覧表にあっても、知識を一度得ればよいと思われるもの、他の Can do と類似するものは、ユニット化しなかった（#570、571、579 等）。

キ. 原則として、A1 から B1 レベルまでの Can do を対象とするが、関連性の強さなどにより、一部、B2 レベルのものをユニットの中に含む場合がある。

（2）コースの設計

カリキュラム作成にあたり、まず、何のための日本語学習・日本語教育かあらためて検討し、その上で、学習者像を設定した。コース全体の期間・時間を大まかに設定し、コース運営の際の方針を定め、その方針を具体化する工夫・留意点を検討した。そして、コースの目標、A1～B1 レベルのコースにおける学習者の成長イメージ、各目標レベルに到達するために必要となる時間を検討し、方針や具体的な工夫・留意点を再考した。その後、教授法・具体的な教室活動・人の配置、教材・リソース、評価方法、コースの時間・期間、コースの内容構成・時間を検討した。その結果が、先述のタイプ1及びタイプ2のコースの「概要」である。

2. 生活 Can do ユニット化（例）[2]

（1）ユニット内の Can do レベルが同じ例

ユニット番号	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	時間（ユニット）	時間（Can do）	引用・参照した生活 Can do 番号	NKG ユニット版 生活Can do	5つの言語活動	Can do レベル
Ⅶ2	A1	きっかけを作るあいさつ	近所の人と会った時に天気・気候・連れているペット・持ち物・服装などについて言及し、親しくなるきっかけを作る。	1	0.5	511	近所の人と、その日の天気や気候について、「いい天気ですね」「暑いですね」などの基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1
					0.5	604	<604a>近所の人に会ったとき、ペットの名前を尋ねたり、ペットや持ち物について「かわいい」などの簡単な言葉でほめたりすることができる。	やり取り	A1

このユニットの中で、#511 は大分類Ⅶ（人とかかわる）であり、#604a の元になる#604 はⅧ（社会の一員となる）だが、ユニットとしては、近所の人とあいさつをして親しくなっていく行動であり、#511 が中心と捉え、Ⅶに分類した。また、2つの Can do のレベルはいずれも A1 であるため、ユニットレベルも A1 である。

[2] 紙面の都合上、表内に縦書きと横書きが混在するが、「資料3. 生活 Can do ユニット」においてはすべて横書きとなっている。

(2) ユニット内の Can do レベルが異なる例

ユニット番号	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	時間（ユニット）	時間（Can do）	引用・参照した生活 Can do 番号	NKG ユニット版 生活Can do	5つの言語活動	Can do レベル
Ⅲ 11	A1	クリーニング店を利用する	クリーニング店でクリーニングを頼む	2	0.5	141	クリーニング店にある看板や表示を見て、服の種類や料金など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	読むこと	A1
					1	142	美容院やクリーニング店などで、会員証の申込書に名前、住所など、自分の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1
					0.5	143	クリーニング店に服を出すとき、実物や料金を示しながら話されれば、「染み抜きをしますか」「デラックスにしますか」などの特別な洗い方に関する店員の簡単な質問に答えることができる。	やり取り	A2

このユニットの場合、A1 の Can do が2つ、A2 の Can do が1つとなっているが、この場面での行動としては連続性があること、具体物を示しながらの行動であることなどから、A1 レベルの学習内容として問題ないと判断し、ユニットレベルを A1 とした。レベルの異なる Can do を組み合わせる際には、この例とは異なり、上位あるいは中位のレベルにする場合もある。

ユニットの一覧は、資料 3 を参照されたい。

Ⅲ. 教師研修モデル

1. 研修モデルの設計について

「「自立を目指す生活日本語カリキュラム」設計の仕方を学び、それを生活分野で仲間とともに活用できる力を養う教師研修モデル」はいかにあるべきかについて話し合い、プラニングを進めた。

1.1 全体の設計図

①目的

・「日本語教育の参照枠」を活用し、「生活 Can do」に基づいて「生活日本語」に関するシラバス・カリキュラム設計を行うことができる人材を育成することを目的とする。

・カリキュラムを設計する力に加え、それを現場の仲間とともに実現できる力を持つ人材を育成することを目的とする。

・評価の適切な理解と実施ができる力を持つ人材育成を目的とする。

・全国にある地域日本語教育現場で活動する人材のネットワーキングの構築を目的とする。

②受講対象者

以下のいずれかに該当する者を対象とする。

・地域日本語教育において、コースデザインを行うなど中核的な役割を担っている中堅日本語教師

・各種日本語教育機関において、コースデザインを行うなど中核的な役割を担ったことがあり、これから生活分野での日本語教育に関わろうと考えている中堅日本語教師等

後者は、今後留学生を対象にした日本語教育に長年関わってきた中堅日本語教師が、積極的に生活分野の日本語教育に関わるなどの動きを促進したいという考えに基づく。

③研修の形態と参加者数

大勢の受講者が可能となるオンライン研修も意義があるが、本研修会は参加者が研修後、それぞれの地域における現場で活用することをめざした研修であることから、対面研修とし、また、ワークショップ形式とした。よって参加者数も、20人に設定した。

④時間数および実施日数

時間を十分にかけられる状況にあれば、より長い時間を設定したいところだが、活動をしながらの研修であることを考えると時間に制限がある。そこで、話し合いの結果、15コマ（単位時間45分）とした。これを実施するにあたっては、1日長時間実施で2日で終了という形ではなく、3回に分けて実施する形態とした。3回実施にあたっても、（1）1週間に一日ずつ3週にわたってする、（2）3日間連続で実施する、と2つの方法が考えられる。今回は、全国各地からの参加者を想定し、3日連続で、午後の時間を活用して5コマずつ実施することとした。その理由は以下のとおりである。

・遠方からの参加者にとっては、宿泊などの関係で、3日間にまとめて実施することが望ましい。

・午前をフリーにすることで、学んだことを振り返ったり、さまざまな参加者との「対話の時間」を取ったりすることで、深い学びにつながり、またネットワーキング構築にもつながる。

今後各地域での実施の場合は、3週にわたっての実施のほうが望ましいと考えられる。それは学んだことを十分に振り返り、仲間と対話する時間も取れることができるからである。

⑤受講料の設定

・受講料は、12,000円に設定する。

⑥研修の内容
・「参照枠」を理解し、教育現場に生かす意義を学ぶ
・「生活 Can do」を活用し、ニーズに合わせたカリキュラム開発の方法を学ぶ
・さまざまな評価方法を理解し、適切な評価活動を考える
・研修のまとめ:現場での共有を目指して

⑦事前課題
研修では、できるだけ受講者同士の話し合いやグループワークに時間を使いたいことから、事前課題を出すこととした。余裕を持って取り組めるよう、できれば3週間から1か月の時間があることが望ましい(具体的な課題については、「2 研修モデル案」において述べることとする)。

⑧使用教材
・「日本語教育の参照枠」(2021、文化審議会国語分科会)
・「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」(2023、文化審議会国語分科会)
※参考資料・「「日本語教育の参照枠」活用のための手引き」(2022、文化審議会国語分科会)
・「地域における日本語教育の在り方について」(2022, 文化審議会国語分科会)

⑨教師研修モデル開発委員会
教師研修モデル開発委員会は、嶋田和子を委員長とし、カリキュラム開発委員会委員長の金田智子、評価モデル開発委員会委員長の島田めぐみ、以上3人で構成され、それぞれの委員会の進捗状況を受け、話し合いを重ねていった。

1.2 モニター教師研修の実施(令和4年度)
本教師研修モデル開発事業がスタートして半年ほどの期間での実施であったことから、令和4年度は、設計図より若干縮小した形で行うこととした。以下、モニター教師研修の実施について簡単に報告する。
・実施協力団体:浜松市外国人学習支援センター
・実施場所: 浜松市外国人学習支援センター
・実施日:2023年2月7日~8日
・募集人員:12名(参加者は前日キャンセルが出たことから11名)
・時間数および実施日数:12コマ(単位時間45分)、2日間午後に実施
・実施後の所見:モニター教師研修であることから、15コマを3コマ減らしての実施となったが、やはり時間的には無理があることがわかった。また、応募要件として評価に取り組むことは必須ではなかったが、モニター教師研修を通して、本カリキュラム開発事業において評価モデル開発委員会を設置し、評価に取り組んだことは大いに意義があることが分かった。

2. 研修モデル案
1.2で述べたようにモニター教師研修を実施し、その結果をもとに振り返りを行い、研修モデルの開発を進めた。翌令和5年度には、教師研修「「日本語教育の参照枠」をもとにカリキュラム設計を学ぶ―「生活分野」での活用

一」を2カ所にて実施した。

表1：令和5年度に実施した2つの教師研修の実施状況

実施場所	協力団体	実施日	定員	参加者	時間数
国際健康開発センター（神戸市）	（公財）兵庫県国際交流協会	2023年11月17日～19日	20人	18人	15コマ
学習院大学東1号館（東京都）	学習院大学	2024年1月26日～28日	20人	18人	15コマ

2.1 東京における教師研修の内容

神戸市と東京都において2つの教師研修を実施したが、ここでは東京での研修をもとに報告する。

①講義の内容

	時間	担当	タイトル	目指したこと
A	3	嶋田	「参照枠」を理解し、教育現場に生かす意義を学ぶ	「日本語教育の参照枠」における言語教育観や評価の理念の重要性を確認し、「参照枠」が「今、なぜ、どのように現場で活用することが求められているのか」について理解を深める。その上で、具体的に構成、レベル、Can do など全体を見ていくこととする。
B	6	金田	「生活 Can do」を活用し、ニーズに合わせたカリキュラム開発の方法を学ぶ	「参照枠」の考え方に基づいた「生活日本語コース」を設計することを目標に、コースの方針、内容、評価等について検討する。「生活 Can do」及び、新たに提示する「モデルカリキュラム」と「生活 Can do ユニット」を活用し、シラバス設計、カリキュラム設計を行う。
C	4	島田	さまざまな評価方法を理解し、適切な評価活動を考える	「参照枠」で示されている評価の理念、評価の考え方を確認し、多様な評価のあり方について理解を深める。さらに、パフォーマンス評価課題と評価のためのルーブリックを作成し、グループで検討し、全体で学びを共有する。よい評価活動が今後の学びにつながることを確認する。
D	2	嶋田	研修のまとめ：現場での共有を目指して	研修全体を通した振り返りの時間とする。また、カリキュラムが開発されても、現場において適切な形で仲間と共有できるよう、「個人の学び」を「組織（全体）の学び」に変えるために求められる教師の資質・能力について共に考える。

なお、それぞれの具体的な項目は、以下のとおりである。

A：「参照枠」を理解し、教育現場に活かす意義を学ぶ

1.「参照枠」誕生の経緯と「目指していること」を理解する

2.「参照枠」の言語教育観から現場での実践を振り返る

3.「参照枠」の枠組みを理解する

B―1：「生活Can do」を活用し、ニーズに合わせたカリキュラム開発の方法を学ぶ（1）

1.「日本語のコース」について振り返る

2. コースデザインのプロセス
3. 「Can do」を用いて、シラバスやカリキュラムを作る」には？
4. コースを作るために：「生活Can do」のユニット化
5. 「生活日本語コース」例の紹介
6. 「生活日本語コース」を設計する

B―2：「生活Can do」を活用し、ニーズに合わせたカリキュラム開発の方法を学ぶ（2）
1. 「生活日本語コース」の設計（第1日目継続）
2. グループごとの発表と全体でのやり取り
3. 授業／教室活動の具体化に向けて
4. 授業／教室活動の具体化 ①工夫の検討 ②案の共有・意見交換など

C：さまざまな評価方法を理解し、適切な評価活動を考える
1. なぜ評価を行うのか
2. 「参照枠」評価の3つの理念
3. 「参照枠」における日本語能力観と評価の考え方
4. パフォーマンス評価の課題を作成し、評価方法を検討する

D：研修のまとめ：現場での共有に向けて
1. カリキュラム開発を共有し、実行するために必要なこと
2. 地域で「参照枠に基づく実践」を進めていくために

②参加者の属性（複数回答） （人）

総括コーディネーター	2
地域日本語教育コーディネーター	8
地域日本語教室における日本語教師	7
日本語学校における主任教員・教育責任者等	3
日本語学校における日本語教師	4
大学における日本語教師	4
養成講座での教員	1
自治体における地域日本語教育事業担当	1
その他（元日本語教師。現日本語研修関連の団体を運営）	1

55名の応募者の中から、研修モデル開発委員会で厳正に選抜をしたが、書類だけでは見えないものがあり、特に地域日本語教育に関する経験や知見の面で課題が見られた。今後は、こうした課題にいかに向き合うかについて検討する必要があると考える。

参加者の活動する地域に関しても、全国からの参加となった。

岩手：1名　山梨：1名　茨城：2名　埼玉：1名　東京：7名　千葉：2名
大阪：1名　広島：1名　徳島：1名　福岡：1名

③事前課題

モニター研修では、以下の2点を提示し「当日使用する教材に、目を通してきてほしい」という指示であった。

「日本語教育の参照枠」（文化審議会国語分科会、2021.10）

「地域における日本語教育の在り方について」別冊(文化審議会国語分科会、2022.11)

参加者から「もう少し焦点を絞って事前学習ができるとよかった」という意見が出されたことから、令和5年度の研修では具体的な箇所を提示することとした。参加者に送付した事前課題は、以下のとおりである。

A	「参照枠を理解し、教育現場に生かす意義を学ぶ	①「参照枠」p.1～23, p.66～71 を読んでおいてください。 ②「参照枠」の「活動 Can do 一覧」の中にある「話すこと：やり取り」p.31～40をざっと見ておいてください。
B	「生活Can do」を活用し、ニーズに合わせたカリキュラム開発の方法を学ぶ	①現在までにデザインしたことのあるコース（あるいは授業を担当したコース）について、概要をまとめてきてください。書式は自由です。可能であれば、当日、使用教材もご持参ください。 ②下記の文化庁サイトで「生活 Can do」のページに進み、「生活 Can do」一覧表（エクセルファイル形式）の構成を確認しておいてください。
C	さまざまな評価方法を理解し、適切な評価行動を考える	①「生活 Can do」の言語活動「やり取り」から Can do を選び、ロールプレイ課題を作成します。取り上げたい「Can do」（やり取り、A1～B1）を、2, 3選んでおいてください。 ②「参照枠」の「Ⅲ日本語能力評価」の p.72～89 に目を通してきてください。
文部科学省「日本語教育コンテンツ共有システム」 https://www.nihongo-ews.mext.go.jp/		

④事前のメーリングリストの有効活用

参加者が決定した段階でメーリングリストを立ち上げ、講師からの事前課題などの連絡事項だけではなく、参加者がお互いに自己紹介をする等ラポール作りに努めた。また、研修のことや事前課題についての質問も自由に出すことができ、効果的であった。ただ、今後は、参加者に事前にメーリングリスト立ち上げの意図などをより明確に提示すること等、配慮すべき点がある。

⑤自己評価表の活用

スタート時において、参加者のレディネスを知ることを目的とし、終了時に再度実施することによって、コース受講の変化を知りたいと考え、自己評価表を研修の事前と事後に実施することとした。また、結果として、受講生にとっても個人の学びの深まりにもつながりなった。詳しくは「2.2 実施後のアンケートから見えること」で述べることとする。

※自己評価表は、24項目からなり、以下の5段階で評価する

5＝とてもよく理解している／十分にできる

4＝だいたい理解している／だいたいできる

3＝ある程度理解している／助けを得ながらならできる

2＝あまり理解していない／知識はあるが経験がない

1＝理解していない／知識も経験もない

⑥共に考えるワークの活用

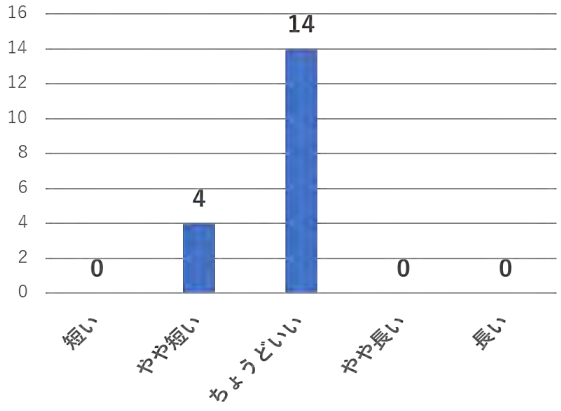
グループでの話し合いを多くし、また、カリキュラム設計やルーブリック評価・ロールプレイ作成など、さまざまな形でグループでのワークを多く取り入れるようにした。また、グループ研修時間外での参加者間のやり取りが活発に行われるよう、参加者間のネットワークづくりにも留意して進めた。

2.2 実施後のアンケートから見えること

13の項目に関してアンケート調査を行った。

Q1「研修の長さ」

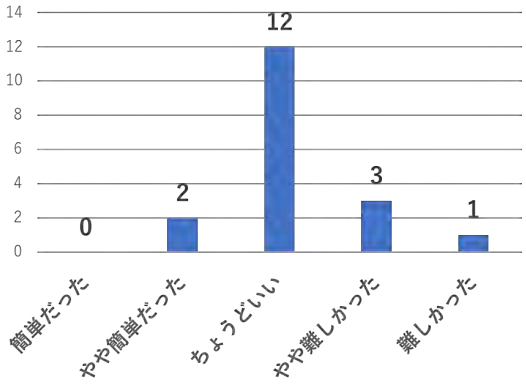
「ちょうどいい」が大半を占めるが、「やや短い」が4名あった。これは、事前課題の出し方などを工夫することによって解決できると考えられる。



グラフ1「研修の長さ」

Q2「研修の難易度」

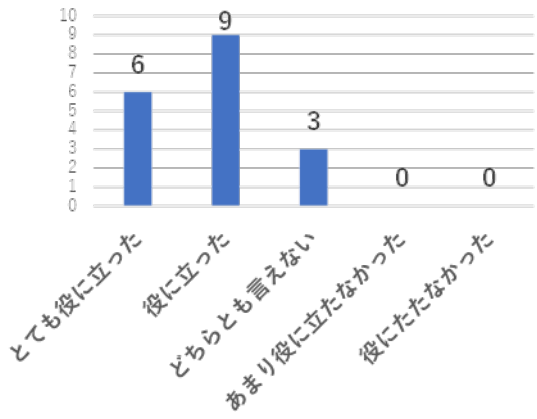
「ちょうどいい」が3分の2であり、「やや簡単だった」が2名いる一方で、また「やや難しかった」「難しかった」が4名いることは、事前課題の出し方などで工夫することが必要であると考える。また、募集の際に、より詳しく情報を得るために「申込シート」の項目を増やすといったことが求められるのではないか。



グラフ2「研修の難易度」

Q3「自己評価表」

「自己評価表は役に立ったか」という問いに対して、15人が「とても役に立った」「役に立った」であり、「どちらとも言えない」が3人であった。その理由を Q4 で尋ねた。



グラフ3「自己評価表」

Q4「自己評価表に関する意見の根拠」（自由記述）

「とても役に立った／役に立った」と回答した参加者があげた理由をいくつかあげることとする。

・自己評価表の項目を問いとすることで、理解度を確認できた。

・自己評価表をつけながら、研修会で学んだことを思い出す機会にもなった。

・研修のはじめと終わりに同じ問いに答えることで、自分自身の変化に向き合うことができた。特に、最終日の自己評価では、研修で学んだことを自分がどのように捉えたかが内省できた。また、内省に加え、次に自分が起こすべき行動を考えるきっかけになった。

・自分が理解不十分なところ、弱いところ、足りないところについて再確認できたことがよかった。

「どちらとも言えない」という回答の理由としては、次のようなものがあげられた。

・「理解している」「できる」とはどの程度かで、 自分の中で基準があいまいであった。

・研修前と後では理解の深まりがあった。しかし、どのように評価表に反映させるとよいか考えてしまった。

なお、対応のある *t* 検定の結果、すべての項目について「研修終了時の平均値は研修スタート時の平均値よりも有意に高い」ことが分かった。また、スタート時に平均値が比較的高く、終了時も平均値が比較的高かった項目は、「参照枠」理解項目などであった。逆に、スタート時に平均値が比較的低く、終了時も平均値が比較的低かった項目は、評価に関する項目であった。

次の3項目、Q5[研修の時期]、Q6「研修の時間帯」、Q7「事前課題」などは特に課題もなかったことから、ここでは割愛することとする。

Q8「得られた学び」（自由記述）

4つの項目に分けて記載する。

＜参照枠の理解＞

・「参照枠」を学んで、「自分の実践を説明することば」が増えた。

・「参照枠」はスタンダードではなく、フレームであることを学んだ。

・この機会がなければ、「参照枠」について表面的な理解しかできなかった。

・3つの理念の重要性に気づいた。

・補遺版のことも知ることができた。

＜「参照枠」「生活 Can do」の活かし方＞

・コースデザインする際、授業の準備でも、「参照枠」に示されている考え方に立ち返ることが大切だとわかった。

・どのようなゴール設定をするかは、人によって異なることがわかった。

・生活 Can do をプログラムに入れる際の具体的な道筋が描けるようになった。

＜関係者間の対話での「参照枠」活用＞

・「参照枠を活用して何がどのようにできるようになるのか」を地域の日本語教育に関わる人たちと共有することが必要である。

・「参照枠」「生活 Can do」を共通言語として関わる人と対話し、運営していけると感じられた。

・地域や外国人県民等に関わる関係者に対して、「参照枠」の考え方を伝えていく、広めていくことの大切さがわかった。

＜評価について＞

・評価は絶対的なものではなく、目的や環境・関わる人に応じてデザインしていくものだと気づいた。

・評価で大事にすべき観点、誰の評価を誰がどんな観点で評価していくかを、自分の実践に引き付けて考えるきっかけになった。

Q9 「現場でどう生かすか」（自由記述）

参加者が関わっている現場をもとに、さまざまな意見が出され、今回の目的がある意味達成できたことが窺える。以下、いくつか紹介することとする。

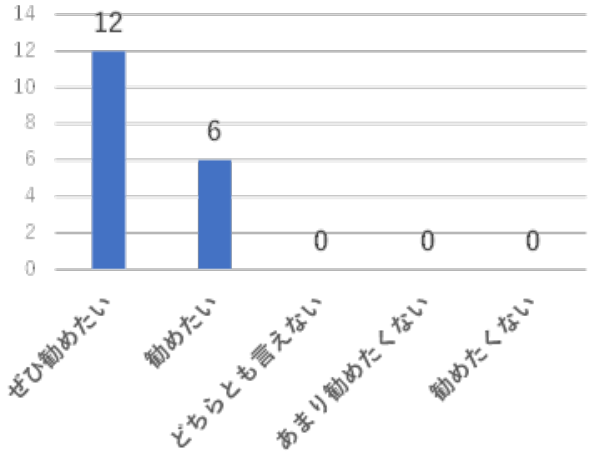
・「参照枠」の理念、どう実践の場に取り入れていけるかを共に考える場を作っていきたい。

・「自律学習」「生涯学習」に繋げられるように、現場の実践に取り入れ、今回の学びを職場に伝えていきたい。さらに地域日本語コーディネーターとして支援者や地域日本語教室にも「参照枠」の理念を伝えたい。

・職場の仲間と共有し、どう地域に伝えていくか、どのような研修会を開くかなどを県と話し合い、日本語教室で使える自主制作教材の作成も検討したい。

・「参照枠」が提示されたことで、行政も日本語教育のイメージが掴みやすくなったこと、また、日本語教育に全く関わりのない住民に対しての理解も進められると期待している。また、地域社会で「参照枠」をどう生かし、実践していくかが勤務する財団の責務だと思った。

Q10 「本研修を勧めたいか」



グラフ4「本研修を勧めたいか」

「ぜひ勧めたい」が3分の2、残りは「勧めたい」という回答であった。参加者全員が回りの人々や職場に伝えていきたいと答えていることから、本研修の目的の一つである「カリキュラムを設計する力に加え、それを現場の仲間とともに実現できる力を持つ人材を育成する」ことに寄与できたと考える。

Q11「誰に勧めたいか」（自由記述）

・都内の日本語学校の責任者に勧めたい。今後、行政が初期日本語教育を実施するにあたり、専門家との連携が必要だから。
・同僚、日本語教師仲間に勧めたい。生活者向けだけでなく、日本語教育全体に知ってもらい、それを基に話し合って変えていくことが必要。
・まずは地域日本語教室で活動の核となっているリーダー。次に、地域に日本語教室でボランティア養成講座を行っている団体や講師。まずはこうした人を中心に広めていく必要がある。

Q12「研修で十分でなかった点」（自由記述）

・講師への質疑応答の時間がもう少しほしかった。
・もっと話し合いの時間がほしい。
・地域に何をどのように伝えていくかについての意見交換の時間。
・一つ一つのタスクの時間がもう少し必要。

Q13「今回の研修全体」（自由記述）

・日本語教育の現場が今後どうなっていけばいいのかの道筋を示してもらえた。
・支援を必要とする学習者に寄り添う参加者の方々の熱意に力づけられた。
・対面研修は、とてもエネルギーが集まる場だと再認識した。こうした場で、もっと「参照枠を活用したカリキュラム設計」の多様なありかたを議論したかった。
・「仲間と一緒に学ぶ」とは、こんなに楽しいことだと実感した。
・熱い思いを持っている人がこんなにいることを知って、希望の光が見えてきたように思う。
・全国で地域日本語教育に取り組む仲間と知り合えたこと、研修を超えてつながりが出来たことが大きな学びと喜びである。
・この研修で得たネットワークを使い、みんなで話し合って進めていきたい。フォローアップ講座を行い、実践や途中経過、課題共有の場を作ってほしい。

3. 今後の課題

2年にわたって教師研修モデル開発に取り組んできた。モニター研修及び神戸研修を振り返った上で行った東京研修について、2.1「東京における研修の内容」2.2「実施後のアンケートから見えること」で述べた。今後、各地でこうした研修が、さまざまな形で行われることを期待したい。それに向けて、次のことを提案しておく。

① 時間的制約の中で、より充実した内容にするための工夫

→ 資料を見ておくだけではなく、研修の講義的な部分に関する動画を作成し、事前課題とすることで、より効果的な事前学習が期待できる。そのことによって、研修の中での話し合いの時間をより多く取ることができる。

② 今回の学びを継続し、さらに深めるための工夫

→ フォローアップ講座の可能性を探る必要がある。複数の受講生から「フォローアップ講座」の実施を要望する声があがった。「できればこの団体で実施してほしいが、むずかしい場合は受講者間で自主的に立ち上げ、お

互いの現場での状況、工夫などをシェアしたい。対面が望ましいが、難しい場合は個別対応とし、全体としてはオンライン実施でどうか」という積極的な意見も出ていた。

③ 現場でカリキュラム開発に取り組むために、実践例の共有

→「先行して開発事業に取り組んでいる地域の事例を共有する機会を作ってほしい」という意見も、受講者から出された。既に開発事業に取り組んでいる例として、モニター研修を実施した「浜松市外国人学習支援センター」の事例を掲載しておく（2024.2.23 実施の「成果報告会」にて紹介済み）。

浜松市外国人学習支援センター（U-ToC）では、モニター研修を複数のスタッフが受講したことで、「自立を目指す生活日本語カリキュラム」への関心・理解が深まり、2023 年度に立ち上がったプロジェクトで、来年度の試行に向け、7名のメンバーで活動中である。

参考資料として、「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン 2023-2027 年度」より「初めて日本語を学ぶ人向けの日本語教育プログラムの提供（レベル：A1～B1）」の計画案を提示する。

https://www.hi-hice.jp/uploads/doc_actionplan_R4.pdf

推進施策 ❷ 学習機会の確保・充実

主な取り組み	2-1 外国人学習支援センターを拠点とした日本語教室の拡充

具体案	スケジュール					KPI
概　要	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
2-1-1 初めて日本語を学ぶ人向けの日本語教育プログラムの提供（レベル：A1～B1） 初めて日本語を学ぶ人が、自立した言語使用者（B1レベル相当習得）となり、地域で自分らしく生活できるようになるため、行動中心アプローチに基づいた日本語教育を行うとともに、体系的に学べる学習機会を提供する。	生活Can doを用いた浜松版生活日本語カリキュラム（A1～B1）の開発	浜松版生活日本語カリキュラムの試行・検証、教材開発	浜松版生活日本語カリキュラムの実施			2027年度終了時点で学習者アンケートによる満足度の高い人90%

（「浜松市地域日本語教育推進アクションプラン 2023-2027 年度」p.11 より）

資料1 「能力 Can do」の書き換え例 1/2

		ポイント	A1	A2/A2.1	A2.2	B1/B1.1	B1.2
共通	語彙のつかいこなし	自分が知っていることばの中から、適切な表現を選び出す能力に関するもの。 ポイントはどのようなコミュニケーションでそうした行為ができるか。		日常生活の簡単なコミュニケーションで必要な語彙を使うことができる		複雑な内容でなければ、日常生活の基本的なコミュニケーションで必要な語彙を使うことができる	
共通	文法的正確さ	文法的な正しさに関する能力。	限られた文法や文型を使うことができる	いくつかの文法や文型をある程度正しく使うことができる		よく使われる文法や文型をある程度正しく使うことができる	その人にとってなじみのあるさまざまな場面で、コミュニケーションに支障がない程度に正しく文法や文型を使うことができる
話す	音素の把握	発音に関するもの。ポイントは、わかりやすさ。	発音のくせやまちがいはあるが、よく話をする相手にはわかる程度に話すことができる	発音のくせやまちがいがあるが、だいたいわかるように話すことができる		発音のくせやまちがいが少なく、わかりやすく話すことができる	
書く	正書法	文字を書き写したり、つづりや句読点、レイアウトなどに配慮して書く能力に関するもの。ポイントは書き写すものの身近さや文のわかりやすさや長さ。	挨拶などの短い定型文を書き写したり、名前や出身国・地域などの自分の情報を文字で書くことができる	短い文を書き写したり、話の中に出てきた短い語彙や表現を文字で書くことができる		まとまった長さの文を、つづり、句読点やレイアウトなどに配慮しつつある程度正確に書くことができる	
共通	社会言語的な適切さ	言語使用の社会的側面に対応する能力に関するもの。ポイントは、その場面に合った表現が使えるか、ですますなどのような中立的な、丁寧な言葉遣いで社会的関係性の構築に寄与するコミュニケーションができるか。	挨拶やいとまごい、紹介などの社交的な場面で、「はじめまして」「失礼します」など、その場に合った定型表現を使うことができる	短い社交的な会話や簡単な誘い、謝罪などの場面で、その場に合った丁寧なことばを使うことができる	ですますの形を使った丁寧な言葉づかいで基本的な言語活動に対応でき、日本語のコミュニケーションの基本的な慣習に従って行動できる	ですますの形を使った丁寧な言葉づかいで幅広い言語活動に対応でき、日本語のコミュニケーションの(複雑ではない)礼儀慣習を認識して行動できる。	
共通	柔軟性	学んだことばを創造的に結び付けて使う力に関するもの。		これまでに学んだ文型や表現の組み合わせを変えて、別の言い方をすることができる	限られた範囲ではあるが、これまでに学んだ語彙や表現を使ってその場に合わせたやりとりをすることができる	自分の言いたいことを言うために、基礎的な語彙や表現を幅広く使うことができる	難しいシチュエーションでも、同じような表現ばかりにならず、その状況に合わせた表現を使うことができる

資料1 「能力 Can do」の書き換え例 2/2

		ポイント	A1	A2/A2.1	A2.2	B1/B1.1	B1.2
話す	発言権	やりとりをする中で、自分が発言する機会を得る力に関するもの。話し始めたことを最後まで終えられるか、会話やディスカッションなどの場面で口をはさむことができるかなど。		発言するために、手をあげたり視線を送ったりするなど、何らかの方法がとることができる	簡単なやり方で、短い会話を始めて、続けて、終わらせることができる	簡単な会話を始めて、続けて、終わらせることができる	なじみのある話題であれば、自分で発言のタイミングを得て話し合いに参加することができる
話す	話題の展開	何をどんな順番でどのように話すかなど、談話を構成する能力に関するもの。		ポイントを簡単に並べるような方法で、物語を話したり、物事を説明したりできる		例えば、事柄を直線的に並べるような単純な構成だが、できごとをまとめて話すことができる	
書く	話題の展開			ポイントを簡単に並べるような方法で、物語を書いたり、物事を説明したりできる。		例えば、事柄を直線的に並べるような単純な構成だが、できごとをまとめて書くことができる	
話す	一貫性と結束性	ことばや文を結び付けて関連性を持たせたり、段落を構成したりして一貫性のあるものにまとめる力に関するもの。	「そして」や「それから」など、2～3の接続表現を使って、ことばをつなげることができる	「そして」「しかし」「～だから」など、いくつかの接続詞を使ってつながりをつけることができる	単純な接続表現を使って、文をつなげることができる	簡単な接続表現を使って、まとまりのある文を書くことができる	
書く	一貫性と結束性		「そして」や「それから」など、2～3の接続表現を使って、ことばをつなげることができる	「そして」「しかし」「～だから」など、いくつかの接続詞を使ってつながりのある文を書くことができる 話すと同じにしたい	単純な接続表現を使って、文をつなげて書くことができる	簡単な方法でつながりをつけて、まとまりのある文を書くことができる	
話す	話しことばの流暢さ	流暢に話す力に関するもの。	間があくことが多いが話すことができる	なじみのある話題の短いやりとりなら、言葉に詰まったり言い直したりすることもあるが、話すことができる	言い直したり、言い換えたりすることが多いが、自分の言いたいことを相手にわかるように話すことができる	話が長くならなければ、わかりやすくスムーズに話すことができる	わかりやすくスムーズに話せる。
共通	叙述の正確さ	言いたいことを意図したとおりに言語化する力に関するもの。		パターン化された内容であれば、表現することができる		直接的ではあるが、わかりやすく表現することができる	考えや問題の要点をある程度くわしく表現することができる

資料２ パフォーマンス評価のための課題サンプル

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」1/7

レベル	A1	A1	A1
パターン	③学習者と指導者	③学習者と指導者	③学習者と指導者
生活上の行為	人とかかわる	目的地に移動する	消費活動を行う
ユニット	あいさつとジェスチャー	タクシーに乗る(1)	レストランに予約をしてから行く
カテゴリー	やりとり_情報の交換	やりとり_情報の交換	やりとり_製品やサービスを得るための取引
生活Can do	日本語教室のクラスメートなどに、お互いの国のあいさつの言い方やジェスチャーの意味について、ごく簡単な言葉で尋ねたり、答えたりすることができる。(A1_353)	駅などで、近くにいる人などに、タクシー乗り場やバス乗り場がどこにあるか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。(A1_163)	レストランの入口で、店員に名前や予約時間などを聞かれたとき、答えることができる。(A1_127)
ロールA	あなたはクラスメートと話しています。クラスメートからの質問に答えてください。	あなたは友人の家に行くのにバスに乗りたいです。5番のバス停がわかりません。近くの人に聞いてください。	あなたはレストランにいきました。入口で店員の質問に答えてください。
ロールB	あなたはクラスメートに次のことを質問してください。 ・○○さんの国では、何といって挨拶をしますか。 ・どうやってあいさつをしますか。 ・どのような意味ですか。	あなたは外国人にバス乗り場を聞かれました。ここは東口ですが、5番のバス停は西口です。バス乗り場を教えてください。	あなたはレストランの店員です。外国人のお客に対応してください。以下のことについて聞いてください。 ・人数 ・予約の有無 ・喫煙席か禁煙席か
タスク達成のための手がかりになる内容	・自分の言語のあいさつを言うことができる。 ・あいさつをするときのジャスチャーがすることができる。 ・ジェスチャーの意味を伝えられる。	・自分から話しかける。 ・自分が乗りたいバス停はどこにあるかを質問する。 ・感謝の気持ちを述べる。	・予約をしているかどうかを伝えることができる。 ・何人で来店しているかを言える。 ・喫煙席か禁煙席を言える。
モデル会話	A:チェン(学習者)B:友だち(指導者) B:チェンさん、こんにちは。 A:こんにちは。 B:タイ語で「こんにちは」は何といいますか。 A:「サワディークラップ」です。 女の人は「サワディーカー」です。 B:どうやってあいさつしますか。 A:こうします(手を合わせる)。	A:町の人(指導者) B:学習者 A:すみません。5番のバス停はどこですか。 B:5番のバス停ですか。 5番のバス停は「西口」にあります。 A:えっ。 B:ここは「東口」です。駅の反対側です(ジェスチャー)。 そこの階段を使うといいですよ。 A:ああ、分かりました。ありがとうございます。	A:店員(指導者) B:客(学習者) A:いらっしゃいませ。何名様ですか。 B:2人です。 A:予約はしてありますか。 B:していません。 A:たばこは吸いますか。 B:吸いません。 A:それでは、こちらへどうぞ。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」2/7

レベル	A1	A1〜A2	A2
パターン	③学習者と指導者	③学習者と指導者	④学習者と地域の人
生活上の行為	人とかかわる	健康・安全に暮らす	健康・安全に暮らす
ユニット	物をあげる	病院で診察を受ける（初診）	街の薬局で薬を探す
カテゴリー	発表_聴衆の前での講演	やりとり_インタビューすること、インタビューを受けること	やりとり_製品やサービスを得るための取引
生活Can do	友人にプレゼントやお土産をあげるとき、「どうぞ」「つまらないものですが」などの短い簡単な定型表現を言うことができる。（A1_530）	病院の受付などで、「初めてですか」「保険証はありますか」などの基本的な質問に答えることができる。(A1_275) 時々繰り返しや説明を求めることができれば、病院などで、どこがどのくらい痛いかなどの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。(A2_276)	薬局・薬店で薬を買うとき、薬剤師や店員に自分の状況を伝え、薬剤師からの症状や薬に関する簡単な質問に答えることができる。（A2-19）
ロールA	あなたは旅行に行って友人にお土産を買いました。友人にお土産を渡してください。	あなたは頭が痛くて病院に行きました。受付での質問に答えてください。	あなたは「頭が痛い」などの症状があります。薬局に行って，店員に症状を伝えてください。そして，店員からの質問に答えて，薬を買ってください。 ＊症状は，「頭が痛い」以外のものでもいいです。
ロールB	あなたは田中さんです。友人からお土産をもらいます。お礼を言ってください。	あなたは病院の受付の人です。外国人の患者に質問をしてください。以下のことについて聞いてください。 ・初めてか ・健康保険証を持っているか ・どのような症状か ・いつからか	あなたは薬局の薬剤師です。お客さまの症状を聞いて，次のことを確認してください。 ・いつからですか ・熱はありますか ・お薬のアレルギーはありますか ・30錠入りと60錠入りがありますが，どのサイズがいいですか。 ・その他（車の運転をしますか）
タスク達成のための手がかりになる内容	・「どうぞ」「つまらないものですが」などの短い簡単な定型表現を言うことができる。	・初めてかどうかを伝えることができる。 ・健康保険証を持っていることを伝えられるか。 ・症状を簡単なことばで伝えらえる。 ・いつから症状があるかを言える。	・どのような症状か言える ・質問されて，いつからか言える ・質問されて，熱があるか言える ・質問されて，どのサイズがいいか言える
モデル会話	A：友だち（学習者）　B：田中さん（指導者） A:田中さん、先週、友達と沖縄に行きました。これ、沖縄のお土産です。どうぞ。 B：ありがとうございます	A:患者（学習者）　B:受付（指導者） B:おはようございます。 A:おはようございます。 B:こちらは初めてですか。 A:はい、初めてです。 B:保険証はお持ちですか。 A:はい、あります。 B:今日はどうされましか。 A:頭が痛いです。 B:いつから痛いですか。 A:昨日の夜からです。 B:それではこちらの問診票に記入をお願いします。 熱を測ってここに書いてください。 A:はい、わかりました。 B:あちらのソファでおかけになって記入してください。 A:はい、ありがとうございます。	A:患者（学習者）　B:店員（地域の人） A:すみません。頭が痛いんですが，薬をください。 B:症状はいつからですか。 A:昨日からです。 B:そうですか。他に症状はありますか。 A:え？何ですか。 B:他に，熱があるとか，気持ち悪いとか，めまいとかはありませんか。 A:いいえ。頭だけです。 B:そうですか。お薬のアレルギーはありますか。 A:いえ，ありません。 B:では，これがいいと思います。大きい箱のと小さい箱のがありますが，どちらがいいでしょうか。 A:小さいのをください。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」3/7

レベル	A2	A2	A2
パターン	②学習者同士	③学習者と指導者	③学習者と指導者
生活上の行為	人とかかわる	健康・安全に暮らす	目的地に移動する
ユニット	文化の違いを理解する	おすすめの歯科医院を予約する	通勤のために自転車を利用する
カテゴリー	やりとり_情報の交換	やりとり_製品やサービスを得るための取引	やりとり_製品やサービスを得るための取引
生活Can do	お互いの国や地方の文化や習慣について、あいさつの仕方や食事の作法などの簡単な情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。(A2_539)	電話で病院や歯医者の予約をするとき、ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、日時、診察理由など病院のスタッフの質問に答えることができる。(A2_467)	駐輪場の係員に、利用料金や支払方法や支払場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。(A2_489)
ロールA	それぞれの国や地域の食事のマナーについて、何を使って食べるか、してはいけないことは何かなどについて話してください。自分だけが話すのではなく、相手に質問したりして相手からも話を聞いてください。	あなたは歯が痛いです。歯医者に電話をして予約をしてください。	あなたは駅前の駐輪場を使いたいと思っています。駐輪場の係員に駐輪場の係員に料金や支払う方法や支払う場所などについて質問してください。
ロールB	それぞれの国や地域の食事のマナーについて、何を使って食べるか、してはいけないことは何かなどについて話してください。自分だけが話すのではなく、相手に質問したりして相手からも話を聞いてください。	あなたは歯医者のスタッフです。外国人の患者の予約をしてください。以下のことについて聞いてください。 ・名前・電話番号 ・予約の日時 ・症状	あなたは駐輪場の係員です。外国人に料金や支払う方法や支払う場所について説明してください。 1定期利用の場合　申し込みをした後でコンビニで支払う。 2一回利用の場合　その場で現金で支払う。
タスク達成のための手がかりになる内容	・食事のとき何を使って食べるか(はしかスプーンか) ・食事の時のマナーは何か(した方がいいことは何か/してはいけないことは何か) ・自分が話すだけではなく相手に質問ができるか	・名前をはっきりと相手に伝えられるか。・電話番号をきちんと伝えられる。・希望の予約の日と時間を伝える。・どのような症状かを簡単なことばで説明できる。	・駐輪場についての使い方の質問をする。・駐輪場の利用料金につい質問する。・支払いについて質問する(どこで、どんな方法で)。
モデル会話	A：学習者１　B：学習者２ A：ラジさんの国では、食事のとき、何で食べますか。 B：手で食べます。右手を使って食べます。でも、左手を使ってはいけません。左手はきれいじゃありませんから。 A：そうなんですか。私ははしで食べますが、スプーンもよく使います。 B：食事のときにしてはいけないことがありますか。 A：静かに食べなければいけません。おしゃべりもあまりよくないです。 B：そうですか。	A:患者(学習者)　B:スタッフ(指導者) B:おはようございます。ホワイトデンタルクリックです。 A:もしもし、昨日から歯が痛いのですが診てくれませんか。 B:こちらでの受診は初めてですか。 A:はい、初めてです。 B:そうですか、本日は予約でいっぱいなのですが。 A:明日は予約できますか。 B:はい、午前中でしたらご予約できます。 A:明日の11時に予約したいです。 B:それでは、お名前とお電話番号をお願いします。 A:名前はエマ　ブラウンです。電話番号は09012345678です。 B:確認させてください。お名前はエマ　ブラウンさんですね。お電話番号は09012345678ですね。 A:はい、そうです。 B:それでは明日11時にお待ちしています。明日いらっしゃる際には保険証を持ってきてくださいね。 A:はい、分かりました。よろしくお願いします。	A：学習者　B：駐輪場のスタッフ（指導者） A：すみません、ここの駐輪場を使いたいんですが。 B：はい、大丈夫ですよ。 A：いくらですか。 B：一日200円です。一か月の定期利用だと3000円です。 A：えっ、てい、、、 B：定期利用ですか。一か月の料金のことです。 A：ああ、はい。じゃそれでお願いします。どのように払いますか。 B： 定期利用の場合は申込書に必要事項を記入してからコンビニで料金を支払ってください。 A：はい、わかりました。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」4/7

レベル	A2	B1	B1
パターン	③学習者と指導者	①学習者と指導者	②学習者同士
生活上の行為	消費活動を行う	健康・安全に暮らす	社会の一員となる
ユニット	レストランに予約をしてから行く	診察室でけがの症状を説明する	地域の人と知り合いになる
カテゴリー	やりとり_製品やサービスを得るための取引	やりとり_インタビューすること、インタビューを受けること	やりとり_会話
生活Can do	電話でレストランなどの予約をするとき、ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、日時、人数などの店員の質問に答えることができる。(A2_479)	病院などで、症状や過去の病気などに関する質問に対して、ある程度正確に答え、内容によっては主体的に話を展開させることができる。(B1_13)	自治会の行事などで初めて会った人に話しかけ、住んでいるところや家族のことなど身近な話題について質問したり、質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。(B1_327)
ロールA	あなたは電話でレストランなどの予約をします。レストランの予約をしたいことを伝えて、店員の質問に答えてください。	あなたは体調不良のため，病院に行って，診察を受けます。 最初に，医師からの質問に答えてください。 そして，過去の病気や症状について説明してください。	あなたは住んでいる地区の町内会に初めて出席することになりました。知り合いはだれもいません。知り合いを作るために、会が始まるのを待っている間、隣に座った人に話しかけて、住んでいるところやお互いの家族のことなどについてやりとりをしてください。
ロールB	あなたはレストランの店員です。外国人のお客の予約の電話を受けてください。以下のことについて聞いてください。そして、レストランは禁煙であることを伝えてください。 1名前、電話番号 2日時、人数 3コース料理を注文するか	あなたは病院の医師です。患者さんに，症状について次の質問をしてください。 ・どのような症状ですか ・いつからですか。 ・過去の病気についての質問してください。 (今までにでもあったか，今まで他にかかった病気はあるか)	あなたは住んでいる地区の町内会に初めて出席することになりました。知り合いはだれもいません。会が始まるのを待っている間、隣に座った人に話しかけられました。その人の質問に答えたり、相手のことについて質問したりしてください。
タスク達成のための手がかりになる内容	・電話で自分の名前を伝えることができる。・予約したい日と人数を伝える。・コース料理について質問をして注文する。	・質問されて，どのような症状か説明する ・質問されて，症状はいつからか答える ・質問されて，今までどのような病気になったことがあるか説明する	A自分から話しかけることができるか ・どこに住んでいるか ・だれと住んでいるか(一人か、家族とか、子どもはいるのかなど) ・いつごろから住んでいるか ・この地域のいいところはどんなところか ・自分の情報を開示しながら相手にうまく質問ができるか ・会話を自然に終わらせることができるか
モデル会話	A:店員(指導者)　B:客(学習者) A:いつもありがとうございます。レストランさくらの横田です。 B:すみません。予約をしたいんですが。 A:はい、いつがよろしいですか。 B:9月10日の1時です。 A:何名様でしょうか。 B:4人です。 A:少々お待ちください。大丈夫です。コース料理がありますが、注文しますか。 B:コースは注文しません。 A:はい、分かりました。こちらのレストランは禁煙ですが、大丈夫ですか。 B:はい、大丈夫です。 A:それでは、お名前と電話番号を教えてください。 B:エマ　ブラウンです。電話番号は111-1111です。 A:エマ　ブラウンさんですね。電話番号は111-1111ですね。 B:はい。 A:それでは当日お待ちしています。 B:ありがとうございます。	A:医師(指導者)　B:患者(学習者) A:どうしましたか。 B:とても気持ちが悪くて，朝，2回吐きました。 A:その前に何か食べましたか。 B:いえ，何も食べていません。 A:昨日はどうですか。何かいつもと違うものを食べませんでしたか。 B:うーん，いつもと同じです。 A:そうですか。他に症状はありますか。 B:いえ，気持ち悪いだけです。 A:お腹の調子は大丈夫ですか。 B:はい，大丈夫です。 A:今，食欲はないんですね。 B:ありません。 A:これまでに，このようなことはありましたか。 B:うーん，あ，5年ぐらい前に貝を食べて、吐いたことはあります。 A:そうですか。昨日や一昨日，貝などは食べていませんか。 B:いえ、食べていません。 A:そうですか。では，ちょっと血液検査をしましょう。	A:学習者1　B:学習者2 A:あの、わたし、今日初めて参加したんですが、何か持ってくる ものとかありますか。 B:あ、いや、特にありませんよ。メモを取るためのペンとかがあればいいと思います。ペン、ありますか。 A:あ、はい、ペンはあります。ありがとうございます。あの、いつも参加されるんですか。 B:いえいえ、私もときどきです。今日で3回目かな… A:3回目ですか。あ、私、ウマルと言います。すみません、よかったらお名前伺ってもいいですか。 B:あ、すみません。私はナインです。ウマルさんは、インドネシアですか。 A:あ、はい。そうです。ナインさんはどちらからいらっしゃったんですか。 B:私は、ベトナムのホーチミンです。あの、ウマルさんはこの近くに住んでいるんですか。 A:あー、歩いて5分ぐらいです。山田駅の近くなんです。 B:あ、駅の方ですか。私はこの裏なんです。 A:わー、近いですね。ご家族といっしょですか。 B:いえ、家族はベトナムにいるので、一人で住んでいるんですよ。 A:あ、私もです。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」5/7

レベル	B1	B1	B1
パターン	②学習者同士	②学習者同士	③学習者と指導者
生活上の行為	人とかかわる	消費活動を行う	健康・安全に暮らす
ユニット	食事をしながら雑談をする(2)食生活	飲食店で料理について質問する	おすすめの歯科医院を予約する
カテゴリー	やりとり_情報の交換	やりとり_情報の交換	やりとり_情報の交換
生活Can do	友人と食事をしているとき、自宅ではどのようなものを食べているか、どこで食材を買っているかなど、食生活についての詳しい情報を質問したり、質問に答えたりすることができる。(B1_421)	地域のエスニックレストランなどの飲食店についてよく知っている人に、場所や雰囲気、好みの料理、アレルギーやハラルへの対応の有無などの希望を詳しく言って、必要な情報を得ることができる。(B1_399)	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりすることができる。(B1_397)
ロールA	あなたは友人と食事をしています。友人にふだん自宅ではどのようなものを食べているか、食材はどこで買うのかなど、食生活について詳しく聞いたり、自分の食生活について放したりしてください。	あなたは新しくこの町に引っ越してきました。友人におすすめのレストランについて聞いてください。どのような雰囲気か、どのような食べ物が好きか説明をしてください。アレルギーや食べられないものの説明もしてください。	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりしてください。
ロールB	あなたは友人と食事をしています。友人が食生活を話題に話し始めました。友人からの質問に答えたり、友人の食生活について質問したりして、お互いの食生活についてくわしく情報交換してください。	あなたは新しくこの町に引っ越してきたBさんにおすすめのレストランを教えてください。どのような雰囲気か、どのような食べ物があるかを説明してください。アレルギーや食べられないものについても質問してください。	あなたはAさんの友人です。Aさんは初めて歯医者に行くので心配です。Aさんの質問に答えて、歯医者の情報を教えてください。
タスク達成のための手がかりになる内容	・普段の食事ではどんなものを食べているか ・食料品の買い物はどこで(どんなところで)するか ・食事について気を付けていることは何か、それはどうしてか/何のためか ・自分が話すだけじゃなく、相手に質問ができるか	・エスニック料理店に行きたいことを伝える。 ・エスニック料理店についての自分の印象や感想を述べる。 ・どのような料理があるのか。 ・食べられない料理や好きな気料理について説明する。 ・苦手なものや矢部られないのもかを説明する。(嫌いで食べないのか、アレルギー等で食べないのか) ・質問に答えるだけではなく、レストランについても質問をする。	・近所の歯医者での体験を説明できる。 ・対応の仕方や技術についてどのように感じたのかを伝える。 ・相手の情報についても質問することができる。
モデル会話	A:学習者1　B:学習者2 A:アリーさんは自炊するんですか？ B:え？じすい？ A:あ、自分でご飯を作るか、という意味です。 B:ああ。はい。ふだんは自分でタイ料理を作って食べています。 A:そうなんですか。タイ料理の材料って、この近くでは買えないんじゃないですか？ B:そうですね。でも、日本で買えるものもあるので、できるだけ日本の野菜とかを使って作っています。ナンプラーとか、調味料はまだタイから持ってきたものがあるので。 A:あ、そうなんですか。 B:マイカさんも、ふだんは自分でご飯を作るんですか。 A:うーん、私はあまり料理が得意じゃないんです。だから、だいたいスーパーで買います。 B:そうなんですか。 マイカ:アリーさん、タイ料理って、どんなものを作るんですか？ A:そうですねぇ。よく作るのは、カオマンガイですね。 B:あ、鶏肉をご飯にのせたやつですか？ A:はい、そうです。材料も日本で買えるものだし、たれもにんにくやショウガがあれば、おいしく作れるし、簡単ですよ。 B:いいですね。食べてみたいなぁ。 A:こんど、作って持ってきます。 B:え～、楽しみです！	A:学習者　B:山本さん(指導者) A:山本さん、来週友だちが日本に来るんですが、このあたりにいいレストランありませんか。 B:日本料理のレストランですか。 A:いや、友だちはイスラム教なので豚肉とお酒がダメなんですよ。日本料理には、醤油とかみりんが入っています。醤油とみりんはお酒が入っているのでダメです。 B:そうなんですね。どんな料理がいいですか。 A:ハラルのお店がいいですけどね。 B:ハラルって何ですか。 A:ハラルは、イスラム教のルールで食べることが許された食べ物のことです。イスラム教では「食べてよいもの」と「食べてはいけないもの」が細かく分かれています。イスラム教では、豚肉もダメなので、鶏肉か羊の肉でおいしいお店がいいです。 B:羊の肉ですか。それなら新しくできたモンゴル料理のお店はどうですか。 A:モンゴル料理ですか。食べたことないんですが、どんな料理ですか。 B:羊の料理がおいしくて有名ですよ。味付けもシンプルで塩と香辛料で味付けをします。 A:いい感じのレストランですね。でも高くないですか。 B:そうでもないですよ。一人3000円くらいで食べられておなかいっぱいになりました。ただ、ハラルについてはよく分からないので、一度聞いてみるといいですね。 A:はい、分かりました。ありがとうございます。	A：学習者　B：田中さん（指導者） A：田中さんはよく歯医者に行きますか。 B：そうですね、一年に一回くらいは行きますよ。 A：そうなんですね。実は昨日から歯が痛くて歯医者に行きたいんですが、歯医者は痛くて嫌なんですよ。どこかいい歯医者を知りませんか。 B：私が行っている歯医者ではないんですが、友人が行っている歯医者はいいみたいですよ。時間をかけてよく診てくれるみたいだし、無痛治療というのをしているそうです。 A：無痛治療ってなんですか。 B：痛みを感じにくいようにしてくれる治療法ですよ。 A：それはいいですね。でも田中さんはどうしてその歯医者に行かないんですか。 B：とてもいい歯医者なので予約を取るのが大変なんですよ。 A：そうなんですね。情報ありがとうございます。一度診てもらおうと思います。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表」6/7

レベル	B1	B1	B1
パターン	③学習者と指導者	①1人で話す	③学習者と指導者
生活上の行為	消費活動を行う	人とかかわる	目的地に移動する
ユニット	トラブルを解決する	他者との関係を円滑にする	自転車のメンテナンス
カテゴリー	やりとり_製品やサービスを得るための取引	発表_長く一人で話す：経験談	やりとり_製品やサービスを得るための取引
生活Can do	ホームセンターなどで店員に、購入したばかりの商品の不具合などを簡単に説明し、返品や取替えを要求することができる。(B1_547)	自治会・町内会などの場で自己紹介するとき、日本での生活で驚いたことなどについて、そのときの気持ちも交えて、ある程度詳しく説明することができる。(B1_520)	自転車が盗まれたり撤去されたりしたとき、自転車を探すために、友人や警察などに、自転車の特徴やそのときの状況などについて簡単に説明し、相談することができる。(B1_557)
ロールA	あなたはホームセンターで扇風機を買いました。しかし、扇風機は壊れていて動きません。壊れていることなどを簡単に説明し、返品してください。	あなたは町内会に参加します。そこで、日本に来て驚いたことについて、どうして驚いたのかを具体的に話してください。	あなたは駅前に自転車を置いておきましたが、盗まれてしまいました。その状況を警察に伝えて、自転車の特徴について説明してください。
ロールB	あなたはホームセンターの店員です。外国人のお客がホームセンターで買った扇風機について尋ねています。以下の質問をしてください。 1説明書は読んだか 2レシートは持っているか 3交換でもいいか		あなたは警察官です。外国人が自転車を盗まれてしまったようです。その時の状況や自転車の特徴について質問してください。
タスク達成のための手がかりになる内容	・扇風機を店で購入したことを説明する。 ・購入した際のレシートを持っているか伝える。 ・扇風機を初めて使う時にどのような状態だったかを説明する。 ・交換したいか返品したいかを伝える。	・日本で驚いたことを説明する。 ・なぜ驚いたかを説明する	・自転車を盗まれたことを伝える。 ・自転車は盗まれた場所について説明する。 ・どのような自転車だったのかを説明する。(色、形などの特徴や鍵をしてめたいかなど)
モデル会話	A:客(学習者) B:店員(指導者) B:すみません。昨日、扇風機を買ったんですが、壊れているみたいです。 A:申し訳ありません。最初から動きませんでしたか。 B:はい。 A:説明書は読みましたか。 B:はい、読みましたが動きませんでした。 A:分かりました。購入した時のレシートは持っていますか。 B:はい、あります。 A:ありがとうございます。同じものと交換でも大丈夫ですか。 B:はい、大丈夫です。	学習者: みなさん、はじめまして。 ブラジルから来たアルトゥール・アントゥネス・コインブラです。 ジーコと呼んでください。 日本に来た時に一番驚いたのは、町がきれいなことです。ゴミが道路にとても少ないです。ブラジルには町にゴミ箱がたくさんありますが、それでもゴミが多いです。日本では、道を歩いているとゴミ箱がありません。ブラジルでは、ゴミ箱がないと町がもっと汚くなると思います。どうしてゴミ箱がないのに町がきれいなのかよく分かりません。どうして日本にはゴミ箱が少ないのにきれいなのかいつも不思議に思っています。	A:学習者 B:警察官 (指導者) A:あのう、すみません。 B:どうしましたか。 A:実は自転車を盗まれてしまいまして。 B:そうですか、それは大変ですね。いつ、どこででしょうか。 A:はい、昨日の朝、駅前に自転車を停めて夕方帰ってきたらなくなっていました。いつも同じ場所に停めています。 B:駅前のどこですか。 A:駅前の東駐輪場です。 B:鍵はかけてありましたか。 A:はい、かけてありました。チェーンのタイプの鍵です。 B:どんな自転車ですか。 A:赤いマウンテンバイクで、SPEEDっていうシールが自転車のフレームに書いてあります。 B:防犯登録はしてありますか? A:防犯登録って何ですか。 B:えーっと、盗まれたときに自転車を探すための番号があるんですよ... A:あー、それならたぶんしました。でも番号はちょっと… B:そうですか、ほかに特徴はありますか。 A:そうですね。去年買ったばかりなのでまだ新しいです。あとはハンドルにライトを取り付けることができます。 B:分かりました。それでは名前、住所等をこちらに記入してください。見つかりましたら連絡します。 B:ありがとうございます。よろしくお願いします。

「話すこと やり取り」「話すこと 発表 7/7

レベル	B1
パターン	③学習者と指導者
生活上の行為	健康・安全に暮らす
ユニット	おすすめの歯科医院を予約する
カテゴリー	やりとり 情報の交換
生活Can do	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりすることができる。(B1_7)
ロールA	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問してください。友人の答えを聞いてください。聞くときに、あいづちを打ってください。
ロールB	あなたはAさんの友人です。山田デンタルの情報について,スクリプトの内容を伝えてください。
タスク達成のための手がかりになる内容	・歯科医院についての質問をする。 ・適宜相づちをうつ。
モデル会話	A:学習者 B:友人(指導者) A:山田デンタルクリニックに行こうと思っているんですが、行ったことありますか。評判など知っていますか。 B:山田デンタル…あー、駅前の歯医者ですね。私じゃないんですけど、娘がかかってます。受付の人も親切ですし、お医者さんもやさしいらしいですよ。娘は、前、違うところに行ってたんですけど、結構痛かったみたいで、もう行きたくないって言って、それで、変えたんですよ。人気あるみたいで、結構混んでて、予約がなかなか…。でも、いいクリニックだと思いますよ。

「理解すること 聞くこと」1/2

レベル	A1	A2
パターン	③学習者と指導者	③学習者と指導者
生活上の行為	子育て・教育をする	健康・安全に暮らす
ユニット	予防接種を受ける1	医師から薬を処方される
カテゴリー	情報・アナウンスや指示を聞くこと	広報・アナウンスや指示を聞くこと
生活 Can do	子供が予防接種を受けたとき、自分に向かってゆっくりはっきりと話されれば、「今日は運動しないでください」「時々熱が出ます」など、医者のごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。(A1 244)	医者からの病気への簡単な対処法、生活上の基本的な留意点、薬の種類についての簡単な説明や指示を聞いて理解することができる。(A2 15)
課題	子供が予防接種を受けました。先生の話を聞いてください。	風邪をひいたので、病院に行きました。先生の話を聞いてください。
聞く内容	医師:今日はお風呂には入らないでください。運動もしないでくださいね。	医師:のどが炎症していますので、辛いものなどは食べない方がいいですね。お薬を出しますから、5日間飲んでください。
質問1	どのようなことに注意しますか。正しいものをすべて選んでください。 □おふろに入れさせない □ご飯を食べさせない □運動をさせない □軽い運動をさせる □薬を飲ませる □水を飲ませる	どのようなことに注意しますか。正しいものをすべて選んでください。 □おふろに入らない □激しいスポーツをしない □ご飯を食べない □辛いものを食べない □お酒を飲まない □薬を飲む
質問2		薬は何日間飲みますか。 □1日 □3日 □5日 □7日

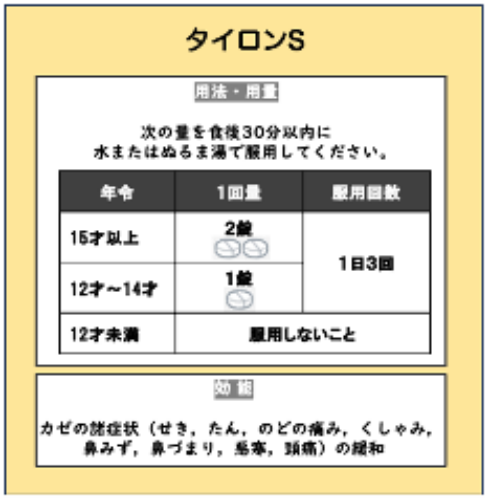
「理解すること 聞くこと」2/2

レベル	A2	B1
パターン	③学習者と指導者	③学習者と指導者
生活上の行為	情報を収集・発信する	人とかかわる
ユニット	ラジオで天気予報を聞く	ホームステイ
カテゴリー	音声メディアや録音を聞くこと	広報・アナウンスや指示を聞くこと
生活 Can do	ラジオで天気予報がいつおこなわれているのか調べて聞く。天気予報の内容を聞いて理解し，必要な備えができる。（A2 780）	発音がはっきりしていれば、ホストファミリーから日本の家でのスリッパの使い分け方やお風呂の使い方、ゴミの捨て方など、生活に関する説明を聞いて、理解することができる。(B1 549)
課題	天気予報を聞きます。明日のお昼の天気はどうなりますか。	ホームステイ先の人の説明を聞いてください。どのようなことに気をつけなければいけませんか。
聞く内容	気象予報士：今日は、降水確率は80%で、曇りや雨となるでしょう。次第に天気が回復に向かい、夕方には雨は上がる見込みです。明日は、明け方ごろまで雨の降るところがあるでしょう。朝の降水確率は80%ですが、9時ごろには晴れて、傘は必要なくなるでしょう。気温も25度まで上がる予想です。今日は23度の予想ですので、今日よりも暖かくなるでしょう。	ホームステイする家の人：家では靴を脱いで、スリッパを履いてください。スリッパでAさんの部屋に入ってもいいですが、畳の部屋に入るときはスリッパを脱いでください。畳が傷むので、脱いでくださいね。
質問1	明日のお昼の天気はどうなりますか。 	どのようなことに気をつけなくてはいけませんか。正しいものをすべて選んでください。 □家では靴をはきます □家ではスリッパをはきます □自分の部屋ではスリッパをぬぎます □たたみの部屋ではスリッパをぬぎます
質問2		

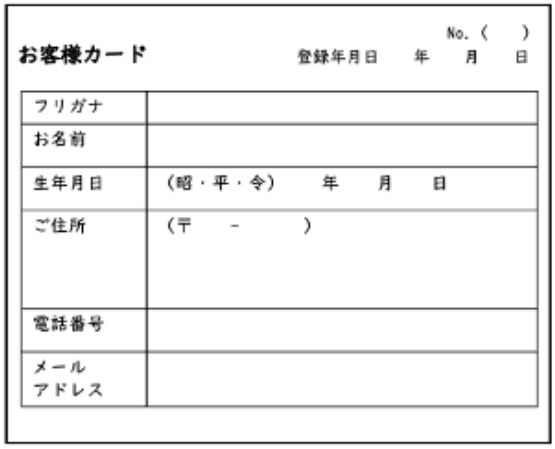
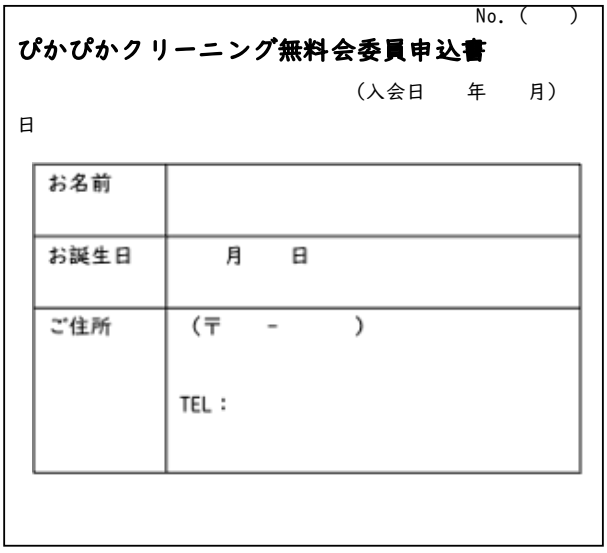
「理解すること 読むこと」I/2

レベル	A1	A1
パターン	③学習者と指導者	③学習者と指導者
生活上の行為	健康・安全に暮らす	消費活動を行う
ユニット	病院を探す	値段を確認する
カテゴリー	世情を把握するために読むこと	世情を把握するために読むこと
生活 Can do	指定された病院のホームページにアクセスし、診察日や時間を確認することができる。(A1_142)	レシートを見て、何がいくらだったのか、値段に間違いはないかなどを確認することができる。(A1_ 147)
課題	あなたはクリニックに行きます。火曜日の午後と木曜日の午後に時間があります。診察時間をみて答えてください。	友だちに，おにぎりとコカコーラを買ってきてもらいました。コンビニのレシートを見て答えてください。
質問1	何曜日にクリニックに行きますか。	友だちにいくら払えばいいですか。
質問2	ー	ー
質問3	ー	ー
読むもの	井上内科医院 月 火 水 木 金 土 日 9:00～12:00 ● ● ● 休 ● ● 休 15:00～18:30 ● ● ● 休 ● 休 休	セブン-ナイン 六本木店 東京都港区六本木4丁目1-1 電話 03-1234-9999 レジ1 2023年12月30日(土)20:21 領収書 手巻きおにぎり梅 194 たまごサンドイッチ 270 コカコーラ 500ml 162 おいしい水 500ml 108 合計 734 (内消費税等 ¥54)

「理解すること 読むこと」2/2

レベル	**A2**
パターン	③学習者と指導者
生活上の行為	健康・安全に暮らす
ユニット	町の薬局で薬を探す
カテゴリー	世情を把握するために読むこと
生活 Can do	薬のパッケージなどに書かれている注意書きなどの短い簡単なテクストを見て、用法・用量など、必要な情報を探し出すことができる。(A2 24)
課題	風邪をひいたので薬を飲みます。薬の注意書きを読んで答えてください。
質問1	1日に何回飲みますか。
質問2	13歳の場合，1回にいくつ飲みますか。
質問3	どのような症状の時にこの薬を飲みますか。 （　）（　）（　）（　） （　）（　）（　）
読むもの	 タイロンS 用法・用量 次の量を食後30分以内に 水またはぬるま湯で服用してください。 年令 / 1回量 / 服用回数 15才以上 / 2錠 / 1日3回 12才～14才 / 1錠 12才未満 / 服用しないこと 効能 カゼの諸症状（せき，たん，のどの痛み，くしゃみ，鼻みず，鼻づまり，悪寒，頭痛）の緩和

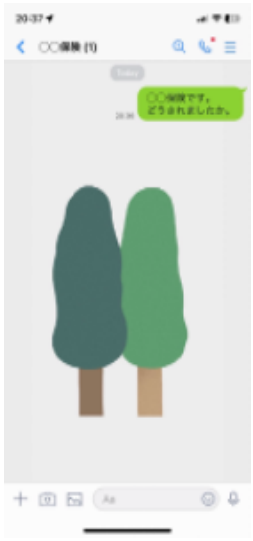
「理解すること 書くこと」I/3

レベル	**A1**
パターン	③学習者と指導者
生活上の行為	消費活動を行う
ユニット	クリーニング店を利用する
カテゴリー	記録、メッセージ、書式
生活 Can do	美容院やクリーニング店などで、会員証の申込書に名前、住所など、自分の基本的な情報を書くことができる。(A1 142)
課題1	あなたは、クリーニング屋の無料会員に申し込みをします。申込書に必要なことを書いてください。  No.（ ） お客様カード　登録年月日　年　月　日 フリガナ お名前 生年月日　(昭・平・令)　年　月　日 ご住所　(〒　-　) 電話番号 メール アドレス
課題2	あなたは、クリーニング屋の無料会員に申し込みをします。申込書の①②③の欄に必要なことを書いてください。  No.（ ） ぴかぴかクリーニング無料会委員申込書 （入会日　年　月）日 お名前 お誕生日　月　日 ご住所　(〒　-　) TEL：

「理解すること 書くこと」2/3

レベル	**A2**
パターン	③学習者と指導者
生活上の行為	働く
ユニット	面接を受ける
カテゴリー	通信
生活 Can do	面接試験の希望日時について、人事担当者に、短い簡単な文でメールを書くことができる。(A2 370)
課題1	あなたは明日友だちと映画に行く約束をしています。待ち合わせをする場所と時間がまだ決まっていません。あなたから、待ち合わせの場所と時間を提案するメールを書いて友だちに送ってください。そのときに次のことを書いてください。 A. メールを書いた目的を書いてください。 B. 待ち合わせの場所と時間を書いてください。 ＜フォーム＞ よこたさん こんにちは。 A B お返事お待ちしています。 タオ
課題2	あなたは、アルバイトの面接試験について、会社から面接の希望日時を確認するメールをもらいました。あなたの都合のよい日にちと時間をメールで知らせてください。 メールには次のことを書いてください。 A 連絡をくれたお礼を書いてください。 B 希望する日にちと時間を書いてください。 ダニーさま この度はスーパーABCの面接にご応募くださりありがとうございます。 ABC浦和店事務室で面接をします。 ご都合のよい時間をお知らせください。面接はだいたい30分ぐらいです。 ・7月31日（月）10:00-16:00 ・8月2日（水）14:00-17:00 ・8月3日（木）14:00-17:00 それでは、お返事をお待ちしております。 スーパーABC　担当者　田中 スーパーABC　担当者　田中さま お世話になっております。ダニーです。 A B どうぞよろしくお願いいたします。 ダニー

「理解すること 書くこと」3/3

レベル	B1
パターン	③学習者と指導者
生活上の行為	情報を収集・発信する
ユニット	メールでやりとりする
カテゴリー	通信
生活 Can do	お世話になった人に、感謝の気持ちや近況などについて、ある程度詳しくお礼の手紙やメールなどを書くことができる。　(B1 759)
課題1	あなたがこれまでお世話になった人（例えば、以前の日本語の先生、来日の手伝いをしてくれた人など）に、近況の報告とこれまでの感謝の気持ちを伝えるメールを書いてください。 ・あなたはその人に久しぶりに連絡をします。 ・メールを書く目的は、あなたが日本で元気にしていることを伝えることです。その目的に合う近況を選んで書いてください。 ・相手にお世話になったことへの感謝の気持ちを具体的なエピソードを交えて書いてください。
課題2	先月国へ帰ったときの飛行機で、スーツケースが壊れてしまいました。飛行機で輸送中の事故であるため、スーツケースの修理費用を保険会社に請求しようと思います。保険会社に破損の状況を説明するメッセージを書いてください。 

資料３．生活Can doユニット

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	1	A1	病院を探す	体の調子が悪い時に、周囲の人にそれを伝え、病院の情報を入手する。	2	1	2	体の調子が悪いとき、「おなかが痛いです」「気持ちが悪いです」など、短い簡単な言葉で周りの人に伝えることができる。	やり取り	A1			I　健康・安全に暮らす	☆選択する病院を知る			無	
I	1	A1	病院を探す	体の調子が悪い時に、周囲の人にそれを伝え、病院の情報を入手する。	2	1	5	＜5a＞~~健康診断や定期検診などで指定された~~病院のホームページにアクセスし、診察日や時間を確認することができる。	読むこと	A1	診療科を区別できる。	やり取り	I　健康・安全に暮らす	☆選択する病院を知る			有	健診は年に1回位しかなく非日常的なので、ユニットでは周りの人から聞いた病院としたい。
I	2	A2	病院で診察を受ける(初診)	診察の手順（受付～問診票の記載～受診を理解し、医師の診察を受ける。	2	0.25	8	病院の受付などで、「初めてですか」「保険証はありますか」などの基本的な質問に答えることができる。	やり取り	A1			I　健康・安全に暮らす	・初診の場合の受診の仕方について			無	
I	2	A2	病院で診察を受ける(初診)	診察の手順（受付～問診票の記載～受診を理解し、医師の診察を受ける。	2	1	9	分からないことについて質問することができれば、病院の受付で、問診票に名前・住所、体温を書いたり、「どんな症状か」「いつからか」などの選択式の簡単な質問に答えたりすることができる。	書くこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・初診の場合の受診の仕方について			有	
I	2	A2	病院で診察を受ける(初診)	診察の手順（受付～問診票の記載～受診を理解し、医師の診察を受ける。	2	0.25	10	自分に向かってゆっくりとはっきりと話されれば、「口を大きく開けてください」「よく休んでください」「薬を1日3回飲んでください」など、医者のごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A1			I　健康・安全に暮らす	・初診の場合の受診の仕方について			無	
I	2	A2	病院で診察を受ける(初診)	診察の手順（受付～問診票の記載～受診）を理解し、医師の診察を受ける。	2	0.5	11	かかりつけの病院での診察のとき、体のどこがどのくらい、いつごろから痛いかなどの自分の体調や症状に関する簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・初診の場合の受診の仕方について			無	
I	3	A2	医師から薬を処方される	医師の診断を聞き、薬局に行く。	1	0.5	15	<15a>医者からの病気への簡単な対処法、生活上の基本的な留意点、薬の種類についての簡単な説明や指示を聞いて理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・医療機関及び薬局での薬の受け取り方について			無	薬の種類を追加
I	3	A2	医師から薬を処方される	医師の診断を聞き、薬局に行く。	1	0.5	17	医療機関の受付などで処方せんを受け取ったとき、近所の薬局の場所を尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・医療機関及び薬局での薬の受け取り方について			有	薬局までの地図？メモ？を読む。
I	4	A2	調剤薬局で薬をもらう	調剤薬局で医師に処方された薬を受け取る。	2	1	22	分からない点について質問することができれば、アレルギーの有無や既往歴、生活習慣などに関する薬局の用紙（初回患者質問票）の質問を理解し、適切な答えを選ぶことができる。	書くこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・医療機関及び薬局での薬の受け取り方について			有	薬局の種類
I	4	A2	調剤薬局で薬をもらう	調剤薬局で医師に処方された薬を受け取る。	2	1	21	<21a>~~症状に合った薬を探すために、~~調剤薬局で薬剤師に、症状や服用している薬などを簡単に説明しながら、薬に対する自分の希望を述べることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・医療機関及び薬局での薬の受け取り方について			無	ユニットでは調剤薬局としたい
I	5	A2	病院で健康診断を受ける	健康診断の手順をしり、健康診断を受ける。	2	1	26	<26a>健康診断~~や予防接種~~を受けるときに、医者や看護師などから、注意事項や検診の手順などについての簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす				無	ユニット４内では、健康診断に特化したい（予防接種はユニット11で触れる）

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	5	A2	病院で健康診断を受ける	健康診断の手順をしり、健康診断を受ける。	2	1	12	病院などで、医者や看護師による尿検査や血液検査、レントゲン撮影の手順などの簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす				無	
I	6	A2	おすすめの歯科医院を予約する	近所の人や友人におすすめの歯科医院を尋ね情報収集をし、電話で受診予約をする。	2	0.5	3	<3a>近所の病院歯科医院について、場所や様子などの簡単な情報を友人に質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	☆選択する病院を知る			無	ユニットでは歯科医院としたい
I	6	A2	おすすめの歯科医院を予約する	近所の人や友人におすすめの歯科医院を尋ね情報収集をし、電話で受診予約をする。	2	0.5	7	近所の歯医者について、対応の仕方や技術などの詳しい評判を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	☆選択する病院を知る			有	HPなどを一緒に見る
I	6	A2	おすすめの歯科医院を予約する	近所の人や友人におすすめの歯科医院を尋ね情報収集をし、電話で受診予約をする。	2	1	6	電話で病院や歯医者の予約をするとき、ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、日時、診察理由など病院のスタッフの質問に答えることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	☆選択する病院を知る			無	
I	7	B1	診療科を探す	体調不良の際に、どの病院の何科を受診すれば良いか、HPを見たり医療相談窓口に聞いたりして調べる。	2	1	1	適切な医療機関を選ぶために、病院のサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、診療科目や診療内容など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・医療相談窓口の問い合わせ先の調べ方について			有	診療科名
I	7	B1	診療科を探す	体調不良の際に、どの病院の何科を受診すれば良いか、HPを見たり医療相談窓口に聞いたりして調べる。	2	1	4	<4a>体調が悪く、休日・夜間診療窓口医療相談窓口に電話したときに、相談員に自分の症状や体調の変化について、順序立てて説明することができる。	発表	B1			I　健康・安全に暮らす	・医療相談窓口の問い合わせ先の調べ方について			無	休日・夜間診療所のお知らせ
I	8	B1	診察室でけがの症状を説明する	急な怪我で医師の診察を受ける際に、状況や既往症について説明をし、適切な治療を受ける。	3	1	14	けがをして、病院で診察を受けているときに、医者に受傷時の状況や痛みの状態などについて、順序立てて説明することができる。	発表	B1			I　健康・安全に暮らす				無	
I	8	B1	診察室でけがの症状を説明する	急な怪我で医師の診察を受ける際に、状況や既往症について説明をし、適切な治療を受ける。	3	0.5	13	病院などで、症状や過去の病気などに関する質問に対して、ある程度正確に答え、内容によっては主体的に話を展開させることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす				無	
I	8	B1	診察室でけがの症状を説明する	急な怪我で医師の診察を受ける際に、状況や既往症について説明をし、適切な治療を受ける。	3	1.5	16	病院で治療方針について医者と相談するとき、複数の治療方法の詳細な説明を聞いて内容を理解し、自分の希望や条件を明確に伝えながら話し合うことができる。	やり取り	B2			I　健康・安全に暮らす				無	
I	9	A2	街の薬局で薬を探す	街の薬局（ドラッグストア）で、自分が欲しい薬を探したり定員に聞いたりして入手する。	2	0.25	20	以前も用いた薬であったり、自分が知っている薬であったりする場合は、ラベルを見て確認することができる。	読むこと	A1			I　健康・安全に暮らす	・薬のパッケージに書かれている内容について			有	
I	9	A2	街の薬局で薬を探す	街の薬局（ドラッグストア）で、自分が欲しい薬を探したり定員に聞いたりして入手する。	2	0.5	24	薬のパッケージなどに書かれている注意書きなどの短い簡単な表示を見て、用法・用量など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・薬のパッケージに書かれている内容について			有	
I	9	A2	街の薬局で薬を探す	街の薬局（ドラッグストア）で、自分が欲しい薬を探したり定員に聞いたりして入手する。	2	0.25	18	薬店で欲しい薬の種類や量などを聞かれたとき、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A1			I　健康・安全に暮らす	・薬のパッケージに書かれている内容について			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	9	A2	街の薬局で薬を探す	街の薬局（ドラッグストア）で、自分が欲しい薬を探したり定員に聞いたりして入手する。	2	0.5	19	薬局・薬店で薬を買うとき、薬剤師や店員に自分の状況を伝え、薬剤師からの症状や薬に関する簡単な質問に答えることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす				無	
I	10	A2	街の薬局で薬を探す	街の薬局（ドラッグストア）で、自分が欲しい薬を探したり定員に聞いたりして入手する。	2	0.5	23	薬局・薬店で、薬の説明書を見ながら説明されれば、薬剤師や店員からの薬の名前や効果、用法・用量などの簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす				有	
I	10	A2	インフルエンザなど流行病について情報収集する	インフルエンザなどの流行病に関して、ニュースを見たり友達に聞いたりしながら最新の情報を入手する。	2	1	29	インフルエンザなど、最近流行している病気に関するテレビニュースなどを見て、病名や状況など、内容を大まかに理解することができる。	聞くこと	A2	ニュースを読む	読むこと	I　健康・安全に暮らす	・自治体の実施する検診や予防接種について			有	
I	10	A2	インフルエンザなど流行病について情報収集する	インフルエンザなどの流行病に関して、ニュースを見たり友達に聞いたりしながら最新の情報を入手する。	2	1	27	インフルエンザなど他の人に移りやすい病気が流行したとき、どんな予防方法を取ればいいかなどについて、友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・自治体の実施する検診や予防接種について			無	
I	11	B1	予防接種について調べる	インフルエンザなどのワクチンに関するニュースを見たり、役所のお知らせを読んだりして、ワクチンを受けるための情報を入手する。	2	1	30	<30a>インフルエンザ**のワクチン**など、**最近流行している病気**に関するテレビニュースなどを見て、映像やテロップを頼りに、**接種方法予防法や対処法**など、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・自治体の実施する検診や予防接種について			有	
I	11	B1	予防接種について調べる	インフルエンザなどのワクチンに関するニュースを見たり、役所のお知らせを読んだりして、ワクチンを受けるための情報を入手する。	2	1	25	<25a>役所のお知らせやウェブサイトに載っている**健康診断予防接種**についてのある程度長い文章に目を通して、日時や場所、費用、自分が対象者にあてはまるかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・自治体の実施する検診や予防接種について			有	
I	12	A2	ハラル食品を探す	食品表示ラベルを読んだり、店員に聞いたりして、必要な情報を探す。	2	1	32	食品表示ラベルなどの短い簡単な文を見て、消費期限、原材料、産地、ハラルかどうかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・食品表示ラベルに書いてある内容について			有	
I	12	A2	ハラル食品を探す	食品表示ラベルを読んだり、店員に聞いたりして、必要な情報を探す。	2	1	31	スーパーやコンビニなどの店員に、原材料や産地、賞味期限、ハラルかどうかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・食品表示ラベルに書いてある内容について			無	
I	13	B1	地域の祭りにスタッフとして参加する	地域の祭りスタッフになった際に、調理係に衛生に関する確認をしたり、食品の購入に関して店員に安全を確認したりする。また、来客に手指消毒を促し安全なイベントを行う。	2	0.5	34	地域のお祭りやイベントなどで調理をするために、一緒に調理を担当する人に、身だしなみや手洗い、食品の取扱いや保存などの衛生管理に関するルールや方法などについて確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・地域のお祭りやイベントについて			無	
I	13	B1	地域の祭りにスタッフとして参加する	地域の祭りスタッフになった際に、調理係に衛生に関する確認をしたり、食品の購入に関して店員に安全を確認したりする。また、来客に手指消毒を促し安全なイベントを行う。	2	0.5	36	室内や手などを正しく消毒をするために、それぞれの消毒液の取り扱いについての簡単な説明を読み、用法・用量や使用できるもの、注意点などについて重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・薬品等に書いてある説明書きの内容について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	13	B1	地域の祭りにスタッフとして参加する	地域の祭りスタッフになった際に、調理係に衛生に関する確認をしたり、食品の購入に関して店員に安全を確認したりする。また、来客に手指消毒を促し安全なイベントを行う。	2	1	33	<33a>スーパーなどで買い物をするとき、食の安全性を考えて商品を選ぶために、店の人にハラルかどうか、産地、栽培・飼育方法、遺伝子組み換え食品であるかなどについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・食品表示ラベルに書いてある内容について			無	
I	14	A1	工事の状況を理解する	道路工事の状況を理解することができる。	2	1	40	ゆっくりとはっきりと話されれば、道路工事現場の交通誘導スタッフの「停止してください」「お待ちください」などごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A1			I　健康・安全に暮らす				無	
I	14	A1	工事の状況を理解する	道路工事の状況を理解することができる。	2	1	38	イラストなどの手掛かりがあれば、街中や施設内にある「禁煙」「立入禁止」「撮影禁止」「工事中」「危険」などの非常に短い注意書きや看板を見て、警告されている内容を確認することができる。	読むこと	A1			I　健康・安全に暮らす			・日本の道路標識について	有	
I	15	A2	交通安全や防犯に関する講習を受ける	地域で開催された講習に参加し、交通安全や防犯に対する意識を高める。	2	0.5	45	<45a>~~携帯電話店などで、店員による~~携帯電話などのロック設定の方法などの簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす				無	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	15	A2	交通安全や防犯に関する講習を受ける	地域で開催された講習に参加し、交通安全や防犯に対する意識を高める。	2	1	37	地域などで発行している、外国人向けの交通安全や防犯についてのパンフレットの短い簡単な文を見て、交通事故や車上狙いを避けるために、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる事故や事件とその対策について			有	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	15	A2	交通安全や防犯に関する講習を受ける	地域で開催された講習に参加し、交通安全や防犯に対する意識を高める。	2	0.5	39	道路標識と共に表示されている補助標識「歩行者横断多し」「自転車を除く」などの短い簡単な説明を読んで、禁止や注意事項など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす			・日本の道路標識について	有	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	16	A2	盗難や事故などの、緊急事態に対応する	盗難や事故などの予期しないトラブルに遭った時の対処方法を理解する。	3	1	46	盗難などの予期しないトラブルに遭ったとき、110番に電話し、事故か事件か、いつか、何が起きたか、場所はどこか、など定型の簡単で直接的な質問に答えることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす			・警察へ通報する方法について	無	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	16	A2	盗難や事故などの、緊急事態に対応する	盗難や事故などの予期しないトラブルに遭った時の対処方法を理解する。	3	1	47	盗難などの予期しないトラブルに遭ったとき、どうしたらよいか身近な人に短い簡単な言葉で質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる事故や事件とその対策について			無	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	16	A2	盗難や事故などの、緊急事態に対応する	盗難や事故などの予期しないトラブルに遭った時の対処方法を理解する。	3	1	51	交通事故の現場に居合わせたとき、119番に電話し、火事か救急か、場所はどこか、誰がどんな様子かなどについての質問に短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす			・消防署へ通報する方法について	無	地域住民と一緒に講習を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい。
I	17	B1	回覧板を読んで、防犯対策をする	防犯対策をするために、回覧板や学校からのメールを読んで理解したり、防犯グッズを買ったりして準備する。	2	0.5	42	役所や警察が出している防犯に関するちらしやパンフレットの簡単な記事を読んで、空き巣を避ける戸締りの方法や特殊詐欺の発生情報など安全に暮らすための重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる事故や事件とその対策について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	17	B1	回覧板を読んで、防犯対策をする	防犯対策をするために、回覧板や学校からのメールを読んで理解したり、防犯グッズを買ったりして準備する。	2	1	43	地域のエリアメールや学校の保護者向けメールなど、地域の安全情報に関する簡単なお知らせを読んで、不審者情報や盗難被害などについての重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる事故や事件とその対策について			有	
I	17	B1	回覧板を読んで、防犯対策をする	防犯対策をするために、回覧板や学校からのメールを読んで理解したり、防犯グッズを買ったりして準備する。	2	0.5	44	空き巣対策のために、ホームセンターなどでセンサーライトや防犯ステッカーなどの防犯グッズを探すとき、店員に商品の使用方法や防犯効果などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる事故や事件とその対策について			無	
I	18	B1	被害にあった時に相談する	自転車盗難や車上荒らしの被害に遭ったときに、近所の人に相談し、警察へ被害届を出したり、保険会社へ説明したりする。	3	0.5	49	盗難などの予期しないトラブルに遭ったとき、近所の人にその状況について簡単に説明し、相談することができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす				無	
I	18	B1	被害にあった時に相談する	自転車盗難や車上荒らしの被害に遭ったときに、近所の人に相談し、警察へ被害届を出したり、保険会社へ説明したりする。	3	0.5	48	自分が被害を受けた盗難などの予期しないトラブルについて、警察官や近所の人などに順序立てて詳細に述べることができる。	発表	B1			I　健康・安全に暮らす			・警察へ届出の仕方について	無	
I	18	B1	被害にあった時に相談する	自転車盗難や車上荒らしの被害に遭ったときに、近所の人に相談し、警察へ被害届を出したり、保険会社へ説明したりする。	3	1	50	自転車盗や空き巣など犯罪の被害に遭った時に、いつ、どこで、何が起こったかなどの内容を盗難届や被害届などにある程度詳しく書くことができる。	書くこと	B1			I　健康・安全に暮らす			・警察へ届出の仕方について	有	
I	18	B1	被害にあった時に相談する	自転車盗難や車上荒らしの被害に遭ったときに、近所の人に相談し、警察へ被害届を出したり、保険会社へ説明したりする。	3	1	54	交通事故にあったとき、保険会社に電話をして、~~担当者に~~事故発生時の状況や現在の状態などについて、順序立てて説明することができる。	発表	B1			I　健康・安全に暮らす	・保険会社への連絡の仕方について			無	
I	19	A1	避難訓練を受ける ① 避難する	地域で避難訓練を受ける１	2	1	59	地図を見ながら、防災メモに、自宅から近い避難所の名前、家族と離れてしまったときの集合場所などを書き込むことができる。	書くこと	A1			I　健康・安全に暮らす	・避難所や避難場所について			有	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	19	A1	避難訓練を受ける ① 避難する	地域で避難訓練を受ける１	2	1	62	学校や職場などで地震発生時に避難するため、ゆっくりとはっきりと話されれば、「気を付けてください」「走らないでください。」など、ごく簡単なアナウンスを聞いて、理解することができる。	聞くこと	A1			I　健康・安全に暮らす	・避難所や避難場所について			無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	20	A2	消防訓練を受ける	地域で消防訓練を受ける。	2	0.5	70	消防訓練で、消防士に目の前で消火器の使い方などを見せてもらいながら、消火器や消火栓の場所や使い方などの簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・消火器や消火栓について			無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	20	A2	消防訓練を受ける	地域で消防訓練を受ける。	2	1.5	72	火事が起きたとき、119番に電話し、火事か救急か、何が燃えているか、場所はどこかなどについて、短い簡単な言葉で質問に答えることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす			・消防署へ通報する方法について	無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	21	A2	避難訓練を受ける② 避難所について理解する	地域で避難訓練を受ける２。 地域で避難所の場所を確認したり、避難所での過ごし方に関する説明を受けたりして、避難所について理解する。	2	0.5	67	映像と実況説明がほとんど重なるならば、台風や地震、津波を伝えるテレビニュースを見て、内容を大まかに理解することができる。	聞くこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・日本で起こりうる災害について			無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	21	A2	避難訓練を受ける② 避難所について理解する	地域で避難訓練を受ける２。 地域で避難所の場所を確認したり、避難所での過ごし方に関する説明を受けたりして、避難所について理解する。	2	0.5	55	地域などで発行している、外国人向けの防災パンフレットなどの短い簡単な文を読んで、避難所の位置や準備しておいた方がいいものなど、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす	・避難所や避難場所について			有	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	21	A2	避難訓練を受ける② 避難所について理解する	地域で避難訓練を受ける２。 地域で避難所の場所を確認したり、避難所での過ごし方に関する説明を受けたりして、避難所について理解する。	2	1	63	災害に関する体験型ワークショップなどで、グループの人と作業を進めるために、短い簡単な言葉で確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・避難訓練等の内容について			無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	22	A2	避難訓練を受ける③ 災害の情報を知り、近所の人と避難をする	地域で避難訓練を受ける３。 災害時の緊急放送を聞いたり、声の掛け方を教わったりする訓練を受ける。	2	0.75	69	災害時の緊急放送などを聞いて、災害の種類、規模、発生場所、避難が必要かどうかなど、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			I　健康・安全に暮らす			・災害時のラジオ放送の内容について	無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	22	A2	避難訓練を受ける③ 災害の情報を知り、近所の人と避難をする	地域で避難訓練を受ける３。 災害時の緊急放送を聞いたり、声の掛け方を教わったりする訓練を受ける。	2	0.5	65	地震や洪水などの災害で避難するとき、困った様子の人に、「大丈夫ですか」「歩けますか」など、相手を気遣う短い簡単な言葉で話しかけることができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす				無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	22	A2	避難訓練を受ける③ 災害の情報を知り、近所の人と避難をする	地域で避難訓練を受ける３。 災害時の緊急放送を聞いたり、声の掛け方を教わったりする訓練を受ける。	2	0.75	57	近所の人に、緊急時の避難場所やそこへの行き方について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす	・避難所や避難場所について			無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	23	A2	避難訓練を受ける④ 避難後の生活について理解する	地域で避難訓練を受ける４。 災害時に、食料や水の配給を受けたり、電気ガス水道が復旧したりするための情報を入手する。	2	0.5	66	災害時に食料を確保するために、避難所の掲示板などの短い簡単なお知らせを見て、配給場所や配給時間など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす				有	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	23	A2	避難訓練を受ける④ 避難後の生活について理解する	地域で避難訓練を受ける４。 災害時に、食料や水の配給を受けたり、電気ガス水道が復旧したりするための情報を入手する。	2	0.5	68	台風や地震などの発生時に水道が止まったとき、近所の人にいつ・どこに給水車が来るかや、食料配布について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			I　健康・安全に暮らす				無	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	23	A2	避難訓練を受ける④ 避難後の生活について理解する	地域で避難訓練を受ける４。 災害時に、食料や水の配給を受けたり、電気ガス水道が復旧したりするための情報を入手する。	2	1	102	電気・ガス・水道などの使用に関するガイドブックの、ある程度長い文章に目を通して、災害時や緊急時の対処法や緊急時の連絡先など、安全に使用するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			II　住居を確保・維持する				有	地域住民と一緒に訓練を受けたり、授業に参加していただいたりするとよい
I	24	B1	防災訓練でアナウンスをする	防災訓練でアナウンスをする。	1	0.1	73	自治会・町内会などで行う防災訓練で、台本を時々見ることができれば、「地震です」や「落ち着いて行動してください」などの短い簡単なアナウンスをすることができる。	発表	A2			I　健康・安全に暮らす	・防災訓練の内容について			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
I	24	B1	防災訓練でアナウンスをする	防災訓練でアナウンスをする。	1	0.7	74	自治会・町内会などで行う防災訓練で、練習してあれば、災害の発生状況や避難指示などについてのある程度の長さがある、聞きやすいアナウンスをすることができる。	発表	B1	アナウンスを正しく理解することができる	聞くこと	I　健康・安全に暮らす	・防災訓練の内容について			無	
I	24	B1	防災訓練でアナウンスをする	防災訓練でアナウンスをする。	1	0.2	75	自治会・町内会などで行う防災訓練で、災害の発生状況やその推移、避難指示など、明快に流暢にごく自然にアナウンスをすることができる。	発表	B2	仲介として、母語・外国語でアナウンスする。	(仲介)	I　健康・安全に暮らす	・防災訓練の内容について			無	仲介として、母語・外国語でアナウンスする。
I	25	B1	地域の防災訓練に参加する（地震、台風など避難を伴うもの）	地域の防災訓練で地震や台風などの時に避難する方法を理解する。	2	1	56	市報やパンフレットなどの防災に関する簡単な記事を読んで、緊急避難時に関する重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・避難訓練等の内容について			有	
I	25	B1	地域の防災訓練に参加する（地震、台風など避難を伴うもの）	地域の防災訓練で地震や台風などの時に避難する方法を理解する。	2	1	61	地震や台風などの災害時の対応~~緊急時~~について、身の守り方や避難方法などの詳しい情報を、近所の人などに質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・避難訓練等の内容について			無	
I	26	B1	地域の防災訓練に参加する(火事)	地域の防災訓練で、消火活動について理解する。	2	1	41	地域の防災訓練などで、町内会の人と消火訓練を行うために、訓練の詳細について確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	やり取り	B1			I　健康・安全に暮らす	・防災訓練の内容について			無	地域の訓練として行う
I	26	B1	地域の防災訓練に参加する(火事)	地域の防災訓練で、消火活動について理解する。	2	1	71	消火器や消火栓などに書いてある使い方の簡単な説明を読んで、操作方法や注意点など主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			I　健康・安全に暮らす	・消火器や消火栓について			有	
I	27	A2	地域の防災訓練に参加する（救急）	地域の防災訓練で、AEDの使い方や、その他の健康や安全に関する情報を理解する。	3	1	52	救急救命研修などで、救急救命士に目の前でAEDの使い方などを見せてもらいながら、AEDから流れる機材の使い方や注意などの音声ガイドの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			I　健康・安全に暮らす			・AEDについて	無	
I	27	A2	地域の防災訓練に参加する（救急）	地域の防災訓練で、AEDの使い方や、その他の健康や安全に関する情報を理解する。	3	1	28	病院などに掲示してある病気に関するポスターなどの短い簡単な説明文を読んで、流行している病気の症状や対処法など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす					
I	27	A2	地域の防災訓練に参加する（救急）	地域の防災訓練で、AEDの使い方や、その他の健康や安全に関する情報を理解する。	3	1	35	スポーツクラブ、シェアハウス、温泉などの公衆のトイレ・浴室などに貼ってある掲示物やポスターなどの短い簡単な説明を読んで、禁止や注意事項など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			I　健康・安全に暮らす					

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do 毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can do レベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅱ	1	A2	賃貸物件を探す	友人に聞いたり、不動産の張り紙やウェブサイトを見たりして、物件情報を調べる	2	1	80	友人に、これから住みたいところやその理由などについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆情報収集方法を理解する			無	
Ⅱ	1	A2	賃貸物件を探す	友人に聞いたり、不動産の張り紙やウェブサイトを見たりして、物件情報を調べる	2	0.7	79	不動産屋などに貼り出してある物件情報などの短い簡単な文章で書かれた掲示物を見て、家賃や広さ、所在地など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆住居の選択肢を理解する			有	
Ⅱ	1	A2	賃貸物件を探す	友人に聞いたり、不動産の張り紙やウェブサイトを見たりして、物件情報を調べる	2	0.3	76	いくつかの賃貸物件を比較するちらしやウェブサイトなどの物件紹介に目を通して、それぞれの特徴など、どこを借りるか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆情報収集方法を理解する			有	
Ⅱ	2	A2	不動産屋で相談する	不動産屋の人に自分の条件を伝えたり、紹介された物件について詳しく質問したりする。	2	1	77	不動産屋の人に、家賃、間取り、地域、入居予定日など自分の希望する物件の条件について、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆住居の選択肢を理解する			無	
Ⅱ	2	A2	不動産屋で相談する	不動産屋の人に自分の条件を伝えたり、紹介された物件について詳しく質問したりする。	2	1	78	不動産屋の人に、紹介された物件の間取り、設備、日当たり、駅までの距離や周辺環境などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆住居の選択肢を理解する			無	
Ⅱ	3	B1	賃貸契約をする(1)	不動産屋で契約書の内容を聞いて確認する。	2	1	86	不動産屋などで担当者と、契約書の内容を確認しているとき、家賃の支払方法、保険や入退去費用などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・マンション・アパートの賃貸契約について			有	契約書の内容確認の際、メモの必要あり
Ⅱ	3	B1	賃貸契約をする(1)	不動産屋で契約書の内容を聞いて確認する。	2	1	87	賃貸契約をするとき、不動産屋に、いつまでにどのような書類をそろえればよいか、それらの書類はどこで手に入るかなど質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・マンション・アパートの賃貸契約について			無	
Ⅱ	4	B1	引越し業者を探す	引っ越し業者のサービス内容や見積もり料金を比較する。	2	1	91	見積りをとった引越し業者を利用するかどうか判断するために、見積りの料金内訳や、簡単な口コミ・レビューなどを読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・引越し業者の利用について			有	
Ⅱ	4	B1	引越し業者を探す	引っ越し業者のサービス内容や見積もり料金を比較する。	2	1	90	いくつかの引っ越し業者のサービス内容を比較するウェブサイトなどの簡単な記事に目を通して、それぞれのサービス内容や特徴など、どの引っ越し業者に見積もりを頼むか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・引越し業者の利用について			有	
Ⅱ	5	A2	引越し業者に依頼する	引っ越し業者にサービスを依頼する	2	1	92	引っ越し業者に日時の希望や荷物の量など必要事項を伝え、短い簡単な言葉でサービスを依頼することができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	・引越し業者の利用について			無	
Ⅱ	5	A2	引越し業者に依頼する	引っ越し業者にサービスを依頼する	2	1	93	引っ越し業者に時期や荷物の量などをある程度詳しく伝え、他の業者と比較するなど根拠を伝えて値段やサービスの交渉をすることができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・引越し業者の利用について			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do 毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can do レベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅱ	6	B1	引越しで気をつけることを友達と話す	引っ越しをするときに、近所の人とのあいさつや、不用品の処分、火災保険の手続など、友達に相談する	3	1	97	近所の人に引っ越しのあいさつをするとき、どこで働いているか、家族がどこに住んでいるかなどの個人的な情報について、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	・引越しの挨拶のマナーについて			無	
Ⅱ	6	B1	引越しで気をつけることを友達と話す	引っ越しをするときに、近所の人とのあいさつや、不用品の処分、火災保険の手続など、友達に相談する	3	1	96	引っ越しの際の不要品を処分するために、役所などの窓口の担当者に、廃棄方法について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・自治体の粗大ごみ処理について			無	
Ⅱ	6	B1	引越しで気をつけることを友達と話す	引っ越しをするときに、近所の人とのあいさつや、不用品の処分、火災保険の手続など、友達に相談する	3	1	81	不動産屋などに紹介された物件に関する保証協会の利用や火災保険の加入など契約時の手続について、ある程度詳しく説明し、友人や知人に相談することができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・火災保険について ・保証協会について			無	
Ⅱ	7	A2	役所に転出入の届を出す	役所で転入届を出すために、事前に調べたり職員に聞いたりする。	2	0.2	94	分からない点について職員に質問できれば、転入届などの書類に、自分や家族の個人的な情報を記入することができる。	書くこと	A1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・転入届・転出届等について			有	
Ⅱ	7	A2	役所に転出入の届を出す	役所で転入届を出すために、事前に調べたり職員に聞いたりする。	2	1	95	転入届などを出すために、役所の担当者に簡単な言葉で質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	・転入届・転出届等について			無	
Ⅱ	7	A2	役所に転出入の届を出す	役所で転入届を出すために、事前に調べたり職員に聞いたりする。	2	0.8	89	役所のウェブサイトにある住民登録（転出、転入、転居）の方法についてのある程度長い文章に目を通して、手続の方法や必要なものなど手続きに必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・転入届・転出届等について			有	
Ⅱ	8	B1	電気・ガス・水道の使用を開始する	電気・ガス・水道の使用開始について調べて、使用を申し込む。	3	1	98	役所などが発行している、転入者向けの生活情報パンフレットなどの、ある程度長い文章に目を通して、開通の手続や支払い方法など、電気・ガス・水道などを使用するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆開始手続きについて理解する ☆電圧、ガス種類、上下水道等について理解する			有	
Ⅱ	8	B1	電気・ガス・水道の使用を開始する	電気・ガス・水道の使用開始について調べて、使用を申し込む。	3	1	101	電気・ガス・水道等の使用開始手続をするときに、案内書に書かれた事業所に連絡し、必要事項を伝え、担当者の質問に答えることができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆開始手続きについて理解する ☆電圧、ガス種類、上下水道等について理解する			無	
Ⅱ	8	B1	電気・ガス・水道の使用を開始する	電気・ガス・水道の使用開始について調べて、使用を申し込む。	3	0.1	100	電気・ガス・水道などの利用申込書に、氏名、住所、電話番号、生年月日など、自分の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆開始手続きについて理解する ☆電圧、ガス種類、上下水道等について理解する			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do 毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can do レベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅱ	8	B1	電気・ガス・水道の使用を開始する	電気・ガス・水道の使用開始について調べて、使用を申し込む。	3	0.9	99	電気やガスの使用を開始するとき、係員による安全装置の仕組み、復旧の方法などのある程度詳しい説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	☆開始手続きについて理解する ☆電圧、ガス種類、上下水道等について理解する			有	
Ⅱ	9	A2	電気・ガス・水道の料金を払う	電気・ガス・水道などの公共料金を支払う。	2	0.1	103	電気・ガス・水道などの公共料金の請求書を見て、請求金額や使用期間など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	読むこと	A1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・公共料金の請求書に書いてある内容について			有	
Ⅱ	9	A2	電気・ガス・水道の料金を払う	電気・ガス・水道などの公共料金を支払う。	2	0.9	104	電気・ガス・水道などの公共料金の請求書を見て、請求金額や使用期間のほか、支払期限、支払方法など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅱ　住居を確保・維持する	・公共料金の請求書に書いてある内容について			有	
Ⅱ	9	A2	電気・ガス・水道の料金を払う	電気・ガス・水道などの公共料金を支払う。	2	1	105	記載内容に誤りがある公共料金の請求書が届いたとき、問合せ先の担当者に連絡し、受け取った請求の内容について、簡単に説明し、確認することができる。	やり取り	B1			Ⅱ　住居を確保・維持する	・公共料金の請求書に書いてある内容について			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
III	1	A2	買い物に必要な情報を得る（対面）	買い物をする際に、店や店の場所、商品の情報について、対面で人にたずね、必要な情報を得る	3	1	107	友人や知人から、自分が買いたいものを扱っている店の開店時間や場所などについての簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う	☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る			無	
III	1	A2	買い物に必要な情報を得る（対面）	買い物をする際に、店や店の場所、商品の情報について、対面で人にたずね、必要な情報を得る	3	1	136	店を紹介してもらうために、友人に自分が購入したい生活雑貨や調理器具などの機能や用途について、短い簡単な言葉で説明したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				無	
III	1	A2	買い物に必要な情報を得る（対面）	買い物をする際に、店や店の場所、商品の情報について、対面で人にたずね、必要な情報を得る	3	1	137	道に迷ったとき、目的地への行き方について、短い簡単な言葉で人に質問したり、説明したりすることができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う	☆店ごとに受けられるサービスと代価を理解する			無	
III	2	A2	買い物に必要な情報を得る（インターネット）	買いたい商品に関する情報や、小売り業の変化に関する情報について、インターネットで検索し、必要な情報を得る	2	1	106	インターネット上にある日本の小売業に関する簡単な記事を読んで、商店街の不振、コンビニ、ネット通販、大型商業施設の増加など、小売業の変化について、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1	小売業の課題について話し合う	やり取り	III　消費活動を行う	☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る			有	
III	2	A2	買い物に必要な情報を得る（インターネット）	買いたい商品に関する情報や、小売り業の変化に関する情報について、インターネットで検索し、必要な情報を得る	2	1	145	商品情報が書かれた広告などを見て、買いたい商品の材質や使い方など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			III　消費活動を行う				有	
III	3	B1	送られてくるお知らやガイドブックから飲食店の情報を得る（読む）	日常生活に関わる情報について、送られてくるお知らせを理解したり、雑誌やガイドブックから必要な情報を探し出す	1	1	123	県や都市別の旅行雑誌やガイドブックなどの、ある程度長い文章に目を通して、おすすめの飲食店の種類や特徴など、その地域の外食事情を知るために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	0.5	108	店で買物をするとき、買いたいものや個数を伝えることができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	0.5	109	スーパーなどの売り場で、店員に、買いたいものがどこにあるか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	1	110	デパートなどの店員に、店頭に出ている衣料品の他の色やサイズがあるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	1	111	市場の生鮮食料品店などで買い物をするとき、店の人に商品の種類、産地、料理方法などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	0.2	117	店や飲食店などで、「すみません」などの表現を使って、店員を呼ぶことができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う	・日本では小売店などで値段交渉をしない等の習慣の違いについて			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	1	118	店員に、例えば「着てみてもいいですか」などの覚えた表現を使って、試着できるか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	4	A2	お店で買い物をする	店で店員に必要なことを質問しながら買い物をする	5	0.8	120	店で買いたい物があるとき、実物を指さしながら、「これ、ください」「あれ、見せてください」など、短い簡単な言葉で頼むことができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う	・支払いの方法(キャッシュレス決済等)やクーポン(割引券)の利用について			無	
III	5	A1	値段を確認する	商品の値段を見たり聞いたりして確認する	2	0.5	113	店で商品の値札などを見て、値段を確認することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	5	A1	値段を確認する	商品の値段を見たり聞いたりして確認する	2	1	114	店員に、買いたいものの値段を尋ね、答えを理解することができる。	読むこと	A1			III　消費活動を行う				有	
III	5	A1	値段を確認する	商品の値段を見たり聞いたりして確認する	2	0.5	147	レシートを見て、何がいくらだったのか、値段に間違いはないかなどを確認することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う	・口座開設に必要なものについて			無	
III	6	A1	店で支払いをする	店での支払いの際に、可能な支払方法について店員に確認する	1	0.5	119	店や飲食店などでの支払の際に、キャッシュレス決済や割引券などのサービスが使えるかどうか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	6	A1	店で支払いをする	店での支払いの際に、可能な支払方法について店員に確認する	1	0.5	135	店で代金を払うとき、クレジットカードが使えるかどうか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う	☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る			無	
III	7	A2	レストランに予約をしてから行く	レストランを自分で選んで予約をしてから行く	2	1	124	食べたい料理について、どこで食べられるか、どこが安い店かなどの簡単な情報を、友人に質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				無	
III	7	A2	レストランに予約をしてから行く	レストランを自分で選んで予約をしてから行く	2	0.5	125	電話でレストランなどの予約をするとき、ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、日時、人数などの店員の質問に答えることができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う	・日本でのベジタリアンやハラルフード対応について			無	鶏肉、豚肉、牛肉などの簡単な漢字 アレルギー表示に出てくる漢字
III	7	A2	レストランに予約をしてから行く	レストランを自分で選んで予約をしてから行く	2	0.5	127	レストランの入口で、店員に名前や予約時間などを聞かれたとき、答えることができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	8	A1	飲食店へ行き、メニューを見る	飲食店へ行き、メニューを見て内容を理解する	2	0.5	128	飲食店に入ったとき、人数と、喫煙席か禁煙席かなどの希望を店員に言うことができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				有	料理名のカタカナ・ひらがな、鶏肉、豚肉、牛肉などの簡単な漢字

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
III	8	A1	飲食店へ行き、メニューを見る	飲食店へ行き、メニューを見て内容を理解する	2	0.5	129	ファストフード店やレストランなどでメニューを見て、自分が知っている食べ物や飲み物の名前など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A1			III　消費活動を行う				無	
III	8	A1	飲食店へ行き、メニューを見る	飲食店へ行き、メニューを見て内容を理解する	2	1	131	和食の店のメニューを読んで、料理の名前や短い簡単な説明など、いくつかの情報を理解することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				無	
III	9	A2	飲食店で料理について質問する	飲食店で、注文する前に、店員に料理について質問し、必要な情報を得る	3	1	126	地域のエスニックレストランなどの飲食店についてよく知っている人に、場所や雰囲気、好みの料理、アレルギーやハラルへの対応の有無などの希望を詳しく言って、必要な情報を得ることができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	9	A2	飲食店で料理について質問する	飲食店で、注文する前に、店員に料理について質問し、必要な情報を得る	3	1	130	飲食店の店員に、料理に使われている食材や味などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	読むこと	A2			III　消費活動を行う				有	料理名のカタカナ・ひらがな、鶏肉、豚肉、牛肉などの簡単な漢字
III	9	A2	飲食店で料理について質問する	飲食店で、注文する前に、店員に料理について質問し、必要な情報を得る	3	1	134	飲食店の店員に、信仰上食べられないものなどについて、ある程度詳しく説明し、希望するとおりの注文が受けられるかどうか、確認することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う	・支払いの方法(キャッシュレス決済等)やクーポン(割引券)の利用について			無	
III	10	A1	飲食店で注文する	飲食店で必要なものを注文する	1	0.2	132	飲食店で、サンプルやメニューを指さしながら、料理や飲み物を、「これをください」など簡単な言葉で注文することができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	10	A1	飲食店で注文する	飲食店で必要なものを注文する	1	0.8	133	飲食店などで店員に、料理や飲み物などを短い簡単な言葉で注文することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う	・日本でのベジタリアンやハラルフード対応について			無	鶏肉、豚肉、牛肉などの簡単な漢字 アレルギー表示に出てくる漢字
III	11	A1	クリーニング店を利用する	クリーニング店でクリーニングを頼む	2	0.5	141	クリーニング店にある看板や表示を見て、服の種類や料金など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	書くこと	A1			III　消費活動を行う				有	
III	11	A1	クリーニング店を利用する	クリーニング店でクリーニングを頼む	2	1	142	美容院やクリーニング店などで、会員証の申込書に名前、住所など、自分の基本的な情報を書くことができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う				無	
III	11	A1	クリーニング店を利用する	クリーニング店でクリーニングを頼む	2	0.5	143	クリーニング店に服を出すとき、実物や料金を示しながら話されれば、「染み抜きをしますか」「デラックスにしますか」などの特別な洗い方に関する店員の簡単な質問に答えることができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				無	
III	12	B1	電気製品を買う	電気製品を買う際に、自分で情報を比較しどれにするか決めたり、電気屋で店員とやり取りしながら商品を選んだり、価格交渉する	3	1	112	電気屋などで店員に、パソコンなど買いたい商品についての説明を受けているときに、説明になかった点を質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
III	12	B1	電気製品を買う	電気製品を買う際に、自分で情報を比較しどれにするか決めたり、電気屋で店員とやり取りしながら商品を選んだり、価格交渉する	3	0.5	115	携帯電話の機種を変更したいとき、販売店の担当者に新機種の機能や料金プランなどについて、自分の希望をある程度詳しく説明することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	12	B1	電気製品を買う	電気製品を買う際に、自分で情報を比較しどれにするか決めたり、電気屋で店員とやり取りしながら商品を選んだり、価格交渉する	3	0.5	116	電気屋などで店員に、他店との比較など値引きに値する根拠を説明しながら、商品の値段を交渉することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	12	B1	電気製品を買う	電気製品を買う際に、自分で情報を比較しどれにするか決めたり、電気屋で店員とやり取りしながら商品を選んだり、価格交渉する	3	1	146	いくつかのメーカーの商品を比較する雑誌やウェブサイトなどの簡単な記事に目を通して、それぞれの特徴など、どれを買うか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			III　消費活動を行う				有	
III	13	B1	お店の機器を利用する	比較的手順が簡単な機器を画面表示を見たり、店員に聞いたりしながら利用する	3	1	139	商業施設にある比較的手順が簡単な機器（ATM、コピー機、証明写真撮影機等）の利用方法について、短い簡単な言葉で店員に尋ね、実際に手順を見せてもらいながら簡単な説明を聞いて、大まかに理解することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う				有	
III	13	B1	お店の機器を利用する	比較的手順が簡単な機器を画面表示を見たり、店員に聞いたりしながら利用する	3	1	140	商業施設などにあるATM・コピー機・証明写真機などの操作画面に表示された簡単な説明を読んで、操作手順など主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			III　消費活動を行う	☆店ごとに受けられるサービスと代価を理解する			有	
III	13	B1	お店の機器を利用する	比較的手順が簡単な機器を画面表示を見たり、店員に聞いたりしながら利用する	3	1	154	商業施設にある比較的手順が簡単な機器（ATM、コピー機、証明写真撮影機等）の利用方法などについて店員などに質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	14	A2	お店でサービスを受ける	美容院やスポーツクラブなど、日常生活で利用する施設で自分の希望を伝える	2	1	138	発音がはっきりしていれば、地域の公民館や体育館などの受付で、職員による施設の予約や利用の方法、活動を行っているグループへの参加方法などの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			III　消費活動を行う				無	
III	14	A2	お店でサービスを受ける	美容院やスポーツクラブなど、日常生活で利用する施設で自分の希望を伝える	2	1	144	美容院で、美容師とヘアカタログの写真を見ながら、どのような髪型がいいかなどを話し合うことができる	やり取り	A2			III　消費活動を行う				有	
III	15	A2	銀行で手続きをする	銀行で口座を作り、振り込みや海外送金の仕方などの説明を理解する	4	1	148	銀行で案内係に、「口座を開きたいんですけど」「振り込みをしたいんですけど」などの覚えた表現を使って、希望を言うことができる。	やり取り	A1			III　消費活動を行う	☆振込・両替・ローン・キャッシュカード取得・公共料金の支払いなどの方法を知る			無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
III	15	A2	銀行で手続きをする	銀行で口座を作り、振り込みや海外送金の仕方などの説明を理解する	4	1	149	銀行で、口座開設や振り込みなどの申込書に、住所、氏名、電話番号、生年月日など、自分の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1			III　消費活動を行う	☆適切な暗証番号を準備する ・口座開設に必要なものについて			有	
III	15	A2	銀行で手続きをする	銀行で口座を作り、振り込みや海外送金の仕方などの説明を理解する	4	0.5	150	銀行の窓口で、口座開設の申請書や振込依頼書などの書き方を尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A2			III　消費活動を行う	☆適切な暗証番号を準備する ・口座開設に必要なものについて			無	
III	15	A2	銀行で手続きをする	銀行で口座を作り、振り込みや海外送金の仕方などの説明を理解する	4	1	151	銀行の窓口で、海外送金の申込み方やそのために必要な書類などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う	☆振込・両替・ローン・キャッシュカード取得・公共料金の支払いなどの方法を知る			無	
III	15	A2	銀行で手続きをする	銀行で口座を作り、振り込みや海外送金の仕方などの説明を理解する	4	0.5	153	銀行の担当者にローンの契約内容などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う	・返品や返金のルールについて			無	
III	16	B1	トラブルを解決する	買い物に関わるトラブル（商品の不具合、接客態度への不満など）に対処する	2	1	121	ホームセンターなどで店員に、購入したばかりの商品の不具合などを簡単に説明し、返品や取替えを要求することができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				無	
III	16	B1	トラブルを解決する	買い物に関わるトラブル（商品の不具合、接客態度への不満など）に対処する	2	1	122	デパートなどで店の責任者に、店員の接客態度などについて、自分が問題だと思う点をある程度詳しく説明し、苦情を言うことができる。	やり取り	B1			III　消費活動を行う				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
IV	1	B1	駅で旅行の手配をする	駅や空港の窓口で旅行プランについて相談し，適切な交通手段や宿泊施設などの手配をする。	2	1	158	できるだけ早く目的地に行きたいとき、駅や空港の窓口でスタッフに、交通手段や所要時間、乗換回数などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	掲示を読む	読むこと	IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	1	B1	駅で旅行の手配をする	駅や空港の窓口で旅行プランについて相談し，適切な交通手段や宿泊施設などの手配をする。	2	1	159	どのような切符で旅行するか検討するために、駅などの窓口でフリーパス、夫婦やグループでの割引、クーポンやキャンペーンなどについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	パンフレットを読む	読むこと	IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	2	A2	通勤のために自転車を利用する１	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，ホームページを参照したり，実際の表示を見たりして検討する。	3	1	179	駐輪場にある「無料駐輪場」「30分無料」「1時間無料」など、よく見かける非常に短い表示を見て、駐輪するのにお金がかかるかどうか確認することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	2	A2	通勤のために自転車を利用する１	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，ホームページを参照したり，実際の表示を見たりして検討する。	3	1	178	役所のホームページにある駐輪場に関するページの短い簡単なテクストを見て、駅別駐輪場のリストなど、どこに駐輪場があるのか確認するのに必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	2	A2	通勤のために自転車を利用する１	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，ホームページを参照したり，実際の表示を見たりして検討する。	3	1	177	駐輪場入口にある利用方法や料金の支払い方法などが書かれた看板の短い簡単な文を見て、駐輪場を利用するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	3	B1	通勤のために自転車を利用する２	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，様々な情報を収集し，最終的に定期利用を申し込む。	3	1	181	駐輪場の係員に、利用料金や支払方法や支払場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			IV　目的地に移動する				無	
IV	3	B1	通勤のために自転車を利用する２	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，様々な情報を収集し，最終的に定期利用を申し込む。	3	1	180	役所のホームページの駐輪場に関するページの、ある程度長い文章に目を通して、使用料や申込み方法、利用時間など、駐輪場を定期利用するのに必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	3	B1	通勤のために自転車を利用する２	通学・通勤用に駅の駐輪場を借りるために，様々な情報を収集し，最終的に定期利用を申し込む。	3	1	176	通勤・通学で利用できる駅の駐輪場について、場所や利用方法、手続などの詳しい情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			無	
IV	4	B1	教習所に通う	自動車教習所で入港手続きをして，通学して免許取得まで講義や実技を受ける。	2	1	189	発音がはっきりしていれば、自動車教習所などで、職員による適性検査や教習スケジュールなど入校手続に関する説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			IV　目的地に移動する			・日本の運転免許のシステムについて	無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
IV	4	B1	教習所に通う	自動車教習所で入校手続きをして，通学して免許取得まで講義や実技を受ける。	2	1	185	発音がはっきりしていれば、自動車教習所のオリエンテーションで、教官から、どのような講義や教習、試験を受ければいいのかなど、運転免許証取得までの流れについての説明を聞いて、主要な情報を理解することができる	聞くこと	B1			IV　目的地に移動する			・日本の運転免許のシステムについて	無	
IV	5	B1	免許の取得と更新	運転免許証の取得や更新をするために，運転免許更新センターに必要なものを問い合わせたり，実際に行って取得や更新の手続きをする。	2	2	187	<187a>運転免許証の取得（国際免許の切り替え）や更新をするとき、運転免許更新センターに電話し、担当者に手続の手順や必要書類、手数料などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する			・日本の運転免許のシステムについて	無	
IV	6	A1	タクシーに乗る１	掲示や標識などを見たり，近くにいる人に聞いたりしてタクシー乗り場を探す。	1	0.5	162	駅などで、「タクシー乗り場」「東口」などの掲示や標識を見て、タクシー乗り場や出入り口を確認することができる。	読むこと	A1	掲示を読む	読むこと	IV　目的地に移動する				有	
IV	6	A1	タクシーに乗る１	掲示や標識などを見たり，近くにいる人に聞いたりしてタクシー乗り場を探す。	1	0.5	163	駅などで、近くにいる人などに、タクシー乗り場やバス乗り場がどこにあるか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	発表	A1			IV　目的地に移動する				無	
IV	7	A1	タクシーに乗る２	タクシーの運転手にメモや書き込んだ地図を見せて行き先を伝える。	1	0.5	164	タクシーの運転手に見せるために、行き先や地図などの短い簡単なメモを書くことができる。	書くこと	A1			IV　目的地に移動する				有	
IV	7	A1	タクシーに乗る２	タクシーの運転手にメモや書き込んだ地図を見せて行き先を伝える。	1	0.5	165	タクシーの運転手に行き先を伝えることができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する				無	
IV	8	A2	タクシーに乗る３	タクシーの運転手に行き先までどれぐらいかかる確認し，目的地について具体的な説明をして運転を依頼する。	2	1	166	タクシーの運転手に、行き先までどのくらいかかるか、短い簡単な言葉で尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する				無	
IV	8	A2	タクシーに乗る３	タクシーの運転手に行き先までどれぐらいかかる確認し，目的地について具体的な説明をして運転を依頼する。	2	1	167	タクシーに乗っているとき、運転手に、行き先付近の目標物、そこからの方向や距離など行き方について、ある程度詳しく説明し、運転を依頼することができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する				無	
IV	9	A2	タクシーを予約する	電話もしくはホテルやレストランでタクシーの予約を依頼する。	1	0.5	160	電話で、タクシーの予約をするとき、ゆっくりとはっきりと話されれば、名前や電話番号、日時、場所などのタクシー会社のスタッフの質問に答えることができる。	やり取り	A2			IV　目的地に移動する				無	
IV	9	A2	タクシーを予約する	電話もしくはホテルやレストランでタクシーの予約を依頼する。	1	0.5	161	タクシーを呼んでもらいたいときに、ホテルやレストランのスタッフに、短い簡単な言葉で依頼することができる。	やり取り	A2			IV　目的地に移動する				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
IV	10	A1	交通ルールを知る1	道路標識などについてパンフレットやホームページで学び，街中で確認する。日本の交通ルールについて理解し，話し合う。	1	1	182	街中にある「駐輪場」「駐輪禁止」「専用駐輪場」などのマークやイラスト入りの非常に短い表示や看板を見て、そこに停められるかどうかを確認することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する				有	
IV	11	B1	交通ルールを知る2	道路標識などについてパンフレットやホームページで学び，街中で確認する。日本の交通ルールについて理解し，話し合う。	3	1	194	交通ルールに関するパンフレットやウェブサイトに書いてある、日本の道路標識に関する簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			IV　目的地に移動する				有	
IV	11	B1	交通ルールを知る2	道路標識などについてパンフレットやホームページで学び，街中で確認する。日本の交通ルールについて理解し，話し合う。	3	1	174	警察が発行している、交通安全のためのリーフレットなどの簡単な説明を読んで、ルールを守って安全に自動車や自転車に乗るための重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			IV　目的地に移動する				有	
IV	11	B1	交通ルールを知る2	道路標識などについてパンフレットやホームページで学び，街中で確認する。日本の交通ルールについて理解し，話し合う。	3	1	173	日本の交通ルールについて、出身の国や地域などとの違いや共通点などの詳しい情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する				無	
IV	12	A1	電車に乗る	駅の表示や行き先掲示を見て電車を利用できる。券売機も利用できる。わからないときに人に確認する。	2	0.5	155	バスの運転手に、目的の停留所までどのくらいかかるか、短い簡単な言葉で尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			有	
IV	12	A1	電車に乗る	駅の表示や行き先掲示を見て電車を利用できる。券売機も利用できる。わからないときに人に確認する。	2	0.5	156	駅で駅員に、目的地への行き方や電車の乗り方などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			無	
IV	12	A1	電車に乗る	駅の表示や行き先掲示を見て電車を利用できる。券売機も利用できる。わからないときに人に確認する。	2	1	157	駅の券売機で、駅員等と一緒に操作しながら、切符の買い方やICカードのチャージの仕方について、短い簡単な言葉で尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する	・日本の電車の運行システムについて			無	
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	0.2	171	ガイドブックやフリーペーパーでお店の情報や地図を見て、目的の場所までの交通手段や所要時間など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			IV　目的地に移動する				有	
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	0.2	195	電車やバスの路線図に添えられた「地下鉄〇〇線」「市バス〇〇系統」などの凡例を見て、乗りたい路線の名前や乗換場所など、基本的な情報を確認することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する				有	
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	0.2	168	地名表示や家の表札を見て、訪問先の住所や名前が書かれたメモと同じかどうかを確認することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する	・日本の住所の記載方法について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	0.2	170	駅や街中などにある案内板や簡単な地図を見て、目的地を確認することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する				有	
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	0.2	169	目的地への行き方が分からないとき、近くの人に、住所のメモを見せながら、「これ、どこですか」「行き方を教えてください」など、短い簡単な言葉で頼むことができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する				無	
IV	13	A1	地図を頼りに目的地を尋ねる	スマートフォンなどの地図アプリを利用して目的地を尋ねる。わからないときには人に確認する。	2	1	172	目的地への行き方が分からないとき、友人に、行き方のメモや簡単な地図を書いてくれるよう依頼することができる。	やり取り	A1			IV　目的地に移動する				無	
IV	14	A1	駐車場に関する表示を理解する	「駐車場」「P」「空」「満」など，町の中でよく見かける駐車場に関する非常に短い表示を見て，理解する。	1	1	192	駐車場を利用するとき、「空」や「満」、「60分100円」などの非常に短い表示を見て、空き状況や利用料金などを理解することができる。	読むこと	A1			IV　目的地に移動する				有	
IV	15	B1	交通違反に対処する	スピード違反や駐車違反などの交通違反をしてしまったとき，警察官による説明を聞き，対処する。	1	1	197	発音がはっきりしていれば、スピード違反などで警察官に止められたとき、警察官による違反の内容や罰則などの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			IV　目的地に移動する		交通ルール		無	
IV	16	B1	自動車保険への加入	自動車の保険の手続きをするために必要な情報を担当者から聞き，加入に必要な事項を伝える。	1	1	191	自転車や自動車の保険の手続をするときに、問い合わせ先に書かれた連絡先に電話し、加入に必要な事項を伝え、担当者の質問に答えることができる。	やり取り	B1	パンフレットを読む	読むこと	IV　目的地に移動する			・自転車や自動車の保険について	有	
IV	17	B1	車検を受ける	車両の法定点検（定期点検）のとき，ディーラーや整備工場などでスタッフに点検や代車を依頼する。	1	1	196	車両の法定点検（定期点検）のとき、ディーラーや整備工場などでスタッフに、事情や希望をある程度詳しく説明し、点検や代車を依頼することができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する			・車両の法定点検（定期点検）の制度について	無	
IV	18	B1	自転車のメンテナンス	自転車を利用するために故障や盗難に対応したりする。保険にも対応できる。	2	0.5	175	自転車屋などで店員に、タイヤやブレーキなど問題がある部分について、ある程度詳しく説明し、点検や修理を依頼することができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する				無	
IV	18	B1	自転車のメンテナンス	自転車を利用するために故障や盗難に対応したりする。保険にも対応できる。	2	0.5	183	自転車が盗まれたとき、自転車を探すために、友人や警察などに、自転車の特徴やそのときの状況などについて簡単に説明し、相談することができる。	やり取り	B1			IV　目的地に移動する	・自転車の防犯登録、盗難届等について			無	
IV	18	B1	自転車のメンテナンス	自転車を利用するために故障や盗難に対応したりする。保険にも対応できる。	2	1	191	自転車や自動車の保険の手続をするときに、問合わせ先に書かれた連絡先に電話し、加入に必要な事項を伝え、担当者の質問に答えることができる。	やり取り	B1	パンフレットを読む	読むこと	IV　目的地に移動する	・自転車の防犯登録、盗難届等について		・自転車や自動車の保険について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	1	A1	予防接種を受ける1	子供に予防接種を受けさせるために，窓口で問診票をもらって記入し，予後について医師と話す。	1	0.3	244	予防接種を受けたとき、自分に向かってゆっくりはっきりと話されれば「運動はしないでください」「熱が出ます」など、イラストなどの視覚的な情報を伴った医者のごく簡単な指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	1	A1	予防接種を受ける1	子供に予防接種を受けさせるために，窓口で問診票をもらって記入し，予後について医師と話す。	1	0.2	241	子供が予防接種を受ける時、病院の窓口などで、母語など自分のわかる言語が話せる人がいるかどうかや、自分の母語で書かれた予防接種の予診票があるかどうか、短い簡単な言葉で尋ね、答えを聞いて理解することができる。	やり取り	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	1	A1	予防接種を受ける1	子供に予防接種を受けさせるために，窓口で問診票をもらって記入し，予後について医師と話す。	1	0.5	240	子供の予防接種の予診票に、子供の名前、住所、年齢・月齢など、子供の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	
V	2	A2	予防接種を受ける2	役所から来た接種券を読み，母子手帳と見比べて必要な予防接種か判断する。さらに就学前検診の調査票を書くことができ，次回の予約もできる。	2	0.5	212	乳幼児健診や予防接種を受けるとき、母子健康手帳の該当ページを見て、これまでに子供が受けた予防接種の種類や回数など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	
V	2	A2	予防接種を受ける2	役所から来た接種券を読み，母子手帳と見比べて必要な予防接種か判断する。さらに就学前検診の調査票を書くことができ，次回の予約もできる。	2	0.5	238	役所からくる子供の予防接種の接種券とそのお知らせに書いてある短い簡単な説明を見て、その接種券をどのように使うかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	
V	2	A2	予防接種を受ける2	役所から来た接種券を読み，母子手帳と見比べて必要な予防接種か判断する。さらに就学前検診の調査票を書くことができ，次回の予約もできる。	2	0.5	239	子供のかかりつけの病院のスタッフに、次回、いつ、何の予防接種を受けることができるか、いつ予約できるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	2	A2	予防接種を受ける2	役所から来た接種券を読み，母子手帳と見比べて必要な予防接種か判断する。さらに就学前検診の調査票を書くことができ，次回の予約もできる。	2	0.5	298	記入例があれば、就学前健診に必要な調査票などの、今までに受けた予防接種、今までにした病気やけが、アレルギーの有無、発達に関して気になっていることなどを聞く質問に対して、あてはまるものを選んだり、書き込んだりすることができる。	書くこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の学校制度について	有	
V	3	B1	予防接種を受ける3	子供の予防接種の予診票を読み，副反応など条件を理解して，質問の回答を記入する。	2	1	243	子供の予防接種の予診票に付属している説明書きなど、ある程度長い文章に目を通して、接種できる条件や接種後の注意、副反応など、接種のために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	3	B1	予防接種を受ける3	子供の予防接種の予診票を読み，副反応など条件を理解して，質問の回答を記入する。	2	1	242	必要に応じて確認することができれば、子供の予防接種の予診票の質問をだいたい理解し、答えを書くことができる。	書くこと	B1			V　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	
V	4	B1	妊娠中の体調管理	妊娠中の食生活や体調管理について医師の指示を聞き，悪阻や貧血など体調不良が生じたときの対応について質問する。	1	0.5	204	発音がはっきりしていれば、妊娠中の食生活や体調管理などに関する医者からの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	4	B1	妊娠中の体調管理	妊娠中の食生活や体調管理について医師の指示を聞き，悪阻や貧血など体調不良が生じたときの対応について質問する。	1	0.5	205	妊娠中に悪阻（つわり）や貧血などの体調不良が生じたとき、医師や病院のスタッフなどに、その症状についてある程度詳しく説明し、薬の処方など適切な処置を受けることができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	5	B1	保健センターの窓口から情報を得る	保健センターの窓口などで妊娠中や出産後のサービス（新生児訪問，母親学級・両親学級など）について説明を聞く。	1	0.5	210	発音がはっきりしていれば、保健センターの窓口などで、妊娠中や出産後の悩みや疑問を相談できる窓口があることや、出産後、助産師による新生児訪問があることなどについての職員による説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	5	B1	保健センターの窓口から情報を得る	保健センターの窓口などで妊娠中や出産後のサービス（新生児訪問，母親学級・両親学級など）について説明を聞く。	1	0.5	211	発音がはっきりしていれば、母親学級・両親学級などで、講師による赤ちゃんの世話に関する説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	6	B1	ホームページから出産後の情報を得る	自治体や保健センターのホームページを呼んで，妊婦検診や母子健康手帳などについて情報を得る。	2	0.7	198	役所のホームページなどの、妊婦健診制度について説明しているページの簡単な説明を読んで、妊婦健診の重要性や目的など、制度の主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	6	B1	ホームページから出産後の情報を得る	自治体や保健センターのホームページを呼んで，妊婦検診や母子健康手帳などについて情報を得る。	2	0.7	201	地域の保健センターについて説明しているウェブサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、保健センターの役割や母子健康に関する事業の内容など、利用するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	6	B1	ホームページから出産後の情報を得る	自治体や保健センターのホームページを呼んで，妊婦検診や母子健康手帳などについて情報を得る。	2	0.6	207	自治体のウェブサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、母子健康手帳の交付場所や手続の方法など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	7	A2	妊婦検診を受けられる機関を探す	妊婦検診が受けられる医療機関（産婦人科など）を探すために友人や知り合いから口コミ情報を得る。また，当該の医療機関を電話で予約する。	2	0.5	199	妊婦健診について、頻度やどのような検査をするかなどの簡単な情報を、出産経験のある友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	7	A2	妊婦検診を受けられる機関を探す	妊婦検診が受けられる医療機関（産婦人科など）を探すために友人や知り合いから口コミ情報を得る。また，当該の医療機関を電話で予約する。	2	0.5	200	妊娠検査が受けられる産婦人科やレディースクリニックなどの地域の医療施設について、場所や様子などの簡単な情報を、友人や知り合いに質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	7	A2	妊婦検診を受けられる機関を探す	妊婦検診が受けられる医療機関（産婦人科など）を探すために友人や知り合いから口コミ情報を得る。また，当該の医療機関を電話で予約する。	2	0.5	202	妊婦健診が受けられる近所の医療機関について、評判や希望する出産方法が選べるかどうかなどの詳しい情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ｖ　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	7	A2	妊婦検診を受けられる機関を探す	妊婦検診が受けられる医療機関（産婦人科など）を探すために友人や知り合いから口コミ情報を得る。また，当該の医療機関を電話で予約する。	2	0.5	203	妊婦健診を受けるために、医療機関に電話で予約をするとき、名前や電話番号、予約日時、診察を希望する理由などを、医療機関のスタッフに短い簡単な言葉で伝えることができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	8	A2	母子健康手帳をもらう	妊婦検診のときに妊娠届の提出先を確認し，妊娠届を記入して母子健康手帳をもらう。また，保健センターの窓口などで自分の母語の母子健康手帳があるか確認する。	2	0.8	208	保健センターの窓口などで、自分の母語で書かれた母子健康手帳があるかどうか、短い簡単な言葉で尋ね、答えを聞いて理解することができる。	やり取り	A1			Ｖ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	8	A2	母子健康手帳をもらう	妊婦検診のときに妊娠届の提出先を確認し，妊娠届を記入して母子健康手帳をもらう。また，保健センターの窓口などで自分の母語の母子健康手帳があるか確認する。	2	0.4	206	妊婦健診のとき、医師や助産師などに、母子健康手帳をもらうためにどこへ行けばいいかについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	8	A2	母子健康手帳をもらう	妊婦検診のときに妊娠届の提出先を確認し，妊娠届を記入して母子健康手帳をもらう。また，保健センターの窓口などで自分の母語の母子健康手帳があるか確認する。	2	0.8	209	分からない点について窓口の職員に聞くことができれば、居住する市町村に提出する妊娠届の、生活習慣や妊娠歴など母子健康に関する項目を理解し、適切な選択肢を選ぶことができる。	書くこと	A2	分からない点について質問する	やり取り	Ｖ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	9	A2	赤ちゃんの身長と体重	赤ちゃんの身長と体重を測って、母子健康手帳に記入する。助産師のアドバイスを聞き，赤ちゃんの成長について確認する。	1	0.3	227	産後すぐの健診や、赤ちゃん訪問のときに、助産師による赤ちゃんの体重の測り方などの簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の育児に関する制度について		
V	9	A2	赤ちゃんの身長と体重	赤ちゃんの身長と体重を測って、母子健康手帳に記入する。助産師のアドバイスを聞き，赤ちゃんの成長について確認する。	1	0.4	226	母子健康手帳の保護者自身が記入する乳幼児の成長記録のページの項目を読んで、おおよその月齢に対応する平均的な発育についての短い簡単な説明を読んで、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の育児に関する制度について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	9	A2	赤ちゃんの身長と体重	赤ちゃんの身長と体重を測って、母子健康手帳に記入する。助産師のアドバイスを聞き，赤ちゃんの成長について確認する。	1	0.3	228	健診等で助産師や保健師、医師に分からない言葉について質問することができれば、乳幼児の発達曲線のグラフを見て、自分の子供の体重、身長が標準値と比べてどうかを確認することができる。	読むこと	A1	分からない点について質問する	やり取り	V　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて		・日本の育児に関する制度について	有	
V	10	A2	出産準備をする	出産までのスケジュールを確認し，生まれそうな時の対応を相談する。また，生まれた後に必要な手続きや，生まれた子供の在留資格などについても相談する。	3	0.5	214	発音がはっきりしていれば、病室の使い方や退院までのスケジュールなど、病院での過ごし方に関する説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	10	A2	出産準備をする	出産までのスケジュールを確認し，生まれそうな時の対応を相談する。また，生まれた後に必要な手続きや，生まれた子供の在留資格などについても相談する。	3	0.5	213	助産師や友人に、出産のための入院準備品リストなどに書かれた知らないものについて、どんなものか、どこで買えるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2	出産のための入院準備品リストを読む	読むこと	V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	10	A2	出産準備をする	出産までのスケジュールを確認し，生まれそうな時の対応を相談する。また，生まれた後に必要な手続きや，生まれた子供の在留資格などについても相談する。	3	0.5	216	分娩する病院に電話で、陣痛の開始や間隔などについて説明し、いつ病院に行けばいいかなど、簡単な指示を理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	10	A2	出産準備をする	出産までのスケジュールを確認し，生まれそうな時の対応を相談する。また，生まれた後に必要な手続きや，生まれた子供の在留資格などについても相談する。	3	1	209	役所の窓口で担当者に、生まれた子供の在留資格を取得するための手続や、取得期限、申請場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	10	A2	出産準備をする	出産までのスケジュールを確認し，生まれそうな時の対応を相談する。また，生まれた後に必要な手続きや，生まれた子供の在留資格などについても相談する。	3	0.5	220	パートナーやその両親に、赤ちゃんが生まれそうなときにどのようにしてほしいかなど、短い簡単な言葉で希望を伝えたり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	11	B1	妊婦と医師とのやりとり	出産の前後に入院しているとき，医師や助産師などに自分の体調や心配事などについてある程度詳しく説明し，相談する。	1	1	217	出産の前後に入院しているとき、医師や助産師などに自分の体調や心配事などについてある程度詳しく説明し、相談することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	12	B1	出産補助制度の理解	役所などの窓口で，出産育児一時金や出産手当金，育児休業給付金などの各種補助について質問し理解する。	1	1	218	役所などの窓口で、出産育児一時金や、出産手当金、育児休業給付金などの各種補助について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について		
V	13	A2	乳幼児検診を受ける	役所のホームページで乳幼児検診の情報を得て，電話で予約する。さらに保健センターの窓口で問診票をもらうときに自分の母語のものがあるかどうか確認する。	2	1	221	役所のウェブサイトなどの、乳幼児健診制度について説明しているページの簡単な説明を読んで、乳幼児健診の重要性や目的など、制度の主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	13	A2	乳幼児検診を受ける	役所のホームページで乳幼児検診の情報を得て，電話で予約する。さらに保健センターの窓口で問診票をもらうときに自分の母語のものがあるかどうか確認する。	2	0.5	222	任意の乳幼児健診を受けたいとき、受診する医療機関に電話で子供の月齢や希望する日時などを簡単な言葉で伝え、健診の予約を依頼することができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	13	A2	乳幼児検診を受ける	役所のホームページで乳幼児検診の情報を得て，電話で予約する。さらに保健センターの窓口で問診票をもらうときに自分の母語のものがあるかどうか確認する。	2	0.5	225	保健センターの窓口などで、自分の母語で書かれた乳幼児健診の問診票があるかどうか、短い簡単な言葉で尋ね、答えを聞いて理解することができる。	やり取り	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	14	A2	乳幼児検診でのやりとり	乳幼児健診の問診で，医師や保健師に子供の発育や育児環境などについて心配なことを質問し，説明を理解する。	1	0.5	224	時々くり返しや説明を求めることができれば、乳幼児健診の問診で、子供の発育や育児環境などについての簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	14	A2	乳幼児検診でのやりとり	乳幼児健診の問診で，医師や保健師に子供の発育や育児環境などについて心配なことを質問し，説明を理解する。	1	0.5	223	乳幼児健診のとき、医師や保健師や助産師に子供の発育や心配なことについて説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	15	B1	子供の発達についての相談	地域の子育て支援センターや子供の育児相談のスタッフや，出産毛権者の友人に子供の発育・発達について相談することができる。	1	0.5	229	地域の子育て支援センターや子供の育児相談の窓口などで、子供の健康状態や発育などの悩みについて、状況や心情を説明し、相談することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	15	B1	子供の発達についての相談	地域の子育て支援センターや子供の育児相談のスタッフや，出産毛権者の友人に子供の発育・発達について相談することができる。	1	0.5	230	出産経験者と、子供の健康や発育などの悩みや不安、疑問などについて話したり、相手の話に対して簡単なコメントや意見を述べたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	16	A1	出生届を出す	居住する市町村に提出する出生届に、生まれた子供の名前や自分の名前、住所などの基本的な情報を書く。	1	1	215	分からない点について質問することができれば、居住する市町村に提出する出生届に、生まれた子供の名前や自分の名前、住所などの基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1	分からない点について質問する	やり取り	Ⅴ　子育て・教育をする			・日本の妊娠・出産に関する制度について	有	
V	17	B1	子供の健康管理	病院に掲示してあるポスターや乳幼児検診の資料から子供の健康管理や生活習慣の情報を得る。また，検診や友人からも情報を得る。	2	0.5	233	発音と内容がはっきりしていれば、乳幼児健診で、子供の食習慣や栄養バランスなど食育に関する簡単な話を聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	17	B1	子供の健康管理	病院に掲示してあるポスターや乳幼児検診の資料から子供の健康管理や生活習慣の情報を得る。また，検診や友人からも情報を得る。	2	0.5	235	病院に掲示してある生活習慣に関するポスターなどの、簡単な説明を読んで、子供が健康的な生活をするために必要な睡眠時間や、歯磨き習慣など、重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	17	B1	子供の健康管理	病院に掲示してあるポスターや乳幼児検診の資料から子供の健康管理や生活習慣の情報を得る。また，検診や友人からも情報を得る。	2	0.5	234	乳幼児健診の資料や、幼稚園・保育園からのお便りなどのある程度長い文章を読んで、子供の体調管理や感染症対策をするために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて			有	
V	17	B1	子供の健康管理	病院に掲示してあるポスターや乳幼児検診の資料から子供の健康管理や生活習慣の情報を得る。また，検診や友人からも情報を得る。	2	0.5	232	子供が体調不良のときに、どんな対処法をとっているかなどについて、友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・子供の健康に関する公的サービスついて				
V	18	A2	子供のための情報収集１	ポスターや情報誌から子供に関するイベントの情報を得る。また，育児用品についてパートナーや友人と情報交換をする。	2	0.5	236	育児用品を買うために、ネットショッピングのサイトを見ながら、買う必要があると思うか、他の商品と比べてどれがいいかなど、パートナーや友人と短い簡単な言葉で話し合うことができる。	やり取り	A2	ネットショッピングのサイトを読む	読むこと	V　子育て・教育をする					
V	18	A2	子供のための情報収集１	ポスターや情報誌から子供に関するイベントの情報を得る。また，育児用品についてパートナーや友人と情報交換をする。	2	0.5	260	子供向けのイベントなどのポスターを見て、開催日、場所など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	読むこと	A1			V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について			有	
V	18	A2	子供のための情報収集１	ポスターや情報誌から子供に関するイベントの情報を得る。また，育児用品についてパートナーや友人と情報交換をする。	2	0.5	247	地域の児童館や子育て支援センターなどが主催する、乳幼児親子のための無料イベントや教室などのちらしを見て、日時や持ち物、申込み方法など、参加するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について			有	
V	18	A2	子供のための情報収集１	ポスターや情報誌から子供に関するイベントの情報を得る。また，育児用品についてパートナーや友人と情報交換をする。	2	0.5	251	子育て情報誌などの短い簡単な文を見て、近所の公園や子供向け施設など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について			有	
V	19	B1	子供のための情報収集２	乳幼児検診や子育て情報番組から育児サービスや公園遊びの必要性など子供の発育に関する情報を得る。	2	1	245	発音がはっきりしていれば、乳児健診や赤ちゃん訪問の担当者から、産前産後ヘルパーなど地域の育児サービスの利用方法や申込み方法などの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について				
V	19	B1	子供のための情報収集２	乳幼児検診や子育て情報番組から育児サービスや公園遊びの必要性など子供の発育に関する情報を得る。	2	1	253	子育て情報番組などを見て、映像やテロップなどを頼りに、公園遊びが子供の社会性を育むことや身体の発育に重要であることなど、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1	テレビのテロップを読む	読むこと	V　子育て・教育をする		・日本の保育事情について			
V	20	A1	公園で子供を遊ばせる１	公園で子供を遊ばせるときに，他の親や子供と簡単なコミュニケーションを取る。	1	0.5	257	公園で他の親子と同じ遊具で遊ぶときに、「お先にどうぞ」など短い簡単な言葉で順番を譲ったり、「ありがとうございます」などと答えたりすることができる。	やり取り	A1			V　子育て・教育をする		日本のマナー・ルール			

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	20	A1	公園で子供を遊ばせる１	公園で子供を遊ばせるときに，他の親や子供と簡単なコミュニケーションを取る。	1	0.5	258	公園などで、遊んでいる子供に、「順番だよ。並ぼうね」「危ないよ。やめてね」など、簡単な注意をすることができる。	やり取り	A1			V　子育て・教育をする		日本のマナー・ルール			
V	21	A2	公園で子供を遊ばせる２	公園で他の保護者とおすすめの遊び場などの情報交換をしたり，ボールや乗り物使用禁止など公園のルールについて理解して子供や他の保護者に説明する。	2	1	254	公園などで会った他の保護者と、普段どこで子供を遊ばせているかや、地域のおすすめの遊び場などについて、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする					
V	21	A2	公園で子供を遊ばせる２	公園で他の保護者とおすすめの遊び場などの情報交換をしたり，ボールや乗り物使用禁止など公園のルールについて理解して子供や他の保護者に説明する。	2	1	252	公園などで、ボールや乗り物など、使用が禁止されているものやその理由について、短い簡単な言葉で他の保護者に伝えたり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2	公園の表示や看板を読む	読むこと	V　子育て・教育をする		日本のマナー・ルール			
V	22	B1	公園で子供を遊ばせる３	公園で他の保護者と保育園や幼稚園，習い事などについて情報交換をする。また，子供同士が喧嘩したときに相手の保護者と交渉して解決する。	2	1	256	公園などで会った他の保護者に話しかけ、子供が通っている保育園や幼稚園、習い事など身近な話題について質問したり、質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする					
V	22	B1	公園で子供を遊ばせる３	公園で他の保護者と保育園や幼稚園，習い事などについて情報交換をする。また，子供同士が喧嘩したときに相手の保護者と交渉して解決する。	2	1	259	子供同士で遊んでいてけがをしたとき、相手の親にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする		日本のマナー・ルール			
V	23	A2	地域の育児サービスを利用する	赤ちゃん教室や親子体操教室など地域の育児サービスについて他の保護者から情報を聞き，自分で口頭や申込書で参加を希望する。またその際に育児相談窓口で気になっていることを相談する。	3	0.5	249	地域の児童館や子育て支援センターなどで、乳幼児親子のための無料イベントや教室などのちらしを見せながら「これに参加したいです」など、短い簡単な言葉で参加希望を伝えることができる。	やり取り	A1	乳幼児親子のための無料イベントや教室のチラシを読む	読むこと	V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について				
V	23	A2	地域の育児サービスを利用する	赤ちゃん教室や親子体操教室など地域の育児サービスについて他の保護者から情報を聞き，自分で口頭や申込書で参加を希望する。またその際に育児相談窓口で気になっていることを相談する。	3	1	250	育児でうまくいかないことや悩みがあるとき、役所の育児相談窓口などで、心配していることや困っている状況などについて説明し、相談することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする			・日本の育児に関する制度について		
V	23	A2	地域の育児サービスを利用する	赤ちゃん教室や親子体操教室など地域の育児サービスについて他の保護者から情報を聞き，自分で口頭や申込書で参加を希望する。またその際に育児相談窓口で気になっていることを相談する。	3	0.5	246	赤ちゃん教室や親子体操教室などのベビー・子供向け教室について、場所や様子などの簡単な情報を、他の保護者に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする					

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	23	A2	地域の育児サービスを利用する	リトミック教室やベビーマッサージ教室など地域の育児サービスについて他の保護者から情報を聞き，自分で口頭や申込書で参加を希望する。またその際に育児相談窓口で気になっていることを相談する。	3	1	248	分からない点について質問することができれば、地域の育児サービスの申込書に、希望するサービスの内容や、アレルギーの出る食べ物など、注意してもらいたいことを短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2	分からない点について質問する	やり取り	V　子育て・教育をする	・地域の子育て支援について		・日本の育児に関する制度について	有	
V	24	A1	保育園入園準備１	保育園や幼稚園の入園申請書類を書き，必要な入園準備リストを読んで必要なものを理解する。さらにそれらに名前を書いたり名前シールを貼ったりする。	2	1	277	辞書を使うことができれば、保育園や幼稚園から配られた入園準備品のリストを見て、必要なものについてのいくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A1			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本の保育事情について		有	
V	24	A1	保育園入園準備１	保育園や幼稚園の入園申請書類を書き，必要な入園準備リストを読んで必要なものを理解する。さらにそれらに名前を書いたり名前シールを貼ったりする。	2	0.5	268	記入例があれば、保育園の入園申請書類に、名前・住所・電話番号・生年月日・希望する園名などを書くことができる。	書くこと	A1	記入例を読む	読むこと	V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本の保育事情について		有	
V	24	A1	保育園入園準備１	保育園や幼稚園の入園申請書類を書き，必要な入園準備リストを読んで必要なものを理解する。さらにそれらに名前を書いたり名前シールを貼ったりする。	2	0.5	280	子供の持ち物に貼る名前シールやアイロンシールなどに子供のクラス名や名前を書くことができる。	書くこと	A1			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本の保育事情について		有	
V	25	A2	保育園入園準備２	保育園や幼稚園の入園申請書類に保育が必要な理由を書いて提出する。内定通知が出たら説明会や面接に参加し，子供の健康状態や生活について説明する。	3	1	271	保育園や幼稚園の入園面接で、子供の健康状態（持病やアレルギーの有無など）や、生活（食事や遊び、睡眠など）についての簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	25	A2	保育園入園準備２	保育園や幼稚園の入園申請書類に保育が必要な理由を書いて提出する。内定通知が出たら説明会や面接に参加し，子供の健康状態や生活について説明する。	3	1	269	分からない点について質問することができれば、保育園の入園申請書類の保育を必要とする理由や家族の状況などに関する質問を理解し、適切な答えを選ぶことができる。	書くこと	A2	分からない点について質問する	やり取り	V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	25	A2	保育園入園準備２	保育園や幼稚園の入園申請書類に保育が必要な理由を書いて提出する。内定通知が出たら説明会や面接に参加し，子供の健康状態や生活について説明する。	3	0.5	266	役所の窓口などで担当者に、保育園の入園申請書類の提出期限や場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	25	A2	保育園入園準備２	保育園や幼稚園の入園申請書類に保育が必要な理由を書いて提出する。内定通知が出たら説明会や面接に参加し，子供の健康状態や生活について説明する。	3	0.5	270	保育園の内定通知などの短い簡単なお知らせを見て、その後行われる説明会や面接、健康診断の日時や持ち物など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	0.5	289	保育園や幼稚園からくる短い簡単なメールなどを読んで、行事の中止や延期、学級閉鎖の期間や該当クラスなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	0.5	299	子供の発熱や体調不良などで、保育園や幼稚園の先生からの電話によるお迎えを要請する簡単な説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	1	283	子供の診察時に、医師に、いつから登園（登校）可能か、登園（登校）許可書がもらえるかどうかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	0.5	286	保育園や幼稚園などの連絡帳（または連絡アプリの該当する箇所）に、子供の体調について心配なことや、お迎えの人や時間の変更などを、短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	1	285	保育園や幼稚園での様子や連絡事項などが、ある程度詳しく書かれた先生からの連絡帳のメッセージを読んで、大部分の内容を理解することができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	26	B1	保育園や幼稚園と子供の健康に関するやりとりをする	保育園や幼稚園と連絡帳を介して子供の健康状態や生活などについてやりとりする。また，病気になったときは医師と相談して登園可能な時期を確認する。	4	0.5	279	保育園や幼稚園からの感染症に関する対応などについての簡単なお知らせを読んで、感染した場合どうすればよいかや、登園するための条件など、重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	27	A2	幼稚園のホームページを読む	幼稚園のホームページを呼んで，見学会や説明，入園願書に関する情報などを理解する。	2	1	273	幼稚園のウェブサイトなどの、見学会や説明会について書かれた短い簡単なテクストを見て、日時や申し込み方法など、参加するのに必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	27	A2	幼稚園のホームページを読む	幼稚園のホームページを呼んで，見学会や説明，入園願書に関する情報などを理解する。	2	1	274	幼稚園のウェブサイトなどの、園児募集について書かれた短い簡単なテクストを見て、願書配布・願書受付・入園面接の日時など、幼稚園に入るために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	28	B1	保育制度について知る	役所が発行するパンフレットやホームページから，保育施設の種類や特徴，申請方法や必要書類などを理解する。また窓口でそれについて質問したり，空きがあるか確認したりする。	3	1	262	保育施設の種類（保育園・幼稚園・認定こども園など）やそれぞれの特徴などについて書かれたある程度長い文章に目を通して、子供を預けるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本社会における仕事と子育ての両立に関する習慣等について	・日本の育児に関する制度について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	28	B1	保育制度について知る	役所が発行するパンフレットやホームページから，保育施設の種類や特徴，申請方法や必要書類などを理解する。また窓口でそれについて質問したり，空きがあるか確認したりする。	3	1	267	役所が発行する保育に関するパンフレットなどの、ある程度長い文章に目を通して、申請方法や必要書類など、保育園への入園を申請するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本社会における仕事と子育ての両立に関する習慣等について	・日本の育児に関する制度について	有	
V	28	B1	保育制度について知る	役所が発行するパンフレットやホームページから，保育施設の種類や特徴，申請方法や必要書類などを理解する。また窓口でそれについて質問したり，空きがあるか確認したりする。	3	1	263	役所の窓口で担当者に、通える場所にある保育園と、それぞれの保育園の特色や空き状況などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について	・日本社会における仕事と子育ての両立に関する習慣等について	・日本の育児に関する制度について		
V	29	B1	幼稚園受験をする	幼稚園の入学願書に志望動機や子供の性格などを書き，入園面接でも同様の質問の受け答えをする。	2	1	275	幼稚園の入園願書などに、志望動機や家庭の教育方針、子供の性格（長所と短所）などについて、ある程度詳しく書くことができる。	書くこと	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について		・日本の学校制度について	有	
V	29	B1	幼稚園受験をする	幼稚園の入学願書に志望動機や子供の性格などを書き，入園面接でも同様の質問の受け答えをする。	2	1	276	幼稚園の入園面接で、志望動機や子供の性格（長所と短所）、トイレトレーニングの進み具合などに関する質問に、ある程度詳しく答えることができる。	やり取り	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について		・日本の学校制度について		
V	30	A2	保育園や幼稚園の先生とのやりとり1	保育園や幼稚園の先生に，体験保育や送迎の際に持ち物や給食のことなどわからないことを質問する。また連絡帳で簡単なやりとりをする。	3	0.5	264	体験保育当日の流れや持ち物などの簡単な情報を、保育園のスタッフに質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	30	A2	保育園や幼稚園の先生とのやりとり1	保育園や幼稚園の先生に，体験保育や送迎の際に持ち物や給食のことなどわからないことを質問する。また連絡帳で簡単なやりとりをする。	3	0.5	281	保育園や幼稚園の送迎時など、先生に会ったとき、園での子供の様子や出来事などについて、短い簡単な言葉で質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	30	A2	保育園や幼稚園の先生とのやりとり1	保育園や幼稚園の先生に，体験保育や送迎の際に持ち物や給食のことなどわからないことを質問する。また連絡帳で簡単なやりとりをする。	3	0.5	278	友人や先生に、保育園や幼稚園の入園準備品リストに書かれた知らないものについて、どんなものか、どこで買えるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2	保育園や幼稚園の入園準備品リストを読む	読むこと	Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	30	A2	保育園や幼稚園の先生とのやりとり1	保育園や幼稚園の先生に，体験保育や送迎の際に持ち物や給食のことなどわからないことを質問する。また連絡帳で簡単なやりとりをする。	3	0.5	284	先生や他の保護者に、保育園や幼稚園の給食の献立表に書かれた知らない料理について、どんな料理か、材料は何かなど質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2	給食の献立表を読む	読むこと	Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	
V	30	A2	保育園や幼稚園の先生とのやりとり1	保育園や幼稚園の先生に，体験保育や送迎の際に持ち物や給食のことなどわからないことを質問する。また連絡帳で簡単なやりとりをする。	3	1	286	保育園や幼稚園などの連絡帳（または連絡アプリの該当する箇所）に、子供の体調について心配なことや、お迎えの人や時間の変更などを、短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	31	B1	保育園や幼稚園の先生とのやりとり２	保育園や幼稚園の見学や面談で，子供が園生活を送るにあたり，心配なことや気になっていることを質問して相談する。	2	1	285	保育園を見学するとき、保育士に、おむつや服装の決まり、父母参加の行事があるかなど、自分が気になることについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	31	B1	保育園や幼稚園の先生とのやりとり２	保育園や幼稚園の見学や面談で，子供が園生活を送るにあたり，心配なことや気になっていることを質問して相談する。	2	1	282	保育園や幼稚園の面談で、園や家での子供の様子や心配事などについて、ある程度詳しく先生に伝えたり、質問したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	32	B1	保育園や幼稚園についての情報交換	保育園や幼稚園について，教育方針や子供の服装や持ち物，自分の家庭・勤務状況で預けられるのかなどを友人と情報交換する。	3	1	261	自分の家庭や勤務の状況では子供をどこに預けられるのか、それはどのような場所なのか、などの詳しい情報について、保育園や幼稚園についてよく知っている人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	32	B1	保育園や幼稚園についての情報交換	保育園や幼稚園について，教育方針や子供の服装や持ち物，自分の家庭・勤務状況で預けられるのかなどを友人と情報交換する。	3	1	272	近所の幼稚園について、教育方針や先生たちの対応、教育の内容などの詳しい情報を、その園をよく知っている友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	32	B1	保育園や幼稚園についての情報交換	保育園や幼稚園について，教育方針や子供の服装や持ち物，自分の家庭・勤務状況で預けられるのかなどを友人と情報交換する。	3	1	287	保育園や幼稚園の子供の服装や持ち物、園での過ごし方などについての詳しい情報を、その園をよく知っている友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の保育園・幼稚園生活について				
V	33	A2	入学準備をする１	役所や教育委員会のホームページから日本の学校制度について知り，窓口で外国人児童向けの対応があるか質問する。また，入学準備品のリストを見て理解し，必要があれば質問	2	0.5	292	外国人向けに平易な語彙や表現を用いて作られた日本の学校を紹介する動画などを見て、学校制度や学校生活について、内容を大まかに理解することができる。	聞くこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	33	A2	入学準備をする１	役所や教育委員会のホームページから日本の学校制度について知り，窓口で外国人児童向けの対応があるか質問する。また，入学準備品のリストを見て理解し，必要があれば質問	2	0.5	295	役所や教育委員会の窓口で、外国人児童向けの日本語学級の有無や日本語支援が受けられるかどうかについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	33	A2	入学準備をする１	役所や教育委員会のホームページから日本の学校制度について知り，窓口で外国人児童向けの対応があるか質問する。また，入学準備品のリストを見て理解し，必要があれば質問する。	2	0.5	300	辞書を使うことができれば、学校から配られた入学準備品のリストを見て、何が必要か理解することができる。	読むこと	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do 毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do 番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can do レベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	33	A2	入学準備をする１	役所や教育委員会のホームページから日本の学校制度について知り，窓口で外国人児童向けの対応があるか質問する。また，入学準備品のリストを見て理解し，必要があれば質問する。	2	0.5	301	知り合いや先生に、学校から配られた入学準備品のリストに書かれた知らないものについて、どんなものか、どこで買えるかなど質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2	入学準備品リストを読む	読むこと	V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	34	B1	入学準備をする２	就学前検診や編入学など，状況に応じて必要な手続きを学校の担当者とやりとりしながら進める。	2	1	299	就学前健診の通知の内容について確認するために、電話で学校の担当者に健診の内容や進め方について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	34	B1	入学準備をする２	就学前検診や編入学など，状況に応じて必要な手続きを学校の担当者とやりとりしながら進める。	2	1	297	子供が編入学するとき、編入する学校で先生に、それまでの子供の学習歴や日本語能力などについて簡単に説明し、編入学年などを相談することができる	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	35	B1	入学のための情報を得る	就学ガイドブックを読んだり，保護者説明会に参加して，日本語学級や日本語指導なども含めて日本の学校に通うための必要な情報を得る。また，友人とも意見交換する。	2	0.5	293	就学ガイドブックなどのある程度長い文章に目を通して、教育委員会での手続や必要な書類の提出など、外国籍の子供が日本の学校に通うために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	35	B1	入学のための情報を得る	就学ガイドブックを読んだり，保護者説明会に参加して，日本語学級や日本語指導なども含めて日本の学校に通うための必要な情報を得る。また，友人とも意見交換する。	2	0.5	294	入学前に行われる保護者説明会に参加した後、よく分からなかった点や気になる点について担当者に質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	35	B1	入学のための情報を得る	就学ガイドブックを読んだり，保護者説明会に参加して，日本語学級や日本語指導なども含めて日本の学校に通うための必要な情報を得る。また，友人とも意見交換する。	2	0.5	296	役所や教育委員会の窓口で、子供にどのような支援が必要か検討するために、担当者に日本語学級や日本語巡回指導、通訳派遣などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	35	B1	入学のための情報を得る	就学ガイドブックを読んだり，保護者説明会に参加して，日本語学級や日本語指導なども含めて日本の学校に通うための必要な情報を得る。また，友人とも意見交換する。	2	0.5	291	友人とお互いの国や地域の学校制度や義務教育について、その大切さや問題点などを話したり、簡単なコメントや意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	36	B1	学童保育を利用する	学童保育について書かれたホームページを読み，申込に必要な手続きを知る。また，学童保育の指導員に疑問点を質問する。	2	1	302	学童保育の申請について書かれたウェブサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、利用できる条件や保育時間、申込みに必要な書類など、学童保育を申請するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	・日本社会における仕事と子育ての両立に関する習慣等について	・日本の学校制度について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	36	B1	学童保育を利用する	学童保育について書かれたホームページを読み，申込に必要な手続きを知る。また，学童保育の指導員に疑問点を質問する。	2	1	303	子供が通う学童保育の指導員に、保育時間の延長が可能かどうかや、利用における疑問点などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	・日本社会における仕事と子育ての両立に関する習慣等について	・日本の学校制度について		
V	37	A2	学校行事について知る	日本の学校における行事についてプリントやホームページを呼んで理解する。また，保護者として参加するために必要な情報を得る。	2	1	305	学校行事に関する短い簡単なお知らせなどを見て、日時や場所、持ち物などの内容を大まかに理解することができる。	読むこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	37	A2	学校行事について知る	日本の学校における行事についてプリントやホームページを呼んで理解する。また，保護者として参加するために必要な情報を得る。	2	1	304	小中学校の入学説明会の資料などに書かれた説明を読んで、入学式や遠足、運動会などの学校行事の1年の流れについての主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	38	A2	保護者面談に参加する	保護者面談で担任教師に子供の学校での勉強の様子や，家庭での学習，言語上の困難点などについて相談する。	2	1	311	時々くり返しや説明を求めることができれば、保護者面談などで、うちでどのように勉強しているか、子供に気になることはないかなどの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	38	A2	保護者面談に参加する	保護者面談で担任教師に子供の学校での勉強の様子や，家庭での学習，言語上の困難点などについて相談する。	2	1	312	保護者面談などで担任教師に、日常で使用する言葉と教科書で使われる言葉が違うことで内容の理解が難しいなど、教科書の言語上の困難点などについて、ある程度詳しく説明し、子供に必要な支援を依頼することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について			有	
V	39	B1	学校行事やPTA活動に参加する	学校行事やPTAなどに参加し，他の保護者と交流をしたり，子供たちに声を掛けたりする。	3	0.5	307	PTAの防犯パトロールのとき、通学路や公園などで、子供の様子を見ながら「車に気を付けてね」「早くおうちに帰ってね」など、場面に合わせた短い簡単な言葉で声をかけることができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	日本のマナー・ルール			
V	39	B1	学校行事やPTA活動に参加する	学校行事やPTAなどに参加し，他の保護者と交流をしたり，子供たちに声を掛けたりする。	3	0.5	314	授業参観や運動会などで初めて会った人に話しかけ、子供や家族、住んでいる地域など身近な話題について質問したり、ある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	39	B1	学校行事やPTA活動に参加する	学校行事やPTAなどに参加し，他の保護者と交流をしたり，子供たちに声を掛けたりする。	3	1	310	PTAの委員会などで、防犯パトロールの割り振り、運動会のお手伝いなど、議題の概要を理解して、事実確認をしたり、自分の意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	39	B1	学校行事やPTA活動に参加する	学校行事やPTAなどに参加し，他の保護者と交流をしたり，子供たちに声を掛けたりする。	3	0.5	309	子供の通う学校についてよく知っている友人から、その学校のPTAの活動内容や会費、役員になった場合の仕事などの詳しい情報を得ることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	39	B1	学校行事やPTA活動に参加する	学校行事やPTAなどに参加し，他の保護者と交流をしたり，子供たちに声を掛けたりする。	3	0.5	611	~~学校行事自治会・町内会や地域のイベント~~などで、初めて会う人たちの前で自己紹介するとき、自分の名前、出身地などをごく簡単な言葉で言うことができる。	発表	A1			Ⅷ　社会の一員となる	・日本の学校生活について				
V	40	A2	学校とのやりとり	子供が学校を欠席することを連絡帳に書いて学校に知らせる。また，連絡帳や電話などで教師に子供の学校生活の悩みなどについて相談する。	2	1	313	子供が学校を欠席するとき、連絡帳に、子供の状態や欠席の理由などについて短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について			有	
V	40	A2	学校とのやりとり	子供が学校を欠席することを連絡帳に書いて学校に知らせる。また，連絡帳や電話などで教師に子供の学校生活の悩みなどについて相談する。	2	1	324	子供が学校生活に関する悩みを抱えているとき、子供が抱えている悩みや家庭での様子などについて、短い簡単な言葉で教師に質問したり、説明したりすることができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について				
V	41	A1	給食費を支払う	給食費を集金袋で支払ったり，その他の方法で支払うことができるか学校の担当者に質問したりする。	1	0.5	319	学校等からの集金袋などを見て、内容、金額、支払期限など、ごく基本的な情報を探し出すことができる。	読むこと	A1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	給食費	・日本の学校制度について	有	
V	41	A1	給食費を支払う	給食費を集金袋で支払ったり，その他の方法で支払うことができるか学校の担当者に質問したりする。	1	0.5	316	学校で、子供の担任や事務担当者に、給食費の支払方法などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	給食費	・日本の学校制度について		
V	42	B1	給食費の減免制度を利用する	学校からもらうプリントやホームページなどから給食費の減免制度について情報を得て，申請書を書く。	2	0.5	317	学校からの給食費等の経費減免に関する簡単な文書を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	給食費	・日本の学校制度について	有	
V	42	B1	給食費の減免制度を利用する	学校からもらうプリントやホームページなどから給食費の減免制度について情報を得て，申請書を書く。	2	0.5	320	給食費などの減免申請書に、自分の基本的な情報や、減免理由に関する選択式などの簡単な質問を理解し、答えを書くことができる。	書くこと	A2			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	給食費	・日本の学校制度について	有	
V	42	B1	給食費の減免制度を利用する	学校からもらうプリントやホームページなどから給食費の減免制度について情報を得て，申請書を書く。	2	1	321	必要に応じて確認することができれば、給食費などの減免申請書の記入事項をだいたい理解し、答えを書くことができる。	書くこと	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	給食費	・日本の学校制度について	有	
V	43	B1	いじめを教師に訴える	教師から子供が学校で受けている差別やいじめについて説明を聞いたり，逆に教師に訴えたりする。	2	1	322	教師から、子供が学校で受けている差別やいじめなどについての説明を聞いて理解し、理由を聞いたり、確認したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅴ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	いじめ			

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	43	B1	いじめを教師に訴える	教師から子供が学校で受けている差別やいじめについて説明を聞いたり，逆に教師に訴えたりする。	2	1	323	動作や図などで示しながら、子供が学校で受けている差別やいじめなどについて、子供の状態や気持ち、自分の考えなどを教師に短い簡単な言葉で説明することができる。	発表	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	いじめ			
V	44	B1	人権研修会で発表する	外国人の人権に関する研修会などで「外国人に対する差別」について自分の体験を発表する。	1	1	325	外国人の人権に関する研修会などで、あらかじめ準備してあれば、「外国人に対する差別」など自分が体験したことについてまとまりのある簡単な発表をし、想定した質問に対応することができる。	発表	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について	外国人差別			
V	45	B1	進学情報を集める	高校や大学のウェブサイトから子供の進学についての情報を集めたり，進路説明会で説明を聞いたりして，子供に必要な資格や学歴などを知る。	3	0.5	328	高校や大学などを紹介するウェブサイトの短い簡単な説明文を読んで、正規修学年数や公立と私立の違いなど、いくつかの簡単な情報を理解することができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	45	B1	進学情報を集める	高校や大学のウェブサイトから子供の進学についての情報を集めたり，進路説明会で説明を聞いたりして，子供に必要な資格や学歴などを知る。	3	1	326	発音と内容がはっきりしていれば、学校の進路説明会で、子供の進路に関する簡単な説明を聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	45	B1	進学情報を集める	高校や大学のウェブサイトから子供の進学についての情報を集めたり，進路説明会で説明を聞いたりして，子供に必要な資格や学歴などを知る。	3	0.5	329	高校や大学のウェブサイトで、入学を決めた理由や何を勉強しているかなどに関する簡単なインタビュー記事を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	45	B1	進学情報を集める	高校や大学のウェブサイトから子供の進学についての情報を集めたり，進路説明会で説明を聞いたりして，子供に必要な資格や学歴などを知る。	3	1	327	職業ガイドなど、中高生のための職業に関する雑誌やウェブサイトの、ある程度長い文章に目を通して、業種や職種、資格や学歴など、子供の進路選択のために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	46	A2	通知表を読む	通知表を読んで，子供の成績や生活態度などを知る。	1	1	334	通知表や短い簡単な所見を読んで、子供の成績や生活態度など、いくつかの簡単な情報を理解することができる。	読むこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について			有	
V	47	A2	教師に進路相談をする１	面談や電話で教師と進路相談をして，自分の子供のために必要な情報を聞き出し，メモして整理する。	2	0.5	330	学校で教師に、進路相談の方法や相談可能な日時、通訳・翻訳の有無などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	47	A2	教師に進路相談をする１	面談や電話で教師と進路相談をして，自分の子供のために必要な情報を聞き出し，メモして整理する。	2	0.5	331	電話で、教師に、進路相談をしてもらえるか、通訳者を同行してもいいかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	47	A2	教師に進路相談をする１	面談や電話で教師と進路相談をして，自分の子供のために必要な情報を聞き出し，メモして整理する。	2	0.5	335	進路相談などで、進学や就職希望先の名前や、受験科目等の重要な情報を紙に書いてもらうために、どこに興味があるのか、何が得意かを言うことができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	47	A2	教師に進路相談をする１	面談や電話で教師と進路相談をして，自分の子供のために必要な情報を聞き出し，メモして整理する。	2	0.5	332	進路希望調査書に、進学や就職希望先の名前や、その進路を希望する理由などを、短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について	有	
V	48	B1	教師に進路相談をする２	三者面談などで子供の成績や希望を元に，こちらの希望や家庭状況などを伝えて子供の進路について具体的な道筋を立てる。	3	1	337	三者面談で、成績や進路に関する説明の概要を理解し、事実確認をしたり、自分の意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	48	B1	教師に進路相談をする２	三者面談などで子供の成績や希望を元に，こちらの希望や家庭状況などを伝えて子供の進路について具体的な道筋を立てる。	3	1	336	子供の進路について、希望に対する現状や今後の対応などの詳しい情報を、教師に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	48	B1	教師に進路相談をする２	三者面談などで子供の成績や希望を元に，こちらの希望や家庭状況などを伝えて子供の進路について具体的な道筋を立てる。	3	1	333	教師に子供の進路などを相談するとき、希望や家庭状況などを、ある程度詳しく説明することができる。	発表	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の学校制度について		
V	49	B1	特別支援教育の情報を得る	特別支援学校などの機関について簡単なリーフレットなどを読んで理解し，他の保護者と情報交換をする。さらに学校に電話をして質問する。	3	1	342	同様の障害を持つ親同士のやりとりで、どんな支援制度があるか、どこで情報を得られるかなどの詳しい情報を質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	49	B1	特別支援教育の情報を得る	特別支援学校などの機関について簡単なリーフレットなどを読んで理解し，他の保護者と情報交換をする。さらに学校に電話をして質問する。	3	1	346	特別支援学校などの制度や役割、機能に関する簡単なリーフレットなどを読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1		読むこと	V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について	有	
V	49	B1	特別支援機関の情報を得る	特別支援学校や特別支援学級などについて簡単なリーフレットなどを読んで理解し，他の保護者と情報交換をする。さらに学校に電話をして質問する。	3	1	348	電話で学校に、特別支援学級があるか、支援体制はどのようになっているかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	50	A2	特別支援機関とやりとりする１	特別支援教育相談の予約をして，入学や利用の条件について担当者とやりとりをする。	2	1	339	特別支援教育相談の予約をするとき、自分の基本情報や相談可能な日時などの簡単な情報を、担当者に質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			V　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
V	50	A2	特別支援機関とやりとりする１	特別支援教育相談の予約をして，入学や利用の条件について担当者とやりとりをする。	2	1	343	生涯教育・療育施設の担当者に、入学・利用の条件などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	51	B1	特別支援機関とやりとりする２	支援機関や教育機関の担当者や専門家に自分の子供の状況を伝え，どのような支援が受けられるかについてやりとりする。	3	0.5	344	支援機関、教育機関等の担当者に対して、自分の子供の障害について、ある程度詳しく説明することができる。	発表	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	51	B1	特別支援機関とやりとりする２	支援機関や教育機関の担当者や専門家に自分の子供の状況を伝え，どのような支援が受けられるかについてやりとりする。	3	0.5	345	発音がはっきりしていれば、特別支援学校などの教師による特別支援学校の制度や役割、機能などの説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	51	B1	特別支援機関とやりとりする２	支援機関や教育機関の担当者や専門家に自分の子供の状況を伝え，どのような支援が受けられるかについてやりとりする。	3	0.5	347	発音がはっきりしていれば、支援機関の担当者から様々な施設の利用や相談の際の通訳・翻訳サービスなどの地域の支援体制に関する説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	51	B1	特別支援機関とやりとりする２	支援機関や教育機関の担当者や専門家に自分の子供の状況を伝え，どのような支援が受けられるかについてやりとりする。	3	0.5	351	支援機関などの担当者に、自分の子供の家庭での状況などを、ある程度詳しく説明することができる。	発表	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		
V	51	B1	特別支援機関とやりとりする２	支援機関や教育機関の担当者や専門家に自分の子供の状況を伝え，どのような支援が受けられるかについてやりとりする。	3	1	341	**子供の障害・発達支援の専門家に、子供の様子など、知りたいことについて準備した質問をし、答えを受けて、情報を確認したり、それに続く質問をしたりすることができる。**	やり取り	B1			Ｖ　子育て・教育をする	・日本の学校生活について		・日本の特別支援教育について		

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	1	B1	就職活動前の情報収集	仕事を探す前に、日本の就職事情関する情報を得る	4	1	353	発音と内容がはっきりしていれば、ハローワークなどが開催する日本の就労状況に関する簡単な話を聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く			・ハローワークの機能について	無	
VI	1	B1	就職活動前の情報収集	仕事を探す前に、日本の就職事情関する情報を得る	4	1.5	355	ハローワークなどが出している就職活動の手引きの、ある程度長い文章に目を通して、日本の雇用制度や在留資格による就労条件など、就職活動のために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	1	B1	就職活動前の情報収集	仕事を探す前に、日本の就職事情関する情報を得る	4	1.5	374	正社員やアルバイトなど日本の雇用形態について分からないとき、詳しい友人から、正社員と任期付き社員の違いなどの詳しい情報を得ることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	0.5	354	ハローワークなどで担当者に、母語で書かれた日本の就労支援に関する資料がないか質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			VI働く			・ハローワークの機能について	無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1	356	ハローワークなどで窓口の担当者に、就職情報の取得方法や取得後の手続について質問し、聞き返すこともあるが、担当者からのある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			VI働く			・ハローワークの機能について	無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1.5	357	ハローワークなどで窓口の担当者に、どのような職業訓練があるのかや条件・申込みの手順などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			VI働く			・ハローワークの機能について	無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1	365	ハローワークなどの求職申込書に、希望する仕事や持っている資格など、短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			VI働く			・ハローワークの機能について	有	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1	380	ハローワークの窓口などで、自分の在留資格や働ける時間など基本的な情報を伝え、どのような働き方ができるかについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			VI働く			・ハローワークの機能について ・在留資格について	無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1	382	ハローワークの窓口の担当者に、自分の希望を伝え、就労のために必要な資格は何か、どうすれば取得できるかなどについて質問し、ある程度詳細な答えを理解することができる。	やり取り	B1			VI働く			・ハローワークの機能について	無	
VI	2	A2	ハローワークで就職の相談・求人への申し込みをする	ハローワークで担当者と相談しながら、自分に合う仕事を探し、求職申込書を書く	7	1	384	ハローワークの窓口などで、自分が希望する職場に、どのくらい外国人がいるかや、どこの国の人が多いかなど、外国人の雇用環境について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			VI働く			・ハローワークの機能について	無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	3	A2	求人情報を探す（インターネット・広告）	インターネットの求人情報サイトや街中の求人広告などで必要な情報を探す	3	1	358	求人サイトなどで、求人情報を検索するために、自分の希望する職種名など適切なキーワードを入力することができる。	書くこと	A2			VI働く				有	
VI	3	A2	求人情報を探す（インターネット・広告）	インターネットの求人情報サイトや街中の求人広告などで必要な情報を探す	3	1	359	街中にある「〇〇募集」などの求人広告にある短い簡単な説明を読んで、職種や勤務内容・待遇など、いくつかの簡単な情報を理解することができる。	読むこと	A2			VI働く				有	
VI	3	A2	求人情報を探す（インターネット・広告）	インターネットの求人情報サイトや街中の求人広告などで必要な情報を探す	3	1	363	求人サイトなどの求人情報のある程度長い文章に目を通して、それぞれの職務内容や雇用条件など、どの求人に応募するか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	4	A2	求人情報を探す（人に聞く）	求人情報について人に聞く	2	1.5	360	就職したい会社に勤めている人に、仕事内容や会社の雰囲気など、知りたいことについて準備した質問をし、答えを受けて、情報を確認したり、それに続く質問をしたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	4	A2	求人情報を探す（人に聞く）	求人情報について人に聞く	2	0.5	367	就職活動中に、近隣で求人していないかどうかなどについて、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	5	B1	就職活動（正社員向け）	正社員の職を得るために就職活動を行う	3	1	368	人事担当者に、卒業証明書の日本語訳は必要かなど、応募に関して不明な点について、ある程度詳しくメールで尋ねることができる。	書くこと	B1			VI働く				有	
VI	5	B1	就職活動（正社員向け）	正社員の職を得るために就職活動を行う	3	2	371	自分自身の長所や短所など、簡単な自己PR文を就職のための提出書類に書くことができる。	書くこと	B1			VI働く				有	
VI	6	B1	就職活動（アルバイト向け）	アルバイトの職を得るために、就労に関する情報を得て、履歴書を書く	2	0.5	361	アルバイト説明会で、職務内容や勤務時間など、就労に関する説明を聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く			・就職説明会や講習の開催目的について	無	
VI	6	B1	就職活動（アルバイト向け）	アルバイトの職を得るために、就労に関する情報を得て、履歴書を書く	2	1.5	371	自分自身の長所や短所など、簡単な自己PR文を就職のための提出書類に書くことができる。	書くこと	B1			VI働く				有	ユニット5にもあり
VI	7	A2	面接を受ける	職を得るために、面接試験を受ける	3	1	369	面接官に、自分の状況を説明し、職務や勤務時間の変更など就労形態について交渉することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	7	A2	面接を受ける	職を得るために、面接試験を受け、必要なやりとりができる	3	1	370	面接試験の希望日時について、人事担当者に、短い簡単な文でメールを書くことができる。	書くこと	A2			VI働く				有	
VI	7	A2	面接を受ける	職を得るために、面接試験を受ける	3	0.5	372	時々くり返しや説明を求めることができれば、面接試験で、経歴や志望動機などの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	7	A2	面接を受ける	職を得るために、面接試験を受ける	3	0.5	373	面接試験で、あらかじめ準備してあれば、自分の得意とすることや経歴・職歴などを、面接試験官にある程度詳しく伝えることができる。	発表	B1			VI働く				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	8	B1	雇用契約を結ぶ	雇用契約を結ぶ際に、必要な情報を得るためにやり取りをしたり、交渉したりする	3	1	375	雇用契約を結ぶとき、担当者に職務内容や就業条件など不明な点について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	雇用契約書を読むことができる	読むこと	VI働く			・労働契約・雇用契約について	有	雇用契約書に出てくる漢字・漢語
VI	8	B1	雇用契約を結ぶ	雇用契約を結ぶ際に、必要な情報を得るためにやり取りをしたり、交渉したりする	3	1	376	雇用契約を結ぶとき、「会社の規定に準ずる」のような記載など、雇用契約書に明記されていない点や不明な点について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	雇用契約書を読むことができる	読むこと	VI働く			・労働契約・雇用契約について	有	雇用契約書に出てくる漢字・漢語
VI	8	B1	雇用契約を結ぶ	雇用契約を結ぶ際に、必要な情報を得るためにやり取りをしたり、交渉したりする	3	1	377	雇用契約を結ぶとき、契約書の原本はもらえるかなど契約手続で不明な点について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			VI働く			・労働契約・雇用契約について	無	雇用契約書に出てくる漢字・漢語
VI	9	B1	職場で仕事に関する相談をする	職場で、知りたい情報について、上司や同僚に質問することができる	3	1	381	雇用契約書に目を通して、契約期間、業務内容、就業時間、賃金、社会保険の加入など重要な情報を理解することができる。	やり取り	B1	契約書を読むことがきる	読むこと	VI働く			・労働契約・雇用契約について	有	雇用契約書に出てくる漢字・漢語
VI	9	B1	職場で仕事に関する相談をする	職場で、仕事に関して知りたい情報について、上司や同僚に質問する	3	1	385	就職予定の会社の上司や担当者などに、宗教上の理由から特定の食べ物が食べられないことやお祈りの時間や部屋が必要になることなどについて質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	9	B1	職場で仕事に関する相談をする	職場で、仕事に関して知りたい情報について、上司や同僚に質問する	3	1	383	就職予定の会社の上司や担当者に、扶養家族の条件や福利厚生についてなど、不明な点について質問し、ある程度詳細な答えを理解することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	10	B1	給与明細について質問する	給与明細を見ながら、必要な情報を担当者に聞く	3	1	386	ハローワークの就職説明会で、給与明細書の見方を説明されたとき、本俸と各種手当の違いなどについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	給与明細書を読むことができる	読むこと	VI働く			・給与の仕組みについて	有	給与明細に出てくる漢字・漢語
VI	10	B1	給与明細について質問する	給与明細を見ながら、必要な情報を担当者に聞く	3	1	387	ハローワークで閲覧できる求人票について、窓口の担当者から業務の内容、給与や残業手当などの説明を聞いて、大まかに理解することができる。	聞くこと	A2	給与明細書を読むことができる	読むこと	VI働く			・給与の仕組みについて	有	給与明細に出てくる漢字・漢語
VI	10	B1	給与明細について質問する	給与明細を見ながら、必要な情報を担当者に聞く	3	1	389	ハローワークで、記載内容に間違いや齟齬があると思われる求人票を見て、窓口の担当者に、疑問点について質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1	給与明細書を読むことができる	読むこと	VI働く			・給与の仕組みについて	有	給与明細に出てくる漢字・漢語
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	1	394	職場の安全衛生マニュアルなどの見出しや目次から、職種などを頼りに自分に必要な項目を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	1	399	工場内の廃材置場などにある「サイズをそろえる」「二段以上積むな」などの短い簡単な注意書きを読んで、理解することができる。	読むこと	A2			VI働く				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	1	400	「危ない！」「離れろ！」など緊急性の高い、咄嗟に出るごく簡単な言葉を理解して、適切な行動をすることができる。	聞くこと	A1			VI働く				無	
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	1	401	工場内などで「床が滑るから気を付けてください」「ヘルメットを被ってください」などの安全意識に関する簡単な注意や指示の言葉を理解することができる。	聞くこと	A2			VI働く				無	
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	1	402	安全マニュアルなどにある「中毒」や「重篤」などの普段耳慣れない言葉について、短い簡単な言葉で上司や同僚に意味を確認することができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	0.5	405	作業を始める前などに、「ヘルメット、よし！」「安全ベルト、よし！」などの掛け声と共に、適切に該当する箇所を差し、指差呼称を行うことができる。	発表	A1			VI働く				無	
VI	11	A2	仕事での安全を守る	職場の安全に関する張り紙や指示、マニュアルを理解する	6	0.5	408	工場内などで転倒し動けなくなったときなどに、「助けて」「誰か」などの短い簡単な言葉で助けを求めることができる。	やり取り	A1			VI働く				無	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	478	担当者に実際にコピー機やプリンターの使い方などを見せてもらいながら、簡単な説明を聞いて、大まかに理解することができる。	聞くこと	A2			VI働く				無	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	479	コピー機やプリンターの操作ガイドなど、事務機器の使用方法に関する簡単な説明を読んで、使い方や注意事項など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			VI働く				有	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	480	担当者による事務機器の使用方法などの説明や指示を聞いて、理解することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	481	コピー機やプリンターの操作ガイドなど、事務機器の使用方法に関する簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	482	パソコンの操作について分からないことがあるとき、操作方法について、短い簡単な言葉で上司や同僚に質問したり、いくつかの質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	0.5	483	コピー機の操作画面にある「部数」「用紙サイズ」など、事務機器の操作の中でよく見かける非常に短い表示を見て、理解することができる。	読むこと	A1			VI働く				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	0.5	484	コピー機を使いたいとき、今、使ってもいいか、同僚に尋ねたり、答えたりすることができる。	やり取り	A1			VI働く				無	
VI	12	A2	職場のコピー機を使う	コピー機の使い方について、説明を聞いたり、マニュアルを読んで理解したり、分からないときは質問したりする	7	1	485	紙詰まりやトナー切れなど、コピー機のメンテナンスが必要なとき、説明書の該当する項目を読み、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	13	B1	仕事でパソコンを使う	仕事でパソコンを使う際の、使用法やファイル管理について、理解し、分からない場合は質問する	3	1	420	パソコンのキーボードの入力方法が分からないとき、分からない箇所を具体的に提示しながら、上司や同僚に、短い簡単な言葉で質問することができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	13	B1	仕事でパソコンを使う	仕事でパソコンを使う際の、使用法やファイル管理について、理解し、分からない場合は質問する	3	1	421	表入力などの作業を指示されたとき、項目の分類基準などについて、同僚や上司に質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	13	B1	仕事でパソコンを使う	仕事でパソコンを使う際の、使用法やファイル管理について、理解し、分からない場合は質問する	3	1	472	同僚による文書の作成方法やファイルの管理方法などの説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く				無	
VI	14	A2	工場の機械を操作する	工場の機械の操作方法について、説明を聞いたりマニュアルを読んで理解する	4	0.5	393	会社や工場で機械の使い方などのマニュアルがどこにあるか簡単な言葉で質問し、「あの棚」「机の上」などの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A1			VI働く				無	
VI	14	A2	工場の機械を操作する	工場の機械の操作方法について、説明を聞いたりマニュアルを読んで理解する	4	1	396	工場の機械の基本的な操作について、手順を示したイラストや写真などの視覚的補足情報を基に、理解することができる。	読むこと	A2			VI働く				有	
VI	14	A2	工場の機械を操作する	工場の機械の操作方法について、説明を聞いたりマニュアルを読んで理解する	4	1	398	工場の機械の操作マニュアルなどの簡単な説明を読んで、手順や注意事項などの主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	14	A2	工場の機械を操作する	工場の機械の操作方法について、説明を聞いたりマニュアルを読んで理解する	4	0.5	416	工場などで実際に機械の操作手順を見せてもらいながら、どんな作業をどのくらいするのかなどの簡単な作業指示を聞いて理解することができる。	聞くこと	A2			VI働く				無	
VI	14	A2	工場の機械を操作する	工場の機械の操作方法について、説明を聞いたりマニュアルを読んで理解する	4	1	473	操作方法や故障・不具合時の対応方法など、工場での機械操作に関する簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	0.5	415	職場で「コピー、50部」などの指示が書かれた短い簡単なメモを読んで理解することができる。	読むこと	A1			VI働く				有	助数詞に使われる漢字
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	1	417	上司や同僚から工場内でのごみの分別方法や資材・廃材置場がどこかなど、工場内ルールに関する説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	0.5	419	ゆっくりとはっきりと話されれば、職場でコピーを何枚取るかなど具体的で基本的な事務作業について、ごく簡単な指示を理解して、適切な行動をすることができる。	聞くこと	A1			VI働く				無	
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	1	439	商品の検査内容や箱詰め作業の注意点など、これから行う仕事内容の説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く				無	
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	1	450	発音と内容がはっきりしていれば、上司や同僚からこれから担当する業務の手順や注意すべき点についての説明や指示を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く				無	
VI	15	A2	業務上の指示を理解する	業務上の指示や、業務で必要なルールなどについて指示や説明を聞いて理解する	5	1	451	職場で、備品の補充方法などについて分からないとき、実際にやり方を見せながら、短い簡単な言葉で方法が合っているか確認したり、質問したりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	16	A2	業務に関することについて同僚や上司に相談する	業務に関する質問や、問題、仕事に進め方への意見などについて話す	4	2	427	職場の休憩時間などに、同僚と自分が所属するチームの仕事の進め方などについて、自分の意見を述べたり他の人の意見を調整したりしながら話し合うことができる。	やり取り	B1			VI働く			・就労について	無	
VI	16	A2	業務に関することについて同僚や上司に相談する	業務に関する質問や、問題、仕事に進め方への意見などについて話す	4	1	454	作業中に分からないことがあったとき、同僚や上司に、短い簡単な言葉で質問したり、いくつかの質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く			・就労について	無	
VI	16	A2	業務に関することについて同僚や上司に相談する	業務に関する質問や、問題、仕事に進め方への意見などについて話す	4	1	477	業務に時間がかかってしまうなどの問題が生じたとき、他の同僚にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	17	B1	業務に関する情報を収集する	業務に関する情報を新聞から集めたり、分からない用語を同僚に聞いたりする	3	1	440	業務でよく使用する言葉や専門用語の意味について分からないことがあるとき、同僚などに分からない点について質問し、簡単なコメントや意見を交換することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	17	B1	業務に関する情報を収集する	業務に関する情報を新聞から集めたり、分からない用語を同僚に聞いたりする	3	2	476	現在関わっている業務に関する簡単な新聞記事などを読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	1	437	新商品開発の社内プレゼンなどで、自分たちの業務に関する発表を聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く				無	
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	1	438	欠席した会議の議事録などに目を通して、決定事項、担当者、作業スケジュールなどの必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	1	441	職場の定期的な会議で、自分の担当業務に関する現状や今後の予定などについて、直接自分に向けられた短い簡単な質問に答えたり、人の助けがあれば、自分の考えや賛意を示すことができる。	やり取り	A2			VI働く			・就労について	無	
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	1	445	会議で報告するために、どのように報告するか、必要な資料をどう準備するかなどの簡単な情報を、上司や同僚に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	2	452	職場の定期的な会議などで、課題となった点を述べたり、次回に向けた改善案を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	18	B1	職場の会議に参加し、ディスカッションに参加する	職場の会議に参加し、報告をしたり、ディスカッションに参加したり、報告を聞いたりする	8	2	470	職場の定期的な会議で、新しい商品開発など、議題の概要を理解し、事実確認をしたり、自分の意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	19	B1	会議でプレゼンテーションする	会議で上司の指示に従ってプレゼンテーションの準備をし、プレゼンテーションをする	6	2	448	職場の企画会議などで、あらかじめ準備してあれば、自分で作成したプレゼンテーションや報告書について、ある程度詳しく紹介し、想定した質問に答えることができる。	発表	B1			VI働く				無	
VI	19	B1	会議でプレゼンテーションする	会議で上司の指示に従ってプレゼンテーションの準備をし、プレゼンテーションをする	6	1	466	会議のプレゼンテーションの日時、内容などについて、上司に短い簡単な言葉で確認したり、指示を受けたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	19	B1	会議でプレゼンテーションする	会議で上司の指示に従ってプレゼンテーションの準備をし、プレゼンテーションをする	6	1	467	社内会議などで、自分が求められているプレゼンテーションの内容や方法の詳細などについて、上司や先輩に確認をしたり、指示を受けたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	19	B1	会議でプレゼンテーションする	会議で上司の指示に従ってプレゼンテーションの準備をし、プレゼンテーションをする	6	2	468	会議でのプレゼンテーションの準備をするために、企画のアイデアについて、自分の意見をまとめて、プレゼンテーションのアウトラインなどを書くことができる。	書くこと	B1			VI働く				有	
VI	20	B1	業務報告をする	業務報告のために日誌を書いたり、上司に報告したりする	3	0.5	414	職場の連絡用ホワイトボードなどに外出先や戻る時間などを簡単な言葉で書き込むことができる。	書くこと	A1			VI働く				有	
VI	20	B1	業務報告をする	業務報告のために日誌を書いたり、上司に報告したりする	3	1	423	上司との定期的な業務報告などの場で、当初の見積りよりも開発コストがかかりそうであることを、その理由を挙げて報告することができる。	発表	B1			VI働く				無	
VI	20	B1	業務報告をする	業務報告のために日誌を書いたり、上司に報告したりする	3	1.5	446	勤務明けに、その日の業務内容や連絡事項を、ある程度詳しく日報に書くことができる。	書くこと	B1			VI働く			・就労について	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	21	A1	会社の電話に出てメモをする	会社の内線や外線を受け、要件をメモする	2	1	433	離席中の同僚に代わり、社内の内線電話を受けたときに、同僚が離席中であることを短い簡単な言葉で伝えることができる。	やり取り	A1			VI働く	・電話の受け取り方・かけ方について			無	
VI	21	A1	会社の電話に出てメモをする	会社の内線や外線を受け、要件をメモする	2	1	434	離席の同僚に電話があったことを知らせるために、先方の名前、要件、折り返しの要・不要などについて、短い簡単なメモを書くことができる。	書くこと	A2			VI働く				有	
VI	22	A2	仕事で遅刻や欠勤、休暇を申し出る	休暇や、急な遅刻、欠勤を申し出る	3	1	424	電車の事故などの予期しないトラブルに巻き込まれたとき、電話で会社に現状を説明し、欠勤や遅刻することを伝えることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	22	A2	仕事で遅刻や欠勤、休暇を申し出る	休暇や、急な遅刻、欠勤を申し出る	3	1	425	「〇月〇日、休んでもいいですか」「〇日から〇日まで休んでもいいですか」など、休暇取得の希望を伝えるために、短い簡単なメモを書くことができる。	書くこと	A2			VI働く	・就労について			有	月・日
VI	22	A2	仕事で遅刻や欠勤、休暇を申し出る	休暇や、急な遅刻、欠勤を申し出る	3	1	426	家族が来日したり、子供の学校行事があったりしたとき、上司に短い簡単な理由を言って休暇を願い出ることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	23	A2	研修会やセミナーに出席する	研修会やセミナーの案内を読み、内容について同僚に質問する。	4	1	397	社内で行われる安全に関する研修会で配布されたマニュアルの内容が理解できないとき、自分の日本語力では正しく理解することが難しいなどの事情を上司や同僚に簡単な言葉で伝え、通訳や配布資料の翻訳を頼むことができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	23	A2	研修会やセミナーに出席する	研修会やセミナーの案内を読み、内容について同僚に質問する。	4	1	436	研修会や勉強会などの簡単なお知らせを読んで、自分の業務に関連があるか、取り上げられている話題の主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	23	A2	研修会やセミナーに出席する	研修会やセミナーの案内を読み、内容について同僚に質問する。	4	1	471	社員研修やセミナーの案内などの、ある程度長い文章に目を通して、研修内容や受講要件など、自分のスキルアップのために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			VI働く				有	
VI	23	A2	研修会やセミナーに出席する	研修会やセミナーの案内を読み、内容について同僚に質問する。	4	1	475	社員研修やセミナーなどについて、評判や受講方法などの詳しい情報を、同僚に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	24	A2	取引先とやり取りする	取引先とのメールのやり取りをしたり、トラブルつについて同僚や上司に相談する	5	2	443	取引先とトラブルが起きて、自分では解決できないとき、同僚や上司などに電話し、トラブルの内容をある程度詳しく説明し、どう対処すればよいかについて、相談することができる。	やり取り	B1			VI働く	・トラブル対処について			無	
VI	24	A2	取引先とやり取りする	取引先とのメールのやり取りをしたり、トラブルつについて同僚や上司に相談する	5	2	453	顧客への対応に困ったときにアドバイスをくれた同僚や上司に、短い簡単な文でお礼のメールを書くことができる。	書くこと	A2			VI働く	・手紙・メールの書き方について			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	24	A2	取引先とやり取りする	取引先とのメールのやり取りをしたり、トラブルつについて同僚や上司に相談する	5	1	490	商談や打合せなどの約束をキャンセルする連絡や、理由や謝罪の気持ちなどがある程度詳しく書かれた取引先からのメールを読んで、大部分の内容を理解することができる。	読むこと	B1			VI働く	・手紙・メールの書き方について			有	
VI	25	A2	同僚を食事や懇親会に誘う	同僚を食事や懇親会に誘う、相手が誘いを受けるように、うまく誘い、答えを聞いた後も会話を続ける	4	1	495	職場の人を歓送迎会や忘年・新年会などに誘うために日時を伝え、一緒に行くかどうか、短い簡単な言葉で尋ねたり、誘いに答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	25	A2	同僚を食事や懇親会に誘う	同僚を食事や懇親会に誘う、相手が誘いを受けるように、うまく誘い、答えを聞いた後も会話を続ける	4	1	497	懇親会について、内容や楽しめる要素などある程度詳しい情報を添えて、同僚から誘いを受けたとき、理由や気持ちを交えて、誘いに答えたり、断ったりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	25	A2	同僚を食事や懇親会に誘う	同僚を食事や懇親会に誘う、相手が誘いを受けるように、うまく誘い、答えを聞いた後も会話を続ける	4	0.5	499	会議や打合せの後に、同僚や関係者を短い簡単な言葉で食事に誘うことができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	25	A2	同僚を食事や懇親会に誘う	同僚を食事や懇親会に誘う、相手が誘いを受けるように、うまく誘い、答えを聞いた後も会話を続ける	4	1	500	職場の人を誘うために、近所で行われるイベントの日時を伝え、一緒に行くかどうか、短い簡単な言葉で尋ねたり、誘いに答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	26	A1	同僚からの誘いに返事をする	同僚の誘いを人間関係を崩さずに適切に断る	2	1	430	同僚からの昼食や飲み会の誘いに対し、体調が悪いなどの理由を言って、断ることができる。	やり取り	A2			VI働く				無	
VI	26	A1	同僚からの誘いに返事をする	同僚の誘いを人間関係を崩さずに適切に断る	2	0.5	496	職場の人からの誘いを断るときに、「残念ですが」「行きたかったです」「また誘ってください」など簡単な言葉で断ることができる。	やり取り	A1			VI働く		・文化理解について		無	
VI	26	A1	同僚からの誘いに返事をする	同僚の誘いを人間関係を崩さずに適切に断る	2	0.5	429	昼食のために外出するときなどに、職場の人からの「〇〇さんもどうですか？」などの短い簡単な誘いを理解し、「はい」「すみません」などのごく簡単な言葉で返答することができる。	やり取り	A1			VI働く				無	
VI	27	A2	同僚と話す	同僚と挨拶をし、身近なことについて話したり、年賀状などで定型の挨拶を書く	6	0.5	486	職場の人と、「おはようございます」「お疲れ様です」「お先に失礼します」などの時間帯や場面に合った基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			VI働く	・挨拶について	・文化理解について		無	
VI	27	A2	同僚と話す	同僚と挨拶をし、身近なことについて話したり、年賀状などで定型の挨拶を書く	6	1	487	お互いの国や地域のあいさつの仕方の作法や慣習について、職場の人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く	・挨拶について ・ジェスチャーについて	・文化理解について		無	
VI	27	A2	同僚と話す	同僚と挨拶をし、身近なことについて話したり、年賀状などで定型の挨拶を書く	6	1.5	488	職場の人へ年賀状などで、「昨年は大変お世話になりました」「本年もよろしくお願いいたします」などの定型のあいさつを書くことができる。	書くこと	A1			VI働く	・挨拶について ・手紙・メールの書き方について	・文化理解について		有	年賀状で使われる漢字

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	27	A2	同僚と話す	同僚と挨拶をし、身近なことについて話したり、年賀状などで定型の挨拶を書く	6	1	489	休憩時間に職場の人と基本的なあいさつをし、自分の近況などについて、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			VI働く	・挨拶について			無	
VI	27	A2	同僚と話す	同僚と挨拶をし、身近なことについて話したり、年賀状などで定型の挨拶を書く	6	2	498	職場の懇親会などで初めて会った人に話しかけ、趣味や仕事など身近な話題について質問したり、質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	28	A2	同僚に感謝を伝える	同僚にお礼を言ったり、送別会などでお礼を言ったりする	3	0.5	491	転勤や退職などの機会に開いてもらった送別会で、出席者の前で、「お世話になりました」「ありがとうございました」など簡単な定型表現でお礼のあいさつをすることができる。	発表	A1			VI働く				無	
VI	28	A2	同僚に感謝を伝える	同僚にお礼を言ったり、送別会などでお礼を言ったりする	3	0.5	492	職場で上司や同僚に助けてもらった時、「ありがとうございます」など、ごく簡単で短いお礼の言葉を言うことができる。	やり取り	A1			VI働く				無	
VI	28	A2	同僚に感謝を伝える	同僚にお礼を言ったり、送別会などでお礼を言ったりする	3	1	493	手助けへの感謝をどのように表現したらよいかなどの簡単な情報を、同僚に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			VI働く		・文化理解について		無	
VI	28	A2	同僚に感謝を伝える	同僚にお礼を言ったり、送別会などでお礼を言ったりする	3	1	494	業務で手助けをしてくれた同僚に、その後どうなったかや助けてもらった喜びを述べたりしながら、お礼の言葉を言うことができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	29	A2	工場の事故について説明する	工場で起こった事故について上司に報告したり、日報や報告書に書いたりする	6	1	406	工場内などで近くにいる人が事故に巻き込まれたり、けがをしたとき、けがの状態や発生時の状況などを上司に短い簡単な言葉で報告することができる。	発表	A2			VI働く				無	
VI	29	A2	工場の事故について説明する	工場で起こった事故について上司に報告したり、日報や報告書に書いたりする	6	1	407	工場内などで近くにいる人が事故に巻き込まれたり、けがをしたとき、けがの状態や発生時の状況を上司などに順序立てて報告することができる。	発表	B1			VI働く				無	
VI	29	A2	工場の事故について説明する	工場で起こった事故について上司に報告したり、日報や報告書に書いたりする	6	2	409	自分の職場で、誰と、何をしたかなど日常的な業務について、日報や報告書に短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			VI働く				有	
VI	29	A2	工場の事故について説明する	工場で起こった事故について上司に報告したり、日報や報告書に書いたりする	6	2	410	自分の職場で事故などのトラブルが起こったときに、いつ、どこで、何が起こったかなどの経緯をある程度詳しく、順序立てて日報や報告書に書くことができる。	書くこと	B1			VI働く				有	
VI	30	A2	労災を申請する	怪我をした時に、労災について上司や同僚に相談したり、申請をする	3	1	411	労災などの申請のために書類に必要事項を記入するときに、短い簡単な言葉で用語の説明や翻訳をお願いすることができる。	やり取り	A1			VI働く			・労災について	無	
VI	30	A2	労災を申請する	怪我をした時に、労災について上司や同僚に相談したり、申請をする	3	1	412	職場や工場でけがをしたときに、このけがは労災に該当するかどうかを上司や同僚に相談し、確認することができる。	やり取り	B1			VI働く			・労災について	無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	30	A2	労災を申請する	怪我をした時に、労災について上司や同僚に相談したり、申請をする	3	1	413	労災の申請で会社のサポートが受けられないなどのトラブルが起きたとき、役所などで相談窓口を紹介してもらうための相談をすることができる。	やり取り	B1			VI働く			・労災について	無	
VI	31	B1	就労規則や契約書を読んで理解する	就業規則や契約書を読んだり、分からない点について質問をする。	7	2	403	就労規則に書かれている服装や髪型などについて、自国との相違や宗教上の理由を示しながら、疑問点を質問したり、答えを理解したりすることができる。	やり取り	B1	就業規則を読むことができる	読むこと	VI働く			・労働契約・雇用契約について	有	就労規則に出てくる漢字・漢語
VI	31	B1	就労規則や契約書を読んで理解する	就業規則や契約書を読んだり、分からない点について質問をする。	7	1	462	有期雇用契約の更新をしない場合は、何日前までに通告があるのかなど、契約更新時の慣行で不明な点について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			VI働く			・労働契約・雇用契約について	無	
VI	31	B1	就労規則や契約書を読んで理解する	就業規則や契約書を読んだり、分からない点について質問をする。	7	2	464	契約を更新するとき、担当者に契約書に書いてある職務内容や雇用条件などについて不明な点を質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	契約書の職務内容や雇用条件を読むことができる	読むこと	VI働く			・労働契約・雇用契約について ・就労について	有	雇用契約書に出てくる漢字・漢語
VI	31	B1	就労規則や契約書を読んで理解する	就業規則や契約書を読んだり、分からない点について質問をする。	7	2	465	契約を更新するとき、根拠を説明しながら、制服の支給枚数を増やしてほしいなど業務に関する要望や提案を伝え、交渉することができる。	やり取り	B1			VI働く			・労働契約・雇用契約について	無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	431	上司との個別面談などの機会に、仕事内容についての希望や自分の能力やできることを短い簡単な言葉で伝えることができる。	やり取り	A2			VI働く			・就労について	無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	2	432	上司との個別面談で、仕事内容について、希望やその理由、希望する仕事内容を成功させる自信があるかなどの質問に対して、ある程度正確に答えたり、自己PRをしたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く			・就労について	無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	455	同じ会社に勤めている先輩に、誰がいつどのように人事評価するのかなど、評価の仕組みについて質問し、答えを受けて、情報を確認したり、それに続く質問をしたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	456	人事考課面談の社内通知など短い簡単な文を見て、日時や場所、注意事項など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			VI働く				有	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	2	457	人事考課の面談で、業務についての感想や意見などを述べたり、課題や今後に向けた改善案を提案したりして、面接官と意見を交わすことができる。	やり取り	B1			VI働く			・就労について	無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	459	発音と内容がはっきりしていれば、業務への姿勢や今後どのような点に期待しているかなど、上司による自分に対する評価を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			VI働く			・就労について	無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	460	上司からの自分への評価を聞いて、評価に至った経緯について質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			VI働く				無	
VI	32	A2	人事評価を受ける	人事評価について知り、面談を受けたり、評価について質問したりする。	10	1	474	自分が行った業務などについての報告や自己評価を、社内の自己評価表などにある程度詳しく書くことができる。	書くこと	B1			VI働く				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	1	A1	あいさつ／初対面のあいさつ	日本語教室や近所の人に、時間帯に合ったあいさつをし、初めて会った人には、名前、出身、家族、仕事等について話したり、尋ねたりする等、初対面のあいさつをする。	2	0.5	505	新しいところに引っ越ししたときなどに、近所の人に、「これからお世話になります」「よろしくお願いします」など、基本的なあいさつをすることができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類・目的・文化的相違		無	
Ⅶ	1	A1	あいさつ／初対面のあいさつ	日本語教室や近所の人に、時間帯に合ったあいさつをし、初めて会った人には、名前、出身、家族、仕事等について話したり、尋ねたりする等、初対面のあいさつをする。	2	0.5	510	友人や近所の人と、時間帯に合った基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類・目的・文化的相違		無	
Ⅶ	1	A1	あいさつ／初対面のあいさつ	日本語教室や近所の人に、時間帯に合ったあいさつをし、初めて会った人には、名前、出身、家族、仕事等について話したり、尋ねたりする等、初対面のあいさつをする。	2	1	512	初めて会った人に、名前、出身、仕事などを尋ねたり、答えたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類・目的・文化的相違 ☆自己紹介の仕方を理解する		無	
Ⅶ	2	A1	きっかけを作るあいさつ	近所の人と会った時に、天気・気候・連れているペット・持ち物・服装などについて言及し、親しくなるきっかけを作る。	1	0.5	511	＜511a＞~~友人や~~近所の人と、その日の天気や気候について、「いい天気ですね」「暑いですね」などの基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅶ	2	A1	きっかけを作るあいさつ	近所の人と会った時に、天気・気候・連れているペット・持ち物・服装などについて言及し、親しくなるきっかけを作る。	1	0.5	604	＜604a＞~~散歩中、ペットを連れている友人や~~近所の人に会ったとき、ペットの名前を尋ねたり、ペットや持ち物について「かわいい」などの簡単な言葉でほめたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる		☆あいさつの文化的相違を理解する ☆公共マナーにおける文化の相違について理解する		無	生活Can doでは、「ペット」が出てくるのはマナーがらみのようです。ただ、挨拶だけでは、マナーの話までは行きにくい。
Ⅶ	3	A1	あいさつとジェスチャー	知り合いや友人の家に行ったとき、「おじゃまします」「おじゃましました」など基本的なあいさつを交わす。訪問時のあいさつやジェスチャーについて、自国の習慣を紹介する。	1	0.5	535	友人が家に来たり、友人の家に行ったりしたとき、「いらっしゃい」「おじゃまします」などの基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		無	A1レベルのCandoだが、国のあいさつやジェスチャーの違いや意味についてのやりとりは、A2レベルのコースで扱うほうがスムーズだと考え、A2コースと考えた。
Ⅶ	3	A1	あいさつとジェスチャー	知り合いや友人の家に行ったとき、「いらっしゃい」に対し「おじゃまします」など基本的なあいさつを交わす。訪問時のあいさつやジェスチャーについて、自国の習慣を紹介する。	1	0.5	560	日本語教室のクラスメートなどに、お互いの国のあいさつの言い方やジェスチャーの意味について、ごく簡単な言葉で尋ねたり、答えたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅶ	4	A1	年末年始のあいさつ	年末や年始に友人や知り合いとあいさつを交わす。年賀状や年賀メールに、簡単なメッセージを書く。	2	0.5	501	近所の人や同僚などと、「よいお年を」「あけましておめでとうございます」などの年末年始の基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	4	A1	年末年始のあいさつ	年末や年始に友人や知り合いとあいさつを交わす。年賀状や年賀メールに、簡単なメッセージを書く。	2	1.5	538	友人への年賀状や誕生日カードに、「あけましておめでとうございます」「お誕生日おめでとうございます」など、定型の簡単なメッセージを書くことができる。	書くこと	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する ☆日本社会におけるつき合い方を理解する		有	年賀状を書く場合は、宛名・差出人住所などを書く必要あり。
Ⅶ	5	A1	休み明けの会話	正月明けや夏休み明けに知り合いや友人に会ったときに、基本的なあいさつをし、お土産を渡したり、休み中に何をしたかを伝える。	2	0.5	501	近所の人や同僚などと、「よいお年を」「あけましておめでとうございます」などの年末年始の基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅶ	5	A1	休み明けの会話	正月明けや夏休み明けに知り合いや友人に会ったときに、基本的なあいさつをし、お土産を渡したり、休み中に何をしたかを伝える。	2	0.5	530	友人にプレゼントやお土産をあげるとき、「どうぞ」「つまらないものですが」などの短い簡単な定型表現を言うことができる。	発表	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆贈答の習慣を知る		無	現実的にこれは一方向的な「話す（発表）」にはならないのではないか？
Ⅶ	5	A1	休み明けの会話	正月明けや夏休み明けに知り合いや友人に会ったときに、基本的なあいさつをし、お土産を渡したり、休み中に何をしたかを伝える。	2	1	521	＜521a＞冬休み中のイベント ~~家族やペット~~の写真を見せながら、誰の写真か、場所はどこかなど、友人に紹介することができる。	発表	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆自己紹介の仕方を理解する		無	
Ⅶ	6	A1	別れ際のあいさつ	訪問先や見舞い先から去る際のあいさつ、引っ越しする際のあいさつをする。	1	0.5	507	入院している知人の病室から帰る際に、「そろそろ失礼します」などと退出する旨を伝えたり、「どうぞお大事に」と快復を祈る言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆TPOに合った適切な挨拶形式を理解する		無	
Ⅶ	6	A1	別れ際のあいさつ	訪問先や見舞い先から去る際のあいさつ、引っ越しする際のあいさつをする。	1	0.5	504	引っ越しするとき、近所の人に、「お世話になりました」「ありがとうございました」など、お礼の言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		無	
Ⅶ	7	A1	お祝いのあいさつ	結婚や合格、昇進などした人に、お祝いの気持ちを伝える。	1	1	502	結婚した同僚などに、「御結婚おめでとうございます」「お幸せに」などのお祝いの言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		無	
Ⅶ	8	A2	病院へのお見舞い（1）	見舞いのため病院に行き、見舞い受付をした後、病人を見舞う。	3	0.5	506	病院の受付で、スタッフや看護師に、お見舞いをする相手が何階の何号室にいるか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	8	A2	病院へのお見舞い（1）	見舞いのため病院に行き、見舞い受付をした後、病人を見舞う。	3	1	508	病院の受付で、お見舞いに来たことを伝え、見舞いの可否や病室の場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる				有	見舞い客として名前などを書く可能性あり

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	8	A2	病院へのお見舞い（1）	見舞いのため病院に行き、見舞い受付をした後、病人を見舞う。	3	1	509	病室で、入院している友人と、調子はどうか、具合はよくなったかなどについて、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる				有	病室を探す際、名札を読める必要あり
Ⅶ	8	A2	病院へのお見舞い（1）	見舞いのため病院に行き、見舞い受付をした後、病人を見舞う。	3	0.5	507	入院している知人の病室から帰る際に、「そろそろ失礼します」などと退出する旨を伝えたり、「どうぞお大事に」と快復を祈る言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		無	
Ⅶ	9	A2	病院へのお見舞い（2）	病院に見舞いに行くために、見舞い品の準備をする。	1	1	536	知り合いのお見舞いに行くときに、どんなものを送ったらいいか、送ってはいけないものなどを友人に質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭の習慣を知る		無	
Ⅶ	10	A2	結婚のお祝い（1）	結婚や出産を祝う。	1	0.5	502	結婚した同僚などに、「御結婚おめでとうございます」「お幸せに」などのお祝いの言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		無	
Ⅶ	10	A2	結婚のお祝い（1）	結婚や出産を祝う。	1	0.5	527	友人に、知り合いの結婚や出産などのお祝いに、どんなもの、いくらぐらいのものを贈ったらいいか質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆贈答の習慣を知る		無	
Ⅶ	11	A2	結婚のお祝い（2）	結婚式や葬式など冠婚葬祭の習慣やマナーについて友人に質問し、情報を得る。	2	0.5	534	結婚式や葬式などの習慣やマナーについて、短い簡単な言葉で友人に質問し、写真を見せてもらいながら簡単な説明を理解することができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭の習慣を知る		無	
Ⅶ	11	A2	結婚のお祝い（2）	結婚式や葬式など冠婚葬祭の習慣やマナーについて友人に質問し、情報を得る。	2	0.5	526	友人に、フォーマルな場（冠婚葬祭、面接など）に参加するとき、着ていくものや気を付けることなどについて質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭のマナー		無	
Ⅶ	11	A2	結婚のお祝い（2）	結婚式や葬式など冠婚葬祭の習慣やマナーについて友人に質問し、情報を得る。	2	0.5	527	友人に、知り合いの結婚や出産などのお祝いに、どんなもの、いくらぐらいのものを贈ったらいいか質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆贈答の習慣を知る		無	
Ⅶ	11	A2	結婚のお祝い（2）	結婚式や葬式など冠婚葬祭の習慣やマナーについて友人に質問し、情報を得る。	2	0.5	503	モデル文があれば、「御結婚おめでとうございます」「お幸せになってください」など、友人の結婚式で読み上げる短いお祝いの言葉を書くことができる。	書くこと	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する		有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	12	A2	名刺作り	自己紹介に使うため、名刺印刷の注文をする。	1	0.5	518	名刺の作成を注文し、完成した名刺を読んで、氏名や住所、所属などの記載内容に違いがないかを確認することができる。	読むこと	A2			Ⅶ　人とかかわる	☆名刺を用意する			有	
Ⅶ	12	A2	名刺作り	自己紹介に使うため、名刺印刷の注文をする。	1	0.5	517	名刺を作成するとき、業者に名刺に記載する氏名や住所、所属などの内容について簡単な言葉で依頼することができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる	☆名刺を用意する			有	注文時、名刺の内容を書く必要があるのでは？
Ⅶ	13	A2	イベント探し	ウェブサイトやチラシなどから、興味のあるイベントを探す。	1	1	559	地域の国際交流協会などのウェブサイトの短い簡単なお知らせを見て、親子で参加できる国際交流イベントや絵本の読み聞かせ会などに参加するための必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅶ　人とかかわる				有	なぜⅦ？子育て・教育（Ⅴ）でよさそうだが
Ⅶ	14	A2	あらたまったあいさつ	知り合いの家を訪問したときに、その場に合った丁寧なあいさつや近況報告をする。	1	0.5	519	＜519a＞知り合いの家~~取引先の会社~~などを訪問したとき、~~「いつもお世話になっております」「初めてお目にかかります」など、~~場面に合った短い簡単な言葉で丁寧なあいさつをすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆TPOに合った適切な挨拶形式を理解する		無	なぜⅦ？「取引先の会社」なら働く（Ⅵ）でよさそうだが
Ⅶ	14	A2	あらたまったあいさつ	知り合いの家を訪問したときに、その場に合った丁寧なあいさつや近況報告をする。	1	0.5	516	友人の家で、友人の家族などと基本的なあいさつをし、自分の近況などについて、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する		無	
Ⅶ	15	A2	世間話をする	友人や近所の人に会った時、共通の話題で短い話をする。	1	0.5	510	友人や近所の人にあいさつをするとき、その日の気温や天気について、短い簡単な言葉で話すことができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅶ	15	A2	世間話をする	友人や近所の人に会った時、共通の話題で短い話をする。	1	0.5	532	友人の結婚や転職などの最近のニュースを、短い簡単な言葉で他の友人に伝えたり、質問したりすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	16	A2	会合での自己紹介	初対面のあいさつで、自分、家族、仕事などについて話す。	1	1	522	初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。	発表	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆自己紹介の仕方を理解する		無	
Ⅶ	17	A2	年中行事の違いについて知る	それぞれの出身地の特別な行事や休暇について紹介し合う。	1	1	545	正月などの特別な休暇について、何をするか、何を食べるかなどの簡単な情報を友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化の違い		無	
Ⅶ	18	A2	文化の違いを理解する	日本の文化や習慣について、自分が慣れ親しんだ文化・習慣との違いを説明したり、他の人の異文化摩擦やカルチャーショックに関する経験を読んだり聞いたりして、日本や異文化摩擦などについての理解を深める。	3	1	553	日本で生活する様々な国や地域出身の人々が驚いたことや困ったことなど、カルチャーショックや異文化摩擦に関する経験や考えが書かれた短い簡単なブログなどを読んで、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化の違い		有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	18	A2	文化の違いを理解する	日本の文化や習慣について、自分が慣れ親しんだ文化・習慣との違いを説明したり、他の人の異文化摩擦やカルチャーショックに関する経験を読んだり聞いたりして、日本や異文化摩擦などについての理解を深める。	3	0.5	539	お互いの国や地方の文化や習慣について、あいさつの仕方や食事の作法などの簡単な情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化の違い ☆あいさつの種類や目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	Can doでは「友人に」とあるが、友人をようやく作る段階なので、「顔見知り」「近所の人」等に書き換えるか。
Ⅶ	18	A2	文化の違いを理解する	日本の文化や習慣について、自分が慣れ親しんだ文化・習慣との違いを説明したり、他の人の異文化摩擦やカルチャーショックに関する経験を読んだり聞いたりして、日本や異文化摩擦などについての理解を深める。	3	0.5	557	学習者同士で、お互いのポートフォリオを見せ合いながら、日本での異文化体験や日本と自分の国の文化の違いなどについて、簡単に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2	他の学習者が示すポートフォリオを見て、キーワードなどに注目することができる。	読むこと	Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化の違い		有	Can doリストでは「やり取り」ですが、「ポートフォリオを見せ合いながら」とあり、ある程度の文字情報が使われると判断しました。
Ⅶ	18	A2	文化の違いを理解する	日本の文化や習慣について、自分が慣れ親しんだ文化・習慣との違いを説明したり、他の人の異文化摩擦やカルチャーショックに関する経験を読んだり聞いたりして、日本や異文化摩擦などについての理解を深める。	3	0.5	561	お互いの国のあいさつの仕方について、ジェスチャーやしてはいけないことなどの簡単な情報を、友人に質問したり、説明したりすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつ時の身ぶり、しぐさ ☆身ぶり、しぐさを知る ☆あいさつの種類と目的を理解する		無	Can doでは「友人に」とあるが、友人をようやく作る段階なので、「顔見知り」「近所の人」等に書き換えるか。
Ⅶ	18	A2	文化の違いを理解する	日本の文化や習慣について、自分が慣れ親しんだ文化・習慣との違いを説明したり、他の人の異文化摩擦やカルチャーショックに関する経験を読んだり聞いたりして、日本や異文化摩擦などについての理解を深める。	3	0.5	528	友人と、数字を数えるときの指の折り方やおじぎの仕方など、日本での身ぶりやしぐさについて疑問に思ったことなどについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化の違い		無	
Ⅶ	19	A2	異文化体験について語る	異文化体験について話したり、簡単な質疑応答をしたりする。	2	0.5	544	友人と、お互いの異文化体験などについて、短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、答えたりすることができる	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	19	A2	異文化体験について語る	異文化体験について話したり、簡単な質疑応答をしたりする。	2	1.5	547	国際交流のイベントなどで、メモを時々見ることができれば、自分の国や町の様子などについて、短い簡単なスピーチをすることができる。	発表	A2			Ⅶ　人とかかわる				無	メモは必ずしも日本語の文字表記でなくてもよい
Ⅶ	20	A2	贈り物のマナーを知る（1）	人に物を贈る際、目的（結婚・出産・見舞い）に応じて、どういったものを贈るのがよいかを相談する。	1	0.5	527	友人に、知り合いの結婚や出産などのお祝いに、どんなもの、いくらぐらいのものを贈ったらいいか質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2	のし袋の使い分けを知り、適切な物を買うことができる。	読むこと	Ⅶ　人とかかわる		☆贈答の習慣を知る		無	
Ⅶ	20	A2	贈り物のマナーを知る（1）	人に物を贈る際、目的（結婚・出産・見舞い）に応じて、どういったものを贈るのがよいかを相談する。	1	0.5	536	知り合いのお見舞いに行くときに、どんなものを持って行ったらいいか、持って行ってはいけないものなどを友人に質問し、簡単な情報を得ることができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる		☆贈答の習慣を知る		無	「送る」→「贈る」に修正する？
Ⅶ	21	B1	出産見舞い	出産した友人のお見舞いのために病院に行き、生まれた赤ちゃんを話題にしつつ、友人にお祝いを言う。	1	0.5	537	出産した友人を見舞ったとき、子供の将来や子育ての喜びなどについて、簡単な質問やコメントをしながら、お祝いの言葉を言うことができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭の習慣を知る		無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	21	B1	出産見舞い	出産した友人のお見舞いのために病院に行き、生まれた赤ちゃんを話題にしつつ、友人にお祝いを言う。	1	0.5	508	病院の受付で、お見舞いに来たことを伝え、見舞いの可否や病室の場所などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅶ　人とかかわる				有	・見舞い客として名前などを書くのでは？ ・B1レベルで扱うのなら0.5コマでいいと判断。
Ⅶ	22	B1	コミュニティの一員になる（１）	自治会の役員や近所の人に、回覧板や掲示板で告知された内容について質問する。	1	1	620	地域の回覧板や掲示板での告知内容について、自分は行事や会合に参加する必要があるかどうか、何をすべきなのかなど詳しい情報を近所の人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる		☆日本社会におけるつきあい方を理解する		有	
Ⅶ	23	B1	食事をしながら雑談をする(1)住まい	知り合いや友人と、現在の住まいについて雑談する。	1	1	514	今住んでいる家について、住み心地や周りの環境などの詳しい情報を友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	24	B1	食事をしながら雑談をする(2)食生活	知り合いや友人と、通常の食事、特別な食材の買い物、食生活について雑談する。	1	1	515	友人と食事をしているとき、自宅ではどのようなものを食べているか、どこで食材を買っているかなど、食生活についての詳しい情報を質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	25	B1	冠婚葬祭マナーについて知る（１）	結婚式・葬式・入学式などにふさわしい服装を用意する。	1	1	542	衣料品売り場の店員に、子供の入学式などの行事にふさわしい服装やその理由について質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	冠婚葬祭の服装についてイラスト・写真などが多様された説明を読み、状況に応じた服装についての情報を得ることができる。	読むこと	Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭の習慣を知る		無	
Ⅶ	26	B1	知り合いとのおしゃべり	近所の人に会った時、地域のイベントを話題にする。	1	1	513	最近の地域のニュースやイベントなど身近な話題について、近所の人や友人と簡単なコメントや意見を交換することができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	ニュース視聴などの活動とともに扱いたい
Ⅶ	27	B1	悩み相談（１）	コミュニケーションによって起こった誤解や摩擦について、友人に相談する。	2	2	524	地域住民との日本語でのコミュニケーションで誤解などが生じたとき、友人にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決策を聞いたり、意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	28	B1	悩み相談（２）	人間関係の悩みについて、友人に相談し解決策を考える。	1	1	555	近所の人や同僚などと、生活習慣や文化などの違いが原因で関係がうまくいかないなどの問題が生じたとき、友人にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		無	
Ⅶ	29	B1	異文化体験を共有する	異文化体験についての話を聞いて質問したり、誤解・摩擦の解決策について意見交換したりする。	2	0.5	556	発音と内容がはっきりしていれば、どこでどんな出来事があったか、どんな対応をして何を考えたかなど、異文化体験に関するスピーチを聞いて、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	29	B1	異文化体験を共有する	異文化体験についての話を聞いて質問したり、誤解・摩擦の解決策について意見交換したりする。	2	1	558	多文化共生について考えるワークショップなどで、他の人の意見を理解し、事実確認をしたり、自身の体験談やその時の解決策を簡単に紹介したりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	
Ⅶ	29	B1	異文化体験を共有する	異文化体験についての話を聞いて質問したり、誤解・摩擦の解決策について意見交換したりする。	2	0.5	551	＜551a＞~~様々な文化を持つ人が参加する異文化理解ワークショップで、~~異文化における習慣の違いやコミュニケーションで困ったことなどについて、ある程度詳しい情報を質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる				無	＊場面を限定する必要はないと判断。
Ⅶ	30	B1	異文化に対する意識を高める	新聞の悩み相談欄を読んで悩みの内容や助言について理解し、意見交換する。	2	1	552	国際結婚やカルチャーショックなど、異文化に関する悩み相談と、それに対する助言が書かれた簡単な記事などを読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		有	
Ⅶ	30	B1	異文化に対する意識を高める	新聞の悩み相談欄を読んで悩みの内容や助言について理解し、意見交換する。	2	1	540	友人とお互いの異文化体験について原因や背景などを話したり、意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		無	
Ⅶ	31	B1	異文化体験についての意見交換	異文化体験や異文化コミュニケーションに関する文を読み、知識・情報を得たり、内容に関する意見交換をしたりする。	2	1	546	異文化コミュニケーションに関する本の中の、ある程度長い文章に目を通して、異文化コミュニケーションにおいて大切なことなど、異文化を理解するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		有	
Ⅶ	31	B1	異文化体験についての意見交換	異文化体験や異文化コミュニケーションに関する文を読み、知識・情報を得たり、内容に関する意見交換をしたりする。	2	1	540	友人とお互いの異文化体験について原因や背景などを話したり、意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		無	
Ⅶ	32	B1	文化紹介の準備	小中学校での文化紹介や国際交流イベントなどで、自国について紹介する。	2	0.5	525	国際交流イベントなどで自国の文化などを紹介する発表を行うために、友人に敬語の確認を依頼し、間違っている箇所とその理由についての説明を理解することができる。	やり取り	B1	自国の文化などについて発表するためのシナリオを書く。	書くこと	Ⅶ　人とかかわる				有	
Ⅶ	32	B1	文化紹介の準備	小中学校での文化紹介や国際交流イベントなどで、自国について紹介する。	2	1.5	541	国際交流のイベントなどで、あらかじめ準備してあれば、自分の国や町の様子、人々の暮らしや考え方などについて、まとまりのある簡単な発表をし、想定した質問に対応することができる。	発表	B1			Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（５種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅶ	33	B1	スピーチ	スピーチ大会に出場し、自分の体験に基づくスピーチをする。	3	3	548	弁論大会などで、あらかじめ準備してあれば、異文化体験の出来事や感想などを含んだまとまりのある簡単なスピーチをすることができる。	発表	B1	(1)自分自身の異文化体験について、簡単なスピーチ原稿を書くことができる。（書く） (2)クラスメートの書いたスピーチを読み、内容についてコメントしたり、表現について一緒に検討することができる。（読む／やり取り）	書くこと	Ⅶ　人とかかわる		・行事・習慣・文化について		有	
Ⅶ	34	B1	冠婚葬祭マナーについて知る（２）	結婚式や葬式など冠婚葬祭の習慣やマナーについて、雑誌記事などから情報を得る。	1	1	531	冠婚葬祭などのマナーに関する本や雑誌の中の簡単な説明を読んで、適切な振る舞い方や服装など、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅶ　人とかかわる		☆冠婚葬祭の習慣を知る		有	
Ⅶ	35	B1	贈り物のマナーを知る（2）	贈り物のマナーについて、本や雑誌、ホームページなどから情報を得る。	1	1	529	お中元やお歳暮など贈物のマナーについて書かれたある程度長い文章に目を通して、贈る時期やよくある贈物、包装の仕方など、贈物を送るために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅶ　人とかかわる		☆贈答の習慣を知る		有	
Ⅶ	36	B1	懇親会での自己紹介	懇親会などで、自己紹介の機会を与えられたときに、日本での生活で驚いたことについて話をする。	1	1	520	＜520a＞~~懇親会自治会・町内会~~などの場で自己紹介するとき、日本での生活で驚いたことなどについて、そのときの気持ちも交えて、ある程度詳しく説明することができる。	発表	B1			Ⅶ　人とかかわる		☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する		無	＊場面をより一般的なものにした。
Ⅶ	37	B1	ホームステイ	それぞれの家のルール	1	1	549	＜549a＞発音がはっきりしていれば、ホストファミリーから日本の家でのスリッパの使い分け方やお風呂の使い方、ゴミの捨て方など、生活に関する説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1	日本の住居での暮らし方について、イラストなどを用いてわかりやすく書かれた文を一つの例として読み、情報を得つつ、家のルールの違いについて知る。	読むこと	Ⅶ　人とかかわる					＊具体例を増やした。

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	1	A1	初対面のあいさつ	会合で全員に向けて自己紹介したり、初対面の人に名前などを尋ねたりする。	2	0.5	505	新しいところに引っ越ししたときなどに、近所の人に、「これからお世話になります」「よろしくお願いします」など、基本的なあいさつをすることができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		引っ越し時のあいさつ		無	
Ⅷ	1	A1	初対面のあいさつ	会合で全員に向けて自己紹介したり、初対面の人に名前などを尋ねたりする。	2	0.5	512	初めて会った人に、名前、出身、仕事などを尋ねたり、答えたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する		無	
Ⅷ	1	A1	初対面のあいさつ	会合で全員に向けて自己紹介したり、初対面の人に名前などを尋ねたりする。	2	1	611	自治会・町内会や地域のイベントなどで、初めて会う人たちの前で自己紹介するとき、自分の名前、出身地などをごく簡単な言葉で言うことができる。	発表	A1			Ⅷ　社会の一員となる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅷ	2	A1	きっかけを作るあいさつ	近所の人と会った時に、天気・気候・連れているペット・持ち物・服装などについて言及し、親しくなるきっかけを作る。	1	0.5	511	＜511a＞~~友人や~~近所の人と、その日の天気や気候について、「いい天気ですね」「暑いですね」などの基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅶ　人とかかわる		☆あいさつの種類と目的を理解する ☆あいさつの文化的相違を理解する		無	
Ⅷ	2	A1	きっかけを作るあいさつ	近所の人と会った時に、天気・気候・連れているペット・持ち物・服装などについて言及し、親しくなるきっかけを作る。	1	0.5	604	＜604a＞~~散歩中、ペットを連れている友人や~~近所の人に会ったとき、ペットの名前を尋ねたり、ペットや持ち物について「かわいい」などの簡単な言葉でほめたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる		☆あいさつの文化的相違を理解する ☆公共マナーにおける文化の相違について理解する		無	「ペット」以外の話題にも展開できるように、Can do記述を調整した。
Ⅷ	3	A1	ちょっとひとこと	暮らしの中で、ちょっとした「ひとこと」を言う。	1	0.5	486	＜486a＞近所職場の人と、「おはようございます」「こんにちは~~お疲れ様です~~」「お先に失礼します」などの時間帯や場面に合った基本的なあいさつを交わすことができる。	やり取り	A1			Ⅵ　働く				無	
Ⅷ	3	A1	ちょっとひとこと	暮らしの中で、ちょっとした「ひとこと」を言う。	1	0.5	590	ごみの出し方を間違えて注意されたとき、「すみません」などの謝りの言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方	無	
Ⅷ	4	A1	ごみを出す	ごみ出しについて、曜日の誤りを近所の人に指摘され、適切な曜日を教えてもらう。	1	0.5	590	ごみの出し方を間違えて注意されたとき、「すみません」などの謝りの言葉を言うことができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方	無	
Ⅷ	4	A1	ごみを出す	ごみ出しについて、曜日の誤りを近所の人に指摘され、適切な曜日を教えてもらう。	1	0.5	583	住んでいる地域やマンションのごみ収集所で、近所の人に実際にごみを見せながら、何曜日に捨てることができるか尋ね、ゆっくりとはっきりと簡潔に話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	無	分別表などにより文字に触れる可能性はある。
Ⅷ	5	A1	回覧板や掲示の内容を知る	回覧板や掲示を見ながら、催しの日程と場所について確認したり、申し込みのために名前を記入したりする。	2	1	621	実際に地域の掲示板などに貼ってあるお知らせを見ながら、近所の人に、地域のお祭りがいつ、どこであるか尋ね、ゆっくりとはっきりと簡潔に話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる			・回覧板の仕組	有	
Ⅷ	5	A1	回覧板や掲示の内容を知る	回覧板や掲示を見ながら、催しの日程と場所について確認したり、申し込みのために名前を記入したりする。	2	1	614	分からない点について近所の人に質問できれば、地域清掃や運動会など自治会・町内会行事の申込書に、名前や住所など、自分や家族の個人的な情報を記入することができる。	書くこと	A1			Ⅷ　社会の一員となる				有	

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動 （Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	6	A1	書類の記入	届や申込書などに、住所、名前、生年月日等を記入する。	1	1	567	＜567a＞~~婚姻届や出生届など~~役所に提出する書類などに、住所、氏名、生年月日、本籍（国籍）、職業など、自分や家族の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1			Ⅷ　社会の一員となる				有	税金や手当のための書類でなく、各種サービスの申込書類等のほうが身近な場合もある。
Ⅷ	7	A1	公共サインを理解する	街の中や施設内にある公共サインを理解し、適切に行動する	1	1	592	美術館や博物館で、カメラを見せながら、写真を撮ってもいいかどうか尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば、答えを理解することができる。	やり取り	A1			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	8	A2	公共マナーを読み取る	公的な場所や職場などの掲示を理解し、適切に行動する	2	2	593	職場の壁やドアに掲示された指示や規則などの短い簡単な説明を読んで、禁止事項や注意事項など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	9	A2	通知を読む	自治体からの通知やちらしを読み、とるべき行動について理解する。	1	0.5	602	＜602a＞短い簡単な文で書かれた役所からの狂犬病ワクチン接種などのお知らせを読んで、内容を大まかに理解することができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			狂犬病ワクチン接種	有	
Ⅷ	9	A2	通知を読む	自治体からの通知やちらしを読み、とるべき行動について理解する。	1	0.5	576	税金の納付書を見て、納付場所や、納付方法（現金、クレジットカード払い、口座振替など）があるのかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆制度の概要を知る 税金	有	
Ⅷ	10	A2	税金を納める	住民税等の通知を読み取り、適切に納税する	1	1	574	住民税決定通知書などの短い簡単な通知を読んで、納税金額、納税期限、納税方法など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆制度の概要を知る	有	
Ⅷ	11	A2	各種手続き（転出・転入等）をする	役所に転出・転入や出生届、扶養手当などの手続きに行く。	3	1	564	引っ越しの手続などで役所に行ったとき、看板や案内板などの短い簡単な言葉を見て、何階のどの窓口に行けばいいか、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆必要な手続を理解する ☆各種手続の種類や内容について理解する 転出・転入手続	有	
Ⅷ	11	A2	各種手続き（転出・転入等）をする	役所に転出・転入や出生届、児童扶養手当などの手続きに行く。	3	1	568	役所が発信している外国人向けの生活情報のウェブサイトの短い簡単な案内を見て、婚姻届や出生届の窓口の受付時間や届出に必要な持ち物など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆必要な手続を理解する ☆各種手続の種類や内容について理解する 婚姻届、出生届	有	
Ⅷ	11	A2	各種手続き（転出・転入等）をする	役所に転出・転入や出生届、扶養手当などの手続きに行く。	3	0.5	565	見本を見ながらであれば、役所の窓口で、住民異動届に名前、住所、連絡先などを書いたり、転入や転出など、適切な異動理由を選択したりすることができる。	書くこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	11	A2	各種手続き（転出・転入等）をする	役所に転出・転入や出生届、扶養手当などの手続きに行く。	3	0.5	635	項目の意味が分からないときに窓口の職員に聞くことができれば、児童扶養手当認定などの申請書類に、自分や家族の状況などを短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			・児童手当 ・福祉サービス	有	
Ⅷ	12	A2	役所に行く(1)	役所に行って、用事を済ませる	2	1	518	役所の受付で、用事のある窓口の場所を尋ね、ゆっくりとはっきりと話されれば答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる	・役所の担当部署			有	
Ⅷ	12	A2	役所に行く(1)	役所に行って、用事を済ませる	2	1	569	役所の窓口で、印鑑登録証明書を発行してもらうために、登録に必要な手続や申請書の書き方などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2	申請書に必要事項を記入することができる	書くこと	Ⅷ　社会の一員となる				有	

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動 （Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	13	A2	役所に行く(2)	役所に行って、相談する	2	2	631	役所の窓口で担当者に、出産や育児に関してどんな手当やサービスを受けることができるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる			・児童手当や医療費助成	有	
Ⅷ	14	A2	ごみ出しルールを守る	ごみ分別のちらしを見たり、近所の人に聞いたりして、ごみを適切に捨てる。	2	1	586	地域などで配布されるごみの分け方や出し方について書かれたイラスト付きちらしの短い簡単な説明を読んで、内容をだいたい理解することができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	有	
Ⅷ	14	A2	ごみ出しルールを守る	ごみ分別のちらしを見たり、近所の人に聞いたりして、ごみを適切に捨てる。	2	0.5	584	ごみ収集所の掲示などの短い簡単な掲示を見て、捨てたいごみは何曜日に捨てられるかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	有	
Ⅷ	14	A2	ごみ出しルールを守る	ごみ分別のちらしを見たり、近所の人に聞いたりして、ごみを適切に捨てる。	2	0.5	585	ごみの捨て方や分類について、近所の人に、短い簡単な言葉で質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	無	分別表などにより文字に触れる可能性はある。
Ⅷ	15	A2	粗大ごみの回収申し込み	粗大ごみの回収について、電話で申し込む	1	1	588	粗大ごみの回収業者に電話で、名前や電話番号、日時、粗大ごみの種類やメーカーなどを伝えて依頼することができる。	やり取り	A2	粗大ごみの回収予約サイトから回収の申し込みをすることができる	読むこと	Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	無	
Ⅷ	16	A2	ペットを飼う	ペットを飼うことについて友人に相談する	3	1	598	新しくペットを飼うために、どのような手続をするのか、登録にはどれくらいお金がかかるかなどの簡単な情報を、そのペットを飼ったことがある友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる			ペットの登録	無	
Ⅷ	16	A2	ペットを飼う	ペットを飼うことについて友人に相談する	3	1	605	新しくペットを飼うために、毎日どのような世話をするのか、１か月にどれくらいお金がかかるかなどの簡単な情報を、そのペットを飼ったことがある友人に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	16	A2	ペットを飼う	ペットを飼うことについて友人に相談する	3	1	606	ペットの入手方法、しつけやマナーなどについて、お互いの国の事情を、短い簡単な言葉で友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる		☆公共マナーにおける文化の相違について	ペットの飼い方	無	
Ⅷ	17	A2	地域イベントを手伝う	地域のイベントを手伝いながら、公共の場のルールについて知る	3	2	615	地域の祭りなどのイベントの手伝いをするとき、作業の担当や進め方について、短い簡単な言葉で確認したり、指示を受けたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	17	A2	地域イベントを手伝う	地域のイベントを手伝いながら、公共の場のルールについて知る	3	1	594	ごみの捨て方や喫煙できる場所など地域でのマナーについて、短い簡単な言葉で近所の人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる				無	ここでの「ごみの捨て方」はイベント時にごみをどこに捨てるか、持ち帰るかなどのことと想定。
Ⅷ	18	A2	地域の交流イベントについて調べる	地域で開催されている日本語教室や交流イベントについて知り合いに聞く	2	2	622	地域の日本語教室や国際交流のイベントなどについて、日時や参加費、内容などの簡単な情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2	地域のイベントやサークル活動についての案内や一覧から興味のあるものを探す	読むこと	Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	19	B1	引っ越しに伴う手続き	転出・転入、子どもの転校について、手続きを確認する	1	1	563	引っ越しなどで住所が変わったとき、役所の窓口で担当者に、転出や転入、転校の届出や手続などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			転出・転入・転校手続き	無	

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	20	B1	公的制度を理解する	「やさしい日本語」で書かれたウェブサイトで、社会保険など公的制度について理解する	2	1	562	＜562a＞役所が発信している外国人向けの生活情報のウェブサイトでマイナンバー制度や介護保険等に関する簡単な記事を読んで、制度の主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆制度の概要を知る マイナンバーカード 介護保険	有	＊例を増やした。
Ⅷ	20	B1	公的制度を理解する	「やさしい日本語」で書かれたウェブサイトで、社会保険など公的制度について理解する	2	1	638	社会保険について説明したウェブサイトの簡単な説明を読んで、社会保険の種類や制度の仕組みなどの主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			社会保険	有	
Ⅷ	21	B1	税金について理解する(1)	税金について「やさしい日本語」で書かれた文を読み、適切に納める	1	1	572	地域などで発行している、生活情報パンフレットの税金についてのある程度長い説明に目を通して、軽自動車税や住民税などを支払うために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆制度の概要を知る税金	有	
Ⅷ	22	B1	税金について理解する(2)	役所の窓口で、控除制度について質問する	1	1	573	役所の窓口などで担当者に、自分の事情にあった節税方法について質問し、扶養控除や医療費控除など利用できる控除制度についてのある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			控除	無	
Ⅷ	23	B1	各種手当について理解する	役所の窓口で、手当や助成について相談する。	1	1	593	役所の窓口で担当者に、自分が受けられる児童手当や医療費助成などの福祉サービスについて質問し、聞き返すこともあるが、支給条件や申請の方法など、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・児童手当 ・医療費助成 ・福祉サービス	無	
Ⅷ	24	B1	介護サービスを受ける	介護認定や介護サービスについての相談をする	2	1	632	介護認定などの申請や手続をしたいとき、役所の担当課に連絡し、介護が必要な状況であることなどについて、簡単に説明し、相談することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・福祉サービス ・介護保険、介護認定	無	
Ⅷ	24	B1	介護サービスを受ける	介護認定や介護サービスについての相談をする	2	1	637	地域にある福祉の相談窓口で担当者に、事情や希望をある程度詳しく説明し、子育てや介護、病気や障害などに関する支援サービスの提供や変更を依頼することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・福祉サービス	無	
Ⅷ	25	B1	環境問題とごみリサイクル	ごみのリサイクルと環境問題について学ぶ	2	1	582	市報の特集記事として掲載されている環境保護についてなどの、ある程度長い文章に目を通して、地域の資源ごみの回収方法など、リサイクルを実践するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	有	
Ⅷ	25	B1	環境問題とごみリサイクル	ごみのリサイクルと環境問題について学ぶ	2	0.5	587	地域などで発行している、外国人向けの生活情報パンフレットなどの、ある程度長い文章に目を通して、ごみの分け方や出し方や粗大ごみの処分方法など、ごみ出しに必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	有	
Ⅷ	25	B1	環境問題とごみリサイクル	ごみのリサイクルと環境問題について学ぶ	2	0.5	597	ごみ収集場所で家電製品などの投棄物を見つけたとき、役所のウェブサイトのある程度長い文章に目を通して、どんな罰則があるか、どこに相談したらよいかなど必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆ごみ処理の仕方について理解する	有	

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	26	B1	自治会活動について知る	自治会活動の内容や自治会の入り方について近所の人に聞く	3	1	609	発音と内容がはっきりしていれば、役員から自治会の活動内容に関する簡単な説明を聞いて、主要な情報を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆一般の地域で自治会活動とは何かを学んでおく ・町内会や子供会	無	
Ⅷ	26	B1	自治会活動について知る	自治会活動の内容や自治会の入り方について近所の人に聞く	3	1	612	自治会・町内会の集まりや地域でのイベントについて、当日の集合場所や時間などの簡単な情報を、近所の人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	26	B1	自治会活動について知る	自治会活動の内容や自治会の入り方について近所の人に聞く	3	1	613	会報や回覧板をきっかけに、住んでいる地域の自治会・町内会について、どんな活動をしているか、どうしたら会員になれるかなど、近所の人に短い簡単な言葉で質問をしたり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅷ　社会の一員となる			☆自治会活動	無	
Ⅷ	27	B1	地域の人と知り合いになる	自治会入会時や自治会行事への参加の際に、自己紹介をしたり、地域のルールを聞いたりして、知り合いになる。	2	1	550	自治会・町内会の役員などに、その地域特有のルールやしきたりなど、知りたいことについて準備した質問をし、答えを受けて、情報を確認したり、それに続く質問をしたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅶ　人とかかわる			・町内会や子供会	無	
Ⅷ	27	B1	地域の人と知り合いになる	自治会入会時や自治会行事への参加の際に、自己紹介をしたり、地域のルールを聞いたりして、知り合いになる。	2	1	626	＜626a＞自治会・町内会の行事などで初めて会った人に話しかけ、地域のこと、地域の~~ニュース~~や出来事など身近な話題について質問したり、ある程度詳しく答えたりして、会話を続けることができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	28	B1	地域イベントでの文化発表(1)	イベントで自国料理を紹介するための打ち合わせをする。	1	1	627	自分の国や地域の料理をふるまうなどの国際交流イベントの担当者に、使用できる場所や道具、予算などについて質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	29	B1	地域イベントでの文化発表(2)	イベントの広報用ポスターを作成し、知り合いに内容や日本語のチェックを依頼する。	2	2	623	地域の日本語教室や国際交流のイベントの広報用ポスターを日本語で作成するために、知り合いに、ポスターのテーマや内容などを説明して、日本語のチェックを頼むことができる。	やり取り	B1	イベント広報用のポスターを作る	書くこと	Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	30	B1	コミュニティの一員になる（２）	回覧板・掲示板・配布文書から必要な情報を読み取り、内容について近所の人に質問・確認する。	2	1	619	＜619a＞地域の回覧板や掲示板や配布文書などの、行事やお知らせについてのある程度長い文章に目を通して、何を行うのか、自分は参加が必要かどうかなど、行事やお知らせの内容を理解するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・回覧板の仕組み	有	＊回覧・掲示を見ながらの会話と判断
Ⅷ	30	B1	コミュニティの一員になる（２）	回覧板・掲示板・配布文書から必要な情報を読み取り、内容について近所の人に質問・確認する。	2	1	620	地域の回覧板や掲示板での告知内容について、自分は行事や会合に参加する必要があるかどうか、何をすべきなのかなど詳しい情報を近所の人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆自治会活動 ・回覧板の仕組み	有	
Ⅷ	31	B1	コミュニティの一員になる（３）	地域の催しに参加するために、自治会のお知らせを読む。	1	1	625	地域の子供会の行事に関する短い簡単なお知らせを見て、日時や場所、内容、参加費、持ち物など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅷ　社会の一員となる			・町内会や子供会	有	＊回覧・掲示を見ながらの会話と判断

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	32	B1	自治会に参加する（１）	自治会の集まりで、イベント実施に向けた話し合いをする。	2	2	616	自治会・町内会やマンションの住民の集まりなどで、イベントの相談など、議題の概要を理解し、事実確認をしたり、自分の意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・町内会	有	議事資料を読む
Ⅷ	33	B1	自治会に参加する（２）	自治会の集まりで、自治会活動の進め方について話し合いをする。	2	2	610	自治会・町内会の年間行事や役割分担など、活動の概要を理解し、分からない点について質問をしたり、自分の意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			☆一般の地域で自治会活動とは何かを学んでおく ・町内会	有	議事資料等を見る
Ⅷ	34	B1	「お知らせ」を読む(1)	マンション等の集合住宅で、掲示されているお知らせを読む。	1	1	591	マンションのエレベーター内などに掲示されている簡単なお知らせを読んで、マンションでの生活ルールやマナーについて、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	35	B1	「お知らせ」を読む(2)	回覧板のお知らせを読む。	1	1	619	地域の回覧板や掲示板などの、行事やお知らせについてのある程度長い文章に目を通して、何を行うのか、自分は参加が必要かどうかなど、行事やお知らせの内容を理解するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・回覧板の仕組み	有	
Ⅷ	36	B1	医療費助成について知る	医療費助成や各種手当について、自分が受けられるものがあるかどうか、広報誌やウェブサイトなどで情報を集める。	2	1	629	児童手当や医療費助成などについて書かれた役所の広報誌などの、ある程度長い文章に目を通して、自分が受けられる福祉サービスの内容や条件など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・児童扶養手当等	有	
Ⅷ	36	B1	医療費助成について知る	医療費助成や各種手当について、自分が受けられるものがあるかどうか、広報誌やウェブサイトなどで情報を集める。	2	1	642	医療費助成制度について書かれた簡単な説明を読んで、種類、利用限度額、申請方法などの主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・医療費助成	有	
Ⅷ	37	B1	健康保険や年金について知る	国民健康保険や国民年金についての理解を深める	1	1	639	国民健康保険や国民年金に加入するために、役所の窓口などで、手続の方法や必要な書類、保険料の支払方法などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			国民健康保険 国民年金	無	
Ⅷ	38	B1	公的補助を受ける(1)	役所などで補助金や手当について相談をする	1	1	640	役所の子供家庭支援課などで、担当者に、自分の状況について簡単に説明し、どんな助成金や手当がもらえるか相談することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				無	
Ⅷ	39	B1	公的補助を受ける(2)	申請書類の不備について説明を受け、再申請をする。	1	1	641	児童手当や医療費助成などを申請した書類に不備があり戻ってきたときに、役所の担当者に、再申請やその後の流れなどについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる			・児童手当 ・医療費助成 ・福祉サービス	有	
Ⅷ	40	B1	ご近所トラブルの解決	近所の人との間で起こったトラブルを解決したり、相談したりする	2	0.5	589	近所の人とごみの出し方などの問題が生じたとき、自分のごみの出し方についてある程度詳しく状況を説明し、苦情に対応することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	分別表を使いながらのやり取りになる可能性が高い。
Ⅷ	40	B1	ご近所トラブルの解決	近所の人との間で起こったトラブルを解決したり、相談したりする	2	1	596	近所の人と騒音や空スペースへの駐車などで、トラブルが生じたとき、他の近所の人にある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				無	

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅷ	40	B1	ご近所トラブルの解決	近所の人との間で起こったトラブルを解決したり、相談したりする	2	1	608	隣の住人とペットの鳴き声や匂いなどに関する問題が生じたとき、大家や管理人などにある程度詳しく状況や心情を説明し、解決の方法を相談することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	集合住宅の規約などを参照することも考えられる。
Ⅷ	41	B1	犬を飼う	犬を飼うために、登録手続きをしたり、予防接種を受けさせたりする。	3	1	599	役所のウェブサイト上の犬の登録制度など、登録や狂犬病予防接種の手続に関する簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	41	B1	犬を飼う	犬を飼うために、登録手続きをしたり、予防接種を受けさせたりする。	3	1	601	ペットの犬の登録手続をするとき、役所に電話し、担当者に手続の手順や必要書類、手数料などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	41	B1	犬を飼う	犬を飼うために、登録手続きをしたり、予防接種を受けさせたりする。	3	1	603	必要に応じて確認することができれば、動物病院で、混合ワクチンを接種するための問診票の質問をだいたい理解し、答えを書くことができる。	書くこと	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	
Ⅷ	42	B1	税金について知る	職場や役所窓口で、給与明細や住民税決定通知書に示された税額や内訳などについて、質問する。	1	1	578	＜578a＞職場や役所の窓口で担当者に、給与明細や住民税決定通知書などについて分からないことを質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅷ　社会の一員となる				有	＊職場でのやり取りのほうが実施可能性が高い人もいると判断。 通知や明細などを見ながらのやりとり。

（（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜〜a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	1	A1	イベントで挨拶する	イベントで初めて会った人と、自己紹介をし合う。	2	2	684	日本語教室や国際交流のイベントに参加し、初めて会った人に、名前、出身、仕事などを尋ねたり、答えたりすることができる。	やり取り	A1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	2	A1	地域の公共施設を使う	図書館やスポーツセンターなど、地域施設で名前を登録し、利用する。	3	1.5	149	＜149a＞図書館やスポーツセンター銀行で、口座開設や振り込みなどの申込書に、住所、氏名、電話番号、生年月日など、自分の基本的な情報を書くことができる。	書くこと	A1			Ⅲ　消費活動を行う			☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る ☆施設の種類や制度について知る	有	＊実際に起こり得る例を加えた。
Ⅸ	2	A1	地域の公共施設を使う	図書館やスポーツセンターなど、地域施設で名前を登録し、利用する。	3	1.5	733	＜733a＞図書館やスポーツセンターの窓口で、「この本を借りたいです」「プールを使いたいです」などと短い簡単な言葉で、窓口の人に伝えることができる。	やり取り	A1			Ⅸ　自身を豊かにする			☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る ☆施設の種類や制度について知る	無	＊実際に起こり得る例を加えた。
Ⅸ	3	A1	ネットで予約する	インターネットで、イベント参加申込、図書貸出の予約、美容院の予約などをする。	3	2	655	インターネットで、国際交流イベントなどを予約するとき、氏名、年齢、住所、電話番号、メールアドレスなどの情報を入力することができる。	書くこと	A1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	3	A1	ネットで予約する	インターネットで、イベント参加申込、図書貸出の予約、美容院の予約などをする。	3	1	734	インターネットで、図書館の本の予約をするとき、予約したい本を選び、名前や電話番号など必要な情報を入力することができる。	書くこと	A1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	4	A2	日本語学習を振り返る	その日の日本語授業や日本語学習が終わった時に、学習の記録や感想を書く。	2	2	671	一日の学習について、進捗や反省、学習の感想をポートフォリオの学習記録などに短い簡単な文で書くことができる。	書くこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	5	A2	図書館を利用する	図書館に行き、使い方の説明を受けたり、使用ルールについて質問したりする。	3	1	728	図書館や公民館などに置かれている短い簡単な利用案内を読んで、利用時間や本や会議室の貸出しの決まりなど、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る	有	
Ⅸ	5	A2	図書館を利用する	図書館に行き、使い方の説明を受けたり、使用ルールについて質問したりする。	3	1	727	ゆっくりとはっきりと話されれば、図書館などで、スタッフによる図書館の使い方（例えば、貸出し方法、貸出し期間、注意事項）などの簡単な説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る	無	
Ⅸ	5	A2	図書館を利用する	図書館に行き、使い方の説明を受けたり、使用ルールについて質問したりする。	3	1	732	図書館で、返却期限や一度に何冊まで借りられるかなど、不明な点について、窓口の担当者に簡単な言葉で質問し、答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る	無	
Ⅸ	6	A2	日本語学習について考える	自分自身の日本語学習の目標について見直したり、外国語学習の効果的な方法について調べたりする。	4	1	661	日本語の学習目標は何か、なぜそのような目標を定めたのかについて、日本語教室のクラスメートや先生に短い簡単な言葉で話すことができる。	発表	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	6	A2	日本語学習について考える	自分自身の日本語学習の目標について見直したり、外国語学習の効果的な方法について調べたりする。	4	1.5	670	日本語学習に関する短い簡単なブログなどを読んで、自分の目的に合った学習サイトや教材などについて、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	6	A2	日本語学習について考える	自分自身の日本語学習の目標について見直したり、外国語学習の効果的な方法について調べたりする。	4	1.5	675	日本語学習サイトを検索し、どのようなサイトか、どのように使うのかなどのいくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	7	A2	書店を利用する	書店で、趣味や日本語学習のための本が買いたいことを店員さんに伝え、店員さんからの質問に答えながら、適切な本を探し出す。	2	2	665	＜665a＞本屋の店員に、趣味の本や日本語教材どのような日本語の教材があるかなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	＊実際に起こり得る例を加えた。
Ⅸ	8	A2	参加したいイベントを探す	各種イベントや日本語交流行事などに参加するため、日時、場所、内容を広報誌やポスター、チラシなど読み取る。	3	1.5	683	役所や地域の掲示板やウェブサイトの短い簡単なお知らせを読んで、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする	・役所や図書館などでイベントなどの情報が収集できること 地域の掲示板 区報・市報			有	
Ⅸ	8	A2	参加したいイベントを探す	各種イベントや日本語交流行事などに参加するため、日時、場所、内容を広報誌やポスター、チラシなど読み取る。	3	1.5	722	地域の広報誌などにある、外国人向けの短い簡単なお知らせを読んで、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆自治体の広報誌、広告やポスター、インターネット等から情報を得る	有	
Ⅸ	9	A2	公開授業（学校公開）に行く	地域の学校の公開授業や文化祭など、一般の人が参加できる行事の情報をウェブサイトから探し出す。	2	2	705	地域の学校のウェブサイトの、短い簡単なお知らせを見て、授業参観や学校公開、見学できる行事のお知らせなど、学校を見に行くために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			授業参観 学校公開	有	子育て
Ⅸ	10	A2	テレビを活用する	テレビドラマやアニメの一部を見て、ストーリーを推測したり、日常的な表現を探したりする。	2	2	682	テレビドラマなどを見て、映像を頼りに、登場人物がどのような場面でどのような表現を使っているかなど、内容を大まかに理解することができる。	聞くこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	11	A2	公共施設について調べる	情報誌や広報紙を見たり、知り合いに尋ねたりして、行きたい施設やイベントを探す。	4	1.5	729	タウンマップなど情報誌の短い簡単な文を見て、地域にどのような公共施設があるかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆自治体の広報誌、広告やポスター、インターネット等から情報を得る	有	
Ⅸ	11	A2	公共施設について調べる	情報誌や広報紙を見たり、知り合いに尋ねたりして、行きたい施設やイベントを探す。	4	1	724	行ってみたいと思っている店や娯楽施設について、友人に、そこに行ったことがあるか、どんなところかなど、短い簡単な言葉で質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	11	A2	公共施設について調べる	情報誌や広報紙を見たり、知り合いに尋ねたりして、行きたい施設やイベントを探す。	4	1.5	725	地域で行われている趣味の教室やイベントなどについて、日時や参加費、内容などの簡単な情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆施設の種類や制度について知る	無	
Ⅸ	12	A2	日本語教室や趣味の教室について調べる	日本語教室や趣味の教室に電話をし、自分のことや教室を知った方法などについての質問に答える。	2	2	654	日本語教室の担当者などがゆっくりはっきりと話してくれれば、電話で参加したい教室名、名前、住所、教室を知った方法などの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語教室	無	
Ⅸ	13	A2	メニューについて質問する	レストランなどでメニューを見ながら、読み方や意味の分からない言葉について質問し、理解する。	2	2	686	レストランのメニューなどにある読み方や意味が分からない言葉について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	14	A2	旅行の計画	旅行社のパンフレットやホームページなどを見て、行ってみたい場所や参加したいツアーを探す。	4	1.5	718	インターネットにある短い簡単なツアーの案内文を見て、滞在地の紹介や体験できる活動など、自分の希望に合ったツアーを選ぶために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			☆自治体の広報誌、広告やポスター、インターネット等から情報を得る	有	
Ⅸ	14	A2	旅行の計画	旅行社のパンフレットやホームページなどを見て、行ってみたい場所や参加したいツアーを探す。	4	1.5	716	旅行パンフレットやガイドブックなどの短い簡単な文を見て、主な名所やお店など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	14	A2	旅行の計画	旅行社のパンフレットやホームページなどを見て、行ってみたい場所や参加したいツアーを探す。	4	1	719	休みの前などに、余暇におすすめの場所について、どこにあるか、そこに何があるか、そこで何ができるかなどの簡単な情報を友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	15	A2	スポーツ記事を読む	新聞やネットニュースなどで、興味のあるスポーツの記事を探し、勝敗など結果を読み取る。	2	2	696	好きなスポーツに関する短い簡単な新聞記事などを読んで、試合の勝敗や好きな選手の活躍など、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	16	A2	子どもの学校について知る(1)	就学準備のため、学校生活のルールなどについて役所に行って母語で情報を得たり、日本語で質問したりする。	3	1.5	709	子供の学校生活について母語で情報を集めるために、役所や学校の担当者に、母語で書かれたパンフレットがあるかや、保護者会への通訳派遣が可能かなどについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			保護者会	無	子育て
Ⅸ	16	A2	子どもの学校について知る(1)	就学準備のため、学校生活のルールなどについて役所に行って母語で情報を得たり、日本語で質問したりする。	3	1.5	711	子供が通う学校の先生に、就学に当たって準備しておくものや給食で食べられないものがあるときにどうすればいいかなど、学校生活について質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			学校給食	無	子育て
Ⅸ	17	A2	子どもを預ける	一時保育など公的な子どもの預け先や申し込み方法について知る。	2	2	710	公的な子供の預け先について、どんな預け先があるか、どのように申し込めばいいかなど、役所の窓口の担当者に質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする			一時保育	有	子育て
Ⅸ	18	A2	イベントに誘う／誘われる	知り合いをイベントに誘ったり、知り合いに誘われて応じたり断ったりする。	2	2	720	友人を誘うために、イベントの日時を伝え、一緒に行くかどうか、短い簡単な言葉で尋ねたり、誘いに答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	19	A2	方言を知る	知り合いを、日常生活の中で耳にした言葉（方言、若者言葉、略語など）について話題にする。	2	2	691	普段よく接する人と話しているときに、生活の中で聞いた方言などの地域特有の言葉の意味について短い簡単な言葉でコメントや質問をしたり、答えたりすることができる。	やり取り	A2			Ⅸ　自身を豊かにする		・方言等		無	
Ⅸ	20	A2	将来について話す	日本語学習や日本での生活を振り返り、今後の計画や将来の夢について話す。	3	3	645	将来の夢や目標、そのために計画していることについて、友人などに短い簡単な言葉で話すことができる。	発表	A2			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	21	B1	ボランティアをする	区報・市報などから、地域のボランティア活動についての情報を得て、関心があるもの、できそうなことを探す。	2	2	723	市報などに掲載されている地域のボランティア活動についての簡単な紹介記事を読んで、これまでにどのような活動をしているのか、自分の生活スタイルでも参加できるかなど主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			☆自治体の広報誌、広告やポスター、インターネット等から情報を得る	有	
Ⅸ	22	B1	社会問題を話題にする	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	4	1	697	CO2削減など、話題になっている環境問題に関する簡単な新聞記事などを読んで、重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	22	B1	社会問題を話題にする	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	4	1	695	ニュースの中で特集されているいくつかの取材映像やテロップを頼りに、最近の日本の社会問題の内容や原因などについて主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	22	B1	社会問題を話題にする	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	4	2	701	日本の社会問題に関する情報を入手するため、インターネットのニュース記事などから、現在話題になっている社会問題に関する簡単な記事を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1	日本の社会問題について自国の状況を踏まえつつ、意見交換をする。	やり取り	Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	23	B1	日本の教育について考える	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	5	2	702	子供のいじめなどの社会問題について、大まかな内容や、どういう背景があるかなど質問し、友人や家族と簡単なコメントや意見を交換することができる。	やり取り	B1	子どものいじめなどの社会問題に関する記事を読む	読むこと	Ⅸ　自身を豊かにする				有	子育て
Ⅸ	23	B1	日本の教育について考える	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	5	2	707	受験や大学入学共通テストに関するテレビニュースを見て、映像やテロップを頼りに、日本の教育制度の概要や問題点など、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1	日本の教育制度についての説明文を読む	読むこと	Ⅸ　自身を豊かにする			・日本の学校制度	有	子育て
Ⅸ	23	B1	日本の教育について考える	複数の媒体を通じて、社会問題をおおよそ理解し、それについて、友人と意見交換する。	5	1	699	発音がはっきりしていれば、テレビやラジオで視聴者からのいじめや不登校などの悩み相談を聞いて、内容やアドバイスなどの要点を理解することができる。	聞くこと	B1	悩み相談に対するアドバイスをする	発表	Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	24	B1	勉強する方法を探す	ウェブサイトや広報紙を使って、興味関心のあるものについて学べる場所を探す。	2	2	652	地域のいくつかの日本語教室を紹介するウェブサイトなどのある程度長い文章に目を通して、それぞれの特徴や違いなど、自分に合った日本語教室を選ぶために、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語教室	有	
Ⅸ	25	B1	資格について調べる	取得したい資格について、パンフレットやウェブサイトを使って、資格の概要、試験の概要について理解する。	4	1	658	取得したい日本語能力に関する資格について書かれたウェブサイトなどの簡単な説明を読んで、試験の内容や資格の難易度、取得に必要な学習時間など、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語能力に関する試験	有	
Ⅸ	25	B1	資格について調べる	取得したい資格について、パンフレットやウェブサイトを使って、資格の概要、試験の概要について理解する。	4	1	647	ウェブサイト上の資格と職業に関するある程度長い説明に目を通して、自分がやりたい仕事にはどのような資格が必要か、平均給与はどのくらいかなど、その仕事が自分が希望する待遇と合っているかを知るために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・各職種の平均的な給与額や待遇	有	
Ⅸ	25	B1	資格について調べる	取得したい資格について、パンフレットやウェブサイトを使って、資格の概要、試験の概要について理解する。	4	1	649	取得したい資格の受験に関するある程度長い文章に目を通して、試験の申込み方法や受験に関する注意など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・資格試験の受験に関する情報について	有	
Ⅸ	25	B1	資格について調べる	取得したい資格について、パンフレットやウェブサイトを使って、資格の概要、試験の概要について理解する。	4	1	659	取得したい日本語能力に関する資格を持っている先輩や友人に、どのような勉強をしたかや、実際の試験の内容や様子、感想などについて質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語能力に関する試験	無	
Ⅸ	26	B1	仕事について相談する	ハローワークの担当者や知り合い・友人に、仕事に就くための方法を相談する。	3	2	648	ハローワークの担当者に、働きたい職種を伝え、そのために必要な資格は何か、その資格を取得するにはどのようにすればいいかなどについて質問し、ある程度詳細な答えを理解することができる。	やり取り	B1	就業のためのガイドブックを読む。	読むこと	Ⅸ　自身を豊かにする			・ハローワークについて	無	
Ⅸ	26	B1	仕事について相談する	ハローワークの担当者や知り合い・友人に、仕事に就くための方法を相談する。	3	1	644	希望する仕事に就くために、どのような知識や技能、資格が必要かなどについて、友人に相談することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・資格試験の受験に関する情報について	無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動(5種)	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	27	B1	勉強する場所について調べる	資格を取るための学校についての情報を知り合いから得る。	1	1	650	社会人向けの資格スクールについて、評判や受講方法などの詳しい情報を、友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・資格試験の受験に関する情報について	無	
Ⅸ	28	B1	公共施設を利用する	図書館や公民館の利用方法について、利用案内を読んで理解したり、電話して詳しい情報を得る。	3	1	726	図書館の利用案内についてのある程度長い文章に目を通して、利用カードはどのように作るか、どのようなサービスや活動があるかなど、利用のために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	28	B1	公共施設を利用する	図書館や公民館の利用方法について、利用案内を読んで理解したり、電話して詳しい情報を得る。	3	1	730	公民館の利用案内についてのある程度長い文章に目を通して、調理室があるか、個人で借りることができるか、予約の方法などの必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	28	B1	公共施設を利用する	図書館や公民館の利用方法について、利用案内を読んで理解したり、電話して詳しい情報を得る。	3	1	731	公民館に電話をして、会場の広さやいす・机の数、飲食できるかどうかなど施設の設備などについて担当者に質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	29	B1	仲間を作る	公共施設やウェブサイトを利用して、新しいコミュニティーを作る。	2	2	687	オンライン上のコミュニティなどで、新たなメンバーを募るために、活動紹介や参加に当たってのルールなどを、ある程度詳しく書くことができる。	書くこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	30	B1	自分に合った日本語教育機関を探す	自分の目的・目標や状況などを踏まえ、最適な日本語教室や日本語学校を探す。	3	1	651	地域の日本語教室に参加するために、国際交流協会やボランティア団体などに電話をして、担当者に教室の活動内容や参加の条件などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語教室	無	
Ⅸ	30	B1	自分に合った日本語教育機関を探す	自分の目的・目標や状況などを踏まえ、最適な日本語教室や日本語学校を探す。	3	2	657	地域の日本語教室に見学に行ったとき、担当者に、クラスの種類や学習内容、授業の進め方、宿題やテストなどについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語教室	無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	1	656	地域の日本語教室などの学習相談で、自分の日本語能力の問題点や課題について、現状や原因をある程度詳しく説明し、効果的な学習方法について相談することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本語教室	無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	1	662	地域の日本語教室のクラスメートと、学習目標の設定や目標達成への取組みなどについて、自分の考えを話したり、相手の話に対して、簡単なコメントや意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	653	日本語を勉強している友人に、日本語の勉強方法について、やってみてよかった方法や参考になる教材などの詳しい情報を、質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	668	日本語学習のための教材やアプリについて、どんなものが使いやすいかや自分に向いているかなどの詳しい情報を日本語教室のクラスメートや教師に質問したり、質問に答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	・ICT ・日本語学習サイト			無／有	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	678	日本語学習のための辞書や教材などについて、おすすめのものや役に立ったものなどの詳しい情報を、日本語教室の先生やクラスメートに質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動(5種)	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	692	同じ日本語教室で勉強している友人や教師に、どのように敬語を学んだらよいのかや、効率的な学習方法について、詳しい情報を質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	674	日本語学習サイトやアプリなどについてよく知っている人に、ICTを活用して何をどのように学習できるかについて質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	・ICT ・日本語学習サイト			無	
Ⅸ	31	B1	日本語学習方法について相談する(1)	日本語学習の方法について、教師や先輩などに相談したり、クラスメートなどと意見交換したり、後輩からの相談に乗ったりする。	5	0.5	681	日本語教室のクラスメートなどに、今、教室で使っている教材を使ってどのように予習復習をしたらよいかについて質問したり、意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	32	B1	日本語学習方法について相談する(2)	日本語学習の状況を振り返り、うまくいっていないこと、改善したいことなどについて、教師やコーディネーターに相談する	3	1.5	660	通っている日本語教室のコーディネーターなどに、自身の状況について簡単に説明し、今後の学習方法について相談することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	32	B1	日本語学習方法について相談する(2)	日本語学習の状況を振り返り、うまくいっていないこと、改善したいことなどについて、教師やコーディネーターに相談する	3	1.5	663	計画通りに日本語の学習が進まないとき、日本語教室の教師や支援者などに、学習の進捗や不調について簡単に説明し、相談することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	33	B1	日本語学習を自己管理する	学習ポートフォリオやノートを見直して、自分の状況や今後の目標や改善策を検討する。	3	1	664	一緒に受けていた授業であれば、ノートのまとめ方などについてクラスメートや教師に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	33	B1	日本語学習を自己管理する	学習ポートフォリオやノートを見直して、自分の状況や今後の目標や改善策を検討する。	3	2	677	日本語学習サイトの進捗状況を確認して、学習目標などを記した自己評価のためのチェックリストの項目にチェックを入れたり、目標の達成度や学習の振り返りなどをある程度詳しく書き込むことができる。	書くこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	・日本語学習サイト			有	
Ⅸ	34	B1	日本語について調べる	言葉の意味や使い方がわからない時に、国語辞典を使ったり、知り合いに聞いたりして、その説明を理解する。	3	1.5	679	普段の生活の中で意味が分からない言葉について辞書で調べたとき、その言葉に関する簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	34	B1	日本語について調べる	言葉の意味や使い方がわからない時に、国語辞典を使ったり、知り合いに聞いたりして、その説明を理解する。	3	1.5	669	日本語教室のクラスメートや教師に日本語の表現について見聞きした場面を伝えて、どんな時に、どう使う表現なのかなどを質問したり、その答えを理解することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	35	B1	「日本語」について話す	方言や敬語、漢字、外来語、新語などについて話題にし、意見交換する。	3	1	688	同じ地域に住んでいる友人と、その地域の方言について、びっくりしたことやおもしろいと思った経験などについてある程度詳しく話したり、相手の話に対して、簡単なコメントや意見を述べたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする		・地名等 ・方言等		無	
Ⅸ	35	B1	「日本語」について話す	方言や敬語、漢字、外来語、新語などについて話題にし、意見交換する。	3	0.5	689	近所の人と話していて、分からない言葉や方言を聞いたときに、その言葉について質問し、言葉の意味や使う状況などある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする		・方言等		無	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動(5種)	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	35	B1	「日本語」について話す	方言や敬語、漢字、外来語、新語などについて話題にし、意見交換する。	3	0.5	694	日本語教室のクラスメートと、敬語や漢字を学ぶ上での難しさについて、自分の考えを話したり、相手の話に対して、簡単なコメントや意見を述べたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	35	B1	「日本語」について話す	方言や敬語、漢字、外来語、新語などについて話題にし、意見交換する。	3	1	693	自分が住んでいる地域の方言の言い回しや特徴を紹介するインターネット上の簡単な記事などを読んで、重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする		・方言等		有	
Ⅸ	36	B1	国・地域について話す	催しなどで初めて会った人と、日本と自国の相違点について話題にし、意見交換する。	2	2	685	日本語教室や国際交流のイベントで初めて会った人と、日本と自分の国や地域との共通点や違いについて、自分の考えを話したり、相手の話に対して、簡単なコメントや意見を述べたりして、ディスカッションに参加することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	37	B1	子どもの学校について知る(2)	子どもの就学について必要な情報を、ガイドブック、ウェブサイト、近隣の人から得る。	4	1.5	704	教育委員会などが出している「外国人児童生徒のための就学ガイドブック」などのある程度長い文章に目を通して、学校制度や就学手続、教育相談など、子供の就学のために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本の学校制度	有	子育て
Ⅸ	37	B1	子どもの学校について知る(2)	子どもの就学について必要な情報を、ガイドブック、ウェブサイト、近隣の人から得る。	4	1.5	713	インターネット上にある日本の学校教育についての、ある程度長い文章に目を通して、教科の種類や学校での生活など、子供を学校に通わせるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本の学校制度	有	子育て
Ⅸ	37	B1	子どもの学校について知る(2)	子どもの就学について必要な情報を、ガイドブック、ウェブサイト、近隣の人から得る。	4	1	712	近所の学校について、評判や言語のサポートが得られるかなどの詳しい情報を、その学校に子供を通わせている友人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			・日本の学校制度	無	子育て
Ⅸ	38	B1	旅行の計画を立てる	旅行の計画を立てるために、目的地についてよく知っている人から情報を得たり、ガイドブックなどで調べたりしながら、友人と相談する。	3	1	721	家族や友人と外出や余暇の計画を立てるとき、目的地やスケジュールについて、自分の意見を述べたり、他の人の意見を調整したりしながら話し合うことができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	38	B1	旅行の計画を立てる	旅行の計画を立てるために、目的地についてよく知っている人から情報を得たり、ガイドブックなどで調べたりしながら、友人と相談する。	3	1	715	スキー場やキャンプ場など、休暇を過ごす場所について、便利な利用方法や近くの観光地などの詳しい情報を、親しい人に質問したり、答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	38	B1	旅行の計画を立てる	旅行の計画を立てるために、目的地についてよく知っている人から情報を得たり、ガイドブックなどで調べたりしながら、友人と相談する。	3	1	717	旅行雑誌やガイドブックなどの、ある程度長い文章に目を通して、名所や名物の特徴など、行き先を決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	39	B1	書店を活用する	書店で、自分にとって適切な本や教科書を店員の助けを得たり、本の序文や目次を見たりして選ぶ。	3	1	666	本屋などで店員に、日本語学習の際に使う辞書や教科書の用途や目的について質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	５つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
Ⅸ	39	B1	書店を活用する	書店で、自分にとって適切な本や教科書を店員の助けを得たり、本の序文や目次を見たりして選ぶ。	3	2	667	教材のはじめなどにあるねらいや使い方の簡単な説明を読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	本の構成			有	
Ⅸ	40	B1	マニュアルを読む	ソフトの使い方を確認したり、適切な接客方法を学んだりするためにマニュアルを読んで理解する。	3	1	672	表計算ソフトの使い方の本などを読んで、使用したい機能についての必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	40	B1	マニュアルを読む	ソフトの使い方を確認したり、適切な接客方法を学んだりするためにマニュアルを読んで理解する。	3	1	673	eラーニングシステムへのログイン方法や学習方法が書かれたマニュアルの簡単な説明を読んで、主要な操作方法を理解することができる	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	・ICT ・日本語学習サイトの使用方法			有	
Ⅸ	40	B1	マニュアルを読む	ソフトの使い方を確認したり、適切な接客方法を学んだりするためにマニュアルを読んで理解する。	3	1	690	職場にある接客マニュアルなど、敬語の使い方と具体的なフレーズについて書かれたある程度長い資料に目を通して、自分が接する可能性のある場面に合った言い回しや表現を探し出すことができる。	読むこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	働く
Ⅸ	41	B1	「方法」を学ぶ	パソコンの使い方や仕事の進め方などについて相談し、詳細な説明をしてもらい、理解する。	3	1	676	インターネットの接続方法やパソコンの設定方法などについて、コンピューターに詳しい友人に質問したり、相手の質問に対して答えたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする	・ICT			無	
Ⅸ	41	B1	「方法」を学ぶ	パソコンの使い方や仕事の進め方などについて相談し、詳細な説明をしてもらい、理解する。	3	2	680	社内の日本語研修で業務改善に関するグループでのプレゼンテーションの準備をするために、教材として配られた作業マニュアルの改変作業の詳細について確認や指示をしたり、受けたりすることができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				有	
Ⅸ	42	B1	自分の人生について語る	子ども時代、学生時代の勉強の経験について振り返り、これからの夢とその実現方法について考える。	3	1	714	友人や家族と、それぞれの学生時代や受験体験に関して、ある程度詳しく状況や心情を説明し、簡単なコメントや意見を交換することができる。	やり取り	B1			Ⅸ　自身を豊かにする				無	
Ⅸ	42	B1	自分の人生について語る	子ども時代、学生時代の勉強の経験について振り返り、これからの夢とその実現方法について考える。	3	2	646	自分の夢や目標について、それを達成するための方法や計画を、ある程度詳しくSNSなどに書き込むことができる。	書くこと	B1			Ⅸ　自身を豊かにする			ライフプラン、キャリアプラン	有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
X	1	A2	宅配便の再配達／郵便を活用する	宅配便の不在通知を読んで理解し，再配達の手配をする。	2	0.5	743	宅配便の不在通知を見て再配達を依頼したいとき、再配達の自動音声案内の簡単な案内を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			X　情報を収集・発信する	・郵便物や宅配便などの配達システムについて				
X	1	A2	宅配便の再配達／郵便を活用する	宅配便の不在通知を読んで理解し，再配達の手配をする。	2	0.5	744	宅配便の再配達を依頼する電話をかけ、音声ガイダンスの日時や曜日指定などの簡単な案内を聞いて、理解することができる。	聞くこと	A2			X　情報を収集・発信する	・郵便物や宅配便などの配達システムについて				
X	1	A2	宅配便の再配達／郵便を活用する	郵便を活用するためにウェブサイトなどで情報を得る。郵便局を訪問して郵便局員と話して様々なサービスを活用する。	2	1	740	郵便物や宅配便の不在連絡票の短い簡単な文を見て、再配達依頼の電話番号やURL、再配達が可能な期間など、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する			有	
X	2	B1	宅配便の再配達サービス内容を知る	宅配便を利用するために，ウェブサイトのサービス内容を理解する。	1	1	741	宅配便のウェブサイトのある程度長い文章に目を通して、それぞれのサービスや日時指定など、その会社を利用するか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	・郵便物や宅配便などの配達システムについて			有	
X	3	B1	携帯電話を活用する	携帯電話の使い方について動画を見たり店員の説明を聞いて理解する。契約プランやオプションについて検討する。	3	0.5	764	発音がはっきりしていれば、携帯電話店の店員によるおすすめの機種の使い方や便利な機能についての説明を聞いて、理解することができる。	聞くこと	B1			X　情報を収集・発信する	・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について				
X	3	B1	携帯電話を活用する	携帯電話の使い方について動画を見たり店員の説明を聞いて理解する。契約プランやオプションについて検討する。	3	0.5	766	携帯電話の使い方についての動画を見て、映像やテロップを頼りに、主な機能の使い方や取扱い上の注意点など、主要な情報を理解することができる。	聞くこと	B1			X　情報を収集・発信する	・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について				
X	3	B1	携帯電話を活用する	携帯電話の使い方について動画を見たり店員の説明を聞いて理解する。契約プランやオプションについて検討する。	3	0.5	765	携帯電話の説明書の中から発信や受信、メールの送受信やアプリのダウンロードの方法などについての簡単な説明を読んで、主要な操作方法を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について			有	
X	3	B1	携帯電話を活用する	携帯電話の使い方について動画を見たり店員の説明を聞いて理解する。契約プランやオプションについて検討する。	3	0.5	748	携帯電話店の店員にフリック入力や音声入力など、様々な日本語入力の方法について質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	携帯電話の表示を読む	読むこと	X　情報を収集・発信する	・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について			有	
X	3	B1	携帯電話を活用する	携帯電話の使い方について動画を見たり店員の説明を聞いて理解する。契約プランやオプションについて検討する。	3	1	763	携帯電話を扱う店の店員が提案する契約プランやオプションの特徴などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1	パンフレットを読む	読むこと	X　情報を収集・発信する	・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について		・携帯電話のサービス内容・契約方法・利用方法について	有	
X	4	B1	スポーツニュースを見る	記事やブログを読んで，見たいテレビやラジオ番組を探す。番組の内容について理解する。	2	1	772	テレビやラジオの番組について紹介した簡単な記事やブログを読んで、番組の内容や興味があるトピックなど、見たい番組や聞きたい番組を見つけるために、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆それぞれのメディアの入手方法やアクセス方法を知る				

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
X	4	B1	スポーツニュースを見る	記事やブログを読んで，見たいテレビやラジオ番組を探す。番組の内容について理解する。	2	1	775	好きなスポーツに関するテレビニュースなどを見て、試合の勝敗や好きな選手の活躍など、内容を大まかに理解することができる。	聞くこと	A2	画面の文字情報を読む	読むこと	X　情報を収集・発信する		日本のスポーツ事情		有	
X	5	B1	テレビニュースを見る	テレビニュースを見て日本の出来事を知り，それについて友人と話し合う。	3	0.5	772	テレビやラジオの番組について紹介した簡単な記事やブログを読んで、番組の内容や興味があるトピックなど、見たい番組や聞きたい番組を見つけるために、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆それぞれのメディアの入手方法やアクセス方法を知る			有	
X	5	B1	テレビニュースを見る	テレビニュースを見て日本の出来事を知り，それについて友人と話し合う。	3	0.5	785	テレビで見聞きしたニュースについて、友人に何が起こっているのか、どうしてそうなったのかなど分からない点について質問したり、簡単なコメントや意見を交換したりすることができる。	やり取り	B1			X　情報を収集・発信する		日本のニュース			
X	5	B1	テレビニュースを見る	テレビニュースを見て日本の出来事を知り，それについて友人と話し合う。	3	1	783	出身国や地域の出来事が日本の報道番組でどのように報道されているか、映像やテロップを頼りに、キャスターの解説の主要な点を理解することができる。	聞くこと	B1	画面の文字情報を読む	読むこと	X　情報を収集・発信する				有	
X	5	B1	テレビニュースを見る	テレビニュースを見て日本の出来事を知り，それについて友人と話し合う。	3	1	773	テレビニュースや新聞記事をきっかけに、住民投票制度や入管法改正など、自分の生活に密接に関わる政策について、友人に簡単な説明や理由を交えて自分の意見を述べることができる。	発表	B1	新聞を読む	読むこと	X　情報を収集・発信する			日本の制度	有	
X	6	A2	テレビドラマやアニメを見る	好きなテレビドラマやアニメを見るために，どの時間にどのチャンネルでやっているか調べる。	1	1	776	＜776a＞テレビの番組表を見て、テレビドラマやアニメなど興味を持った番組がいつ、どのチャンネルでやるかなど、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	A2			X　情報を収集・発信する	☆それぞれのメディアの入手方法やアクセス方法を知る	日本のドラマ		有	＊具体例を加えた。
X	7	A2	ラジオで天気予報を聞く	ラジオで天気予報がいつおこなわれているのか調べて聞く。天気予報の内容を聞いて理解し，必要な備えができる。	1	0.5	780	ラジオやテレビの音声のみで天気予報を聞いて、明日の天気や温度、降水確率など、いくつかの情報を理解することができる。	聞くこと	A2			X　情報を収集・発信する	天気予報				
X	7	A2	ラジオで天気予報を聞く	ラジオで天気予報がいつおこなわれているのか調べて聞く。天気予報の内容を聞いて理解し，必要な備えができる。	1	0.5	781	発音がはっきりしていれば、ラジオの天気予報を聞いて、明日以降の天候がいつごろどのように変わるか、どんな服装で出かけたらよいかなどの要点を理解することができる。	聞くこと	A2			X　情報を収集・発信する	天気予報				
X	8	B1	見たい番組を探す	テレビやラジオの番組について紹介した簡単な記事やブログを読んで，番組の内容や興味がある情報を探す。	1	1	772	テレビやラジオの番組について紹介した簡単な記事やブログを読んで、番組の内容や興味があるトピックなど、見たい番組や聞きたい番組を見つけるために、必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆それぞれのメディアの入手方法やアクセス方法を知る			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
X	9	A1	葉書や封筒を書いて投函する	見本を見ながら葉書や封筒の宛名を書く。そしてポストに投函するときに，どの区分に入れるか読んで判断する。	2	1	738	見本があれば、はがきや封筒に、宛名や差出人の住所や名前などを書くことができる。	書くこと	A1			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する			有	
X	9	A1	葉書や封筒を書いて投函する	見本を見ながら葉書や封筒の宛名を書く。そしてポストに投函するときに，どの区分に入れるか読んで判断する。	2	1	739	ポストの投かん口の「手紙・はがき」「その他の郵便」「大型」「速達」など、短い表示を見て、理解することができる。	読むこと	A1			X　情報を収集・発信する	☆各種郵便物の違いを知る			有	
X	10	A2	荷物を送る	郵便局やコンビニなどで荷物を送るとき，送り方や送料などについて質問する。	1	1	742	郵便局やコンビニなどで荷物を送るとき、送り方や送料などについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する ☆各種郵便物の違いを知る				
X	11	A2	郵便サービスについて知る	郵便局のウェブサイトを読んだり，窓口で郵便局員に質問したりして，郵便サービスの種類について理解する。	2	1	735	窓口で係員に、郵便局にはどんなサービスがあるかについて質問し、いくつかの簡単な答えを理解することができる。	やり取り	A2			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する				
X	11	A2	郵便サービスについて知る	郵便局のウェブサイトを読んだり，窓口で郵便局員に質問したりして，郵便サービスの種類について理解する。	2	1	736	郵便局のウェブサイトで郵便サービスの種類に関する簡単な説明を読んで、各サービスの特徴など、重要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する			有	
X	12	B1	郵便サービスを活用する	郵便局の窓口で，割引サービスなどについて質問して活用する。	1	1	737	郵便局の窓口で持ち込み割引や同一あて先割引などについて質問し、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			X　情報を収集・発信する	☆郵便局のシステムを理解する ☆各種郵便物の違いを知る				
X	13	A1	メールやカードで簡単なメッセージを伝える	友人やお世話になった人にメールやカードで簡単なメッセージを伝える。	2	1	755	友人にメールを送るときに、自分の名前や「こんにちは」や「ありがとう」など、定型の簡単なメッセージを日本語で入力することができる。	書くこと	A1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	13	A1	メールやカードで簡単なメッセージを伝える	友人やお世話になった人にメールやカードで簡単なメッセージを伝える。	2	1	756	お世話になった人へのお礼のカードに、「お世話になりました」「ありがとうございました」など、定型の簡単なメッセージを書くことができる。	書くこと	A1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	14	A2	メールや手紙でお礼を伝える	友人やお世話になった人に手紙やメールでお礼などを伝える。そのために友人に日本語チェックをお願いする。	2	1	757	メールなどの日本語をチェックしてもらうために、友人や同僚に短い簡単な言葉で事情を伝え、頼むことができる。	やり取り	A2	メールを書く	書くこと	X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	14	A2	メールや手紙でお礼を伝える	友人やお世話になった人に手紙やメールでお礼などを伝える。そのために友人に日本語チェックをお願いする。	2	1	758	お世話になった人に、短い簡単な文でお礼の手紙やメールなどを書くことができる。	書くこと	A2			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
X	15	A2	メールでやりとりする	友人やお世話になった人から来た長めのメールや手紙を読んで理解し，こちらからも返事をする。	2	1	760	感謝の気持ちや近況などについて、気持ちの変化や出来事の様子などについて詳しく書かれた友人からのお礼の手紙やメールなどを読んで、大部分の内容を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	15	A2	メールでやりとりする	友人やお世話になった人から来た長めのメールや手紙を読んで理解し，こちらからも返事をする。	2	1	759	お世話になった人に、感謝の気持ちや近況などについて、ある程度詳しくお礼の手紙やメールなどを書くことができる。	書くこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	16	A1	メールアドレスを取得する	フリーメールのアドレスを取得するために，新規作成のページに名前，メールアドレス，パスワード，電話番号，生年月日など自分の基本的な情報を入力する。	1	1	753	フリーメールのアドレスを取得するために、新規作成のページに、名前、メールアドレス、パスワード、電話番号、生年月日など、自分の基本的な情報を入力することができる。	書くこと	A1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	17	B1	メールの設定をする	電子メールが使えるようにするためにPCをセッティングしたり，メールアドレスを取得したりする。	2	0.5	751	電子メールの設定などについて、パソコンに詳しい友人にある程度詳しく質問し、セキュリティ強化のための方法を相談することができる。	やり取り	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する				
X	17	B1	メールの設定をする	電子メールが使えるようにするためにPCをセッティングしたり，メールアドレスを取得したりする。	2	0.5	761	電子メールの送受信やファイルの添付の手順、受信メールのフォルダへの整理の方法などについて、友人に順序立てて説明することができる。	発表	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する				
X	17	B1	メールの設定をする	電子メールが使えるようにするためにPCをセッティングしたり，メールアドレスを取得したりする。	2	0.5	752	コンピューターのマニュアルなどの、ある程度長い文章に目を通して、フォルダや連絡先の管理など、電子メールを利用するために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	17	B1	メールの設定をする	電子メールが使えるようにするためにPCをセッティングしたり，メールアドレスを取得したりする。	2	0.5	754	電子メールを送受信するためのソフトなどをインストールするとき、その手順について書かれたウェブページの簡単な説明を読んで、主要な操作方法を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	18	B1	メールで問い合わせをする	サポートセンターに，新しく買った電化製品について，不具合の内容やどう対処してみたかなどについてある程度詳しくメールなどを書く。	1	1	762	サポートセンターに、新しく買った電化製品について、不具合の内容やどう対処してみたかなどについて、ある程度詳しくメールなどを書くことができる。	書くこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	19	A2	インターネット回線を契約する	インターネットプロバイダーの設定マニュアルや接続マニュアルの簡単な説明を読んで理解する。	1	1	747	インターネットプロバイダーの設定マニュアルや接続マニュアルの、簡単な説明を読んで、いくつかの情報を理解することができる。	読むこと	A2			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。

大分類	ユニット番号（大分類内）	ユニットレベル	ユニット名	ユニットの活動	ユニットの単位時間数（1＝45分）	Can do毎の単位時間の目安（1＝45分）	引用・参照した生活Can do番号	NKGユニット版 生活Can do ＊（注）	5つの言語活動	Can doレベル	副次的な言語活動（Can do）	副次的な言語活動（5種）	生活上の行為（大分類）	生活の情報	文化の情報	社会の情報	文字（読・書）の必要性	備考・補足
X	20	B1	インターネット回線を契約する	自宅でインターネットが使えるようにするために，比較して適切なインターネットプロバイダーを契約する。	2	1	745	いくつかのインターネットプロバイダーを比較するサイトなどの簡単な記事に目を通して、それぞれの特徴など、どのプロバイダーと契約するか決めるために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する			有	
X	20	B1	インターネット回線を契約する	自宅でインターネットが使えるようにするために，比較して適切なインターネットプロバイダーを契約する。	2	1	746	家電量販店の店員に、インターネットの契約内容や加入手続について質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する				
X	21	B1	インターネットを活用する	インターネットを利用して，近所の飲食店などの情報を探す。	2	1	749	近隣の飲食店名をインターネットで検索して表示された店の雰囲気や評判などの簡単なレビューを読んで、主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネット検索の方法を理解する			有	
X	21	B1	インターネットを活用する	インターネットを利用して，近所の飲食店などの情報を探す。	2	1	750	pdfファイルだけを検索するなど特殊な検索について書かれたある程度長い文章に目を通して、効率的な検索を行うために必要な情報を探し出すことができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する	☆インターネット検索の方法を理解する			有	
X	22	A1	電話を受ける	電話がかかってきたときに、「もしもし」「○○です」など電話を受けるときの表現を使うことができる。	1	1	770	電話がかかってきたときに、「もしもし」「○○です」など電話を受けるときの表現を使うことができる。	やり取り	A1			X　情報を収集・発信する					
X	23	A2	電話をかける 1	国際交流センターなどに電話をして話したい相手と別の人が出たとき、短い簡単な伝言を依頼することができる。	1	1	767	国際交流センターなどに電話をして話したい相手と別の人が出たとき、短い簡単な伝言を依頼することができる。	やり取り	A2			X　情報を収集・発信する					
X	24	B1	電話をかける 2	帰りが遅くなるとき、帰宅が遅くなる理由、済ませておいてほしい用事や家事の内容などについて、順序立てて説明することができる。	1	1	768	帰りが遅くなるとき、帰宅が遅くなる理由、済ませておいてほしい用事や家事の内容などについて、順序立てて説明することができる。	発表	B1			X　情報を収集・発信する					
X	25	A1	店員に商品の有無を尋ねる	本屋やコンビニ、売店などの店員に、ほしいものの名前を伝え、ゆっくりとはっきりと簡潔に話されれば、あるかどうかの答えを理解することができる。	1	1	771	＜771a＞本屋やコンビニ、売店などの店員に、欲しいもの雑誌や新聞の名前を伝え、ゆっくりとはっきりと簡潔に話されれば、あるかどうかの答えを理解することができる。	やり取り	A1			X　情報を収集・発信する	本屋、コンビニ、売店				＊範囲を広げた。
X	26	B1	電気屋で店員に質問する	電気屋などで店員に、電子機器の操作方法などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	1	1	769	電気屋などで店員に、電子機器の操作方法などについて質問し、聞き返すこともあるが、ある程度詳細な説明を理解することができる。	やり取り	B1			X　情報を収集・発信する	電気屋				
X	27	B1	広報誌を読む・書く	役所が発行する広報誌に掲載されている地域の行事や祭りなどの簡単な紹介記事を読んで理解する。	2	2	782	役所が発行する広報誌に掲載されている地域の行事や祭りなどの簡単な紹介記事を読んで、主な活動や由来などの主要な情報を理解することができる。	読むこと	B1			X　情報を収集・発信する		祭りや地域の行事		有	

（注）「NKGユニット版 生活Can do」は、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会が示した「生活Can do」をもとにしている。基本的には「生活Can do」を用いたが、ユニットを一連の言語行動によって構成するため、生活Can doの記述を一部変更した場合がある。該当箇所を赤字で表記し、Can do番号を＜～a＞としてCan do記述の冒頭に示した。各変更点の説明は「備考・補足」の列を参照されたい。